

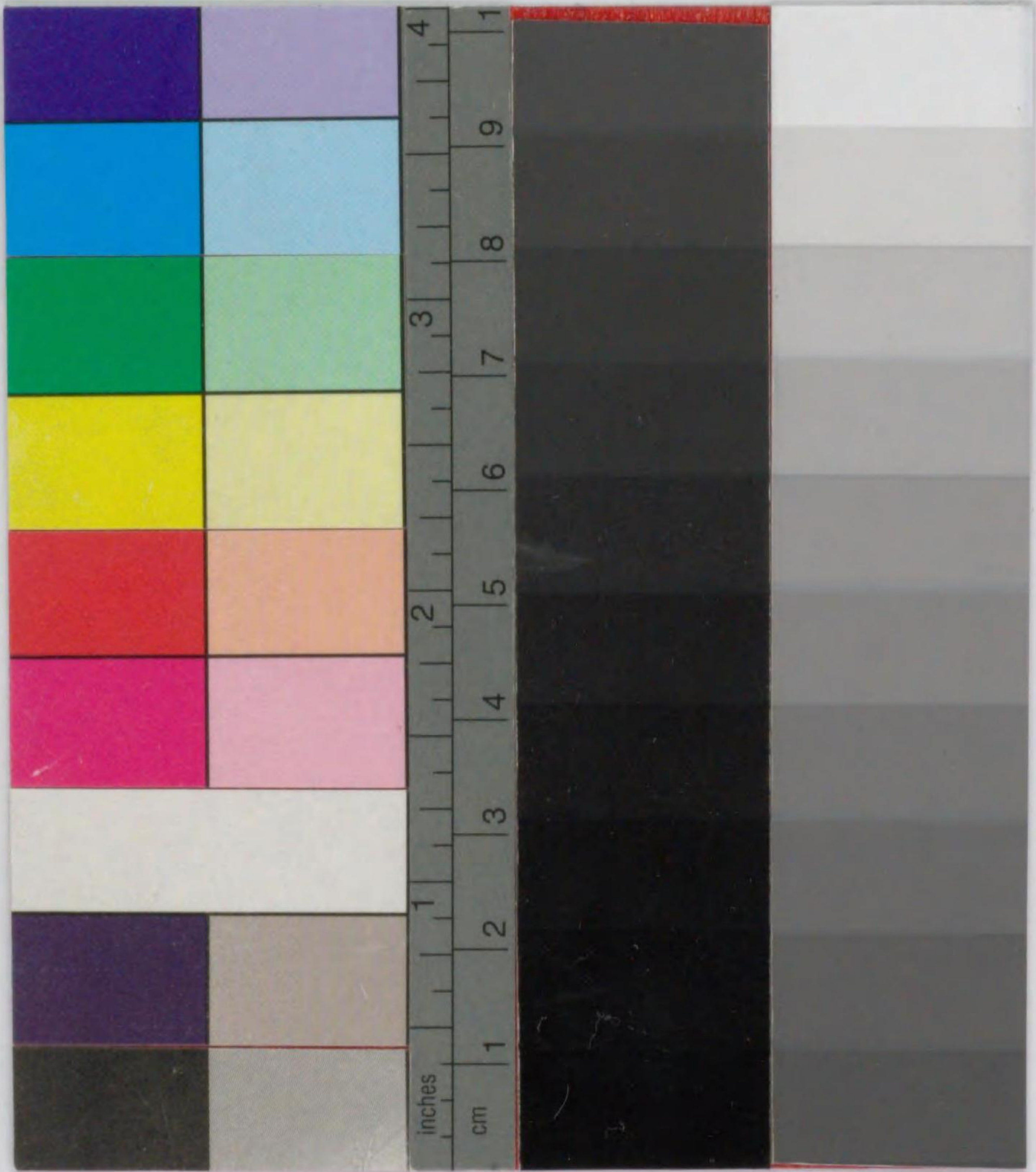
578
31

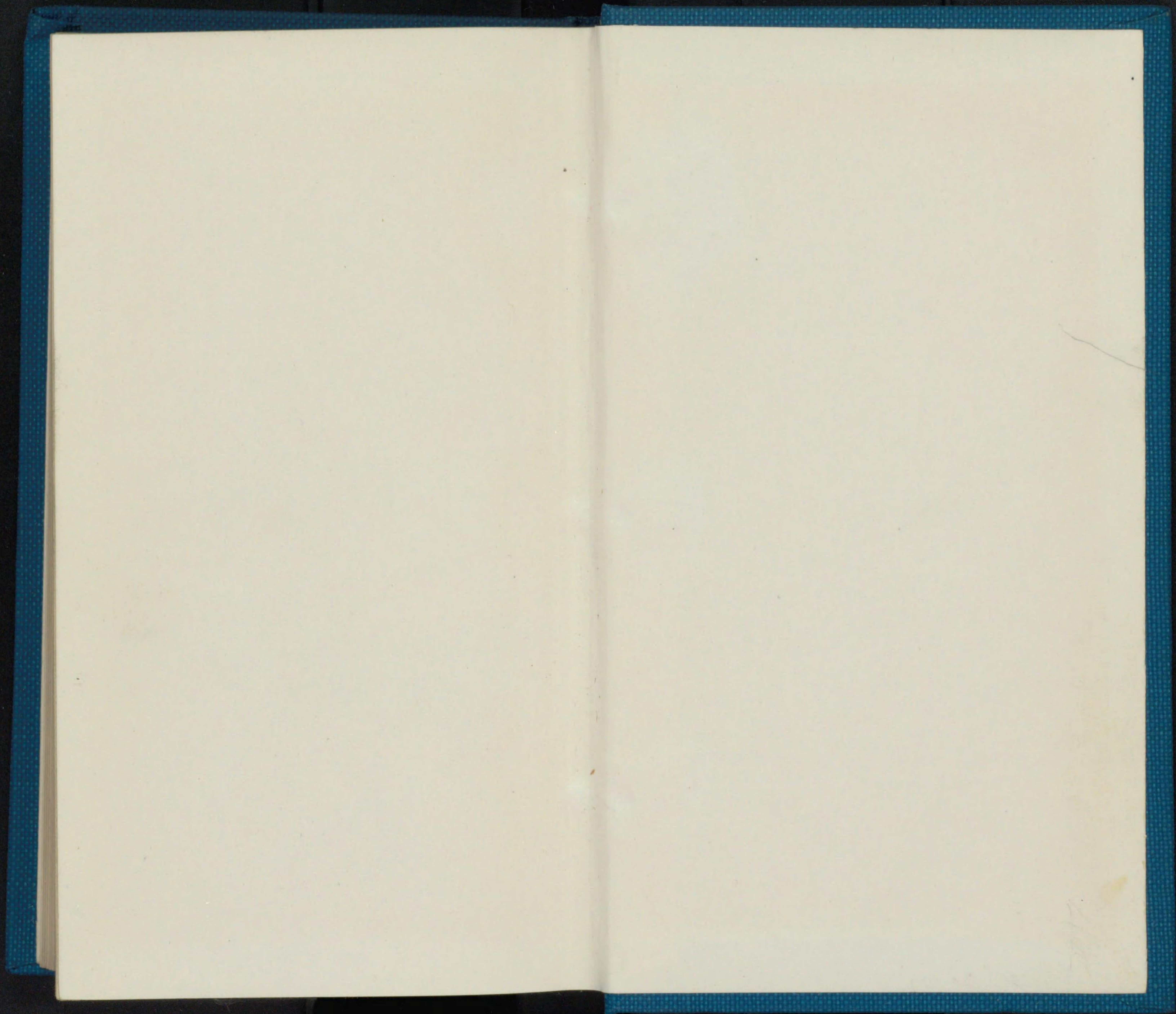
578-131



1200501520620

〇
複
写





858

(補増訂改)版年七和昭

旅程と費用概算



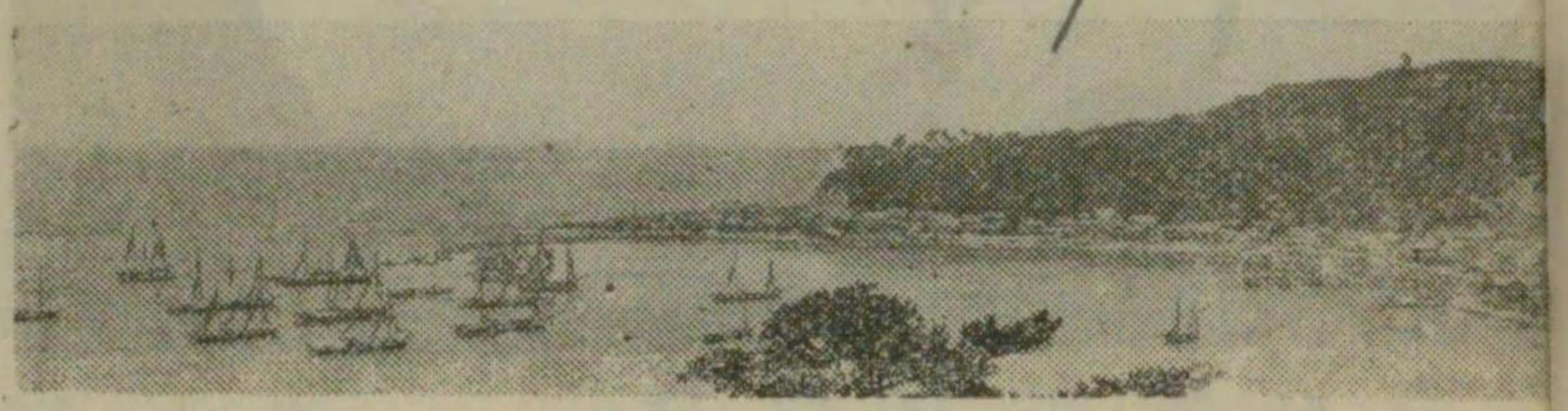
社団法人
ジャパン・ツーリスト・ビュロー



東京 文芸館 行



5-78-131



目

次

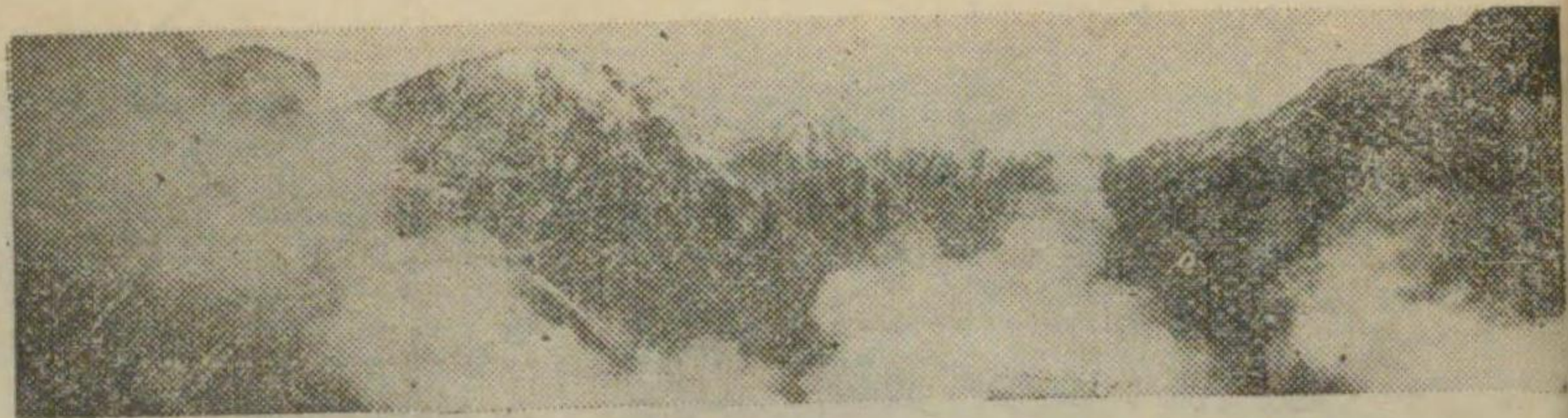
1	東京	東京見物 A案 (遊覽自動車にて一日見物)	六
		同 B案 (東京驛基點三日間の見物)	七
	備考	東京市内の交通機關	八
		東京の主なる旅館	九
		東京遊覽案内	二
		東京近郊遊覽案内	二六
2	鎌倉・江の島遊覽 (東京から日歸り)		四五
3	三浦半島めぐり (A案 東京から二日の旅程 B案 湘南電車にて日歸り遊覽)		四九
4	大山登山 (東京から日歸り)		五三

目次

東京附近、箱根、伊豆、房總方面

本書は改版毎に新しい遊覽地を加へ、内容にも新味を増し且掲載事項は飽迄正鵠を期するやう努力致して居ります。本年版もむろん細心の注意と最善の努力の下に編纂致し遺漏なきを信じます。若し本旅程中誤謬其他御氣付の個所がありましたら何卒御注意下さるやう御願ひいたします。

本旅程掲載の汽車汽船發着時間、賃金、自動車並旅館宿泊料金其他費用等は昭和七年四月現在 (但し汽車賃は八月改正の規則により算出いたしました) の調査に基きました。が、交通機關一殊に定期自動車の如きは、常に變動あり、日々便利に發展し行くが其の本質でありますから、本書編纂後すでに改變せられた個所もある事と信じます。此點豫め御了知願ひます。



目

次

26	日光・裏日光・鬼怒川峡谷遊覽 (東京から四日)	二二六
25	日光・中禪寺・湯本めぐり (東京から二日)	二一九
24	日光見物 (東京から日帰り)	二一三
東北方面		
23	水戸・大洗遊覽 (東京から二日)	一一〇
22	筑波山廻り (東京から日帰り)	一一九
21	銚子・香取・鹿島廻り (東京から三日)	一一七
20	香取・鹿島めぐり (東京から二日)	一一三
19	成田詣で (東京から日帰り)	一一〇
18	外房めぐり (東京から二日)	一〇六
17	北條・館山・鏡ヶ浦遊覽 (東京から日帰り)	一〇四

三

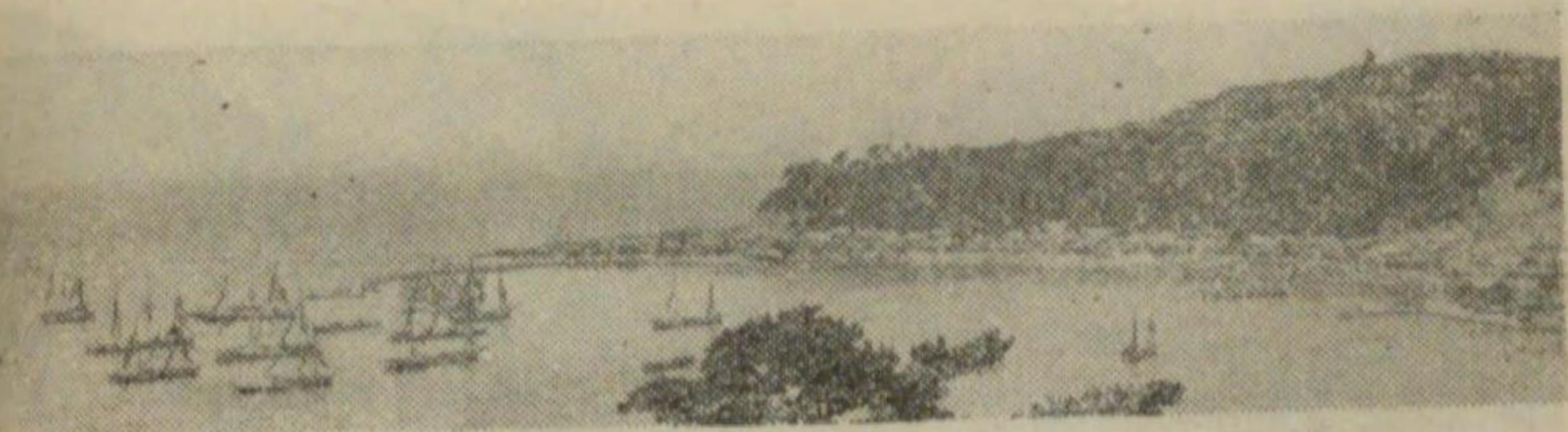


目

次

5	箱根遊覽 (遊覽券利用) (東京から日帰り)	五五
6	湯河原・熱海遊覽 (遊覽券利用) (東京から日帰り)	六七
7	伊豆温泉めぐり (遊覽券利用) (東京から三日)	七〇
8	奥伊豆温泉めぐり (遊覽券利用) (東京から三日)	七五
9	伊豆大島遊覽 (遊覽券利用) (東京から三日)	八六
10	小笠原島遊覽	八九
11	秩父長瀨遊覽 (東京から日帰り)	九二
12	武州御嶽登り 附奥多摩案内 (東京から日帰り)	九五
13	相模川下り (東京から日帰り)	九七
14	多摩御陵參拜 附 高尾山遊覽(同)	九八
15	鹿野山遊山 (東京から日帰り)	一〇二
16	鋸山遊山 (東京から日帰り)	一〇三

二



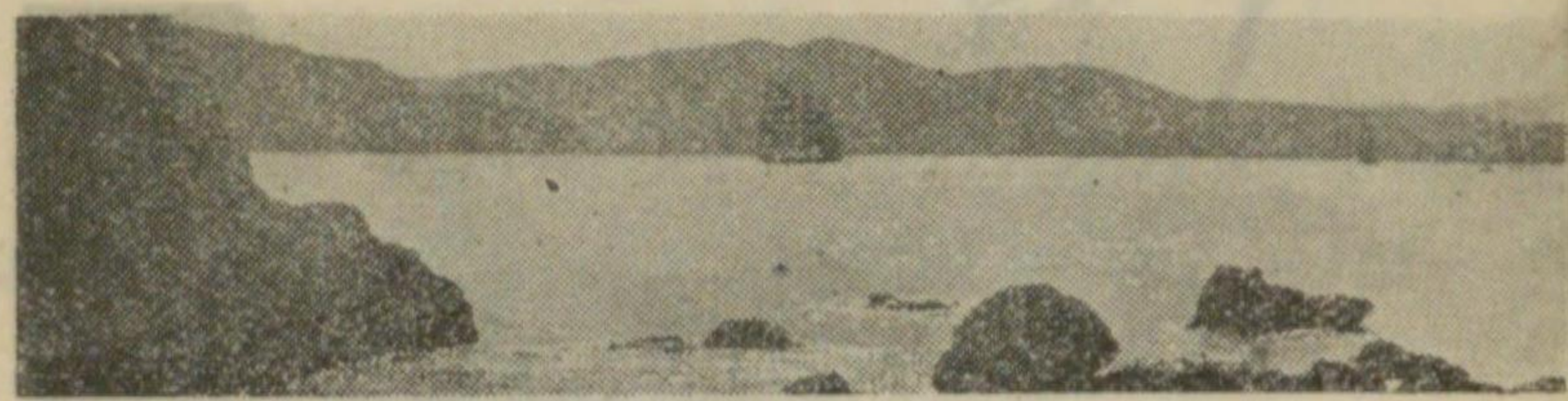
目

27	鹽原温泉めぐり	(東京から二日)	一四一
28	那須温泉めぐり	(東京から二日)	一四六
29	磐梯登山又は猪苗代湖舟遊と東京温泉遊覽	(東京から二日)	一五〇
30	田澤湖遊覽	(東京から四日)	一五五
31	男鹿半島めぐり	(東京から四日)	一五八
32	出羽三山登山	(狩川口)(東京から五日)	一六二
33	松島及金華山遊覽	(東京から五日)	一六九
34	十和田湖遊覽	(附 飯坂靈山、平泉、花巻、達谷窟、貌鼻溪遊覽案内)	一八〇
35	羽越温泉めぐり	(附 島海登山)	一九九
36	佐渡遊覽	(東京から五日)	二二四

上越、信越、北陸方面

次

四

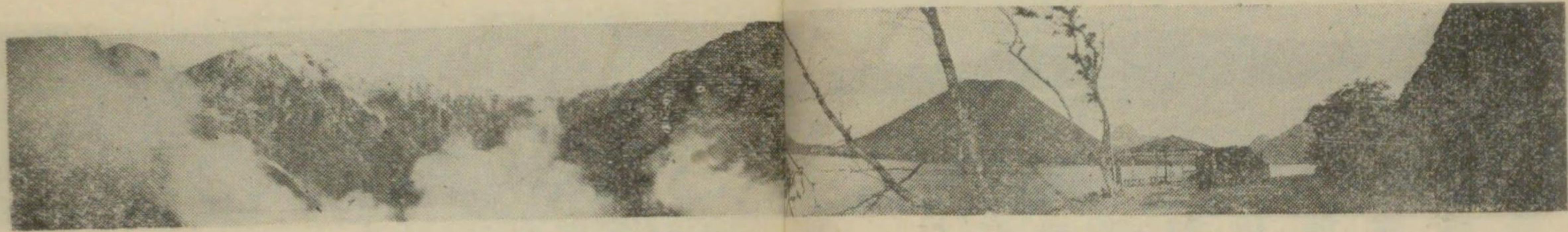


目

37	伊香保遊覽	(遊覽券利用)	三三一
	附 上越沿線温泉案内		三三四
38	上州温泉めぐり	(東京から三日)	三三〇
39	赤城登山	(東京から二日)	三三六
40	妙義登山	(東京から日歸り)	三三八
41	浅間登山	(東京から一日)	三四〇
42	信越・北陸名所巡り	(遊覽券利用)	三四二
43	黒部峡谷遊覽	(東京から五日)	三五九
44	白山登山	(東京から五日)	三六四
	中部及東海道地方		
45	富士五湖廻り	(遊覽券利用)	三六七

次

五



目

次

46	富士登山	(遊覽券利用) 東京から二日	三七四
47	昇仙峽及身延山詣で	附金峯山増富遊覽(東京から三日)	三八一
48	日本アルプス登山	(白馬岳、上高地、乗鞍岳、燕岳、槍ヶ岳、立山、甲斐駒岳、木曾駒岳)	三八八
49	木曾御嶽登山	(東京から四日)	三〇五
50	三保・久能山廻遊	(東京から二日)	三〇八
51	濱名湖・蒲郡遊覽	(東京から四日)	三二三
52	南知多遊覽	(東京から四日)	三二七
53	天龍川下り	(東京から三日) 名古屋から二日	三三五
54	惠那峽舟遊	(東京から三日) 名古屋から日歸	三三〇
55	木曾川下りと長良川鵜飼	東京から一日 名古屋から日歸 京阪から一泊	三三三
56	養老觀瀑	(名古屋から日歸) 京・阪から日歸	三三七

六

京・阪及其附近と伊勢、大和、奈良、紀州方面

57	京都見物	三三九	
	備考 京都の主なる旅館	三四一	
	洛中洛外の主なる名所案内	三四三	
58	保津川下り	(京都から日歸り)	三六三
59	比叡山詣で	(京阪から日歸り)	三六六
60	琵琶湖遊覽	三七〇	
61	宇治川下り	(京・阪から日歸り)	三七六
62	大阪見物	(大阪驛基點二日行程)	三七九
	備考 大阪市内の交通機關	三八〇	
	大阪の名所史蹟案内	三八一	
	大阪の主なる旅館	三八五	

目

次

七



63	初瀬・室生・香落溪又は赤目四八瀧遊覽(大阪から日歸り)	三九三
64	月ヶ瀬・笠置遊覽(京・阪から二日)	三九六
65	伊勢參宮(京・阪から二日)	四〇一
66	伊勢參宮(遊覽券利用 東京から四日)	四〇九
67	吉野遊覽(京・阪から二日)	四一〇
68	吉野群山(大和アルプス)	四一五
69	高野山詣で(大阪から日歸り 京都から二日)	四二二
70	和歌浦遊覽(大阪から日歸り)	四二六
71	大和名所廻り(東京から八日)	四三八
72	南紀名勝廻り(遊覽券利用 大阪から四日)	四三九

阪神附近遊覽案内

(寶塚、箕面、有馬、甲子園、六甲山、神戸市、須磨、鳴門觀潮)

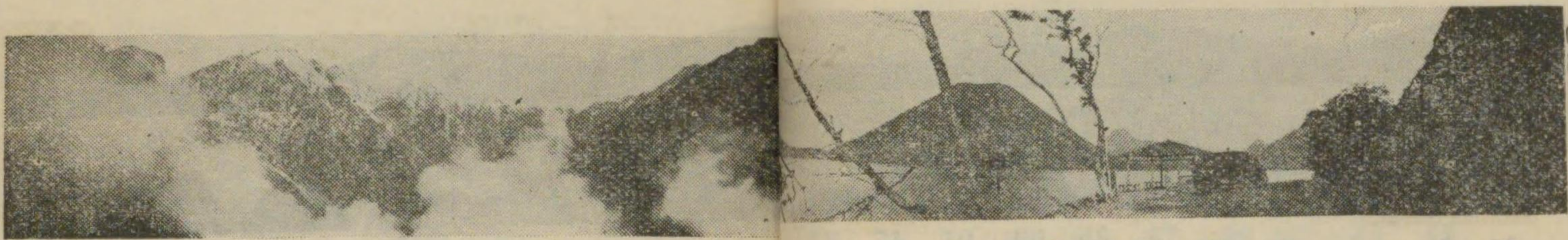
山陰、山陽、四國方面

73	天橋立・城崎遊覽 附 大江山遊覽(遊覽券利用 京・阪から三日)	四五九
74	出雲大社・松江・美保關遊覽(京阪から四日)	四六七
75	祖谷溪・琴平・屋島遊覽(大阪から六日)	四七五
76	室戸岬・鳴戸・屋島・琴平遊覽(阪・神から六日)	四八一
77	瀬戸内海名所廻り(東京から一〇日)	四八八
78	長門峽遊覽(下關から二日)	四九七
79	青海島遊覽(下關から日歸り)	四九九

九州方面

80	雲仙遊覽(遊覽券利用 長崎から二日)	五〇一
81	長崎―阿蘇・別府廻遊(遊覽券利用 長崎から五日)	五〇五





目

次

10

82 天草島遊覽と雲仙廻遊(長崎から四日) 五二五

83 九州一週旅程(門司から一二日) 五一八

84 別府・耶馬溪・雲仙・阿蘇廻遊(遊覽券利用) 五三〇

北海道方面

85 五日間 東京―北海道往復旅程 五三九

86 一週間往復 北海道遊覽 五四三

87 十日間 東京―北海道往復遊覽 五四九

88 二週間 東京―北海道往復遊覽 四九九

89 北海道、樺太遊覽(東京から一三日) 五七四

臺灣

90 臺灣旅行日程(東京から二〇日) 五九六

朝鮮、滿洲、中國方面

備考 一、氣候と遊覽期節に就いて 六二五

備考 二、税關検査に就いて 六二六

備考 三、通貨に就いて 六二七

備考 四、標準時に就いて 六二八

備考 五、旅行券に就いて 六二八

備考 六、乗車船券に就いて 六二八

91 十一日間 東京―朝鮮往復旅程 六三三

92 朝鮮金剛山探勝 六三九

93 滿鮮周遊旅程(東京から二週間) 六五一

94 青島及滿鮮旅行(東京から二四日) 六六一

95 三週間中國周遊觀光旅程 六八二

目

次

一一

附 録



遞信省名勝日附印及驛スタンプ集	卷頭
對籽三等賃金表	折込
全國主要驛相互間三等賃金表	折込
主治效能別による全國主要溫泉案内	一一九
クワボン式	二〇一七
道省遊覽券	二六—四〇
觀音靈場めぐり	二六—四〇
西國三十三觀音	二九
阪東三十三觀音	三三
秩父三十四觀音	三七
日本三古碑、日本三奇橋、日本三大祭、日本三辨天、日本三八幡、日本三大佛	四一—四九
日本三文殊、日本三虚空藏	四七—四九
鐵道知識	五〇
メートル法比較表	五〇
國有鐵道旅行案内	五一—五八

名勝スタンプ集

風景入日附印と鐵道の旅行記念スタンプ

旅に出ると、ゆく先々の記念物を求めたくなる。アルバムに蒐印帖に集める記念スタンプは旅のよい記録として、旅行者に歓迎される。昨年の夏始めて逓信省から、その土地／＼の名勝史蹟入日附印使用を發表されるや、非常な好評を博し、同時に、鐵道省及臺灣、鮮滿でも旅行記念の名勝スタンプを作つたが、いづれも興味深いものである。

一、此處に集録した各名勝スタンプは昭和七年七月末までに使用開始を發表されたものである。
 一、各逓信局の風景入日附印は其土地を代表する名勝史蹟の風光を圖案化して日附印としたもので、その局所の窓口に差出された料金完納の第一種郵便物、繪ハガキ及び一錢五厘以上の切手を貼付した蒐印帖、手帖、扇子等に旅行記念として押捺されるものである。但し第四種郵便物には押捺せぬ。
 一、驛スタンプは風景入日附印と同一趣意のもとに、土地の風光を主題として作られたもので、近來主要な驛で之等旅行記念スタンプを無料で押捺して呉れる様になつた。然し之は好意によるものであるから、その驛が列車の發着時刻または其他で多忙な時は、押捺を謝絶される場合がある。
 (註)此處に採録したものは八〇驛だけであるがこの外既に使用されてゐる驛も尠くない。
 一、表中〇印を附したるは同一圖案にて使用局の相違せるものを示す。
 表中△印を附したるは使用期間が一定の時期に限られて居るものを示す。

昭和七年七月

ジャパン・ツーリスト・ビューロー

五十音別索引

相川町(佐渡)……………二二六	赤坂離宮……………二二	阿里山……………六〇
相川金山(佐渡)……………二二六	赤日四十八瀧……………三九四	阿里山神木……………六二
青木ヶ原(富士山麓)……………二七一	秋保温泉……………附録 六	阿武川下り……………四九八
青木湖(仁科三湖)……………二九〇	秋田温泉……………録附 一四	阿波の鳴門……………四八六
青島(宮崎)……………五三六	秋田市……………一五九	阿佛坊妙宣寺(佐渡)……………二二八
青根温泉……………附録 二	秋芳洞……………四九八	阿夫利神社(相州大山)……………五三
青海島……………附録 二	阿寒湖……………五五五	阿彌陀寺(箱根塔の峯)……………六二
青堀温泉……………附録 一七	阿寒岳……………五五八	阿波踊(徳島)……………四八六
青山温泉……………附録 一〇	阿寒湖温泉……………五八八	淺草公園……………一九
青山御所……………三	阿久根温泉……………附録 八	淺草寺……………一七
赤城登山……………二二六	阿字ヶ浦……………二二三	淺間登山……………三四〇
赤倉温泉……………二四八	阿蘇登山……………五〇七	淺間温泉……………附録 七
	阿蘇神社……………五〇八	淺虫温泉……………附録 一九
		朝熊岳(伊勢)……………四〇五

索引 (ア)

旭川市 五二
 足尾銅山 一三三
 蘆の湯温泉(箱根) 五七
 蘆の湯温泉(箱根) 五七
 蘆原温泉 二五四
 アシンコート(臺灣) 五六
 飛鳥山(東京) 三六
 熱海温泉 六
 熱川温泉(伊豆) 七
 熱田神宮 三三
 温海温泉 二〇六
 愛宕神社(京都) 三〇七
 穴原温泉(上州) 三六
 天城山(伊豆) 七五・七九
 天草島 五五
 天草松島 五五
 天津村(安房) 一〇七
 天の橋立 四六〇

油壺灣(三浦半島) 附録 五一
 網張温泉 附録 一六
 網走 五〇
 鮎川温泉(紀州) 四九
 嵐山 六四
 荒川堤(東京) 三八
 荒川遊園(東京) 三六
 新井薬師(東京) 三
 有明温泉(日本アルプス) 二九七
 有馬温泉 附録 一八
 有馬温泉 三六
 淡路島 三九二
 粟生島 二〇八
 粟ヶ崎遊園 二五〇
 粟津温泉 二五三
 安房神社 一〇五
 安針塚(横須賀) 五〇
 安代温泉(平穩) 二四五

安樂温泉 附録 六
 安藝町(高知縣) 四八四
 安東 六三七
 安平港(臺灣) 六一五
 鞍山 六五四
 飯坂温泉 一八〇
 飯田町(信州) 三三五
 飯沼觀音(銚子町) 一一七
 硫黄山 五六五
 硫黄島(小笠原) 九一
 硫黄谷温泉(霧島) 五三六
 碓ヶ關温泉 附録 一六
 伊香保温泉 三三
 伊勢神宮 四〇二
 伊弉諾神社(淡路) 三九三
 伊豆山温泉 六九

伊豆山神社 六九
 伊東温泉 七〇
 生田神社(神戸) 三九〇
 生國魂神社(大阪) 三三二
 生地温泉 附録 一九
 池上本門寺 三〇
 池田町(四國)ノ旅館 四七六
 池ノ平温泉 二四九
 石垣山(箱根) 六
 石ノ巻町 一七
 石山寺 一七一
 石上神社(丹波市) 四三六
 石橋山古戰場(伊豆) 六七
 石廊岬(伊豆) 八三
 石清水八幡宮 三六一
 磯部温泉 三三九
 潮來町 一一五
 板敷瀑溪(甲州) 二八三

板留温泉 附録 一三
 板室温泉(那須) 一四九
 一ノ關町 一八七
 一碧湖(伊豆) 七一
 一畑薬師(出雲) 四八
 一心寺(大阪) 三三
 出雲大社 四七
 嚴島(宮島) 四九四
 嚴島神社(安藝) 四九四
 稻毛(房州) 四四
 稻佐の濱(出雲) 四六七
 稻荷神社 三六
 稻積温泉 附録 二
 稻村ヶ崎(鎌倉) 四七
 猪苗代湖 一五一
 犬吠岬 二七
 犬山 三三
 井の頭公園 三三

指宿温泉 五二五
 祖谷溪 四七六
 岩井温泉 附録 三
 岩殿山(物見山) 四一
 岩間温泉(白山) 二六六
 岩間寺(宇治河畔) 三三七
 岩屋町(淡路) 三九二
 忌部神社(徳島) 四八六
 上野公園 一七
 上野動物園 二〇
 上野町(伊賀) 三九六
 上田市 二四四
 宇佐神宮 五二八
 宇治町 三三七
 宇治山田市 四〇一
 宇治川下り 三七七

ウ

宇奈月温泉……………二五九
 碓氷峠……………二二三
 有珠岳……………五〇八
 内海町……………三三八
 内牧温泉……………附録 七
 鵜戸神社(宮崎)……………五二六
 鵜ノ山(知多)……………三二九
 畝傍山御陵……………四一三
 畝傍山……………四一四
 畝傍驛附近の旅館(八木町)……………四一四
 姥子温泉(箱根)……………六五五
 海潮温泉……………附録 三
 海金剛……………六〇六
 梅ヶ島温泉……………附録 七
 梅宮神社(京都)……………三六〇
 浦賀町(相州)……………五〇〇
 裏見ノ瀧(日光)……………一三五
 烏來蕃社(臺灣)……………六〇一

雲仙……………五〇一
 雲仙嶽……………五〇二
 江之島……………四七
 江ノ島神社……………四七
 永平寺……………二五八
 回向院(東京)……………二七
 蝦夷富士……………五〇〇
 惠那峽……………三三〇
 惠那の瀧……………三三一
 榮之尾温泉(霧島)……………五三六
 圓覺寺(鎌倉)……………四
 演劇博物館(東京)……………三三
 鹽山温泉……………附録 二
 延曆寺……………三六七
 大洗……………一三

大洗磯前神社……………一三一
 大網温泉(鹽原)……………一四三
 大江山登山……………四六五
 大國魂神社(東京)……………三四
 大倉集古館(東京)……………三二
 大楠山(相州)……………五一
 大阪市……………三七九
 大阪城址……………三八一
 大澤温泉(伊豆)……………八四
 大澤温泉(岩手)……………附録 一八
 大島(伊豆)……………八六
 大島(紀州)……………四五六
 大壺ヶ原山……………四一七
 大瀧温泉……………附録 四
 太田の金山……………四〇
 大津市……………三七四
 大塚鑛泉(上州)……………三三五
 大泊町(樺太)……………五七九

大沼公園……………五四九
 大原野神社……………三六一
 大原の里(京都)……………三五八
 大歩危、小歩危(四國)……………四七八
 大物忌神社(鳥海山)……………二〇三
 大牧温泉……………附録 九
 大峯山(山上ヶ岳)……………四一五
 大町(信濃)……………二九〇
 大室温泉(上州)……………三三七
 大山登山(相州)……………五三
 大山寺(伯耆)……………四七三
 大湯温泉(秋田)……………一九七
 大涌谷(箱根)……………五八
 樗峠(天橋立)……………四六一
 小天温泉……………附録 一三
 小笠原島遊覽……………八九
 小川温泉……………附録 一五
 小木町(佐渡)……………二二八

小河内温泉(奥多摩)……………六六
 小倉山(日光)……………二八
 小谷温泉……………附録 二
 小樽市……………五四〇
 小樽市ノ旅館……………五四〇
 小野川温泉……………附録 九
 小濱町……………二五七
 小濱温泉……………附録 一九
 小原木の大理石……………一八九
 追貝の吹割瀧……………一三三
 老神温泉(上州)……………二二六
 奥入瀬溪流(十和田)……………一九一
 岡崎公園(京都)……………三五六
 岡寺(大和)……………四三三
 男鹿半島巡り……………一五八
 隠岐島……………四七三
 興津町……………三〇八
 奥多摩溪……………九六

奥山半僧坊……………三三三
 忍野八海(富士山麓)……………二六八
 忍野温泉(富士山麓)……………二六八
 鶯宿温泉……………附録 二
 押立温泉(磐梯山麓)……………一五三
 應徳温泉(上州)……………二三四
 鬼ヶ城(紀州)……………四五八
 姥捨山……………二四四
 近江八景……………三七二
 面河溪(四國)……………四九一
 尾瀬沼(上州)……………一三三
 尾山神社(金澤市)……………二五〇
 尾鷲町ノ旅館……………四五六
 御嶽山(木曾)……………三〇五
 温井里(朝鮮)……………六四八
 海拔九〇〇米以上の驛……………附録 四九

海府(佐渡)……………二二九
 貝掛温泉(越後)……………二二九
 戒壇院(太宰府)……………五二三
 鏡ヶ浦(房州)……………一〇四
 嘉義(臺灣)……………六〇九
 花月園……………二七
 花蓮港(臺灣)……………六三三
 覺王山日蓮寺……………三三三
 角間温泉(平穩)……………二四七
 各國鐵道の特色……………附録 四七
 籠坂峠(富士山麓)……………二七
 鹿教湯温泉……………附録 三
 鹿澤温泉……………二三四
 鹿島神宮……………一五
 鹿兒島市……………五三四
 鹿野山(房州)……………一〇二
 笠置山……………三九八
 笠置嶺泉……………三九八

檀原神宮……………四一三
 春日神社(奈良)……………四一三
 甲子温泉……………附録 二
 鯉澤町……………二八五
 粕壁牛島の藤……………四〇
 粕谷ノ精穴(伊豆)……………八〇
 片品川溪谷(上州)……………一三一
 片山津温泉……………二五二
 勝浦(上総)……………一〇九
 勝浦(紀州)……………四四一
 勝見温泉……………附録 九
 桂離宮(京都)……………三六〇
 香取神宮……………一三
 香椎宮……………五八
 香草温泉(草津)……………二三四
 金石港……………二五一
 金柵温泉……………附録 五
 金澤市……………二四九

金澤八景……………二九
 金櫻神社(昇仙峽)……………二八八
 金ヶ崎宮(敦賀)……………二五七
 鐘釣温泉(黒部峽谷)……………二六二
 鎌倉見物……………四三
 鎌倉宮……………四六
 鎌倉大佛……………四七
 鎌先温泉……………附録 二
 上高地(日本アルプス)……………二九二
 上ノ山温泉……………一六五
 上山田温泉……………二四四
 上林温泉(平穩)……………二四六
 上戸天神(東京)……………四
 龜川温泉……………五一
 鴨川(安房)……………一〇六
 加茂湖(佐渡)……………二二五
 加茂港……………二〇四
 賀茂御祖神社(京都)……………三四五

賀茂別雷神社(京都)……………三四五
 加治川堤の櫻(越後)……………二二〇
 唐津……………五一九
 樺太……………五七四
 狩勝峠……………五六〇
 輕井澤……………二二三
 カルルス温泉……………五五四
 河口湖……………二七〇
 河内温泉(伊豆)……………二七〇
 河津濱温泉(伊豆)……………六六
 河原田町(佐渡)……………二六
 川浦温泉……………附録 一
 川上温泉……………一五四
 川波温泉(北海道)……………五五〇
 川崎大師……………二六
 川治温泉(裏日光)……………一三九
 川渡温泉……………附録 一〇
 川中温泉(上州)……………三三五

川中島古戰場……………二四三
 川奈ゴルフ場(伊豆)……………七一
 川場温泉……………附録 一〇
 川場温泉(上州)……………三三五
 川古温泉(上州)……………三三七
 川俣温泉(裏日光)……………一三八
 川原湯……………三三四
 川湯温泉(紀州)……………四四七
 川湯温泉(北海道)……………五五四
 寛永寺(東京)……………一七
 神田明神(東京)……………二一五
 關東耶馬溪……………二三四
 寒霞溪(小豆島)……………四八九
 寒の地獄温泉……………附録 一三
 寒風山……………一五九
 鐵輪温泉(別府)……………五一
 觀海寺温泉(別府)……………五二〇
 觀世音寺(太宰府)……………五二三

觀音崎燈臺(相州)……………五〇
 關子嶺温泉(臺灣)……………六三
 漢口(支那)……………六八六
 月山……………一六四
 蒲郡……………三四
 岳州(支那)……………六八六
 我樂目嬉鏡泉(上州)……………二三五
 鰐淵寺(出雲)……………四六九
 外車埕(臺灣)……………六〇五
 鷺鑿鼻……………六八
 角板山(臺灣)……………六二
 火燒島(臺灣)……………六三
 キ
 宮城……………二
 基隆(臺灣)……………五七九
 木賀温泉(箱根)……………六三
 木崎湖(仁科三湖)……………二九〇

水曾川下り……………三三三
 木津川下り……………三九九
 木津温泉……………附録 一九
 木ノ本町……………四三八
 奇絶峽(紀州)……………四三三
 喜多院……………四一
 北浦(島根半島)めぐり……………四七一
 北潟湖……………二五四
 北野神社(京都)……………三六六
 北山温泉……………附録 九
 北湯ヶ野温泉(伊豆)……………八二
 吉祥寺(東京)……………一六
 吉林(満洲)……………六四
 京都市……………三三九
 京都御所……………三三三
 清澄山(房州)……………一〇七
 清水寺(京都)……………三三三
 衣笠城址(相州)……………五〇

鬼怒川温泉……………一四〇
 鬼怒沼……………一元
 鬼怒沼山……………一元
 鬼子母神(東京)……………元
 城ノ崎温泉……………四六二
 貴船神社(京都)……………三三三
 紀三井寺……………四三七
 霧積温泉……………二二三
 霧島登山……………三三三
 霧島温泉……………三三五
 霧島神宮……………三三五
 霧降瀧(日光)……………二二八
 切支丹屋敷址(東京)……………二五
 金華山……………一七
 金華山(岐阜)……………三三六
 金山温泉(臺灣)……………五八
 金峯山……………二八三
 金北山(佐渡)……………二五

金閣寺(京都)……………三三三
 錦繡温泉(新鐘釣)……………二六二
 銀閣寺(京都)……………三三三
 銀座通り(東京)……………二五
 祇王寺(京都嵐山)……………三六四
 宜蘭(臺灣)……………六三三
 岐阜市……………三三五
 玉泉寺(伊豆下田)……………八五
 鴿沼(相州)……………四八
 草津温泉……………二三〇
 串本町(紀州)……………四五六
 葛温泉(日本アルプス)……………附録 二
 踏掛温泉……………附録 二
 釧路市……………五〇
 俱多樂湖……………五四
 屈斜路湖……………五三

九品佛……………三一
 熊野那智神社……………四四〇
 熊野座神社……………四四六
 熊野神社(出雲)……………四七一
 熊野川……………四四四
 熊の湯温泉(平穩)……………二四六
 熊本市……………五三三
 熊本城……………五三三
 球磨川下り……………五三三
 鞍馬寺(京都)……………三三五
 栗野岳温泉……………附録 八
 久留米市……………五三三
 久里濱(相州)……………五〇
 久米寺……………四二四
 久能山……………三三〇
 久地梅林……………三三
 久住山(九州)……………五〇六
 黒平鑛泉……………二八三

黒瀧山……………二二八
 黒部峽谷……………二五九
 黒薙温泉(黒部)……………二五九
 京王閣(東京)……………三三
 京城……………六三四
 氣仙沼町……………一八七
 氣比神社(敦賀町)……………二五
 華嚴瀧(日光)……………一三三
 建長寺(鎌倉)……………四六
 兼六公園(金澤市)……………二五〇
 劍峽、劍山……………四七六
 夏油温泉……………附録 一六
 下呂湯ノ島温泉……………二九
 狛鼻峽……………一八七
 巖美溪(五串瀧)……………一八六
 玄武洞……………四六三

小泉八雲氏舊宅(松江)……………四七〇
 小坂鑛山(秋田)……………一九七
 小濟温泉……………附録 一四
 小屋原温泉……………附録 五
 小瀨温泉……………二三三
 小鍋温泉(伊豆)……………七六
 小沼(樺太)……………五八〇
 小日向温泉(上州)……………二二八
 小涌谷温泉(箱根)……………六四
 小金井の櫻(東京)……………三三
 小湊(房州)……………一〇八
 小佛峠……………一〇〇
 國分寺址(武蔵)……………三三
 國分寺址(佐渡)……………二二八
 國分寺址(陸奥)……………一七三
 國府臺……………四三

國技館(東京)……………二五
 昂々溪(滿洲)……………六七
 香落峽……………三九四
 高山寺(京都、梅の尾)……………三六〇
 高知市……………四八一
 高麗神社(武藏)……………三七
 高野山……………四三三
 高野温泉……………附録 一〇
 高臺寺(京都)……………三五三
 恒春(臺灣)……………六八
 甲子園……………三八八
 甲浦港(四國)……………四八五
 甲府市……………三八一
 神戶市……………三九〇
 興聖寺(宇治)……………三七八
 興福寺(奈良)……………四三三
 古座町(紀州)……………四五六
 古座峽(同)……………四五六

古四王神社(秋田)……………一六一
 古町温泉(鹽原)……………一四四
 古奈温泉(伊豆)……………七三
 紅頭嶼(臺灣)……………六三三
 駒ヶ岳(秋田)……………一五七
 駒ヶ岳(甲斐)……………三〇三
 駒ヶ岳(木曾)……………三〇四
 駒ヶ岳(北海道)……………五三九
 駒ヶ湯温泉……………附録 八
 光明寺(京都附近)……………三六一
 杭州(支那)……………六八九
 金剛山(朝鮮)……………六四〇
 金剛峯寺(高野山)……………四三三
 金剛證寺……………四〇五
 金刀比羅宮……………四七八
 琴平町ノ旅館……………四七八
 五番町櫻並木(東京)……………三五
 五劍山(四國)……………四八〇

後免町(高知縣)……………四八四
 護國寺(東京)……………一六
 豪徳寺(東京)……………三三
 極樂寺(鎌倉)……………四七
 強羅温泉(箱根)……………六五
 強羅園(箱根)……………六五

サ

西 湖(富士五湖)……………二七〇
 西 郷 港(隱岐島)……………四七三
 西大寺(奈良)……………四三四
 西明寺(京都、横尾山)……………三六〇
 榮濱町(樺太)……………五八〇
 酒田町……………一九九
 酒列磯前神社……………一三三
 坂手町ノ旅館(小豆島)……………四八八
 相模川下り……………九七
 相良温泉……………附録 九

櫻田御門(東京)……………二
 櫻 島(鹿兒島)……………五三四
 作並温泉……………附録 一八
 嵯峨澤温泉(伊豆)……………七九
 嵯峨鹽温泉……………附録 一四
 篠海ヶ浦(伊豆)……………七七
 笹川流れ……………二〇七
 笹湯温泉(上州)……………三三六
 笹倉温泉……………附録 五
 笹原温泉……………附録 一四
 札幌市……………五四一
 札幌ノ旅館……………五五九
 札幌神社……………五四一
 佐喜濱町(四國)……………四八四
 佐 渡……………三二二
 猿倉温泉(青森)……………一九〇
 澤渡温泉(上州)……………三三四

澤根町(佐渡)……………二二七
 三寶寺池(東京郊外)……………三六
 三里塚(成田)……………一一一
 三本木町……………一八九
 三十三間堂(京都)……………三五一
 三千院(京都、大原)……………三五八
 山上ヶ岳(大峯山)……………四四五
 藏王山……………一六七
 藏王堂(吉野)……………四二二

シ

鹽釜神社……………一七三
 鹽釜町……………一七三
 鹽原温泉……………一四一
 鹽釜温泉(鹽原)……………一四三
 鹽ノ湯(鹽原)……………一四三
 鹽川鑛泉(上州)……………一三五
 鹽狩温泉……………附録 一三

鹽澤温泉……………附録 一八
 湖ノ岬……………四五六
 鹿部温泉(北海道)……………五五〇
 信貴山……………四三九
 信夫高湯……………附録 八
 七面山……………二八六
 七里ヶ濱(鎌倉)……………附録 六
 七里田温泉……………四七
 四重溪温泉(臺灣)……………六七
 四天王寺(大阪)……………三三三
 四万温泉(上州)……………三二四
 四本龍寺址(日光)……………二七
 静岡市……………三一
 靜 度(四國)……………四八〇
 志戸平温泉……………附録 四
 志學温泉……………附録 一三
 志保鑛泉(伊豆)……………八四

滋賀院門跡……………三六六
 篠島……………三六八
 芝公園(東京)……………一九九
 柴又帝釋天……………四三三
 澁温泉(平穩)……………二四五
 島根半島北浦巡り……………四七一
 島々宿(信濃)……………二九三
 島原湊……………三二二
 清水市……………三〇九
 清水トシネル……………三三九
 下仁田……………三三八
 下部温泉……………二八五
 下田港(伊豆)……………八四
 下賀茂温泉(伊豆)……………八三
 下内澤温泉……………附録 一三
 下津深江温泉(天草島)……………五二六
 白老アイヌ部落……………五四六
 白根山(日光)……………一三一

白根山(草津)……………三三三
 白根温泉(上州)……………一三三
 白骨温泉……………二九六
 白布高湯……………附録 六
 白濱温泉(紀州)……………四九
 白馬岳……………二八八
 白馬大池……………二九一
 白馬鑓温泉……………二九一
 新京極(京都)……………三三七
 新宮町(紀州)……………四三
 新勝寺(成田山)……………一〇
 新金剛……………六五七
 新宿御苑……………二二
 新世界(大阪)……………三三三
 新月ヶ瀬……………四一
 新高湯温泉……………附録 二
 新鹿澤温泉(信州)……………二三四

新那須温泉……………一四七
 新發田……………二一〇
 新舞子(知多)……………三三〇
 親湯温泉……………附録 二
 眞湯温泉……………附録 二
 神泉苑(京都)……………三五四
 神武寺(相州)……………五三
 心濟橋筋(大阪)……………三八四
 尖道湖(松江)……………四七〇
 彰化……………六〇六
 精進湖(富士五湖)……………二七〇
 精進パノラマ……………二七一
 松陰神社(東京)……………三三
 昇仙峽(甲州)……………二八二
 修善寺温泉(伊豆)……………七三
 修禪寺(修善寺町)……………七二
 庄内平野……………二〇〇
 礁溪温泉(臺灣)……………二二

聖天院……………三三
 勝持寺(京都、花寺)……………三六一
 小豆島……………四八九
 植物園(東京)……………三〇
 十州峯(相州)……………三三
 十國峠(相州、日金山)……………五・六
 十二社權現(東京)……………三三
 深大寺(東京)……………三三
 城ヶ島(相模)……………五一
 常念岳(日本アルプス)……………二九七
 常寂光寺……………三六四
 寂光院(京都、大原)……………二五九
 日月潭(臺灣)……………六〇七
 神溪寺(金剛山)……………六〇八
 神護寺(京都、高雄)……………三三九
 慈尊院(大和)……………四三三
 仁川(朝鮮)……………六三三
 上海(支那)……………六八八

水天宮(東京)……………一五
 水前寺公園(熊本市)……………五三三
 菅沼(上州)……………一三
 菅ヶ湯温泉……………一九〇
 須川温泉……………附録 六
 須卷温泉(鹽原)……………一四
 須磨の風光……………元一
 須磨寺……………三九一
 杉田梅林……………二八
 裾花峽(信州)……………二四三
 筋湯温泉……………附録 一五
 住吉神社(大阪)……………六四
 洲の崎(安房)……………一〇五
 洲本町……………元二
 諏訪神社(長崎)……………五三二
 瑞巖寺(松島)……………一七五

青岩渡寺(紀州、那智山)……………四四〇
 青洞門(耶馬溪)……………五八
 清澄山、清澄寺(房州)……………一〇七
 清涼寺……………三六四
 正陽寺(金剛山)……………六四六
 積翠寺温泉……………附録 一
 關温泉……………二四九
 關金温泉……………附録 三
 關の五本松……………四七二
 赤嵌城址……………六二五
 石印蕃社……………六〇八
 瀬戸内海遊覽……………四八八
 瀬波温泉……………二〇七
 瀬見温泉……………附録 四
 泉岳寺(東京)……………一六
 泉涌寺(京都)……………三五五

洗足池(東京郊外)……………三
 仙石原温泉(箱根)……………六四
 仙臺市……………一九九
 浅間神社(静岡市)……………三二
 浅間山(箱根宮ノ下)……………六二
 浅草寺(東京)……………一七
 千ヶ瀧遊園……………三三
 千日前(大阪)……………三六
 千山(満洲)……………六四
 千山先光寺(淡路)……………九二
 戰場ヶ原(日光)……………一三〇
 船上山(伯耆)……………四七
 善福寺池(東京郊外)……………六
 善寶寺(羽前)……………二〇五
 善光寺……………二四二
 善通寺(四國)……………四七九
 善名稱院(大和)……………四二五

早雲寺(箱根)……………六
 層雲峽(北海道)……………五三
 相國寺(京都)……………五〇
 總持寺……………二七
 總社温泉(馬群)……………三三
 底倉温泉(箱根)……………六三
 宗吾堂(成田)……………一〇
 草山温泉(臺灣)……………六二
 袖ヶ澤温泉(鹽原)……………一四三
 蘇洞門(小濱)……………二五七
 蘇州(支那)……………六七
 増上寺(東京)……………一五
 造幣局(大阪)……………三六二
 大社町ノ旅館(出雲)……………四六

太山寺(高濱)……………四九二
 臺温泉……………一八九
 臺灣旅行……………五八四
 臺東……………六三三
 臺灣神社……………六〇一
 臺灣の役……………六七
 臺北市……………五九八
 臺中市……………六〇二
 臺南市……………六三
 高雄市……………六五
 高雄山(京都)……………三九九
 高尾山……………九
 高崎市……………三三
 高津神社(大阪)……………三八二
 高千穂町……………五三七
 高田市……………三三〇
 高輪御所(東京)……………一三
 高輪大木戸(東京)……………二四

高原山……………一四
 高濱ノ旅館……………四九二
 高天原……………五七
 高松市……………四七九
 高山町……………二九五
 鷹ノ湯温泉……………六
 鷹ノ巣温泉……………二
 寶川温泉(上州)……………三三八
 寶塚温泉……………三六七
 瀧温泉……………一
 武田尾鑛泉……………五
 武豊町(知多)……………三七
 武雄温泉……………五四
 箱澤温泉……………二
 田澤湖……………一五
 田澤温泉……………一〇
 田代池(日本アルプス)……………二九三
 田邊町(紀州)……………四五一

桶寺(大和)……………四三
 達谷窟……………一八六
 立山(日本アルプス)……………三〇〇
 立山温泉(日本アルプス)……………三〇二
 立木觀音(宇治河畔)……………三七六
 館山(房州)……………一〇四
 館林……………四〇
 蓼科温泉……………附録
 谷川温泉(上州)……………三三八
 多渡神社……………三三八
 多摩川原園……………三三
 多摩川原園……………三三
 多摩御陵……………九
 玉電第一遊園地(東京)……………三三
 玉造温泉……………四七一
 手向山八幡宮(奈良)……………四三三
 丹波市(大和)……………四三六
 丹那トンネル……………四九

誕生寺(安房)……………一〇八
 垂玉温泉(阿蘇)……………五〇六
 大連市……………六五二
 大山(伯耆)……………四七三
 大覺寺……………三六四
 大徳寺(京都)……………三五〇
 大極殿址(奈良)……………四三四
 大安寺址(奈良)……………四三四
 大雪山(北海道)……………五五三
 大菩薩嶺……………九六
 大正池(日本アルプス)……………二九三
 大邱(朝鮮)……………六三七
 大宰府神社……………五三
 大宰府址……………五三
 太魯閣峽(臺灣)……………六三
 塘路湖(北海道)……………五六一
 嶽温泉……………八
 抱返り……………一五五

チ

智恩院(京都)……………三五〇
 近文アイヌ部落……………三五〇
 智積院(京都)……………三五〇
 知多半島めぐり……………三七七
 齊々哈爾(満洲)……………六七三
 千倉鑛泉……………一〇五
 銚子……………一〇七
 父島(小笠原)……………九〇
 秩父町……………九四
 秩父神社……………九四
 秩父南(満洲)……………六七六
 秩父北(満洲)……………六七六
 潮州(臺灣)……………六二七
 中禪寺湖……………一三三
 中禪寺(日光)……………一三四
 中宮温泉……………一三四
 附録……………一三四
 中尊寺……………一八四

鳥海山……………二〇一
 竹生島……………三七三
 筑後川下り……………五三三
 長安寺(金剛山)……………六四五
 長命寺(近江)……………三七四
 長門峽……………四九七
 長春……………六五七
 長沙(支那)……………六八六
 茶白山(大阪)……………三三三
 青島……………六六一
 定山溪温泉……………五五五
 定義温泉……………一三三
 附録……………一三三
 地藏ヶ岬(島根半島)……………四七三
 地獄温泉(阿蘇)……………五〇六
 地獄谷温泉……………二四六
 杖立温泉……………四
 附録……………四

月ヶ瀬……………三九七
 月ヶ瀬温泉(伊豆)……………七八
 筑波山……………二一九
 津田山遊園(東京近郊)……………三三
 津ノ宮(佐原)……………一四四
 津呂港(室戸岬)……………四八四
 葛温泉……………一八九
 網島鑛泉……………三三
 椿温泉(紀州)……………四五六
 燕岳(日本アルプス)……………二九七
 燕温泉……………二四九
 壺坂寺……………四一三
 敦賀町……………二五六
 鶴岡市……………二〇五
 鶴ヶ岡八幡宮(鎌倉)……………四六
 鶴ノ湯(小内内温泉)……………九六
 逗子町(相州)……………五三
 遼(満洲)……………六七八

テ

帝國大學(東京)……………二五
 帝國大學(北海道)……………五〇
 遞信博物館(東京)……………三三
 鄭家屯(満洲)……………六九
 弟子屈温泉……………五三
 鐵道博物館(東京)……………三三
 鐵道公德標語……………附録 兎
 鐵道車輛數及驛數……………附録 兎
 鐵舟寺……………三〇九
 哲學堂(東京)……………三五
 照國神社(鹿兒島市)……………五三四
 天覽山……………三七
 天童温泉……………一六七
 天王寺公園(大阪)……………三八三
 天文臺(東京)……………三四
 天龍川下り……………三三六

天龍寺……………三六四
 天理教會本部……………四三六
 天満宮(大阪)……………三八一
 天津(支那)……………六八二
 天拜山(太宰府)……………五三三
 傳通院(東京)……………一六
 出羽三山……………一三
 土肥温泉(伊豆)……………九
 土肥金山……………八〇
 東京見物……………一
 東京遊覽案内……………一
 東京近郊遊覽案内……………二六
 東京驛……………二四
 東照宮(日光)……………二五
 東照宮(久能山)……………三〇
 東尋坊……………二五三

東寺(京都)……………三四九
 東大寺(奈良)……………四三三
 東福寺(京都)……………三四九
 東萊温泉(朝鮮)……………六三四
 唐招提寺(大和)……………四三四
 等持院(京都)……………三九九
 塔ノ澤温泉(箱根)……………六一
 榑の尾(京都)……………三六〇
 手向村(羽黒山麓)……………一六三
 湯崗子温泉(満洲)……………六五四
 とげぬき地蔵(東京)……………三九
 常盤公園(水戸)……………一三二
 常盤神社(水戸)……………一三二
 常滑町(知多)……………三一九
 徳島市……………四八五
 徳本峠……………二九四
 戸倉温泉(信州)……………二四四
 戸下温泉(阿蘇)……………五〇二

所澤飛行場……………三七
 栃木温泉(阿蘇)……………五〇三
 轟温泉……………附録 一三
 利根温泉(上州)……………三二七
 鳥羽……………四〇六
 飛鳥……………二〇三
 鑑別温泉……………五三三
 富岡町(天草島)……………五二五
 富津(天草島)……………五二六
 豊川稻荷……………三三八
 豊橋市……………三三九
 豊原町(樺太)……………五七九
 豊島園(東京近郊)……………三八
 瀬峡(紀州)……………四三三
 十和田湖……………一九三
 塔ヶ島(伊豆)……………八三
 塔ヶ島温泉(箱根)……………六三
 道成寺(紀州)……………四五四

道後温泉(四國)……………四九〇
 道頓堀(大阪)……………三六四
 洞川村(大峯山麓)……………四一八
 洞爺湖……………五四七
 洞爺湖温泉……………五四七
 洞庭湖(支那)……………六八六
 吞龍上人……………四〇
 動物園(東京)……………二〇
 動物園(京都)……………三五七
 敦代(滿洲)……………六六五
 トラピスト修道院……………五四四

十

直江津町……………三三〇
 中津峡(奥秩父)……………九四
 中野温泉……………二四七
 中野湯温泉……………二九三

中ノ澤温泉……………一五四、附録 一六
 中ノ島公園(大阪)……………三八一
 中綱湖(仁科三湖)……………二九〇
 中房温泉(日本アルプス)……………二九九
 長岡温泉(伊豆)……………七三
 長瀬(秩父)……………九二
 長良川の鵜飼……………三三四
 長野市……………二四三
 長崎市……………五二一
 名栗鑛泉……………三七
 名古屋市……………三三〇
 名古屋城……………三三一
 名護屋城址(九州)……………五一九
 梨木鑛泉(赤城山麓)……………二二七
 那須温泉……………一四六
 那智瀧(紀州)……………四四〇
 那智神社(熊野)……………四四〇
 夏瀬温泉……………一五五

七ッ釜(唐津)……………五九
 七ッ寺(名古屋)……………三三三
 滑川温泉……………附録 一九
 奈良市……………四三〇
 成田山詣で……………一一〇
 成相寺(天ノ橋立)……………四六一
 鳴子温泉……………附録 一一
 鳴門(阿波)……………元一、四八六
 男體山(日光)……………一三四
 南郷……………三七六
 南郷山(日光)……………三七六
 南京(支那)……………六八七
 南禪寺(京都)……………三五一

濁川温泉……………附録 八
 仁右衛門島(房州)……………一〇七
 仁科三湖(信濃)……………二九〇
 仁世古温泉……………附録 二
 仁和寺(京都)……………三三八
 西新井大師(東京)……………四〇
 西湖(富士五湖)……………二七〇
 西本願寺(京都)……………三三八
 西山温泉……………附録 九
 西山温泉……………附録 九
 西ノ澤温泉……………一六
 西鏡温泉……………一八
 二重橋……………二
 二條離宮(京都)……………三四三
 二水(臺灣)……………六〇四
 二尊院(京都、嵐山)……………三六四
 日光見物……………一三三
 日光温泉(湯本)……………一三〇
 日原鐘乳洞……………九六

日本銀行(東京)……………三四
 日本寺(鋸山)……………一〇三
 日本橋(東京)……………二四
 日本アルプス……………二八八
 日本ライン……………三三三
 日本三古碑……………附録 四一
 日本三奇橋……………四三
 日本三大祭……………四四
 日本三幡……………四四
 日本三八大佛……………四四
 日本三大文殊……………四六
 日本三虚空藏……………四六
 日本に於ける乗物の創始……………四八
 同 トンネルの長さ……………四八
 同 鐵橋の長さ……………四八
 日中温泉……………附録 一二

日蓮寺(名古屋)……………三三三
 葦山城址(伊豆)……………七三
 如意輪寺(吉野)……………四二
 又
 沼尻温泉(磐梯山麓)……………一五四
 微湯温泉……………附録 二
 ネ
 寢覺の床(木曾峡谷)……………三〇七
 根室……………五六二
 根崎温泉……………五四四
 根本寺(佐渡)……………二二六
 ノ
 乃木神社(東京)……………一四
 乃木神社(桃山)……………三四七
 鋸山(房州)……………一〇三

野澤温泉(信州)……………二四七
 野尻湖(信州)……………二四七
 野間村(知多)……………三九
 登別温泉(北海道)……………五四
 乘鞍岳(日本アルプス)……………二九六
 ハ
 海拉爾(滿洲)……………六七〇
 萩町(長州)……………四九八
 白山……………二六五
 白山温泉……………二六五
 白虎隊墓……………一五三
 博物館(東京)……………二
 博物館(東京科學)……………二二
 博物館(京都)……………三三七
 博物館(奈良)……………四三五
 箱根遊覽……………五五—六五
 箱根神社……………五九

箱根關所址……………五七
 箱根町……………五七
 箱崎宮……………五二
 函館……………五四三
 走水神社(相州)……………五〇
 八甲田山……………一九〇
 八丁の湯(奥日光)……………一三八
 八丈島……………九〇
 八郎湯……………一九九
 長谷寺(大和)……………三九三
 長谷寺(鎌倉)……………四六
 橋立鐘乳洞(秩父)……………九四
 橋立鐘乳洞(宇治)……………三七八
 橋立鐘乳洞(伊豆)……………一四四
 初島(伊豆)……………八〇
 鳩ノ湯温泉(上州)……………二二五
 花敷温泉(上州)……………二三四

花卷温泉……………一八八
 花の寺(京都、勝持)……………三六一
 羽田……………二六
 羽黒山……………一六三
 母島(小笠原島)……………九〇
 波浮港(大島)……………八八
 濱名湖……………三四
 濱村温泉……………附録 一五
 濱脇温泉(別府)……………五〇九
 速玉神社(紀州新宮町)……………四四二
 早戸温泉……………附録 一九
 葉山町(相州)……………五一
 原村の梅村(東京近郊)……………三
 原鶴温泉……………附録 八
 針ノ木峠(日本アルプス)……………三〇一
 春採湖(北海道)……………五六〇
 榛名山……………二二三

榛名湖……………三三
 榛名神社……………三三三
 林温泉(九州)……………五三四
 哈爾濱(滿洲)……………六六八
 反射爐(伊豆葦山)……………七三
 磐梯山……………一五一
 磐梯温泉……………一五二
 祖母谷温泉(黒部)……………二六二
 ヒ
 燧岳(上州)……………一三三
 日枝神社(東京)……………一五
 日田町(九州)……………五三三
 日比谷公園(東京)……………一八
 日奈久温泉……………附録 一九
 日御崎神社(出雲)……………四六八

日景温泉……………附録 八
 日吉神社(滋賀)……………三六八
 比叡山……………三六六
 東山温泉……………一五二
 東本願寺(京都)……………三五四
 氷川の幽境(奥多摩)……………九六
 肘折温泉……………附録 二
 檜原湖(磐梯山麓)……………一五二
 被服廠跡(東京)……………二五
 平泉……………一八四
 平野神社(京都)……………三四五
 平島温泉……………附録 四
 平穩温泉郷……………二四四
 平湯温泉……………二九五
 平等院(宇治)……………三七七
 琵琶湖遊覽……………三七〇—三七五
 表訓寺(金剛山)……………六四六

深谷温泉……………附録 九
 吹上温泉……………附録 一六
 吹浦の羅漢岩(羽後)……………二〇二
 噴泉塔(奥日光湯澤)……………一三九
 福井市……………二五五
 福岡市……………五二二
 福島市……………一八一
 福寺町(木曾)……………三〇七
 福渡戸温泉(鹽原)……………一四二
 福良町(淡路)……………三九二
 釜山(朝鮮)……………六三四
 富士山……………二七四
 富士川……………二八五
 富士五湖めぐり……………二六七
 藤島神社(福井市)……………二五五
 藤崎八幡宮(熊本市)……………五三三

二見浦……………四〇六
 二荒山神社(日光)……………一三七
 二俣ラザオ温泉……………附録 四
 船原温泉(伊豆)……………七六
 船津(富士山麓)……………二六七
 武甲山(秩父)……………九三
 撫順(滿洲)……………六五六

北條町(安房)……………一〇四
 北枝温泉(臺灣)……………六二〇
 北海道遊覽……………五三九
 方廣寺(京都)……………三四八
 鳳來峽……………三三八
 鳳來寺……………三三八
 伯耆大山……………四七三
 奉天(滿洲)……………六五五
 法隆寺(大和)……………四三八
 法華經寺(大和)……………四三四
 法華經寺(房州中山)……………四四
 法師温泉(上州)……………二二七
 法輪寺……………三六四
 星ヶ浦……………六五三
 星野温泉……………二二三
 發哺温泉(平穩)……………二四六

保津川下り……………三六三
 寶登山(秩父)……………九二
 穗波温泉(平穩)……………二四六
 埔里(臺灣)……………六〇五
 堀田温泉(別府)……………五一
 堀切菖蒲(東京)……………三九
 本門寺(東京池上)……………三〇
 本宮(紀州)……………四四六
 本渡町(天草島)……………五一六
 本妙寺(熊本市)……………五三三
 澎湖島……………六一九

榎尾山(京都)……………三六〇
 覽周湖……………五六五
 馬公街……………六一九
 増富鑛泉……………二八四
 松江市……………四六九
 松尾神社(京都)……………三六〇
 松崎温泉……………附録 一八
 松島……………一七四
 松の湯温泉(上州)……………三三五
 松山市……………四九〇
 丸沼(上州)……………一三一
 圓山公園(京都)……………三五六
 摩耶山……………三九一
 萬座温泉……………二二三
 萬福寺(大和)……………三七八
 滿洲旅行……………六五一
 滿州里……………六七二

三井寺……………三七一
 三浦半島遊覽……………四九
 三笠艦……………五〇
 三笠山(奈良)……………四三三
 三國港……………二五四
 三國峠(上州)……………二二七
 三崎町(相州)……………五一
 三朝温泉……………附録 三
 三角(九州)……………五三三
 三峯神社(秩父)……………九三
 三津(伊豆)……………七四
 三原山(大島)……………八七
 三保……………三〇九
 三室戸寺(大和)……………三七八
 三保神社(美保關)……………四七三
 三尾の紅葉……………三五九

彌陀窟(伊豆)……………三八
 御嶽(武藏)……………九五
 御裳濯の湯(上州)……………三三八
 瑞牆山……………二八四
 水戸市……………一三〇
 湊川神社(神戸)……………三九一
 湊町(茨城)……………一三三
 南部町(紀州)……………四三三
 南部の梅林(紀州)……………四五三
 峯温泉(伊豆)……………八一
 箕掛島(伊豆)……………八三
 身延山……………二八六
 身延村……………二八七
 箕面公園……………三八八
 美保關……………四七三
 宮崎市……………五二七
 宮崎神宮(宮崎)……………五二七
 宮島(嚴島)……………四九四

宮地町(熊本)……………五〇八
 宮津町(丹後)……………四九九
 宮ノ下温泉(箱根)……………六二
 妙吉祥(金剛山)……………六四七
 妙義山……………二三八
 妙高温泉……………二四八
 妙高山……………二四八
 妙照寺(佐渡)……………二二六
 妙心寺(京都)……………三五四
 妙法山(紀州)……………四四一
 明神池……………二九三
 明神崎(氣仙沼)……………二八七
 明礬温泉(霧島)……………五二六

武藏温泉(九州)……………五二三
 武藏嵐山……………四三
 村上町(越後)……………二〇八
 村杉温泉……………二二
 村山貯水池……………三六
 室生寺……………三九三
 室戸岬遊覽……………四八三
 室戸町……………四八四
 室蘭市……………五四六
 霧社(臺灣)……………六〇三
 霧社事件……………六〇四
 撫養町(徳島)……………四八七

明治神宮……………一三
 明治温泉……………一四
 目黒不動尊(東京)……………三
 メートル法比較表……………五〇

モ

毛越寺(平泉)……………一八六
 最上温泉……………附録 一九
 最上高湯温泉……………附録 八
 木喰上人遺跡……………二八五
 百草園……………三三
 元村(大島)……………八六
 元箱根……………五八
 元伊勢宮……………四六五
 本栖湖(富士五湖)……………二七〇
 物見山(東京郊外)……………四一
 紅葉谷温泉……………附録 四
 桃山御陵……………三四三
 森ヶ崎鑛泉(東京)……………二六
 師崎町……………三二七
 門前温泉(鹽原)……………一四四
 文殊堂(天橋立)……………四六〇

ヤ

矢口の渡(東京)……………三
 矢熊温泉(伊豆)……………七八
 箭島、經島(佐渡)……………二二八
 薬師寺(奈良)……………四四四
 薬王院(高尾山)……………九
 焼岳(日本アルプス)……………二九六
 八重垣神社(松江)……………四七〇
 八瀬(京都)……………三五八
 八事山(名古屋)……………三三
 八坂神社(京都)……………三四五
 八坂塔(京都)……………三五二
 屋島……………四七九
 靖國神社……………一四
 谷津温泉(伊豆)……………八一
 谷地温泉……………一九〇
 谷川温泉……………附録 九

ユ

湯河原温泉(伊豆)……………六七
 耶馬溪……………五二九
 彌彦神社(越後)……………二二四
 藪塚鑛泉……………四一
 槍ヶ岳(日本アルプス)……………二九七
 山居倉庫(酒田)……………二〇〇
 山形市……………一六六
 山寺……………一六七
 山中湖(富士五湖)……………二六七
 山中温泉……………二五一
 山代温泉……………二五一
 山田市……………四〇一
 山田温泉……………二四七
 山邊温泉……………附録 二
 山之湯温泉……………附録 九
 大和アルプス……………四一五

湯川温泉(紀州)……………四三
 湯ヶ島温泉(伊豆)……………七九
 湯ヶ野温泉(伊豆)……………六六
 湯崎温泉(紀州)……………四九
 湯坂温泉……………附録 四
 湯澤の噴泉塔……………一三九
 湯澤温泉……………三三九
 湯島温泉(上州)……………三三六
 湯島天神(東京)……………一五
 湯宿温泉(上州)……………三二六
 湯田温泉……………四九七
 湯田川温泉……………二〇三
 湯田中温泉(平穩)……………二四五
 湯谷温泉……………附録 一〇
 湯殿山……………六四
 湯西川温泉……………一四〇
 湯の濱温泉……………二〇四
 湯の峯温泉(紀州)……………四四六

湯の川温泉(北海道)……………五四四
 湯の川温泉(島根)……………附録 一一
 湯の谷温泉(阿蘇)……………一〇六
 湯の原温泉……………附録 一五
 湯の元温泉……………二二
 湯の尾温泉……………六
 湯の平温泉……………六
 湯の平温泉(上州)……………三三四
 湯の岱温泉……………附録 六
 湯の綱温泉……………一七
 湯の浦温泉……………一七
 湯の小屋温泉(上州)……………三三八
 湯の花温泉(上州)……………三三八
 湯の花澤温泉(箱根)……………六五
 湯の子温泉……………附録 一〇
 湯之湖(日光)……………一三〇
 湯野温泉(飯坂)……………一八〇
 湯出温泉……………附録 四

温泉津温泉……………附録 五
 湯原温泉(上州)……………三三八
 湯濱温泉……………附録 一九
 湯檜曾温泉(上州)……………三三八
 湯本温泉(島根)……………六一
 湯本温泉(日光温泉)……………一三〇
 湯本温泉(那須)……………一四七
 湯村温泉(甲府)……………二八四
 湯村温泉(兵庫)……………附録 三
 湯村温泉(島根)……………一三
 湯湧温泉……………一三
 由比ヶ濱(鎌倉)……………四六
 由布院(別府)……………六
 由良町(淡路)……………三九二
 遊行寺(相州)……………四八
 遊就館(東京)……………二一
 夕張炭坑……………五五五
 楡岾寺(金剛山)……………六四七

エ

横濱市……………二七
 横川温泉(伊豆)……………八二
 横須賀市……………四九
 横向温泉……………附録 一六
 吉岡温泉……………一〇
 吉崎御坊……………二五四
 吉田(富士山麓)……………二六八
 吉奈温泉(伊豆)……………二七八
 吉野山……………四一〇
 吉野梅林……………九五
 吉野群山……………四一五
 吉見百穴……………四二
 養老瀧……………三三七

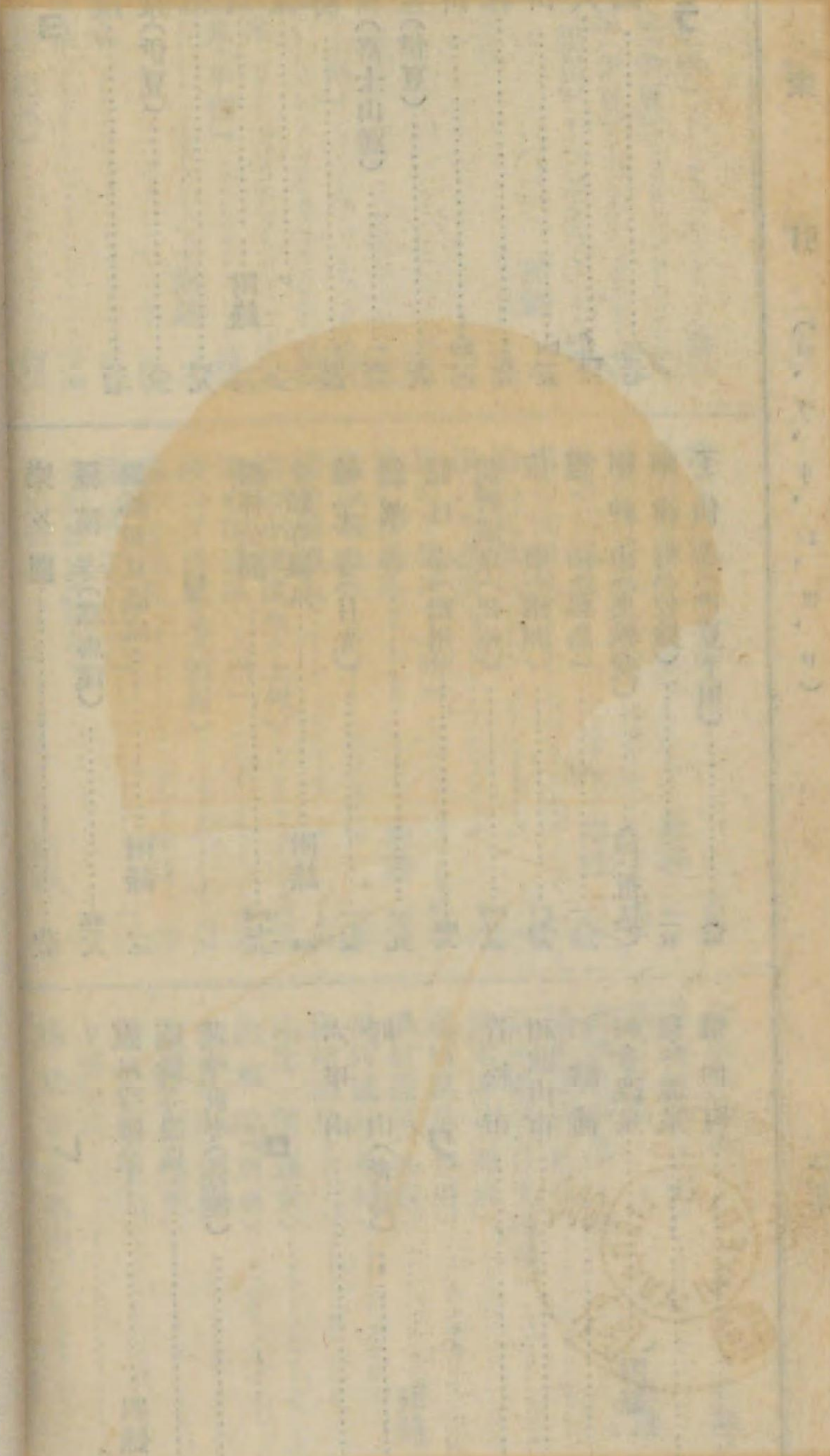
リ

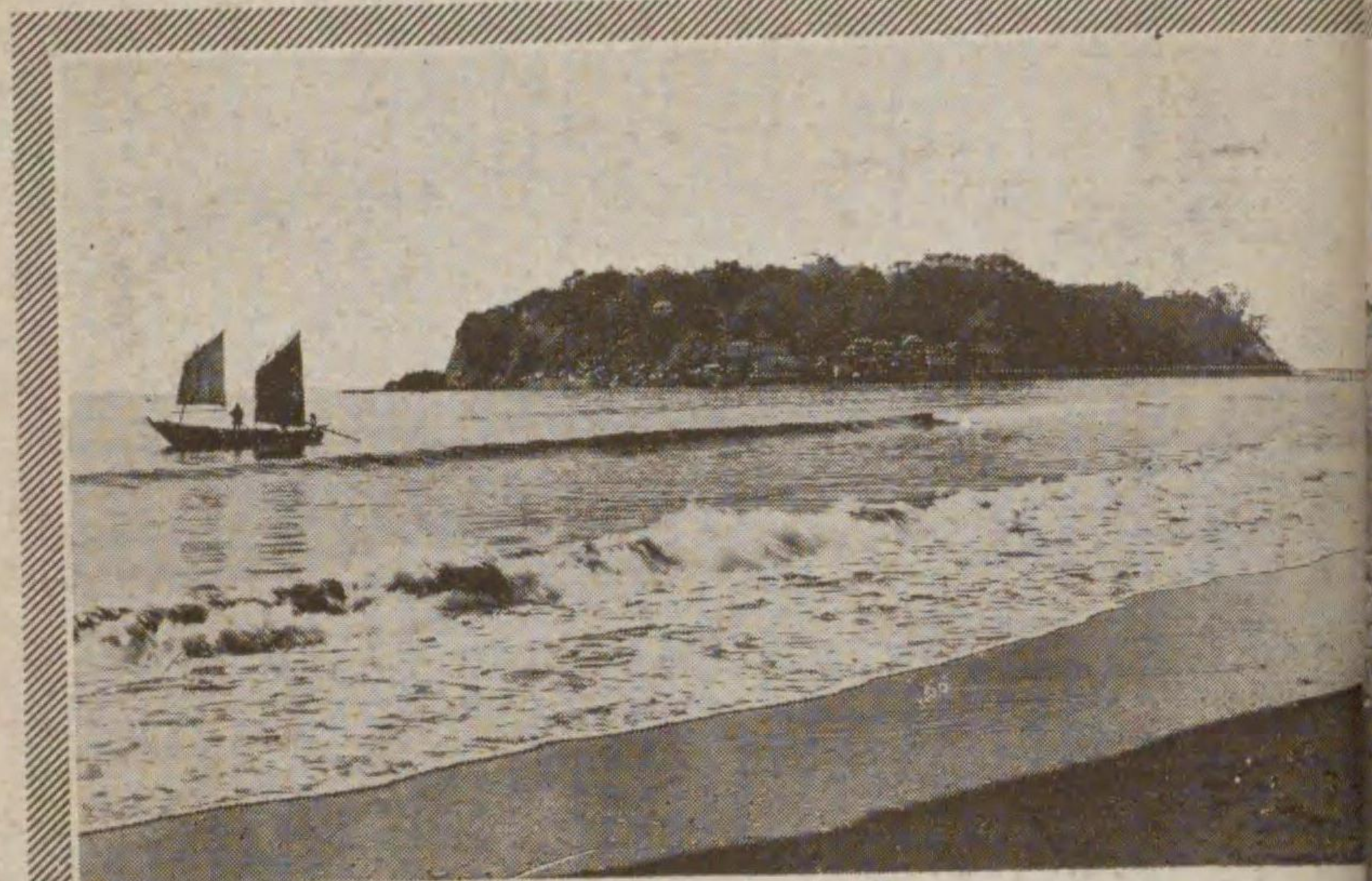
楽々園……………九五
 羅漢寺(耶馬溪)……………五二八
 蘭越新見温泉……………附録 一二
 栗林公園……………四七九
 立願寺温泉……………附録 四
 輪王寺(日光)……………一三五
 龍華寺……………三〇九
 龍口寺(紀州)……………四八
 龍神温泉(紀州)……………四三三
 旅順(滿洲)……………六五三
 靈山(福島)……………一八三
 兩神山(奥秩父)……………九四(折込)
 兩津町(佐渡)……………三二五
 了仙寺(伊豆下田)……………八五

レ

靈泉寺温泉……………附録 一八
 蓮臺寺温泉……………七七
 蓮華寶寺(佐渡)……………二二八
 六甲山……………三八九
 嶗山(青島)……………六六二
 若松市……………一五三
 和歌山市……………四三六
 和歌浦……………四三七
 和倉温泉……………附録 一一
 和琴温泉……………五六四
 稚内町……………五七六

東海道の旅

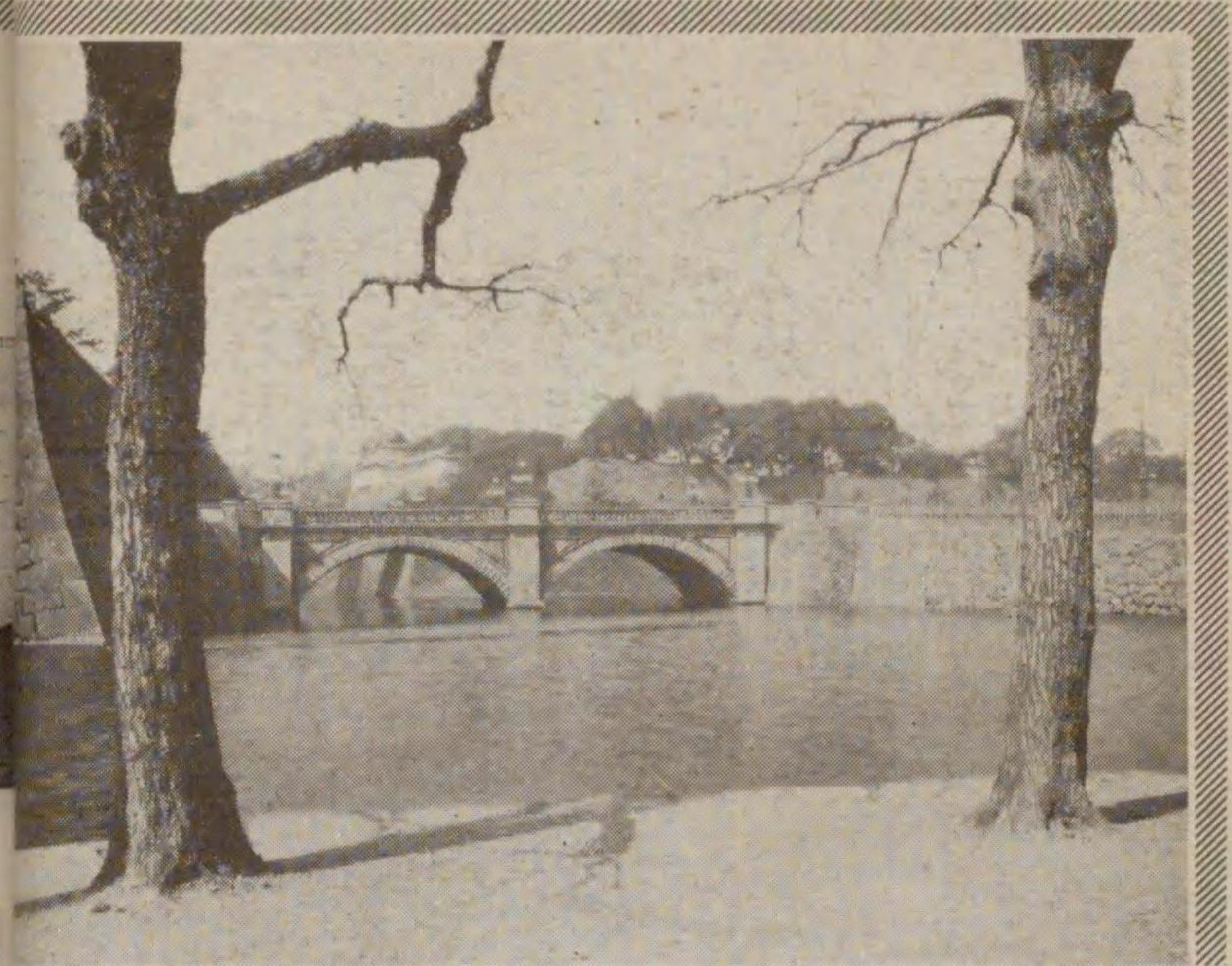




(上) 絵の様な—江の島海岸

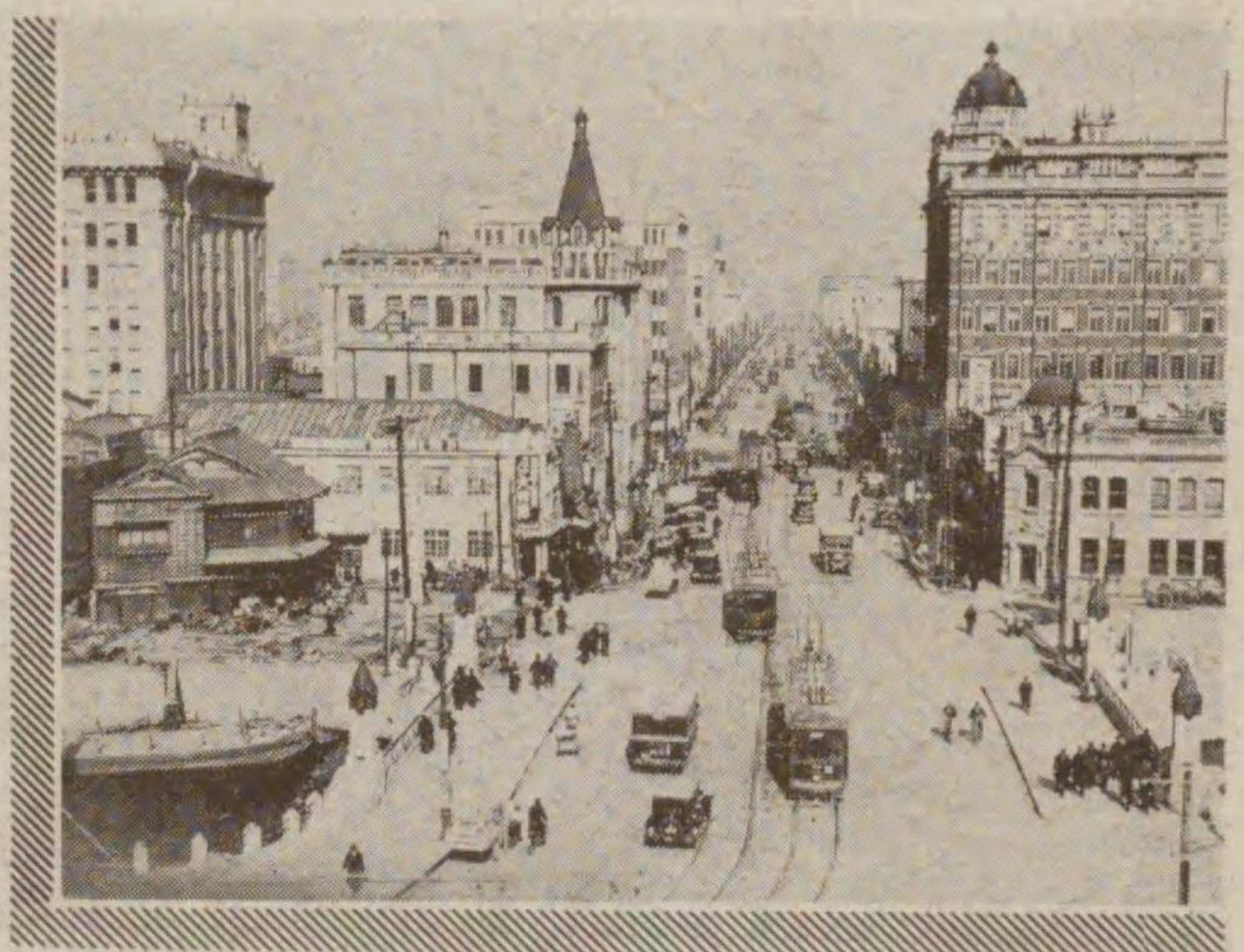
(下) 「美男に在す」—鎌倉の大佛

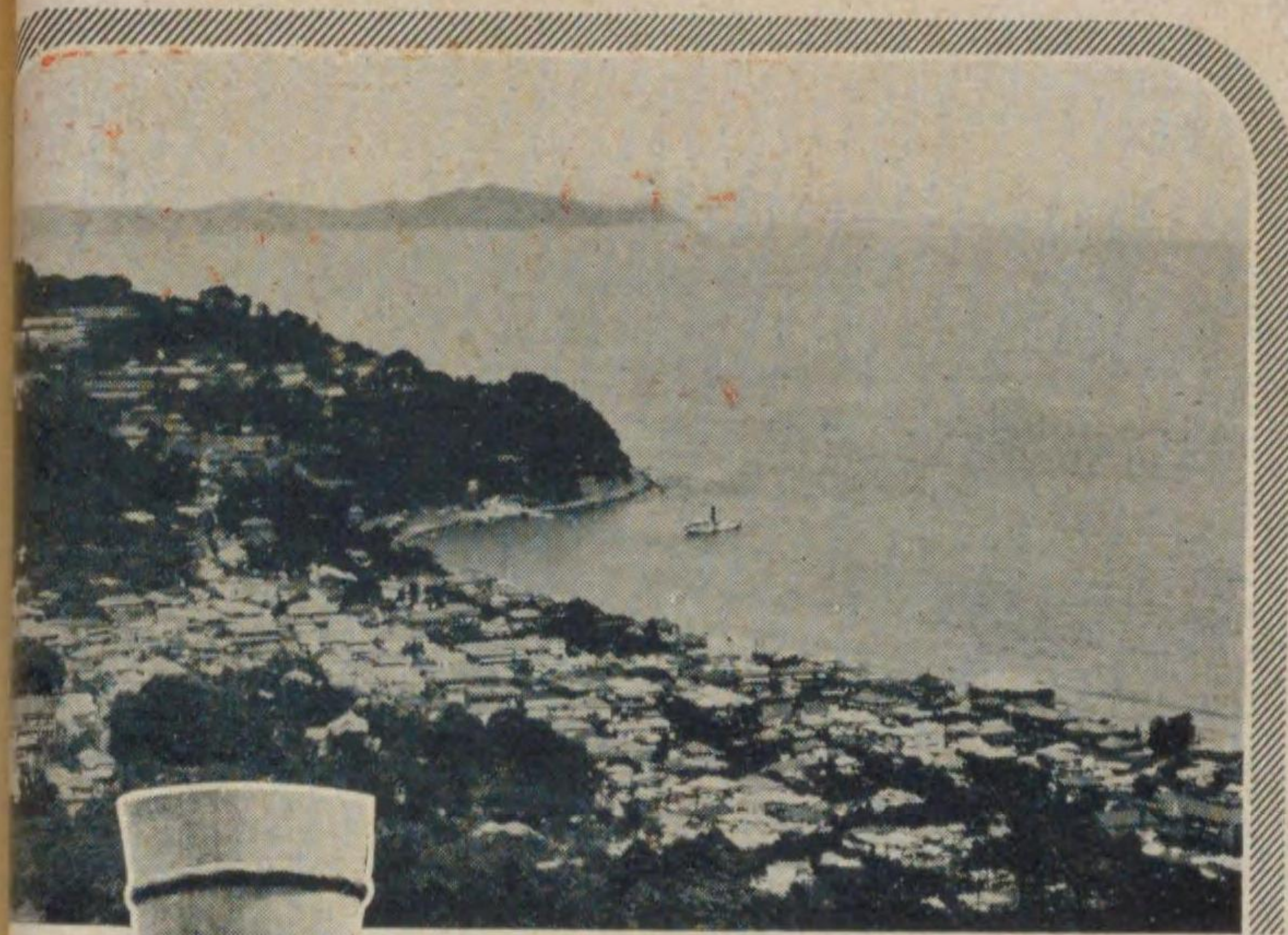
江の島と大佛



東京見物は先づ
—宮城二重橋

モダン・東京
繁華な京橋通り





●明るい伊豆の旅へ！

上圖 温泉の街・熱海の全景

●島のアンコと駱駝

椿と御神火と、最近ではエキジチックな

駱駝で評判の大島へ！



東京

東京

東京市は關東地方の南部、武蔵野臺地(註一参照)の東端が、太平洋岸の一大内海たる東京灣の北岸に臨んでゐるところに
 位し、面積約八〇・四一二平方杆(東西一〇・八九杆、南北一二・六五杆)、人口二、〇七〇、九一三、世帯數四一四、七一〇(以上昭和五
 年一〇月國勢調査)、町數一、五二〇(昭和五、二)(昭和六年末推計人口二、〇八五、五六四)を有する世界屈指の大都市である。市はその
 位置、わが國のほぼ中央に位し、百貨の集散並に中央集權の爲政上、極めて便利な位置を占めて居るのみならず、背後に
 は天産豐饒な關東大平野を擁し、交通の至便と相俟つて帝國の國際關係の中樞をなしてゐる。行政上之を麴町、神田、日
 本橋、芝、麻布、赤坂、小石川、四谷、牛込、本郷、下谷、淺草、本所、深川の一五區に分つが、地形上臺地部と低地部
 とに分たれ、江戸時代からその臺地部を山手、低地部を下町と一般に通稱してゐる。山の手は即ち武蔵野臺地の東端に附
 した名稱で、高さ二〇―三五米内外の臺地をなし(最高は四谷區旭町の三五米四)、その間、所々に狹長な谷地を挟み、一高一低
 相交つて波狀を呈し、その丘陵地はまた風光の美に富んでゐる。即ち愛宕山、品川神社、九段上、目白臺、湯島天神、上野
 公園、日枝神社、道灌山、飛鳥山等は皆丘陵の位置を占めて眺望の勝地として知られてゐる。麻布、芝、四谷、赤坂、牛
 込、本郷、麴町各區の大部分が所謂山の手に屬し、全市の約三分の二を占め、官衙や勤め人の住宅が多い。之に反し下町
 は荒川沿ひの低地に發達した部分、即ち前記武蔵野臺地の推積後、更新期の終りに起つた地變の一大現象たる東京灣の陥

東

京

没に起因する沖積層で（最低は本所區向島押上町の〇・九米）（東京灣陥没地帯の北邊は利根川に沿ふて遙に北し、一方は鬼怒川流域にも及んで居るが、今の下町區域は當時は海水に蔽はれてゐた所である）現に河邊及海濱に推積しつゝ、ある新地層であつて、多く人工運河を縦横に通じ、本所、深川、淺草、下谷、日本橋、京橋等の各區が之に含まれてゐる。主に商工業地域で商店軒を連れ、工業もまた盛に行はれてゐる。

此の地はもと江戸と稱し、鎌倉時代に秩父重弘の子重綱と云ふもの江戸太郎と稱し、此の地に占據するに初まると云ふ。江戸太郎は源頼朝に仕へた事が吾妻鏡にも見え、爾來江戸氏は南北朝の頃まで此の地に土着し、その館は後の江戸城の附近にあつたと云ふ。その後室町時代には上杉氏の領地となり、その將太田道灌が長祿元年（紀元二一七年）初めて城を此の地千代田、寶田の里に築いてこれに據つたが、大永四年（紀元二一八四年）北條氏の有に移つた。天正一八年（紀元二五〇年）豊臣秀吉北條氏を滅し、その舊領關東を徳川家康に與へたので、家康は江戸を居城とした。慶長八年（紀元二六三年）家康は征夷大將軍となり、初めて江戸幕府の覇を開くに及び、江戸は富と權力の中心となり、大小の諸侯各々邸宅を構へ、また市民の集まるもの多く、次第に繁華の地となり、終に八百八街の稱（註二參照）あるに至つた。家康から第一五代の慶喜の將軍職を解くに至るまで實に二六五年、明治元年七月（紀元二五二八年）東京と改稱され、同一〇月一三日車駕東幸、皇居を奠め給ひ、帝國の首府となつた。明治維新の變亂に際しては一時衰頹したが、その後年を逐ふて再び繁榮を來し、わが國に於ける政治、軍事、經濟、學藝等百般の中心地として、名實共に世界主要都市の一として數へられてゐる。殊に大正一二年（紀元二

五八三年）の關東大震災を一轉期として區劃の大整理行はれ（註三參照）、近接町村また異常の發達を遂げて東京市に編入の都市計畫案正に成らんとし（註四參照）、世界三大都市の一たらんとしてゐる。

（參考）▲紐育市人口六、九三〇、四四六人、一九三〇年國調 ▲倫敦市人口四、三九六、八二一人、一九三一年國調 ▲都市計畫實現後の大東京市人口四、九六一、八三九人、昭和五年一〇月一日國勢調査（昭和七、五、二八、東京市公報ニヨル）

（註一）武藏野臺地は、一方多摩川と他方荒川とその支流越邊川との間に挟まつてゐる第四紀層の緩波狀の臺地で、基盤は第三紀層でその上を洪積層が蔽ひ、ロームが主として表層をなしてゐる。所謂赤土と名づけられるものは、關東地方特有のものである。臺地はその西端の關東山塊に接する所が最も高く、標高一二〇米に達するが、東及北に向つて次第に低下し、大東京の部分では二〇―五〇米を示してゐる。

（註二）江戸時代に於ける市街は、慶長八年東南海灣の埋立で今の濱町八丁堀以南及び銀座の地が出来、更に萬治前後には木挽町海洲埋築、赤坂及び小日向の濕潤地埋立、本所、深川、鐵砲洲等の築成に依つて市街は大に擴大された。之より先明暦三年の大震災を一轉期として市區の大改正が行はれた。寛政、天保の江戸全盛期には町數實に二、七七〇餘町を算へた。

（註三）【大震災と復興事業】大正一二年九月午前一時五八分、突如として起つた震幅四寸の大激震は、市内の大小建築物を倒壊せしめると共に、次いで發した大火災に下町を焦土と化し、その他の一部にも被害を及ぼした事は、世人の記憶に新たな處である。震災によつて破壊された家屋は山ノ手方面よりも、地質の軟弱な本所、深川、下谷、淺草等の下町が最も被害多く、家屋は一軒として満足なものなく、或は倒潰し、或は大破損を蒙るの有様であつた。更に夜に入つては數十ヶ所に起つた火災が折柄の烈風に煽られて四方に延焼し、かくして三晝夜焼け通した結果は、全市の六四パーセントを灰燼に歸し、到る處に死屍累々として横はり、満目これ焦土と化したのであつた。陸地測量部及東京市道路局で調査した處によれば、焼失戸數四〇七、九〇〇戸、その罹災民一、五四五、〇二九人に達するとの事である。政府は災害の復舊計畫として災後直ちに内閣直屬の帝都復興院並に内務省内に復興局を設けて復興事業の立案と指導とを開始し、建築、道路、港灣、電氣路、公園その他一切の設計を調査立案し、塵埃處分施設、地下埋設物整理施設等に至る迄、國家百年の計を建て、

著々實行に著手した。その結果、今や幅員二二米以上の幹線道路五三線及一二三線の補助道路は略完成し、濱町、隅田、錦糸各公園の外五二ヶ所の小公園完備され、また鐵筋コンクリート等の商店、會社、文化的洋風の住宅街が新設改修道路を挟んで楕圓對立して面目全く一新するに至つた。或る意味に於て、大震災は却つて東京市の大發展に一新時機を劃するものとも觀られる。

〔註四〕【都市計畫】 近年、各都市の著しい膨張に鑑み、大正九年四月から都市計畫法が實施されるに至つたが、帝都及之に接續する近郊町村の狀勢もまた近來年毎に發展膨張し、その交通量に於ても、兩者を區別して考へる事が出来ない狀勢に至つたので、震災前から夙に大東京市の建設が計畫された。此處に於て大東京市の地域を決定するに就ては、東京市及近郊町村の現狀を基礎として、種々の方面から調査したのであるが、之を要するに經濟的中心にして、同時に交通的中心たる都心に一般の公衆が約一時間以内の時間で集散し得べき範圍は、略都市生活の有機的機能發揮し得べき限界であらうと云ふ大體の見地から、東京驛を中心として半徑四里(約一五・七軒、約一〇哩)の圓内に包擁せらるゝ範圍を以て適當な區域となし、それに自然的地勢即ち河川の位置や現行の行政區域を考慮に入れて設定されたものである。その地域は東は東京府と千葉縣との境界たる江戸川を境とし、北は埼玉縣との境界線に沿ひ、西は北豊島豊多摩兩郡の西邊を通り、南は神奈川縣との境界たる多摩川を縫ふて東京灣に入るものである。その後此の計畫は着々實現の域に進み、編入町村の行政區も決定し、今秋一〇月一日を合併日としてすべての準備を整へて居るので、目下市財務局に於て鋭意編成を急いで居る。

新しく創設される區は左の二〇區で、人口を基準としかつ町村の沿革と事業とを總合の上決定したものである。(昭和七、五、二四、内務大臣許可)

- ▲豊島區(人口二二六、七〇一人、北豊島郡巢鴨町、西巢鴨町、高田町、長崎町) ▲瀨野川區(人口一〇〇、七四六六、北豊島郡瀨野川町) ▲王子區(人口一、二六、六七三人、北豊島郡王子町、岩淵町) ▲荒川區(人口二八〇、六一六六、北豊島郡南千住町、三河島町、尾久町、日暮里町) ▲板橋區(人口一、一三、五八六六、北豊島郡板橋町、上板橋村、練馬町、上練馬村、石神井村、大泉村、赤塚村、志村、中新井村) ▲品川區(人口一、七九、四九六六、荏原郡大崎町、品川町、大井町) ▲日黒區(人口一〇八、二二八八、荏原郡日黒町、碑衾町) ▲荏原區(人口一、三二、一〇八八、荏原郡荏原町) ▲大森區(人口一、四七、三三五五、荏原郡入新井町、大森町、池上町、馬込町、東調布町) ▲蒲田區(人口九八、二二二人、荏原郡蒲田町、羽田町、六郷町、矢口町) ▲世田谷區(人口一、三三、二四九八、荏原郡世田谷町、駒澤町、玉川村、松澤村) ▲澁谷區(人口二、一三、五三三三、豊多摩郡澁谷町、千駄ヶ谷町、代々幡町) ▲澁谷區(人口一、五三、五〇二人、豊多摩郡澁谷町、大久保町、戸塚町、落合町) ▲中野區(人口一、三三、〇九八八、豊多摩郡中野町、野方町) ▲杉並區(人口一、三三、五二九八、豊多摩郡杉並町、和田堀町、井荻町、高井戸町) ▲足立區(人口一、二七、五〇七人、南足立郡全部) ▲千住町、西新井町、江北村、舎人村、梅島町、綾瀬村、東淵江村、花畑村、淵江村、伊興村) ▲向島區(人口一、五五、五一九八、南葛飾郡寺島町、隅田町、吾嬬町) ▲城東區(人口一、四二、九七一八、南葛飾郡龜戸町、大島町、砂町) ▲葛飾區(人口八四、四五六六、南葛飾郡水元村、金町、新宿町、龜青町、南綾瀬町、本田町、奥戸町) ▲江戸川區(人口九六、九七一八、南葛飾郡小松川町、小岩町、鹿本村、篠崎村、瑞江村、松江町、葛西村)

以上二〇區(五郡八二ヶ町村)人口總計二、八九九、九四六六(昭五、一〇)、面積約四六九、〇二九方軒(現在の東京市の約五・六倍に當る)で、之に舊市人口を加へる時は四九七萬餘となり、市域に於ても人口に於てもわが國第一の大都市たるは勿論世界三大都市の一たらんとしてゐる。

【風致地區】 地區の問題は總て市街地建築物法の施行規則によるものであつて、その最も重きをなすものは防火地區である。その他の地區は美觀地區、風致地區、風紀地區等がある。この内風致地區は都市の内外に於ける自然美を維持してその破壊を防ぐために設けられた地區で、此の地區内に於ける建築は、當局の許可なくしては濫りに新築改築を行ふ事は出来ないものである。現在此の地區に指定せられてゐるものは、大正一五年内務省に於て明治神宮を中心とする主要街路の沿線兩側與行一〇間の區域を指定し、更に昭和五年七月荏原郡洗足池附近約九〇、〇〇〇坪、豊多摩郡善福寺附近約一六〇、〇〇〇坪、北豊島郡石神井附近約一七〇、〇〇〇坪、南葛飾郡江戸川沿ひの小鮎沼附近の約八九〇、〇〇〇坪を新に指定して由緒ある歴史と自然美の保存を期する事となつた。

【氣象】 中央氣象臺觀測、昭和五年中東京市内の平均氣溫及降水量

氣溫	一月	二月	三月	四月	五月	六月	七月	八月	九月	一〇月	一一月	一二月	全年
降雨	五・五	一〇・三	一三・一	一五・〇	一〇・五	一一・二	一三・九	一五・五	一三・三	一五・五	一三・七	一三・〇	一三・一

東京見物

東京見物 (A案)

(東京驛前から遊覽自動車にて一日見物) 案内人附 ◎印個所は下車見物

六

午前中遊覽個所

午後遊覽個所

東京驛前發 (カビル、海上ビル、郵船ビル等途上ニテ見物)

帝國劇場、帝國ホテル

貴衆兩議院

◎櫻田御門、二重橋前(楠公銅像)

◎九段靖國神社(大村益次郎氏銅像及ビ遊就館等アリ)

赤坂離宮

秩父宮邸

青山御所

◎明治神宮外苑(聖徳記念繪畫館、競技場等)

◎明治神宮(寶物館拜觀)

晝食

◎乃木神社(舊乃木邸)

◎泉岳寺(赤穂義士墓)

芝公園(増上寺)

◎愛宕山(東京中央放送局、愛宕神社)

◎日比谷公園(東京市政會館、市公會堂)

勸業銀行、日本銀行、◎三越

國技館、回向院、

◎被服廠跡(震災記念堂)

◎淺草公園(淺草寺觀音堂、觀劇場街)

上野公園(動物園、不忍池、清水觀)

廣瀨中佐銅像、日本橋及銀座通、歌舞伎座、新橋演舞場、新橋驛

出發時刻卜場所(晴雨ニ不拘、毎日定期出發)

上野驛前 前八時半

新宿驛前 前八時半

東京驛(降車口)前 前九時

新橋驛前 前九時

料 金(二〇人以上ノ團體ニハ割引アリ)

大人 三圓三〇錢(五歳以下)

小人 二圓三〇錢(人限り無料)

遊覽時間 八時間

乗車見物 約三時間

下車見物 約四時間半(一ヶ所、貴食休憩 三〇分)

紹介及申込所 (イ)東京乗合自動車會社 遊覽課(下谷區北稻荷町、電下谷八一四一)

(ロ)ツーリスト・ビュロー 本部及各地案内所

東京見物 (B案)

(東京驛基點三日間の見物)

日程

午

前

午

後

夜

第1日 二重橋 宮城拜觀(東京驛カラ徒歩十分)

前カラ 櫻田御門(宮城外苑南側入口)

日比谷公園(有樂町驛カラ徒歩五分、第一八頁參照)

靖國神社(電車九段坂上下車、第一四頁參照)

芝公園(電車増上寺前又ハ芝園橋下車、省線電車濱松町驛カラ十分、第一九頁參照)

泉岳寺(電車泉岳寺前下車、品川驛カラ徒歩約廿分、第一八頁參照)

高輪御所(泉岳寺南隣リ、第一三頁參照)

第3日 上野公園(省線上野驛上)

博物館、美術館、動物園、東照宮、兩大師等アリ。(第一七頁參照)

植國物園(電車指ヶ谷町下車、徒歩三〇分、米餘)

護國寺(電車護國寺前下車、第一六頁參照)

傳通院(電車傳通院前下車、第一六頁參照)

帝國大學(電車正門前下車、第一六頁參照)

吉祥寺(電車同寺前下車)

明治神宮(電車明治神宮前下車、省線原宿驛カラ徒歩十分、第一三頁參照)

赤坂離宮・青山御所(第一二頁參照)

乃木神社(電車乃木坂下車、徒歩十分、一四頁參照)

國技館(電車國技館前下車、第二五頁參照)

被服廠跡(電車石原町下車、第二五頁參照)

又ハ買物(三越、白木屋、松坂屋、高島屋等)

上野廣小路通り

神田大通り

又ハ

帝國劇場(電車日比谷交叉點下車)

銀座通り

又ハ

觀劇(第二三、二四頁參照)

淺草公園(電車雷門下車)

淺草寺、劇場、活動寫真館等(第一九頁參照)

註 多摩御陵參拜日程は第14項參照

東京見物

七

〔参考〕

東京市内の交通機關

【東京市内電車】

市内各區及近郊に亘つて四通八達し、朝四時半乃至五時半から(時季に依つて遅速がある)夜半一二時過まで頻繁に運轉されてゐる。▲運賃 片道七錢、往復一四錢、割引(始車時から六時半又は七時迄)片道五錢、往復九錢。回数券六〇錢(九回)、一圓(二五回)、三圓(四五回)。▲特別料金區間 駒込車庫前—飛鳥山間、千住大橋—千住新橋間片道三錢づつ、巢鴨二丁目—下板橋間二區 片道六錢。

京濱線

前記區間を赤羽—蒲田間及上野—櫻木町間交互に八分毎に發車す。從つて蒲田—上野間は四分毎發車となる。尚品川—上野間は山手循環線四分毎に運轉され品川—上野間は京濱、山手交互に凡そ二分毎に運轉されて居る。但し早朝及夜半は一分乃至二分毎に發車す。運轉所要時分……赤羽—上野間一分五分、上野—東京間七分、東京—品川間一分二分、品川—櫻木町間一分。

山手循環線

循環線は早朝四時過から夜半一時半頃まで四分乃至一分六分毎に運轉。池袋—赤羽間八分乃至三分六分毎に運轉。運轉所要時分……品川—新宿間二分、新宿—池袋間九分、池袋—上野間一分六分、上野—品川間一分九分、池袋—赤羽間八分半。

中央線

運轉間隔は朝夕混雑時及早朝夜半を除き、東京—中野間四分毎、中野—吉祥寺間八分毎、吉祥寺—立川間一分六分毎、立川—浅川間三分乃至一分三六分毎に運轉す。運轉所要時分……東京から新宿迄二分半、中野迄二分八分半、吉祥寺迄四分一分、國分寺迄五分三分、立川迄六〇分、浅川迄七九分。

【東京地下鐵道】

三越前—神田—末廣町—上野廣小路—上野—稻荷町—田原町—淺草間(五軒二分) 午前六時半頃から夜一二時過迄二分乃至五分毎に發車。賃金三兩迄を一料金區として一區金五錢(上野—淺草間五錢)、全線特定一〇錢。

【乗合自動車】

東京市電氣局經營及東京乗合自動車會社經營の二種あり、午前七時頃から夜十一時頃迄各主要路線に頻繁に運轉す。料金市營——一區一〇錢二區一五錢、特別區域五錢、會社營業の青バス——一區五錢。

【貸切自動車】

東京市内外驛構内自動車は一哩迄三〇錢、以上一哩を増す毎に一〇錢宛、待料五分毎に一〇錢宛。

東京市内の主なる旅館 (*印は遊覽券指定一泊二食付料金)

(麹町區)

旭館(内幸町一ノ五、電銀座三一七五、室一二、一泊四圓乃至六圓、朝食付二圓半乃至五圓、茶代廢止、* 四圓半)、椋屋支店(内幸町一ノ三、電銀座五一五五、室一七、一泊六圓半、* 六圓)、(日本橋區) 名倉屋本店(室町三、一五、電日本橋二三七、室四〇、一泊三圓半—五圓半、* 五圓)

龍名館吳服橋支店

吳服橋二ノ一、吳服橋際、電日本橋一一七七、* 室數四三、四圓半)、大盛館(大野屋)(新穀町一ノ四、電茅場町三三〇七、室二八、一泊四圓、茶代廢止、* 四圓)、(神田區) 日昇館(鈴木町二、電神田二七八〇、一泊七、八圓、茶代廢止)、昌平館(錦町一ノ一、電神田一一四

五、室三五、一泊三圓—七圓半、和食付洋室六圓半、茶代廢止)、日芳館(表神保町一〇、電神田三六二八、室二〇、一泊三圓—四圓、茶代廢止)今城館(錦町一ノ一、電神田一一一五、室三五、一泊三圓半—六圓、茶代廢止)、龍名館本店(南甲賀町一、電神田一一三五、室二〇、一泊五圓、西式風呂アリ、* 六圓)

龍名館猿樂町支店

(猿樂町一ノ一、電神田一一三一、室一八、一泊四圓、* 四圓半)、(京橋區) 扶桑館(木挽町四ノ三、電京橋四七九、室一二、一泊朝食付五圓均一、茶代廢止)、有明館(大野屋)(築地四ノ一四、電京橋二〇七、室二五、一泊五、六、七圓、* 六圓、晝食二圓半)、城東館(大野屋)(京橋一ノ八、電京橋五一〇七、一泊五圓均一、室三八、* 五圓)、(芝 區) 紀伊國屋(芝口三ノ三、新橋驛際、電銀座三〇一六、室二六、室代二圓半—五圓、

食事朝六〇錢、九〇錢、晝一圓八〇錢、夕同上、茶代廢止)、信濃屋(琴平町四〇、電芝二一〇八、室二八、一泊四、五、六圓、茶代廢止)、伊勢屋(南佐久間町一、四六、電芝一一六一、室二二、一泊三圓半—七圓、茶代廢止)、(下谷區) 名倉屋支店(車坂町六、電下谷一一八一、室二二—泊三圓—五圓、茶代廢止、* 四圓)、山下館(車坂町二、電下谷二三七八、室二七、一泊三圓均一、* 四圓)針久上野支店(上野廣小路、電下谷九七八、室二六、一泊三圓、五圓、茶代廢止、井筒屋(中御徒町四、四一、上野驛前、電下谷二八六、室二四、一泊二圓半—三圓半)、(本郷區) 花水館東京支店(本郷區湯島天神下、電下谷三三五〇、一泊三圓—七圓、* 五圓、茶代廢止、

ホテル名

電話番号

室代及食事料

記事

帝國ホテル

麹町区内山下町一ノ一

銀座三三三
三三三
三三三
六六六
六六六
六六六

風呂無 ▲一人室四八、室代五圓以上 ▲二人室三九、室代八圓以上
風呂付 ▲一人室八一、室代七圓以上 ▲二人室九二、室代一二圓以上
食事代 朝(アラカルト)和食一圓半、晝二圓、夕二圓半(土曜日三限リ三圓)

有樂町又ハ新橋驛カ
ラ約半料
純洋式

ステーションホテル

麹町區丸ノ内二ノ一

九ノ内 二三二
二三二
二三二
六六六
六六六
六六六

風呂無 ▲一人室四〇、室代三圓半乃至九圓 ▲二人室一三、六圓七五錢乃至一三圓半
風呂付 ▲一人室二、室代七圓半、特別室一三圓半乃至一九圓半(一四室)
食事代 朝一圓半、晝二圓、夕二圓、茶二〇錢

東京驛樓上ニアリ
純洋式

丸之内ホテル

麹町區丸ノ内一ノ一

九ノ内 二二六
二二六
二二六
六六六
六六六
六六六

風呂無 ▲一人室九一、室代五圓 ▲二人室八五、室代六圓半
食事代 朝七〇錢、晝一圓、夕一圓半、茶五〇錢

東京驛カラ一〇〇米
純洋式

萬平ホテル

麹町區平河町六ノ六

九段 一七二
一七二
一七二
六六六
六六六
六六六

室敷六八、一人室風呂無四圓一六圓、同風呂付六圓一〇圓、二人室風呂無七圓一
九圓、同風呂付九圓一〇圓、スリツ室一六圓以上。食事料朝(洋)お好み(和)五〇
錢、晝(洋)二圓、(和)一圓、夕(洋)二圓半(和)一圓三〇錢以上。心付勘定ノ一割

市電平河町五丁目
又ハ麹町六丁目下車
日比谷乗合万平ホテ
ル前下車

東洋ホテル

日本橋區龜島町

茅場町 二二七
二二七
二二七
六六六
六六六
六六六

風呂無 ▲一人室六、室代三圓一四圓、二人室二四、室代六圓一〇圓
日本間七、一泊四圓乃至八圓
食事代 朝八〇錢、晝一圓、夕一圓八〇錢

洋式

中央ホテル

麹町區内幸町一ノ六

銀座 一三三
一三三
一三三
六六六
六六六
六六六

風呂無 ▲一人室三八、朝食付三圓乃至五圓 ▲二人室二〇、朝食付四圓乃至七圓
食事代 (和洋共同)朝五〇錢、晝一圓、夕一圓二〇錢
●浴場ハ無料ニテ早朝ヨリ用意シアリ

寢室ハ全部洋式ナル
モ食事洋式アリ

山王ホテル

赤坂區

銀座 二七〇
二七〇
二七〇
六六六
六六六
六六六

室敷代 朝八〇錢、晝一圓、夕一圓五〇錢
風呂付 一人室四圓一七圓、二人以上ハ一人ニ付五割増

和洋兩式
東京驛カラ約一割四

ホテル芳千閣

神田錦町三ノ一九

神田 二七九
二七九
二七九
六六六
六六六
六六六

洋式 風呂無 ▲一人室二〇、室代二圓半乃至四圓 ▲二人室一三、室代一圓半
日本間 六、室代三圓半、晝一圓、夕一圓半、茶三〇錢
食事代 朝八〇錢、晝一圓、夕一圓半、茶三〇錢

市電旅籠町
停留所前

御園ホテル

下谷區御徒町三ノ二二

下谷 一三〇
一三〇
一三〇
六六六
六六六
六六六

日本間 一六、室代三圓、一人増一圓五〇錢、食事代朝七〇錢、晝一圓、夕一圓半
洋間 五、室代四圓、一人増二圓、食事代朝一圓、晝一圓半、夕一圓半、二圓

洋式

萬世ホテル

神田區旅籠町一ノ一〇

下谷 一八七
一八七
一八七
六六六
六六六
六六六

洋式 食事代 朝三五錢一七〇錢、晝六〇錢一圓、夕八〇錢一圓八〇錢
日本室八、室代三圓

洋式
ランニングウオータ
ー及瓦斯ヒーターノ
設備アリ

山形ホテル

麻布區市兵衛町二ノ四

赤坂(四八) 二一八

洋室 ▲一人室一、室代二圓乃至三圓半 ▲二人室一二、室代四圓乃至八圓
食事代 (和)朝五〇錢、晝一圓二〇錢、夕一圓半
(洋)朝八〇錢一圓、晝一圓二〇錢、夕一圓半

長期滞在ニハ五分乃
至二割ノ割引アリ

菊富士ホテル

本郷區菊坂町八二

小石川 六九〇
六九〇
六九〇
六六六
六六六
六六六

室代 ▲洋室二五、室代三圓一五圓 ▲和室三五、室代二圓一三圓
食事代 朝五〇錢、晝一圓二〇錢一圓半、夕同上

省線電車大森驛カラ
約二〇〇米

新宿ホテル

新宿角筈一、新宿驛前

四谷(三五) 七〇四
七〇四
七〇四
六六六
六六六
六六六

風呂無 ▲室六八、一人室一圓八〇錢一五圓、二人室三圓一六圓、三人室七圓半
朝和五〇錢、洋七〇錢、晝和洋共一圓、夕同一圓半
サ一ビス料トシテ總勘定ノ一割、洋バス使用料一回三〇錢。

省線電車大森驛カラ
約二〇〇米

大森ホテル

市外入新井町木原山

大森 一〇三六
一〇三六
一〇三六
六六六
六六六
六六六

風呂無 ▲一人室二三、室代三圓乃至五圓 ▲二人室六、室代九圓
風呂付 ▲二人室三、室代十圓
食事代 朝一圓、晝一圓半、夕一圓七五錢、茶三〇錢

省線電車大森驛カラ
約二〇〇米

宮城及離宮

宮城 市電馬場先門下車。

東京市の中央、霞ヶ關、日比谷の北に當り東は御苑、西は吹上、北は本丸と申上げ皆壘濠を以て相限られてゐる。御城内約三〇萬坪と承る。皇居は舊徳川氏の江戸城で、長祿元年（後花園天皇紀元二一七年）鎌倉宰領上杉定正の家臣太田持資入道道灌が築いたのを徳川家康大擴張し、明治元年一〇月一三日之を皇居と定め給ふたものである。

今日の宮城は明治六年五月五日後宮火を失して全部烏有に歸されたので同一七年七月御起工、二一年一〇月御竣工になつたものである。

【二重橋と正門前御苑】御正門を通常二重橋と申上げる。地の高下に隨ひ二つの御橋が架けられたもので、先づ南行して下橋に上り大升形に入り、更に北行して高橋を過ぎて禁垣に入る。何人も第一の橋際まで行き御濠を隔て、拜する事が出来る。

【櫻田御門】正門前御苑から南へ霞ヶ關、虎の門に通ずる御門でもと江戸六口の一で小田原口と稱した。關東大震災迄は完全に辨形門の遺構を存して居たが、今は渡橋を鐵筋コンクリートで改造されてゐる。萬延元年三月三日時の大老井伊直弼が登城の折、水戸浪士大開和七郎外一七名の爲に要撃された所である。

【赤坂離宮】市電四谷仲町下車。もと紀州侯の邸地、明治五年離宮となる。明治六年皇居炎上の後明治大帝の假皇居となり、明治治年代の新政は凡て此處で御勅裁あらせられた御由緒の地である。ルキ十四世式の御館は明治四一年の御造營になつたもので、初め今上陛下東宮假御所となり、又、假皇居となつて兩陛下の日常御起居遊ばされた處である。

【青山御所】市電赤坂表町下車。もと紀州邸及篠山藩青山邸であつた所で、赤坂離宮と相連る。明治七年御所となり先帝陛下東宮にあらせられる頃之に御住居遊ばされた所である。近時秩父宮御殿新築せられ又澄宮假御所も設らへられてゐる。

神 社

【高輪御所】舊細川侯中屋敷址で、泉岳寺の南方に當つてゐる。元祿の昔火石良雄以下一七人の赤穂義士が預けられ切腹したのには此の御所内であると云ふ。後御所となり、今上陛下東宮に渡らせられる頃此處に御住居遊ばされた。

【官幣大社 明治神宮】東京府下豊多摩郡代々幡町代々木。參道の入口は南北西の三つある。南參道入口は青山、澁谷、原宿方面からの參道で、省線原宿驛から直ぐ神宮橋を渡り一ノ鳥居をくゞり玉川砂利を踏み御神橋を渡り、約半軒で二ノ鳥居がある、之を過ぎれば間もなく御社殿である。市電明治神宮前停留所から前記神宮橋迄約一軒、乗合自動車七錢。北參道入口は外苑からの連絡路に連り千駄ヶ谷にあり、省線電車代々木驛又は千駄ヶ谷驛下車。西參道入口は小田急參宮橋又は京王電車神宮裏下車のもので、代々木練兵場に面してゐる。

祭神は明治大帝、昭憲皇太后の二柱を鎮齊し奉る。大祭には當日勅使の御差遣あり更に兩陛下御親拜あらせらる。社殿は玉垣内の地積約六、五〇〇坪に、本殿、拜殿、樓門等、流造の莊重質實を見せられたもので、大正四年一〇月地鎮祭を行ひ、六ヶ年の歳月を閲して同九年一月竣工したのであるが、その資金は一切國庫から支出し、國民全部の力を以て御造營申上げたのである。拜殿より内部を内院と稱し、外部を外院と稱する。内院は廻廊によつて繞らされ、其中にて御本殿及中門がある。一般參拜者は拜殿外御階上濠縁の所まで行き拜禮する事が出来る。

▲御祭典（大祭）祈念祭二月一七日、昭憲皇太后祭四月二九日、天長節祭四月二九日、明治天皇祭七月三〇日、鎮座記念祭十一月一日、例祭一月三日、新嘗祭十一月二三日、（中祭）歳旦祭一月一日、元始祭一月三日、紀元節二月一日、（小祭）月次祭毎月一日、御禮祭立夏日、立冬日、除夜祭一二月三十一日

【内苑】神宮御鎮座の地で總面積二一九、四四二坪餘、東は省線電車山手線に限られ西南は代々木練兵場と接し、北は代々木山谷に面し、周圍には土塁を繞らしてゐる。御内苑の地はもと加藤清正の下屋敷であつたのが寛永以後彦根藩主伊井家の下屋敷となり、明治七年御買上ありて御料地となつたもので、祭神屋々行啓あらせられた御由緒があり、且樹林泉池の幽邃近郊稀に見る所である。社殿の後方に寶物殿、苑の外に加藤清正の掘つたと傳へる「清正井」

南には「菖蒲田」がありまた苑内の最も高い丘の上に隔雲亭がある。昭憲皇太后御在世の御、度々一日の御清遊を遊された所と承る。

▲寶物殿……總建坪五五〇坪の校倉式を模した鐵筋コンクリート造りで、祭神に最も御關係の深い御物を陳列してある。拜觀所要約三〇分。拜觀料大人一〇錢(二〇人以上五錢宛)小人五錢。

拜觀時限(自一〇月一日至翌三月三十一日、午前九時カラ午後四時迄) 館内ニテハ外套及帽子ヲ禁ズ

【外苑】省線電車信濃町驛の西南、市電青山三丁目停留所の北、又は神宮參拜後、原宿驛から乗合自動車で一軒餘。面積一四五、三〇〇坪餘(五千アール)もとの武家屋敷の地で、明治六年青山練兵場となり、大帝は此の地に屢々觀兵の式を擧げさせ、また、大正元年九月には御輜車停駐の葬場殿址として大帝の御由緒の深い神域である。外苑は祭神に對する國民尊崇追慕の餘り、一般國民の奉贊の献資六七〇餘萬圓を基とし大正六年八月から一〇年の星霜を閲し、大正一五年一〇月に竣工したもので、聖徳記念繪畫館を中心とし憲法記念館、葬場殿址及日本青年館等の記念建築物を配し、西南隅の低地一萬四百坪(三四〇アール)の地には六萬五千人を容る、(東南北の斜傾地に約五萬人、西面鐵筋コンクリート造觀覽席に一萬五千人)大競技場あり、内外苑連絡道路を隔て、北隣に水泳場(約二一〇〇坪、收容約一萬三千人)競技場の東南に相撲場(一九〇〇坪、收容二萬人)野球場(約六千坪あり、内野約二萬人外野約三六七〇〇人の觀覽者を收容す)青山入口近には兒童遊園場などが設けられてある。苑の過半は清緑な芝生で、明快廣潤な氣分を漲らせ、最新の公園的設備が施されて居る。

▲聖徳記念繪畫館……土曜、日曜、祝祭日に限り開館午前九時から午後四時まで、團體及地方からの參拜者には閉館日にも特に拜觀を許す事もある。大人一〇錢、小人五錢。

明治天皇及昭憲皇太后の御事蹟を現はした繪畫を陳列する爲に建設された鐵筋コンクリート花崗岩表装、近世式大建築で、御事蹟中より畫題八〇を選び、日本畫、西洋畫各四〇題を現代一流の畫家に描かしむることになつて居り、現在五三枚奉掲されて居る。

乃木神社 市電乃木坂下車。赤坂區新坂町にあり、陸軍大將乃木希典及同夫人靜子を祀る。社に接して舊乃木邸がある。大正元年大將夫妻の自刃された處で、今東京市の管理となり一般に公開されてゐる。

靖國神社 市電九段坂上下車。俗に九段招魂社と云ふ。別格官幣社で、畏くも明治大帝の勅旨により維新の勸王の志士及び其の後の戦歿者の亡靈を弔祭し給ふ所で、昭和四年四月迄のところ合祀四四回、祭神一二三、九五四に及んで居る。春期大祭の四月三〇日及び秋期大祭一〇月二三日の祭典は總て勅使を以て行はせられる。

日枝神社 市電山王下停留所の東北、麴町區永田町麴町公園内に在り、宮城の麓に位し開闢高燥の佳境を占め、内苑、外苑及び附屬地とも三四、三六七坪あり、後宮に當り高樹など設けられ又櫻樹が多い(昭和五年四月末現在にて五五〇株)又苑内に戦利記念品を藏する遊藝館(第二二頁参照)、大村益次郎の銅像、大銅鳥居(高さ、サ六九尺六寸)等がある。

拜殿、唐門、樓門を備へた權現造である。本社は文明年中太田道灌が江戸城中に創建し、天正一八年徳川家康が江戸入城の時、産土神としてから代々の將軍家の崇敬厚かつた處である。今の地に遷されたのは萬治二年で、現今の建築はその當時のもので大正一二年の震災後大修理を加へ朱塗、鍔金具などが美しく輝いてゐる。毎年六月一五日の例祭は古來山王祭と稱し、神田明神の祭禮と共に名高く、江戸時代から日本三大祭の一に數へられてゐる。社境は所謂「星岡」の高臺、麴町公園内で、御成坂を登つた丘上にあり南方の展望開け、幽邃なること市内稀に見る處である。

神田明神 市電明神前下車。神田區宮本町に在り。神田明神と號し(府社)江戸時代徳川氏の崇敬厚く、九月一五日の例祭は日枝神社の祭例と併び稱されてゐる。社殿は大正一二年の震災に遇ひ、目下再建の豫定になつてゐる。(府社)

湯島天神 市電天神下下車。本郷湯島公園内に在り。江戸開府以前の創建で、境内梅樹多く眺望に富んで居る。(府社)

水天宮 市電水天宮前下車。日本橋區幡巻町三丁目に在り。久留米市にある水天宮の分祠で、文政元年芝赤羽橋の久米留藩邸内に鎮座したのを明治五年今の地に移したものである。水難の神、安産の神、水商賣一切に御利益あらたかな神様として參詣者が多い。祭日は毎月五日。

佛閣

増上寺 市電増上寺前または省線電車濱松町驛下車。芝公園内に在り。關東淨土宗の總本山、一八檀林の冠首で三縁山と號し、往昔から上野寛永寺に亞ぐの巨刹であつた。創建時代は詳かでないが、もと麴町平河町にあつたのを慶長三年今の地に巨刹を造營し、徳川氏の菩提寺となつたが、當時の建築物は多く焼失し、僅に三解脱門と云ふ三門(圍寶)があるのみで、現今の

東 京 見 物

一五

本堂は大正一〇年の建築である。境内に徳川家靈廟(二代將軍靈徳院秀忠、同裏方崇源院、六代將軍文昭院家宣、七代將軍有章院家繼)及墓所があり、寶物には法然上人繪傳二卷(國寶)、大藏經(床板五三五六冊、元版五九三一卷、高麗版六五三一卷、何れも國寶)、五百羅漢像百幅その他約二百點あり、毎年九月一般の觀覽に供してゐる。

▲徳川家康廟 南北の二個所に分れ、拜觀料一ヶ所四〇錢、午前八時から午後五時迄。毎月末に南北交替に閉門す。廟所の結構は日光に亞ぎ、精緻なる意匠を凝し、華麗を極めてゐる。

〔青松寺〕 市電廣町停留所の東北、愛宕山の南にある。文明年間太田道灌の創建した曹洞宗三大寺院の名刹で、境内廣く、後方丘陵上の墓地に江戸の儒者井上金峨の墓がある。

泉岳寺 市電泉岳寺前下車、車町にある。萬松山と號し、芝の青松寺及橋場の總泉寺と共に江戸の曹洞宗三大寺院の名刹である。殊に赤穂義士の墓所を以て全國に知られ、東京遊覽者の見落す事の出來ぬ名所のひとされてゐる。

▲赤穂義士の墓所は史蹟として指定され、例年四月六日から五月五日まで義士祭があり、二月一四日の討入の日及二月四日切腹の日には法要があり殊に賑はふ。

傳通院 市電傳通院下車、小石川區表町安藤坂の上にある。淨土宗無量山壽經寺と號し、關東十八檀林の一たる名刹である。應永二二年了譽上人の開山、後家康の生母傳通院を祀つてから寺號が改められた。境内福壽院の大黒天は三國傳來の靈像と云はれ、秀頼夫人天樹院(千姫)の墓もある。

護國寺 市電護國寺前下車、小石川區音羽町一丁目にある。新義眞言宗に屬し東京第一の巨刹で、天和元年亮賢僧正が、徳川綱吉の生母桂昌院尼の本願により建立されたものと云ふ。本尊は家光の守佛、二臂如意輪觀世音を安置し、境内には室鳩巢の墓あり又明治の元勳三條公、山縣公、大隈侯等の墓もある。

吉祥寺 市電吉祥寺前下車。本郷區駒込吉祥寺町にある。諏訪山と號し曹洞宗の名刹、境内廣く大佛、禪堂、經藏などがある。寛治元年正月一〇日の吉祥寺火事は京橋、新橋、墨津島、八丁堀、盤池洲、馬喰町に至る所謂八百八町を焼き拂ひ、八百屋お七に因縁のある有名な大火である。

寛永寺 上野公園内、東京帝室博物館の西隣にある。寛永四年四月江戸城鎮護のため天澤僧正の創建した天台宗の名刹で、東叡山圓頓院とも稱し、關東の總本山となつてゐる。今博物館のある所は、もと寛永寺本坊即ち法親王常住坊舎のあった位置で、昔の正門が其儘博物館の正門となつてゐる。正門前の竹の臺にはもと中堂があり(今の寛永寺中堂は明治八年、上州世良田の長樂寺本堂を舊大慈院跡に移したものである)中堂の前には大塔と圓堂が相對し、更に法華常行の二堂があり、輪奐の美を備へてゐるが、明治元年の兵火に依て諸堂の大部分を失はれ、現存するものは清水堂、五重塔及兩大師あるのみである。寛永寺にも増上寺と相對して徳川氏靈廟が設けられ(元禄一二年再建の四代將軍廟及寶永一一年竣工の五代將軍廟とある)常に拜觀を許して居る。

淺草寺 金龍山と號し、天臺宗に屬してゐる。一寸八分の金像と傳稱する祕佛觀音菩薩像を本尊とす。現在主要建築物は本堂(觀音堂、國寶)、五重塔婆(國寶)、經藏、仁王門及傳法院で何れも江戸時代の建物である。今の觀音堂、一八間四面の大伽藍は慶安二年徳川三代將軍家光の造營したもので、元禄元年五代將軍綱吉の時修理が加へられ、更に目下大修理が加へられて居る。地は淺草公園内にあり、市内の最も繁華な遊興地にかこまれ、參詣者が常に雑踏し、去る關東の大震災には奇蹟的にも其の災害を免れ益々世人の信仰を厚くするに至つた。

回向院 市電國技館前下車、國技館の南隣にあり。明暦年間の大火に横死した十萬八千餘人の生靈を供養のため建立したもので、安政大地震の殉難者二萬五千餘人も合葬されてゐる。

公園

上野恩賜公園

省線電車上野驛、市電及乗合自動車上野公園前下車。

下谷區の中央に位し西北の半面は谷中、日暮里の高臺に連續し、東北南の三方は崖岸で、自ら限られてゐる岡陵の東端を占めてゐる。舊帝室の所屬で面積二五二、八二三坪あり(八、四〇〇アール)内一八九、七七一坪を大正一三年一月 今上天皇陛下御成婚記念として舊芝離宮と共に東京市に下賜されたものである。公園一帯は丘陵で樹木が多く幽邃雅趣に富

み、古蹟に富む市内第一の勝地でまた櫻の名所とされてゐる。(昭和五年四月現在櫻樹數二、二〇〇株)。

公園は往昔の忍ヶ岡で江戸時代には大名邸や聖堂があつたが、後寛永寺が建立されたので全部其の境内となり徳川幕府の終るまで盛んであつたが、大政維新、幕府瓦解するや舊幕黨義隊を組織し、輪王寺の宮を奉じて此の地に據り、薩長諸藩の兵來りて攻め、激戦一日(明治元年五月十五日)にしてさしもの堂塔伽藍は大部分灰燼に歸して了つた。そこで同年八月之を官に收め、六年公園として指定され八年不忍池をも公園に併せ、後帝室所屬となつたが更に其の一部を市に下賜されたのである。現在の特別設備としては東京市所屬のもので動物園があるのみであるが、將來改良工事を加へると共に種々の設備をされる筈である。

▲櫻ヶ岡・東照宮……園の南方上野廣小路から緩かな坂を登れば一條の大路園内に通じ、その右側が櫻ヶ岡で、寛永七年林羅山が家塾を建て、九年徳川義直が孔子廟を創めた所である。現在は西郷隆盛の銅像、彰義隊の墓碑、清水堂があり、丘の北方にある小山は捕鉢山といふ。そして其の西、大道を隔てた所が忍ヶ岡で東照宮がある。東照宮は徳川家康を祀り、寛永三年藤堂高虎の創建で、現在の社殿は慶安四年幕府の改造したもので、後光明天皇の勅額、歌仙額等の國寶を有し、境内には酒井雅樂頭献上の唐銅燈籠、諸侯寄進の石燈籠などが多敷あり殊に土井大炊頭献上の五重塔は淺草のそれと共に江戸時代建築の優秀なものと云はれてゐる。又鳥居の外には小松宮彰仁親王の御銅像、五條天神、花園神社、精養軒、グラント將軍手植の月桂樹などがあり、左には樹木の間から不忍池を見下すことが出来る。

▲竹の臺……寛永寺中堂のあつた場所、同公園の中央に位し、東京府立美術館があり、隨時諸種の展覽會が開催されてゐる。竹の臺の右には自治會館、凌雲院、前には帝室博物館の表慶館がある。右に折れて進めば東京科學博物館、帝國學士院、兩大師堂がある、美術館の先には右方に音樂學校、帝國圖書館、寛永寺、徳川家廟などがあり、左方には美術學校、動物園がある。

▲不忍池……上野臺と本郷臺向ヶ岡との間にある低地一三町歩餘(一四萬平方米)の池で、もと附近の水田の用水となつてゐたが、其後蓮池となり、觀月橋が架けられ、中島に辨財天祠があつたが目下近代的遊歩地として改造してゐる。

日比谷公園 省線電車有樂町驛、市電日比谷公園前下車。櫻田門外の一廓に當り、麴町區日比谷にある。總面積四九、七八一坪、西洋式公園の代表的なものである。地はもと毛利、南部、鍋島家以下及び甲府殿の邸址で、維新後日々谷ヶ原と變り永らく近衛練兵場となつて毎年明治大帝は觀兵式を行せられたが、明治二六年泰西の公園に則り造園され、同三六年六月から一般に開園されたものである。園内には圖書館、大音樂堂、日比谷公會堂、市政調査會館、運動場、花壇、雲形池の噴水等があり又菊花大會、納涼會など催され、新音樂堂には隨時音樂又は舞踊會等が催されて居る。

淺草公園 市電雷門下車。金龍山淺草寺境内、淺草區第六區にあり、淺草觀音堂を中心として其附近六三、六四〇坪(二、一〇〇アール)の地を修理して明治六年太政官布告によりて公園に指定されたものである。觀音堂背後の千坪許りの沼地を繞つて花屋敷、劇場、活動寫眞館其他各種飲食店櫛比し所謂淺草第六區の賑ひを呈し東京名所隨一の不夜城の觀を爲してゐる。

芝公園 市電増上寺前停留所は既に園内になつてゐる。省線電車濱松町驛下車。三線山増上寺境内の一部、愛宕下の南方一四六、〇三八坪、(四、九〇〇アール)の地域を明治六年公園としたもので、天然の風致其儘の公園地である。園内西の一半は丘陵地で杉その他喬木林をなし、東の一半は低地で松林がある。園の中央には増上寺があり、その南に徳川氏靈廟(二六頁参照)東照宮、丸山古墳(徳川二代靈廟の南、丘陵の上)にあり瓢形墳一箇及圓墳約一〇箇あり、明治三二年頃墳輪破片、勾玉、金環其他が發見された)伊能忠敬の碑(丸山瓢形墳の上)にあり我國實測の時此處を原標としたと云ふ)、など、北には徳川氏靈廟、西には金地院、紅葉山、蓮池などがあり、また運動場、大プール、等がある。

愛宕公園 市電西久保巴町下車。停留場の南、愛宕山の上にある、面積四、八〇〇坪(一六〇アール)山は標高二六米に過ぎないが、東北西の三方展けて市街の大半を俯瞰し得、往時風流人の月見に花見に、或は雪見に喜ばれた勝地である。山上に愛宕神社(六月二四日は千日参りが行はれる)、東京中央放送局の演奏所がある。

芝離宮恩賜庭園 省線電車濱松町驛の東側。開園午前九時頃から午後五時頃迄。元祿年間當時の老中大久保忠朝の經營したもので、江戸時代の代表的且典型的の名園で、林泉を主として之に島嶼を築き、橋を架して遊歩に便にし、池の水は潮入である。また園内に櫻樹が多い。明治九年離宮となり、大正一三年一月、今上天皇陛下御成婚記念として東京市に下賜されたものである。

清水谷公園 市電麴町六丁目停留所の南。紀尾井町にあり、園内に櫻樹及び、びが多く、また大久保利通が明治一一年紀尾井坂で島田一郎のために刺殺されたのを悼んで建てた碑がある。

後樂園 今史蹟名勝として指定され、公開されて居ない。陸軍造兵廠東京工廠の構内にある。江戸時代に水戸の藩主徳川頼房、光圀父子が徳大寺左兵衛に命じて造營せしめた名園で、震災のため今はやゝ風致を損して居るも江戸時代造築の庭園として現存するもの、隨一である。

【故大隈侯邸園】市外早稲田。入園は午前九時から午後四時半迄、天候又は學校の都合にて臨時閉門のこともある。

【舊安田庭園】市電石原町停留所前の西南。本所種綱町二丁目にあり、安田氏から東京市に寄附された江戸時代の泉池で、園内に公會堂がある。

【清澄庭園】市電靈巖町停留所前。深川區伊勢町にあり、岩崎氏から東京市に寄附されたもので、江戸時代の經營になる。市に下賜された大正天皇の葬儀殿が此處に移されて居る。此の庭園は園遊會場として利用される。

【隅田公園】本所區新小梅町及淺草區淺草河岸にあり、面積三九、六〇〇坪（一、三一〇アール）隅田川を利用する臨川公園で、隅田川の岸に沿ひ新小梅町から須崎町に至り、所謂向島堤を含み、言問橋に依て連結される對岸の淺草河岸をも含まれてゐるのである。新小梅町の舊水戸家徳川邸址は公園中の最も幅廣い部分で林泉の風致がよい。

【品川臺場】品川灣内にあり、嘉永年間徳川幕府の築造したもので、江川英龍の設計に成り、竣工したもの六つ、未成中止のもの二基ある。第三番（九、〇六〇坪）及第六番（五、八〇〇坪）の臺場は原型最もよく保有され、指定の史蹟地となつて居る。隅田川口から三軒半許り、夏期水上公園として公開されてゐる。遊覧船往復八〇錢。

動物園、植物園、博物館

上野恩賜公園動物園

省線電車上野驛下車、市電東照宮下車。上野公園方面からは表門、本郷及不忍池方面からの入場者は裏門から入る。入園料大人一五錢、小人一〇錢、五歳以下無料、團體は三〇人以上大人一〇錢、小人八錢、五〇人以上大人八錢、小人五錢、市内小學校及幼稚園生は無料。

開園時刻 一月一日至三月三十一日 午前八時カラ午後四時マデ
二月一日至三月三十一日 午前八時カラ午後四時マデ
四月一日至八月三十一日 午前八時カラ午後四時マデ
九月一日至十一月三十一日 午前八時カラ午後四時マデ
十二月一日至十二月三十一日 午前八時カラ午後四時マデ

入園時刻 自四月一日至同三〇日、午前六時カラ午後五時半迄
自五月一日至八月三十一日、午前七時カラ午後五時半迄
自九月及十月、午前八時カラ午後四時マデ
自十一月及十二月、午前八時カラ午後四時マデ

もと宮内省の所轄で帝室博物館に附屬してゐたが大正一三年一月東京市へ下賜されたもので、明治一五年創立、今日までに漸次完備し、諸種の哺乳類、鳥類、蟲類、兩棲類、魚類等を飼育して一般に觀覽せしめてゐる。總面積三三、〇〇〇平方米、飼育動物數二六五種、一二〇〇點（昭七、三月現在）。昭和七年三月東京市役所發行「動物園案内」（繪入）一部一五錢。

小石川植物園 市電指ヶ谷町停留所下車西へ約二〇〇米。一〇人以上の學生團體は一人に付三錢。遊覧入場者は別に五錢。

▲毎年一月一日休園。觀覽所要約二時間。
▲團體、外温室入場ハ土曜日、午後及日曜、祝祭日ニ限ル。

小石川白山御殿町にある。昔の白山御殿、館林侯綱吉の下屋敷であつたのが、享保六年江戸幕府が薬園と稱して設けたもので甘藷先生が始めて甘藷を試作した所である。今は東京帝國大學理學部附屬植物園となり、内外のあらゆる花卉を集め温室を備へて四時不絶の花を培養してゐる。又園内泉石の配置妙を極め、四季の眺めに富む。總面積四八、〇〇〇坪（一、六〇〇アール）

帝室博物館 省線電車上野驛又は鶯谷驛下車、市電上野東照宮下車。上野公園内。入館料大人一〇錢、小人五錢（六歳未満無料）。團體二〇人以上は一人に付大人五錢、小人三錢。目錄類東京帝室博物館案内一〇錢。

開館時刻 自一月一日至三月三十一日 午前九時カラ午後三時半マデ
自四月一日至五月三十一日 午前九時カラ午後四時半マデ
自六月一日至八月三十一日 午前九時カラ午後四時半マデ
自九月一日至十一月三十一日 午前九時カラ午後四時半マデ
自十二月一日至十二月三十一日 午前九時カラ午後三時半マデ

觀覽所要 約一時間

▲一二月二六日カラ翌年一月四日マデ休館

土地としては公園外であるが、上野公園の一部とも見るべき寛永寺舊本坊の跡に建てられたもので、正面の古風な純日本式の黒門は寛永寺中書院の正門であつたものである。博物館は明治五年二月博覽會事務局を正院中に於かれたのに始まり、八年博物館と改稱し、一五年現在の地に新築、一九年宮内省の管理に歸したもので、主として本邦、支那、印度等の東洋のものを蒐め、總數約四六萬に達し、歴史、美術、工藝等各部門の參考品を分類陳列されてゐたが、大正十二年の震災で本館を崩壊され、今は主として表慶館のみとなつてゐる。表慶館は明治三三年五月先帝陛下御成婚に際し、之を奉祝記念せんが爲、東京市民により建設獻納され、明治四二年五月開館したものである（二階建三九五坪）。

遊就館 市電九段坂上下車。靖國神社境内社殿の傍にあり。入館料大人一〇錢、一歳以下五錢、六歳以下無料

東京見物

一一一

開館時刻

自三月一六日至六月三〇日、午前八時カラ午後四時半マデ
自七月一一日至九月三〇日、午前八時カラ午後四時半マデ
自一〇月一一日至三月一五日、午前九時カラ午後四時半マデ
但シ天候其他ノ都合ニヨリ伸縮スルコトアリ

▲一二月二八日カラ三一日迄四日開休館
▲観覧券ハ開館時刻ノ三〇分前迄發賣ス。
▲観覧所要 約四〇分

先史時代から現代までの諸種の武器什具を各時代別に分類陳列して其沿革を知らしめ、軍事の参考に供する外明治天皇大正天皇の御遺物を始めとして明治以後に於ける各戦役の記念品及戦死者の遺物等約二萬點を陳列して一般の觀覽に供し國民精神の作興に努めてゐるものである。昭和六年十月新館落成し(延坪千八百余坪)其清楚にして典雅なる建築は森嚴なる靖國神社の神域に相應しく、帝都九段坂上の一偉觀である。

大倉集古館

赤坂區葵町三、市電西久保巴町又は虎ノ門、溜池下車、何れも約三〇〇米。
入館料無料。観覧所要約三〇分。

開館時刻

自四月至九月 午前九時—午後四時
自十月至三月 午前九時—午後三時

▲毎月曜、三大節及一二月二六日カラ一月五日迄休館

大正四年故大倉喜八郎氏が授爵記念として、其蒐集に係る美術を擧げて公開する事となり、大正六年開館されたが大正一二年震災に焼失し、再び同男爵の寄附により昭和三年一〇月開館したものである。支那風の建築で階上、階下に別れ、總面積約二五〇坪あり、主なるものは支那三國時代の優秀な石彫の獅子を首め、支那の墓誌石、塼(せん)瓦當(ぐわたく)、錢范(せんぱん)、西藏の金銅佛や、普賢菩薩の木像、鎌倉時代の詩繪の手箱などである。

遞信博物館

省線電車飯田橋驛下車、市電牛込見付下車、麴町區富士見町五ノ二三にあり。
入館料無料。観覧所要約一時間。

開館時刻

午前九時カラ午後三時マデ
但七月二一日カラ八月三一日迄ハ午前八時カラ正午迄トス

▲祭日及毎週月曜日、一二月二〇日
カラ翌一月一五日迄休館

演劇博物館

市電早稲田終點下車、または省線高田馬場驛下車、市外戸塚町早稲田大學内にあり。
入場料無料。

早稲田大學名譽教授坪内雄藏氏の業績を記念する爲、昭和三年に創建されたもので、面積五百坪(一セール)エリガベス

朝式と稱する建築様式で、主として沙翁時代の劇場のフオーチユン座の構造を模したものである。正面玄関は舞臺となり陳列品は芝居錦繪、劇場看板が主で参考圖書も多く蒐められてある。

東京科學博物館

下谷區上野公園内、兩大師前。入場料大人一〇錢、小人五錢。二〇人以上にして引卒者ある團體は一人に付五錢、尋常小學校兒童團體は無料。回数券二五回券一圓、五〇回券一圓七五錢、一〇〇回券二圓半。▲但切符は開館時限三〇分前迄發賣ス。

開館時刻

自三月一六日 至 六月三〇日 午前九時カラ午後五時半迄
自七月一一日 至 九月三〇日 午前九時カラ午後五時半迄
自一〇月一一日 至 三月一五日 午前九時カラ午後四時半迄

▲一二月二九日カラ正月三日マデ閉館ス
及當分毎月第一、第三月曜臨時休館

文部大臣監督の下に經營してゐるもので、大正一四年三月東京帝室博物館から天産部陳列品全部を譲渡されたので、之を中心として本郷湯島二丁目に自然科學に關する各種の參考資料を蒐集陳列し、又隨時各種の展覽會を催して社會教育に盡して居たものであるが、その後建物の狹隘を感じ、上野公園竹之臺の學士院隣地に新築されたものである。陳列品は動物學部、植物學部、礦物學部、理工學部の四大部門に分たれ、何れも有益なる參考資料が多數蒐集されてある。

鐵道博物館

省線東京驛下車又は市電丸の内下車。大手町、省線高架線アーチ下にあり。
入場無料。毎日午前九時から午後四時迄。毎土曜日午後活動寫眞あり。

鐵道知識普及のため、鐵道省が鐵道の諸設備及車輛の實物、模形及圖表類を陳列公開してゐるものである。

劇場及活動常設館

(昭和七年四月現在)

歌舞伎座

市電三原橋下車、京橋區木挽町三丁目にあり。現今の建物は、大正一四年の竣工で、鐵骨鐵筋コンクリート構造による日本宮殿風の典雅なものである。四階建て地下室があり、總建坪四、三〇〇坪餘、二、五〇〇人を收容する事が出来る。

東京劇場

市電同上、歌舞伎座と川を隔てず向に當り築地三丁目市電日比谷公園前または省電有樂町驛下車。麴町區丸

帝國劇場

市電日比谷公園前または省電有樂町驛下車。麴町區丸

新橋演舞場

市電新橋下車、京橋區木挽町十丁目にあり。現代趣味を表はした鐵筋三階造りで、總建坪二、〇七〇坪、一、五〇〇人を收容する。

公園劇場

市電田原町下車。淺草

區第六區にある。【昭和座】同上。【高砂座】市電高橋下車。深川區東元町にある。【市村座】下谷區(昭和七年五月下旬焼失、目下再建計畫中)【邦樂座】麩町區(有樂町)【新富座】京橋區新富町。【芝園館】芝區芝園。【南明座】神田區表神保町。【葵館】赤坂區溜池。【新宿松竹座】四谷區新宿【帝都座】新宿三丁目【みやこ座】下谷區上野。【大勝館】松竹座。【東京館】觀音劇場。【松竹館】電氣館。【帝國館】富士館。【日本館】東京俱樂部。以上淺草第六區。【日活館】麻布、神田其他。【武藏野館】市外新宿。【新宿松竹館】同上。【本郷座】牛込館。其他

百貨店

三越(日本橋區駿河町。市電三越前下車又は東京驛降車口前から無料送迎自動車が出る。享保三年三井氏の祖三井利定が呉服商を開業したのに始まり世々越後屋と稱した地下室とも八階あり延面積八、九一二坪あり目下また隣接地に増築中である。銀座三丁目及新宿に分店がある。本店及新宿分店一階内にジャパン・ツリスト・ビエローの案内所がある)。松屋(京橋區銀座三丁目及び淺草雷門の東武鐵道雷門驛樓上にある。東京驛乗車口九ビル前及新橋驛前から銀座本店迄無料送迎自動車が出る。銀座本店一階内にはジャパン・ツリスト・ビエローの案内所がある)。上野松坂屋(下谷區上野廣小路。省電御徒町驛又は市電上野廣小路下車。上野及萬世橋から無料送迎自動車が行く。本館八千餘坪の地階とも九階、近世復興式建築物である。一階内にジャパン・ツリスト・ビエローの案内所がある。銀座六丁目に銀座松坂屋があり、東京驛乗車口及新橋、有樂町驛前から無料送迎自動車が行く。高島屋(京橋區南傳馬町、日本橋通りにあり、東京驛八重洲口から無料送迎自動車が行く)。白木屋(日本橋區通町。市電日本橋下車、東京驛降車口前から無料送迎自動車が行く。一階内にジャパン・ツリスト・ビエローの案内所がある)。ほてい屋(四谷區新宿)。美松(日比谷交差點際)。丸菱(東京驛前九ビル二階)。

其他

【東京驛】駒町區九の内にあり、大正三年竣工したルネッサンス式鐵骨煉瓦及石材造の間口三三四米、奥行二〇米乃至四二米、階下中央に帝室御用御車寄及御待合所、南翼に乘車口、北翼に降車口あり、その北隅にジャパン・ツリスト・ビエロー本部があり、階上には東京鐵道局及東京ステーションホテルがある。
 【日本銀行】市電日本銀行前下車。日本橋區本兩替町にあり、江戸時代に後藤光次が金吹をした金座址の地である。日本の中央金庫で、米國ワシントンの中央金庫に倣つて建てられた花崗石造三階建てである。
 【日本橋】市内目貫の日本橋通りにあり、慶長八年の創架で、翌年この橋詰が國內里程の元標と定められた。現今のものは明治四四年の架替である。
 【高輪大木戸址】市電田町九丁目停留所の南、車町河岸に寄つた通路の傍にある。もと大規模の木戸があり、東海道々々の客は此處で旅装を改め、送迎のものも多く此處を限りとしたと云ふ。今史蹟地として指定され、長方形の石疊が遺つてゐる。

被服廠跡

【五番町櫻並木】市電五番町下車。英國大使館にあり、明治二四、五年に當時の英國公使が植樹したもので、今は市内の名所の一となつてゐる。
 【切支丹屋敷址】市電竹早町停留場の西方、茗荷谷町にある。江戸時代初期に基督教の牧師及信徒を拘禁した所である。
 【ニコライ會堂】省線電車御茶ノ水驛下車、神田駿河臺にあり。日本ハリストス正教會本會の會堂で、ハリストス復活聖堂が其の本稱であるが、大教司ニコライの創建になるので此の名がある。明治二四年竣工、ビザンチン様式の煉瓦造で本堂、地盤から頂上まで一一四尺、鐘樓(二二五尺)の二字に分れ、古式によるギリシャ式十字形をなしてゐる。
 【東京帝國大學】市電大學正門前下車。本郷區本富士前町にあり、面積約一一〇、〇〇〇坪、もと加賀藩主前田家の邸であつた處で、今にその門が保存され大學赤門で知られて居る。農學部市外目黒町にあり)以外の各學部がある。
 【國技館】市電國技館前下車。兩國橋の東詰に近き松坂町にあり。此地は舊幕時代からの相撲場で、今の建物は、大正八年一五〇萬圓を費して竣工したもので、建坪四、〇〇〇坪、高さ一三五尺、一六、〇〇〇人の觀客を收容する事が出来る。毎年此處で行はれる一月の春場所及五月の夏場所は好角者を熱狂させ、七八月には納涼會、一〇、一十一月には菊花大會が催される。
 【被服廠跡】市電石原町下車。本所區横網町にある。舊陸軍被服廠の地で、去る大震災の時約六萬の生靈が悲惨にも此所で惨死した所である。此の惨ましい死を招いた人々の靈を弔ひ、震災を永遠に記念するため數十萬人の協金に依り百萬圓の資金を以て建設された「震災記念堂」がある。記念堂の中には六萬人の遺骨と其人々の銘々簿とが本體として安置されてゐる。又堂内には大震災を物語る種々の油繪や、當時の慘禍を偲ばしむる記念物が保存され、此處を訪ふ人はまご／＼と眼のあたりあの大震災の悲しい叫びが蘇つて來るであらう。
 地は元大震災前までは横網町公園となる事となり、着々準備中であつたが、震災後其計畫をかへて記念堂を建設したもので、このあたりは稀な鬱蒼たる樹林地で、日本風な庭園に造られてゐる。

繁華區

【繁華區】京橋の銀座通り、日本橋の大通り、神田小川町通り、人形町通り(水天宮前から小傳馬町への大通り)などの目貫の大通りで、淺草雷門前、上野の廣小路なども賑賑を極め、牛込神樂坂、新宿、澁谷道元坂等も震災後殊の外賑はつてゐる。銀を吹き貨幣を鑄造したのに起源して居る。今松銀座通りとは新橋から京橋まで延長約八百米許の街路で、慶長七年駿府から今の二丁目の所に銀座を移し、銀を吹き貨幣を鑄造したのに起源して居る。今松屋三越支店、松坂屋等の百貨店や、眼部、天賞堂、明治屋、伊東文房具店、鳩居堂、十字屋樂器店等の大商店軒を連ね、市内目貫の地になつて居る。

東京近郊遊覽案内

京濱沿線

森ヶ崎鑛泉

京濱電車梅屋敷驛から約二軒、自動車乗合一〇錢。電車賃高輪梅屋敷間片道一四錢。

波靜かな東海に臨み、都塵を避けて半日の清遊を試みるに手近ではあるが、今は都人士、遊士の享樂地と化してゐる。泉質はアルカリ性鹽類泉で赤褐色を帯び、浴用加熱。胃腸病、センソク、リウマチス、神経痛、婦人病、皮膚病に效がある。

- ▲旅館……大金(電話大森四四四番、室數二二)、盛平館(電四三三番、室數二四)、勇館(電四二〇番、室一三)、平盛館(電六二四、室一七)、榮樂(電一一三、室一五)、萬金(電一一五、室二〇)、富士川(電一二七、室一五)、あら井館(電二〇六二、室一三)、大和(電九一、室八)、豐家(電九七、室七)、光遊館(電二〇二九、室一五)、平和亭(電二二四八)、壽々元(電四二七、室九)、ふき家(電一九四九、室八)、松翠館(電六七二、室七)。以上宿泊料二圓半、三圓、三圓半。晝食一圓。團體規定ナシ。

羽田

京濱電車穴守終點(高輪から直通電車運轉)電車賃高輪から片道二八錢。

豐宇氣比賣命を祀る稻荷神社がある、穴守神社とも云ふ。四時參詣者多く午の日は殊に賑はふ。祠を去る五〇米許りの海濱は風光よく、海遠淺で潮干狩及び海水浴に適す。附近に東京飛行場及び京濱電鐵羽田グラウンドがある。

- ▲旅館……元鈴木(電羽田六、室八)、新川(電同三三、室一〇)、長谷川(電一五五、室九)、小ひら(電三七、室一二)、要館(電二〇、室六)、梅月(電二四、室七)、松の家、海老金、壽々喜屋(電二)、其他數軒、一泊二圓、三圓。晝食一圓。

川崎大師

省電川崎驛から東へ約三軒半、自動車乗合一〇錢、一五分、二〇分毎に運轉。東京川崎間二五錢、横濱川崎間一八錢。京濱電車京濱川崎で大師線に乘換へ川崎大師驛下車。夫から二〇〇米。電車賃高輪から片道三一錢。金剛山平間寺と號し、眞言宗新義派の本山である。弘法大師の像を安置し、厄除大師と稱し、靈驗の故を以て參詣者常

に絶えず。毎月二〇日、二一日を緣日とし、一月二一日の初大師及び三月二一日の御影供修行の緣日には殊に參詣者が多い。近時境内を公園とし四時賽者の遊覽に供して居る。

- ▲旅館……洗心樓(電話川崎一二二、室一〇)、一泊二圓乃至五圓。

總持寺

省線電車鶴見驛から西南へ約三三〇米。東京から三等片道三〇錢。京濱電車高輪—總持寺驛間片道三一錢。

境内廣く(二〇餘萬坪)丘陵勝景の地を占め、靜寂なる淨區をなしてゐる。もと元亨元年道元禪師(常濟大師)の開山で、能登國に建立され、越前の永平寺と並び稱せられた禪門の道場であつたが、明治年間現地に移され、曹洞宗總持寺派大本山として全國に知られて居る名刹で、堂塔伽藍輪奐の結構目を駭かすものがある。

花月園

省線鶴見驛から約六〇〇米、總持寺境内に隣接す。東京—鶴見間電車三五分、片道三〇錢。京濱電車花月園前驛から三〇〇米。高輪—花月園前電車片道三一錢。

自然の眺望地勢の起伏を利用して造られた約五萬坪の遊園地で園内には演藝場、運動具等整つてゐる。入園料大人三九錢(京濱電鐵線旅客は二五錢)、小人二〇錢(同一三錢)。

横濱市

市は帝都の南凡そ三〇軒、東京灣に臨み、帝都の關門をなし、關東平野の後地を控へ、東方海波を距て、遙か兩米の前地と對する我國第一の貿易市場である。安政六年の開港以來急激に發展して我國有數の都市となり、貿易額も共に増し、實に本邦の貿易額の約半數は本港により行はれ、昭和四年中に於ける輸出額七億八千二百萬圓(其主なるは生絲の五億七千萬圓を筆頭に盤纏詰、羽二重、縮緬、富士絹、精糖、小麦粉、ボンジー、層絲、玩具、百合根、電燈球等)輸入額五億八千二百萬圓(砂糖、小麦、原油及重油、米及粗、大豆、石油、煙草、生ゴム、牛脂、牛皮等)に及ぶ盛況を呈して居る。港域は本牧の十二天鼻と鶴見川口とに限られ、内に防波堤を築き、岸壁、棧橋、倉庫、船渠の設備よく整ひ、鐵道も東海道線横濱驛を始め京濱、湘南、東京横濱等の電車があり、海陸共に交通の要衝に當つて居る。大正一二年の震災には全市を破壊し去つたが其後鋭意復興に努め、昭和二年には隣接町村を合併して擴張を行つたので、一三三三平方軒八七一の大横濱市を實現し、今人口六二〇、

三〇六(昭和五、一〇調)を有し、全國第六位の大都市である。(居留外人五、五二三人)

市は安政六年六月二日(紀元二五一九年七月一日)通商條約(神奈川條約)により互市場と定められた當時には、戸數僅かに八〇戸の邊鄙な一漁村であつたが、爾來交易の殷盛に伴ひ内外人の來往するもの多く、遂に今日の盛況を見るに至つた。明治二二年四月初めて市制が施かれ、同三一年第一回擴張、同四四年四月第二回擴張を行ひ、更に昭和二年四月隣接九ヶ町村(鶴見、程ヶ谷、城郷、大綱、日下、旭、屏風浦、大岡川、西谷)を合併し五區制を施行し、工業も盛で(紡績、造船、電氣器具、製油等)重要建物(縣廳、横濱正金銀行、税關、生絲検査場、各國領事館、貿易協會、ホテルニューグランド等)も多く、左の遊覽地などがある。

【野毛山公園】 震災後、富豪龜善と野澤屋の庭園を改築して公園としたもので、市街と港を一日に鳥瞰した爽快な展望と林泉幽邃の趣とを備へた所である。【掃部山公園】 幕末外交の衝に當り、横濱開港に努めた井伊直弼の銅像があり、櫻の名所となつて居る。【伊勢山大神宮】 野毛町伊勢山の丘上にある縣社で、全市の氏神である。【伊勢佐木町】 所謂濱の銀座で、野澤屋、相模屋、松坂屋、越前屋等の百貨店、喜樂座、オデオン座其他シネマ劇場等があり所謂伊勢プラに賑はつて居る。【弘明寺觀音】 弘明寺町の丘上にあり市電及湘南電車の便がある。聖武帝の御宇、行基菩薩の開基と云はるる古刹で本尊十一面觀音立像は國寶となつて居る。【根岸競馬場】 市電山本町停留場の南七、八百米の地にあり、日本レース俱樂部に屬して居る。【本牧海水浴場】 【磯子海水浴場】 等。

【横濱市ノ旅館】 ……ホテル・ニュー・グランド(純洋式、電話横濱二ノ〇六七)番、一人室五圓以上、二人室八圓以上、風呂付一圓以上。ブラツフ・ホテル(食事付七圓以上)。セント・ホテル(山下町六六、電本局三二四六番、一人室三圓以上、二人室五圓以上、風呂付五圓、二人室八圓食事朝八〇錢、晝一圓、夕二圓)。松坂屋(萬國橋際)、其他。

杉田の梅林

横濱驛の南方約一二軒、横濱驛前から市内電車で杉田迄約五〇分(磯子乗換)電車賃片道七錢、自動車三〇分、片道一〇錢。湘南電車杉田驛から南へ三〇〇米、横濱一杉田間一八分、二五錢、逗子一杉田間三〇錢。

杉田は海に面し、觀音崎、富津の兩岬左右に突出し東に鹿野山を望む。妙法寺背後の丘上或は村外れの青砥山(市電終點から三〇〇米、青砥藤綱の葉及邸址がある)から望めば一村皆白雲世界。附近妙法寺(市電終點から二〇〇米)境内には關東隨一の稱ある名木珠簾梅、照水梅、翁梅、斜窓梅、曉雲梅等の名木がある。見頃は二月中旬。寺背の丘を越えれば約六軒で金澤に出る。

金澤八景

横濱から湘南電車で二七分、片道三五錢。横濱市電終點杉田から約八軒、自動車二〇分、乗合片道三〇錢。湘南電車逗子驛から一〇錢、七分。

横濱市と横須賀市との間に通ずる國道に沿ふてある村で海軍飛行場のある追濱の北に隣合つてゐる。地は鎌倉時代に設けられた「金澤文庫」の史蹟地として名高く又、金澤八景、能見堂の勝地があつたが今は昔の面影はない。

【金澤八景】 ……洲崎晴嵐、瀨戸秋月、小泉夜雨、乙艦歸帆、稱名晚鐘、平瀉落雁、内川暮雪、野島夕照が所謂それで、渡來の明僧心越禪師が能見堂附近の勝景を眺め、想を故國西湖の瀟湘八景に馳せて選定したものと云ふ。▲九覽亭 ……六浦莊街道と田浦横須賀街道の岐れ路から一寸坂を上つた右手の海岸、金龍院の地内にある。入場料三錢。海上の眺望よく金澤八景の一覽臺を爲してゐる。▲稱名寺 ……九覽亭から約一軒半、逗子から來る乗合自動車の終點金澤町字町屋で二又道を左へ數百米入る(右は横濱街道)海岸近く、後に丘陵を登りた勝景の地にある。金澤山彌勒院と稱し文永六年(紀元一二六九年)北條氏の一族金澤實時の本願によりその子顯時が密海上人を開山とし、龜山天皇の時救願寺となつたもので、奈良西大寺の末寺である。今内務省の史蹟地に指定され彌勒菩薩坐像、十一面觀音立像、釋迦如來立像等の國寶を藏してゐる。▲金澤文庫 ……もと稱名寺にあつたもので同じく實時の創立である。其の當時は三字の文庫が並立し書籍や文化の最高保有所であつた。後衰頽甚だしかつたのを上杉實憲が再興し、其後書籍の大部分は徳川家康が江戸城内の紅葉山文庫に運び去つたと云ひ今は礎さへ不明で唯地名に文庫ヶ谷となつて残り、少數の古文書が寶物殿内に保存せられてゐる。▲能見堂 ……稱名寺から西北へ六、七丁、日下村に入る坂路の上にある。今の堂は寛文年間芝の増上寺の地藏院を移したものである。堂前に巨勢金岡が能見堂から見た八景を描かうとしたが我筆及はずと云つて筆を捨てたとか云ふ筆捨山がある。

【金澤町の旅館】 ……東屋(電金澤二四、室七、一泊三、四、五圓、晝一圓以上。金澤八景驛から一〇〇米)、千代本樓(割烹旅館で辨天社附近にある、電同二〇、室九、一泊同上、晝一〇〇米)、金澤園(電同六三、室一七、一泊同上、柴海岸にあり金澤文庫驛から七〇〇米)、浮月(電同五八、室六、貸室制にて一人一室二圓、二人一室三圓、同上驛から六〇〇米)

日本航空輸送會社遊覽飛行

東京羽田飛行場で毎月第一日曜日、其他年一〇日間(二月穴守稻荷初午の日、一日三月春季皇靈祭一日、四月大潮の日一日、及花見時一日七月、八月、一〇月、十一月の各第三日曜日、及び團體日として二日)午前九時から午後四時迄數回左記のコースに依り遊覽飛行を行つてゐる。(但し乗客多數の場合は、午後二時以後の來場者は當日の搭乗困難の場合があるから、午前中飛行希望の方は可成午前九時から一〇時迄、午後

の希望の方は午後一時から二時迄に飛行場前に集まるべきである。

一、羽田—芝浦—永代—田端—池袋—淀橋—中目黒—羽田。

飛行々程約六〇分、所要約二〇分間、料金一人一〇圓。

二、羽田—永代—御臺場—羽田。

飛行々程約二〇分、所要約一〇分間、料金一人五圓。

▲羽田飛行場にゆくには京濱電車高輪驛から飛行場の自動車電車連絡券を求め、京濱蒲田驛で自動車に乗換えれば飛行場迄ゆく。連絡料金片道二九圓。京濱蒲田から飛行場迄は自動車片道一五圓。京濱電車穴守線稻荷橋驛からは飛行場迄徒歩七、八分を要する。

▲右遊覧飛行券は東京驛及三越、白木屋、松屋、松坂屋内のツーリスト・ビュローでも前賣をなしてゐる。尚東京—大阪—福岡—京城—大連各區間の飛行券も同所で發賣してゐる。

池上電車沿線

本門寺

池上驛から約半軒。省線蒲田驛—池上驛間電車四分、片道五錢。

省線電車京濱線大森驛から西南二軒七、池上電鐵會社乗合自動車にて約一〇分、片道一〇錢。頻繁に運轉してゐる。

長榮山と號し、日蓮宗四大本山の隨一として、普く人口に膾炙し、文永年間池上の郷士右衛門太夫宗仲が日蓮に歸依してこれを創建したと傳へ、日蓮上人開基の古刹で、關東屈指の靈場、弘安五年一〇月一二日上人入滅の靈地である。寺域六七、六〇〇坪、樹木鬱蒼たる丘陵、幽邃閑雅の佳境を占め、釋迦堂、清正堂、題目堂、祖師堂、五重塔、仁王門等伽藍宏壯を極む。境内に宗仲夫妻の墓を初め狩野探幽の墓、徳川家、前田家、松平、上杉、細川諸侯の廟や、星亨、加藤清正の銅像などがある。一〇月一二日は日蓮上人が宗仲の邸で入滅した日で、其の日は御會式があり遠近の善男善女雲集して境内立錫の餘地がなくなる。

洗足池

洗足池驛前。省線蒲田驛から電車約一五分、片道一五錢。省電山の手線五反田驛から約一〇分、片道一〇錢。

馬込町千束にあり、南北約一二〇米、東西約三〇〇米許り、三方丘陵に圍まれ碧潭の清水を湛ふる近郊稀に見る幽邃の地で、内務大臣指定の東京郊外四風致區の一つで、湖上には舟遊の便がある（貸ボート一時間二人乗二五錢、三人乗三〇錢、四人乗四〇錢、湖畔三周一〇錢。和舟一時間六〇錢。但日曜祭日には何れも倍額）。池畔に日蓮袈裟掛松、清明文庫、南洲翁記念碑、勝海舟の墓及び立正大師の銅像がある。

目黒蒲田電車・東京横濱電車沿線

目黒蒲田電車不動前驛から西へ五五〇米。省線目黒驛不動前間電車片道五錢。

目黒不動尊

目黒蒲田電車不動前驛から西へ五五〇米。省線目黒驛不動前間電車片道五錢。瀧泉寺と號し天台宗に屬す。大同年間慈覺大師の草創にかゝり大師自作の不動明王を安置し、本堂、仁王門等の堂宇は寛永一一年徳川家光の造營したものと云ふ。境内に獨鈷の瀧、甘藷先生青木昆陽の墓がある。又門前から右折する數十歩の所に白井權八、小紫の比翼塚がある。

矢口の渡・新田神社

目黒蒲田電車武蔵新田驛から二〇〇米。省線蒲田驛から電車賃五錢。矢口村にあり「神靈矢口渡」で有名な場所、新田義興が正平七年足利基氏の計に陥り、遂に舟中に割腹せる所。附近に義興を祠る新田神社（府社）、正平一三年の創建）從臣を祀る十騎社及頼兵衛地藏がある。

原村の梅

目黒蒲田電車武蔵新田驛から西南へ五五〇米。電車賃蒲田から五錢。目黒から二〇錢。花期は二月下旬頃。立春梅と稱する名木を始め數百株の老樹がある。此處から新田神社に詣て「神靈矢口渡」で有名な

矢口の渡

矢口の渡に出れば六郷堤上の眺めも亦捨て難い趣がある。

九品佛

目黒蒲田電車九品佛驛から約半軒。省線目黒驛から電車片道一四錢（大岡山驛乗換）澁谷から一五錢、大井から一五錢、荏原郡玉川村奥澤にある。珂磧上人の開基になる奥澤淨眞寺にあり、上人自作の金色丈六の阿彌陀佛が三體づ、三字の堂に納り其の堂は上品堂、

中品堂、下品堂の名を附し總じて九品堂と云ふ。毎年五月七、八、九日に千部會、十一月一三、四、五日には千夜法要がある。
多摩川園 多摩川園前。省線蒲田から一三錢。目黒から一六錢。澁谷から一八錢。

目黒蒲田電鐵會社經營の遊園地で、園内には大浴場(無料)及諸種の運動機關(一回一〇錢宛)がある。入園料三〇錢、前九時から後四時半迄、七、八月中は夜間九時まで。

網島温泉 東京横濱電車網島温泉駅から半軒以内。電車賃省線目黒から二七錢、澁谷から二八錢、横濱から一八錢。
横濱市神奈川區南網島。電鐵會社直營の大浴場がありラザウム含有の浴用加熱泉で胃腸病、リウマチス、痔疾、神經痛、婦人冷性に效があると云ふ。附近に料理兼業の温泉旅館があり、遊樂的氣分に富んで居る。

▲旅館……琵琶園(電網島一、室一三)、入船亭(電同五二、室二二)、永命館(電同二〇、室二二)、桃仙閣(電同三、室一八)、桃花園(電同九、室一三)、加納屋(電同五、室一六)以上一泊二圓半乃至五圓、家族風呂浴場等完備、網島ホテル(電同六七、室六、洋室三アリ)、梅島館(電同四、室六)、河泉(電同二五、室六)以上一泊三圓均一)

玉川電車・小田原急行電鐵・南部鐵道沿線

松陰神社 玉川電車松陰神社停留所の北一五〇米。澁谷―松陰神社前電車片道一〇錢。
小田原急行世田ヶ谷中原停留所の南一軒。新橋から電車片道一〇錢。

荏原郡世田ヶ谷町若林にあり、明治一五年官の許しを得て毛利公の建立せしもの、吉田寅次郎を祀る。社の背後に幕末の志士―頼三樹三郎、小林民部少輔、來原良藏、福原乙之進、綿貫次郎助等の墓がある。

松陰は憂國の志深く、安政元年米艦渡來の折、海外の事情を探らんとして密航を企て、果さず、遂に獄に投ぜられ同六年小塚原に斬首され、兩國回向院に葬られたのである。のち此地に改葬され、維新後正四位を贈られた。昭和七年二月二日府社に昇格。

豪徳寺 玉川電車豪徳寺前停留所の東北一五〇米。澁谷―豪徳寺前二〇分、片道一三錢。
小田原急行電車豪徳寺前駅から東北一六〇〇米。電車賃新橋から一三錢。

世田ヶ谷町元宿にあり、文明年間の創設にかゝる曹洞宗の古刹。參拜修道の道場として名聲今尚ほ四海に知らる。井伊家の菩提寺で境内に幕末の大老伊井直弼の墓がある。

玉電第一遊園地 遊園地停留所から西北へ三三〇米。澁谷―遊園地前間三〇分、片道一六錢。
玉川電車會社經營、多摩の清流に沈む丘陵形勝の地に自然の地形を利用して遊園地に造りたるもの。京都の清水舞臺に模した朱塗の玉川閣は綠樹の間に隠見して風致を添えてゐる。

久地の梅 玉川電車 砧終點から砧の渡を渡り夫から半軒餘。又は同線高津から一軒餘、觀梅期には乗合自動車が行く。電車片道一九錢。
南部鐵道久地梅林駅から半軒。川崎―久地梅林間電車三〇分、片道三三錢。

川邊氏の庭内にあるもので梅林の樹數四百餘。其の多くは元祿年間の植培した古木で關東一の稱がある。花は二月下旬から三月上旬へかけてが見頃である。

津田山遊園 玉川電車 溝ノ口終點から北へ三三〇米。澁谷―溝ノ口間約四〇分、片道一九錢。
南部鐵道溝ノ口駅から北へ三三〇米。川崎―溝ノ口間約三〇分、片道二八錢。

禪刹圓福寺背後の丘陵天然の勝景地を下して遊園地と爲したとし、目下諸設備工程中なるも二子橋から久地の梅林、多摩の清流を俯瞰する眺望が佳い。

中央線・京王電車沿線

井ノ頭恩賜公園 中央線吉祥寺駅の南半軒餘。東京―吉祥寺間電車約四七分、片道二九錢。
京王電車 鳥山停留所の北三軒餘。新宿―鳥山片道一六錢。

舊帝室御料林であつたのを大正三年市の公園として下賜され同六年五月開園したものである。面積七二、七三六坪餘。正面より西に當る臺地を御殿山と稱し、東は一段低い地で其處に井ノ頭池がある。池は徳川時代の神田上水の水源地で水清く、境幽に、池を繞つて自然景林が茂つてゐる。中島に辨天祠あり公園の趣を爲し、又、東端水門の近くに廣場があつて兒童用庭園的徒渉池と水泳場などがある。

百草園 京王電車百草停留所の西二〇米。新宿百草間電車賃片道四八錢。

慈覺山松蓮寺と云ふ禪刹の跡で、標高一四〇米餘の一堆の高丘を遊覽地と爲したるもの。市郊外屈指の展望臺で、眼下には多摩の清流の蜿蜒たるを俯瞰し、遠く秩父の連山を眺め、又、茫漠たる武藏野の壯觀を一眸の裡に收むる事が出来る。園内の八幡神社に國寶の銅製阿彌陀座像がある。

十二社權現 京王電車神宮裏停留所の北三三〇米。新宿―神宮裏片道四錢。

江戸時代からの名社で境内幽邃、殊に夏期納涼の勝地として聞ゆ。祭神は伊弉册命、速玉男、事解男、若一王子、忍穗耳尊、瓊々杵尊、彥火出々見尊、鵜鷲葺不合尊、軻遇突智尊、植山姫命、岡象女命、雅産靈神の十二神を合祀す。

深大寺 京王電車柴崎から西北一軒半。新宿―柴崎電車片道二四錢。

神代村深大寺にある。天平五年(約一千五百年前)創建にかゝる天台宗の古刹で、浮岳山と號す。寺内の金銅釋尊像は國寶に指定されて居り、福満童子の戀の傳説のある五大尊泄や、深大寺城の舊蹟がある。又、近時境内大いに開拓されて夏期プール、林間學校等が設けられる。

東京天文臺 省線電車武藏境驛の南四〇〇米、京王電車上石原停留所の北二〇〇米。三鷹村大澤、東經一三九度三二分二九秒、北緯三五度四〇分二一秒、海拔五七米の所にある。

大正一三年東京麻布から移つたもので、敷地面積三〇萬平方米、子午環室、第一赤道儀室、天體寫眞儀室、卯酉儀室、經緯儀室、子午儀室、太陽寫眞儀室、聯合子午儀室等天文の設備が總て整つてある。

大國魂神社 京王電車府中停留所の南三三〇米。新宿―府中電車片道三六錢。中央線國分寺驛の南約三軒餘、乗合自動車がある。片道二一錢、一〇分。

大國魂神を祀る官幣小社で、景行天皇の四一年五月五日、神託によつて鎮祭したのが草創である。府中は、もと阪東の強國武藏の首都であつて、それに奥羽、兩毛方面から鎌倉に至る道に沿ふた樞要の地で、當社はその總社であつた。大祭は五月五日で、當日は三多摩の各方面から集まる參詣者で、附近稀に見る雑踏である。社前の名高い巨櫨の並木は前九年の役の時鎮義が植ゑ、慶長の頃徳川家康が植ゑつゝいふものと云ふ。樹齡六〇本、幹周三米乃至六米あり指定の記念物である。

國分寺跡 中央線國分寺驛から西南二軒餘。東京―國分寺電車片道四三錢。大國魂神社から二軒半許り。

國分寺村國分寺にあり、天平九年聖武天皇の詔勅により國家の安寧を祈り國民の教化を目的として、國毎に建てられた金光明寺の一つで、寺跡は今指定の史蹟である。古は其の伽藍のみ十丁四方に互つたと云ふ巨刹であつたが、元弘年間新田、北條の戦ひで全部烏有に歸し、今は僅かに藥師堂(鎌倉時代の作である國寶木像藥師如來座像を安置す)と運慶作の仁王像を残すのみである。

小金井の櫻 中央線武藏小金井又は武藏境驛から約一軒餘。東京―小金井間電車五七分、片道三九錢。西武電鐵花小金井停留所から半軒餘。高田馬場―花小金井間片道三四錢。

櫻樹は元文の頃武藏野新田の世話役川崎平右衛門が日本の各地方から山櫻の優良種を集めて移植したもので(その後補植されたものもある)樹齡百年乃至二百年に及ぶものがあり内務省指定の名勝地となつてゐる。(昭和五年四月調、千八百五十株。新小金井は千百株)就中日の出櫻、入日の櫻、三吉野櫻、小町櫻など特に名木と稱され、多摩川上水を挾んで八軒餘も續き、小金井橋畔から上流下流を見渡した眺が一番よい。

多摩御陵 本旅程第一四項参照

高尾山 本旅程第一四項参照

多摩川原園と京王閣 京王電車多摩川原停留所の南一〇〇米。新宿から電車四〇分、片道二八錢。京王閣入園料大人三〇錢、小人一五錢。午前十時から午後五時乃至十時まで。

京王電車會社經營の温泉遊園地。各種運動機關、浴場、大食堂、貸船、演藝場等があり、一日の清遊に好適の場所である。

西武鐵道・武藏野鐵道沿線

哲學堂 西武鐵道新井薬師前驛から北へ三三〇米、俵貫四〇錢。高田馬場―新井薬師片道七錢。

和田義盛の遺蹟、和田山の地を卜して故井上圓了博士が創建せるもの。圖書館、博物館(入場無料)があり妙正寺川に臨む風光の地を占め、又附近に法政グラウンド、新井薬師などがある。

新井薬師

同上驛から南約三〇〇米餘。

新義真言宗松高山梅照院と號し、本尊薬師如来は俗に子育薬師として知られ、毎年一、五、九月の八日、一二日は縁日として参詣者殊に賑はふ。境内に府内八ヶ所の第七一番の大師堂あり、その後方は遊園地となつてゐる。

善福寺池

西武鐵道上石神井驛から南七〇〇米餘、または省線吉祥寺驛の北一軒餘。

内務大臣指定の東京近郊風致保存區の一つで、上井草の西部、青梅街道の南にあり、遅野井川の水源地で、四圍小丘連互し、池邊蘆葦繁茂し、清泉滾々として湧き、中島に辨天祠などありて風致に富で居る。善福寺は往時可福寺と並び稱されたが今は廢墟となつてゐる。

三寶寺及三寶寺池

西武鐵道上石神井から北へ一軒。高田馬場―上石神井電車片道二一錢。武蔵野鐵道石神井から七七〇米。池袋―石神井電車片道二〇錢。

寺は新義真言宗で應永元年(後小松帝の御代紀元二、〇五四年)に法印權大僧都幸奠の創建にかゝり、後奈良帝、正親町帝の勅願所で、徳川時代には寺領御朱印石を附せられ當時は百以上の末寺を有した名刹である。龜頂山密乘院と號す。

池は寺の附近にあり清水滾々として碧潭を湛へ池畔の丘上には老松茂り實に涼味豊かな閑境である。池中には辨天祠があり、又附近には石神井城址、府經營の大プールなどがある。

村山貯水池

西武鐵道村山貯水池前終點から下堰堤迄三三〇米許り、高田馬場から片道五一錢、所要四〇分(二六軒八分)多摩湖鐵道(中央線國分寺驛から分岐)村山貯水池驛下車、下堰堤迄半軒、新宿から五五分片道五四錢。または武蔵野鐵道村山公園驛から上堰堤迄半軒、池袋―村山公園間五九分(三二軒一)片道六〇錢。

北多摩郡大和村草窪地及清水地先(通稱村山)に造られた大東京の上水道の貯水池で、大正一五年三月、九年九ヶ月の日子と經費八百萬圓を投じ、自然の地形を利用して上下の二大池を設けたもので東洋第一と云はれ近時その北方山口谷に

も更に廣大なる貯水池の計畫がある。満水面の長さ一里(四軒)、周圍三里(一二軒)、百十萬坪(一萬四千アール)、上池一億四千萬立方尺(三六一萬立方米)、下池五億一千萬立方尺(二千三六萬立方米)の貯水量が、三百萬市民に三ヶ月間給水する事が出来る。と云ふ。池畔は山脈に圍まれ松柏雜樹鬱蒼として茂り、山容又千姿萬態、紺碧の淨水を湛え、所謂山紫水明の勝地で都人士清遊の絶好地である。附近一帯は元弘三年新田義貞が北條軍と大合戦をした久米川古戰場として知られてゐる。貯水池内には市有巡邏船の他絶對に入船を禁じて居る。池畔に二間幅の砂利道があり、ドライブに適して居る。(下貯水池一周約二〇分。賃二圓)下堰堤附近に和洋兩式の村山ホテルがある。

所澤飛行場

西武鐵道所澤驛から西北八八〇米。俣四〇錢。高田馬場―所澤電車四七錢。武蔵野鐵道所澤驛から一軒餘。池袋―所澤電車五四分。片道四七錢。

明治四四年開設されたわが國最初の飛行場で、敷地五五萬二千坪(二萬八千方アール)を有し、場内には飛行學校がある。所澤町は甘藷、野菜、緋木綿等の集散地で、近時綿綿交織、村山銘仙の取引も増加して來た。人口一萬餘を有し、飛行場が出來てからは商工業に活氣を呈してゐる。

天覽山

武蔵野電車飯能驛から天覽山頂迄一軒四。乗合自動車山麓迄五錢。池袋飯能間電車一時間一二分(四三軒八)片道八二錢(一時間毎に發車)省線八高南線東飯能驛から一軒半。

飯能町の西北、名栗川の清流に沈む松、杉、檜など鬱蒼と茂る丘陵で、もと羅漢山と云つたが、明治天皇が特別演習を觀覽遊ばされてから天覽山と改めたもので、頂上にその記念碑がある。中腹の林間中には明治戊辰の戦役に振武軍の據つた能仁寺がある。

▲聖天院 武蔵野電車高麗驛の東北約二軒、入間郡高麗村新堀にあり、附近栗坪まで自動車が行く、一五錢。境内に高麗王若光の墓と傳ふるものがあり、寺は新義真言宗に屬し、高麗の僧勝樂の開山で、景勝の地を占めてゐる。
▲高麗神社 前記聖天院の北約三、四百米の丘陵の麓杉森の中にあり、室町末期の建築で、高麗王若光の木像を祀ると云ふ。
▲名栗鑛泉 前記飯能驛から西北約一五軒。下名栗字市場で自動車を下車(六五錢)。名栗川橋を渡つて湯基澤に沿ふこと約二〇〇米で温泉場に着く。埼玉縣入間郡名栗村下名栗にあり、如何にも山の湯の感じのする幽邃の地で、一、二泊の清遊地に適してゐる。泉質はラヂウムを含有すると云はれ、浴用加熱、神經痛、打身、創傷等に効くと云ふ。旅館、大松閣、湯基館、何れも内湯あり一泊一圓半位より。

豊島園 トシマエン 武蔵野電車豊島園驛下車。池袋から電車一四分、片道一四錢。一四分乃至三〇分毎に發車。入園料大人三〇錢、小人一五錢。團體割引及回数券あり。

武蔵野の大自然に練馬城址を取り入れた一〇萬餘坪の地で、一五〇萬圓の巨費を投じて經營してゐる近郊無二の遊園地である。園内には古の練馬城の址を其儘取入れた日本式庭園及洋式花壇、温室、兒童遊戯場、テニスコート、平日一面一時間六〇錢、一日五圓。祭日一面同八〇錢、一日七圓、ガラウンド、プール(大人子供共一人一〇錢)、婦人プール、ウォータースライダー(お山の上から池へ滑り下りるもので一回大人一〇錢、子供五錢)、貸ボート(一隻一時間四〇錢、三〇分二五錢)、子供馬場(小馬一回一〇錢、三輪車一回一〇錢)、釣堀(一時間三〇錢)、等があり其他貸室(一室一日二圓から三圓迄)、寫眞部、大食堂、賣店などがある。

東北沿線

飛鳥山

東北本線王子驛下車、上野から省線電車を一五分(八分毎に發車)、三等片道一〇錢。山手線大塚驛から王子電車で一〇分、片道五錢。市内電車駒込橋から片道三錢。

市の東郊王子町にある公園、面積一三、七二七坪あり。もと瀧野川氏の城址で、明治六年初めて公園地に指定されたのである。眺望の絶佳と櫻の名所として知られてゐる。櫻樹は享保年間八代將軍吉宗公が移植したもので、四月中旬花時の賑は近郊第一と云はれてゐる。(樹數八七〇株、昭和五年四月現在) 附近に内務省指定の史蹟地一里塚がある。

▲西ヶ原一里塚 市内電車飛鳥山線一里塚停留所の東南約一〇〇米、省線電車王子驛の東南七、八百米の所にあり、舊日光街道岩槻街道の一里塚で、東西二塚ある、慶長九年江戸幕府が日本橋を基點として一里毎に塚を築いたもので、此の塚は元標から二里目に當り、北豊島郡志村のそれと共に史蹟として指定されてゐる。塚の上には二本の櫻相待峙し(周圍一丈二尺)其の樹齡三百年と云ふ。又西ヶ原農事試験場の左方、人家の後方畑中にある小丘の貝塚は東京附近に於ける太古の遺蹟として考古學上貴重なるものであると云ふ。

荒川堤の櫻

王子驛の東北五軒、王子電車小塚停留所から川べり迄半軒餘、小塚の渡を越して行く、電車賃王子、小塚間五錢、三輪小塚間九錢。又は同電車神谷橋から野新田の渡を涉つて數百米で行く、王子神谷橋間五錢、三輪から一三錢。池袋神谷橋間五錢、三輪から一三錢、六分毎に發車。荒川東岸の堤防、江北村にある一帯の並木で江北櫻とも云ふ。明治一九年の植樹で、樹數一、七〇〇株(昭和五年四月現在)

在)、七〇餘種の櫻樹が堤上里餘に亘り一重、八重の五色櫻は四月一五、六日頃から旬日の間見事に咲き競ふてゐる。内務省指定の名勝地である。荒川は關東山脈中の三國山に源を發し秩父の盆地を経て關東平野に出で隅田川となつて東京市を流れ東京灣内に注ぐ。其の流域面積二〇三万里、幹川の延長四五里に及んでゐる。

荒川遊園

王子電車同所前停留所から北へ一〇〇米。電車賃王子から五錢。三の輪から九錢、入園料(電車賃共)大人二五錢、小人一八錢。園内に演藝場、運動具、動物園等の設けあり、又飛瀑、大池などを作り家族連れの清遊地に適す。面積約二萬坪。

鬼子母神

目白驛から東北七七〇米。大塚驛から王子電車で四、五分、賃金片道五錢(約四分毎に發車)、同停留所から西へ二〇〇米許り徒歩。市外雑司ヶ谷町法華宗法明寺にある。永祿四年畑中から掘出されたものと云ふ。四時參詣者多く殊に十月の御會式には

一方ならぬ雑踏を見る。境内東南方の一隅にある公孫樹(根元土際の周圍約一四米五五)は天然記念物に指定されてゐる。附近の山吹の里は太田道灌雨宿の史蹟地として、又高田馬場は堀部安兵衛敵打の地として知られてゐる。

とげぬき地藏

大塚驛から王子電車で約五分、賃金五錢庚申塚停留所下車。曹洞宗永平寺の末寺で慶長年間の創立に係り俗に「とげぬき地藏」として知られてゐる。毎月四の日が縁日で參詣者が

多い。附近には妙行寺内のお岩稻荷、眞性寺或は新選組の統帥近藤勇の墓等がある。

東武鐵道沿線

堀切菖蒲園

堀切停留所から五五〇米、俵三五錢。雷門驛堀切電車一〇分、片道一〇錢、約五分乃至一〇分毎に發車。

江戸開府以來の歴史を有し、花の種類二〇餘種を數へ、風致尙昔の面影を偲ばしむるものがある。

西新井の大師

大師前驛から一〇〇米、雷門―大師前間電車五分、片道二二錢。

五智山總持寺と號し、弘法大師の創建にかゝる眞言祕密の靈場で、川崎大師と併び稱され厄除大師として參詣者が多い境内廣く風致に富み半日の清遊に相應はしい佳境である。

粕壁牛島の藤

粕壁驛から一軒六、自動車一二分。乗台三〇錢(花時のみ)。貸切二圓、俵五〇錢。雷門―粕壁電車五〇分、片道六二錢。(花期割引あり)

縷り合ふてゐる幹の周り三丈、それに毎年六尺に垂んとする花房を無數に付け、棚の廣さ二百餘坪に互る壯觀は、實に日本一と云はれてゐる。

館林獨獨ヶ岡・茂林寺

東武電車館林驛からつづじが岡まで東二軒八、自動車四〇錢。雷門から電車急行一時間三八分、片道一圓一九錢(花期割引あり) 同上茂林寺前驛から茂林寺迄東三三〇米。雷門から一時間三六分、片道一圓一五錢。

獨獨ヶ岡は赤羽村花山にあり新田左中將から綱吉將軍藩主秋元侯に至る迄歴代培植せしと云ふ由緒の深いもので、城沼に瀕せる小丘一面の彩りは實に美觀である。城沼から舟で渡り茂村寺に廻るに丁度よい一日の行樂である。茂林寺(曹洞宗)は六郷村大字堀江の杉森の茂つた平地にあり、館林から三軒三。お伽噺に名高い文福茶釜を寺寶として傳へ、他の寶物と共に今本堂内に陳列して一般に縦覽せしめてゐる。

▲館林驛から一〇〇米の處に淨土宗開東十八壇林の一、三百年前祐天上人の開山になる善導寺がある。

▲館林の旅館 一柳亭(電館林一六八、一泊三圓半、四圓、五圓)、増の家(一泊同上)、港屋(三圓―四圓半)、芳川(二圓―三圓)。

太田の金山と香龍上人

太田驛から金山の麓迄一軒七、香龍上人迄一軒、自動車乗合何れも片道一〇錢(電車毎)。雷門―太田電車二時間半、片道一圓五四錢。

金山は新田義貞の城の址で山頂に公を祀る新田神社がある。其昔護良親王の令旨を奉じて義旗を擧げた當時の軍旗が今尙藏されてゐる。山頂は眺望絶佳にて利根渡良瀨の奔流を脚下に、遠くは關八州の平野を一眸に收む。山腹に新田家累代の墓がある。香龍上人は金山の麓、大光院にある。關東十八壇林の隨一で、古來子育香龍の名を以て知られてゐる。

藪塚鑛泉

藪塚驛から一軒餘、俵三五錢、自動車賃切一圓。雷門―藪塚電車約二時間半、太田乗換、片道一圓七一錢。東北本線久喜から藪塚まで九九錢。(上野―久喜片道七三錢、一時間半)

群馬縣新田郡藪塚本町にあり、湯の入、瀧の入が西長岡(同郡強戸村西長岡)の三つを總稱して藪塚鑛泉と總稱してゐる。八王子山の裾に位し、南の一方開けて田圃に面した野趣に富た所である。

泉質はアルカリ性の硫黄泉で、浴用加熱、皮膚病、神經病、リウマチス、瘡疹、胃病等に效がある。

▲旅館…長生館(西長岡、電桐生五四九番、室數七〇)、伏島館(電藪塚本町六番、室四〇)、今井館(電本町二一、室六〇)、室田館(電本町二七、室四五)、藪塚館(室一七)、一泊一圓三〇錢、一圓七〇錢、二圓。晝食料五〇錢。

喜多院

東武鐵道東上線川越西町驛の東北八八〇米。自動車一〇分、乗合一〇錢、貸切八〇錢、俵四〇錢。高田馬場―川越電車一時間一二分、片道六七錢。池袋―川越西町電車三六分、片道六一錢。或は西武鐵道川越驛から東北約八八〇米、自動車一〇錢。

千五百年前、淳和朝天長七年に慈覺大師が勅諭により建立された關東隨一の名刹で、天台宗山門派八個壇林の一である。後天海僧正之を再興し、今の堂宇は寛永年間江戸城内紅葉山の別殿を移したものである。境内四萬八千坪、老櫻古杉枝を交へ幽邃を極む。寺號は星野山無量壽寺と號す。

南隣に天海僧正の創建、寛永年間の建築にかゝる東照宮がある。

▲川越市は人口三四、二〇五(昭和五、一〇)を有し、埼玉縣下第一の都市で、養蠶機業の中心地を爲し、附近に川越芋を産し、市の東部には文正年間(紀元二二九九年)太田道灌によつて築城された川越城址がある。

物見山(岩殿山)

東武鐵道東上線高坂驛から西北三軒三、春秋のみ自動車(三〇錢)あり。池袋から密居行電車にて高坂まで五分、四六軒二片道九三錢。

山腹二〇〇米の石磴上に坂東十番觀世音、更に登ること二〇〇米で物見山の眺望がある。附近を九九峯、四八谷などと稱し、つゞじが多く、秋は紅葉によく、一日の清遊によい處である。

新月ヶ瀨(越生の梅林)

同上線坂戸町驛の西一四軒、自動車の便あり、季節中往復割引あり。

越生と云ふも實は隣村梅園村の津久根堂山を中心として越邊川の流れに沿ふ一帶の地で、梅樹多く近年新月ヶ瀨の名で

呼ばれて居る。勿論本家の月ヶ瀬には及びもないが、東京附近の勝區として一遊に値する所である。梅の奈良漬、梅酒の名物がある。

▲黒山鑛泉 前記越生町から更に約二軒、坂戸町から自動車貸切六圓、乗合四〇錢。埼玉縣入間郡梅園村黒山にあり、秩父連峯の翠巒が押しかぶさる様に迫り、越邊川の清流は瀉して枕下に夢を洗ふ静寂の境で旅館が一軒(黒山鑛泉館、一泊一圓半から)あり、附近には黒山三瀧の名ある雄瀧、雌瀧、天狗瀧があり、龍釋寺、道灌屋敷などの曳杖地がある。泉質は無色透明の弱アルカリ泉で浴用加熱、リウマチス、痛風、神經衰弱、皮膚病、婦人病、重病後の恢復期に效があるといふ。

吉見の百穴

東上線武州松山驛から東北二軒半、俵四〇錢。池袋―松山電車一時間片道一圓。

小高丘の側面(松山城址の崖壁)に二三七個の横穴が蜂窠狀に穿たれてあるもので、大きさ何れも二米乃至三米四方、天井は主に穹窿型で高さ二米、上古の墓地であるといふ。明治二〇年頃の發見當時には人骨、玉器、鏡、小刀、金銀鏝、鉄等の金器品及土器など發見された。附近に松山城址、吉見觀音、岩窟ホテルなどがある。(岩窟ホテルとは「岩窟を掘つてゐる」がホテルになつたものと云ひ只ホテルの如く掘つてゐるのみで宿舎ではない)

武藏嵐山

東上線菅谷驛から嵐山の中心地松月樓前迄自動車一〇分、乗合片道二〇錢。池袋―菅谷間電車一時間余、片道一圓一四錢。季節には往復割引あり。

地は埼玉縣比企郡菅谷村にあり、槻川の清流が太平山の突角を「ひ」字型にめぐつて鹽山の根をかみ更に大平山の裾を洗ひ、附近一帯の翠松、櫻楓の密林に和して天然の絶勝をなして居る所である。その山姿水態は恰も京の嵐山に似通ふ處から數年前本多靜六博士の命名したもので、昭和五年の夏東京朝日新聞紙上に「東日本新名物」として紹介せられてから一躍都人士の行樂境と化し、新緑に、櫻花に、釣魚に、舟遊に、紅葉狩に、四季を通じて郊外一日のピクニックに遊してゐる。中心地景勝の所に割烹旅館松月樓がある。一泊三、四、五、七圓、晝食一圓以上。

附近には嵐山唯一の自由展望臺である大平山頂の眺めを初め、跳岩、きのこ山、ツムラス古墳、紅葉峽等の名所があり、また史蹟にも富んで居る。坂上田村麿が東征の途上此の鹽山に足をとめたと云はれ、その南東に當時の陣營の地、將軍澤と刺止山がある。また將軍を慕ふ若い女性が將軍との別れを惜んだと云ふ不會ヶ原、不聞ヶ森、縁切橋などの傳説地がある。また源爲義の第二子帶刀義賢が甥の悪源太義平に殺されたのも此處だと云ふ。大藏堀の館跡には義賢の苔むした塔狀の古碑がある。槻川と都幾川の合流點から數十米の下流槻川に沿ふてゆけば畠山重忠の城跡もあり、南北朝時代に新田義宗の奮戦した笛吹峠の古戰場も間近に見える。

日光

淺草雷門から電車二時間半。片道二圓一三錢、季節により往復割引あり。本旅程第二四項参照。

きぬ川温泉

淺草雷門から電車三時間(下今市乗換)鬼怒川温泉驛下車片道二圓三八錢、季節により往復割引あり。本旅程第二六項参照。

京成電車・城東電車沿線

柴又帝釋天

京成電車柴又停留所から一〇〇米。日暮里―柴又間電車一九分、一六分毎に發。片道二四錢(京成高砂にて乗換)常磐線金町驛から六錢。押上―柴又電車一七、八分(二五分乃至二〇分毎、片道一五錢)。

寛永六年の草創で寺號を經榮山題經寺と云ふ。日蓮自刻の祈禱本尊除病延壽惡魔降伏の守護神帝釋天王を祀る。堂宇壯麗、世人の信仰篤く參詣者が常に絶えぬ。申の日及庚申の日を賽日とし又毎年四月六日から一〇日まで千部會を行ふ。▲江戸川堤は帝釋帝の後園に續き國府臺の翠巒と相對し山と水の風致は關東平原唯一の勝區で内務省指定四風致區の一つである。國府臺へは矢切の渡し、栗市の渡しから行く。

國府臺

京成電车市川國府臺停留所の北二軒。省線市川驛から西北三軒。押上―市川國府臺電車片道一八錢。日暮里―市川國府臺電車片道二四錢。

もと下總國府の址であつて又、天明、元祿の頃數多の戦歴を有する古戰場である。江戸川に臨む一帶の丘陵地がそれである。四時の變化に富み、市近郊眺望の名所の一に數へられてゐる。中世市川城のあつた所で、今野戦重砲兵聯隊及古利總寧寺などがある。總寧寺境内には里見八景園、古噴址、石廓、夜泣石等の舊蹟がある。

龜戸天神 城東電車十間川向停留所から北へ三〇〇米。市電錦糸町終點—十間川向電車片道二錢。

本所區の東に隣接する南葛飾郡龜戸町にある。社殿は寛永三年の創建で、代々將軍家の尊信厚かりし聖廟である。社殿壯麗、太宰府に擬し、境内に池があり二個の太鼓橋を架してある。池畔には紫白の藤を植ゑ花房の長さ丈餘に及ぶものがあり、古來藤の名所として聞えてゐる。毎年一月初卯の日及一月二五日には鷹換の神事があり、參詣者が頗る多い。

法華經寺 京成電車中山停留所から二〇〇米許。押上—中山電車片道二四錢。日暮里—中山電車片道三〇錢。省線下總中山驛から約半程。

日蓮宗の大本山で、身延久遠寺、池上本門寺と併び稱さるゝ名刹である。日蓮上人が中山の郷土富城播磨守の請により此地に順錫し、邸地に一字を營み、上人自刻の一尊四菩薩の像を安置し法華堂と名づけたのに始まる。境内廣く仁王門祖師堂、法華堂、五重塔等の堂宇がある。五重塔は元和八年加賀の大守前田利光の寄進したもの、法華堂及四脚門は室町時代の建築と云ひ、共に今特別保護建造物に編入されてゐる。

稲毛 京成電車押上—稲毛間片道五〇錢。日暮里—稲毛間片道五六錢。總武線—兩國橋—稲毛間汽車一時間、三等片道五二錢。

袖ヶ浦の海濱一帶、青松白砂打續く長汀は、東京灣唯一の勝地で、海水浴及貝拾ひの好適地である。
▲旅館：海氣館、一二三館。

2 鎌倉江の島遊覽

(東京から日歸り)

注意 鎌倉から三浦半島にかけては要塞地帯に編入されて居るが、左に記載中の遊覽地は殆んど特に撮影、模寫、錄取禁止制限解除區域となつてゐる。然し一應注意するを要す。

考

地名	發着時刻	記事	備考
東京	發前 七、三	横須賀行電車 電車凡三〇分毎二運 轉ス	東京—北鎌倉間電車四一分(四八軒八分)三等片道七七錢(鎌倉迄同八〇錢)
品川	發前 八、〇〇		鎌倉、江ノ島遊覽：北鎌倉驛下車—圓覺寺—建長寺—鶴ヶ岡八幡宮—源頼朝墓—鎌倉宮—大塔宮御墓—鎌倉驛前(電車)—長谷—長谷觀音—大佛—權五郎祠—星月夜—長谷(電車)—極樂寺—稻村ヶ崎—七里ヶ濱—片瀬(徒歩)—龍口寺—江ノ島—片瀬(電車)—藤澤(汽車)—歸宅(又ハ以上ノ反對)
横濱	發前 八、三	横濱—北鎌倉間三等 片道三二錢	
北鎌倉	着前 八、四	下車遊覽	
鎌倉町	三浦半島ノ頸部ニ位シ、前ニハ由比ヶ濱ヲ控ヘ、背後即チ東西北ニハ源氏山、屏風山等ノ丘陵ヲ繞ラシ、滑川ノ小流ニ灌漑サレル小サナ平地ニアル町デ、今人口二六、六四六(昭和五、一〇調)、湘南唯一ノ遊覽地、別荘地トシテ榮エテ居ル。鎌倉ハ今カラ約七五〇年前、藤原時代ノ末期ニ源頼朝ハ平氏ヲ亡ボシテ起チ、幕府ヲ此ノ地ニ開キ征夷大將軍トナツタ。爾來源氏ニ次テ北條氏起リ、鎌倉ハ第一次武家政治ノ中心トナリ、凡ソ一五〇年間繼續シ、此ノ期間ヲ鎌倉時代ト稱シ建築、彫刻、繪畫ナドニ所謂鎌倉時代文化ノ跡ガ今ニ殘ツテ居ル。		

〔交通機關〕 ▲名所遊覽乗合自動車一〇錢均一(鎌倉驛着下り電車毎) ▲貸切自動車 ▲人力車一時間七〇錢、半日一圓八〇錢、一日三圓。
▲江ノ島電車 鎌倉驛前—長谷—稻村ヶ崎—七里ヶ濱—江ノ島(片瀬)—鶴沼—藤澤間(以上六區)凡一〇分毎二運轉—片瀬迄二八分、片瀬—藤澤間一〇分

鎌倉江の島遊覽

鎌倉江の島遊覽

一〇度程ノ角度ヲ交叉スル斷層ノ爲ニ洞ハ二ツニ分レ、兩方トモ四〇歩許リデ行キ詰ニナリ、其處ニ邊津、中津、奥津ノ三祭神ガ併セ祀ツテアル。
 ▲龍口寺 電車停留所前、片瀬ノ丘上江ノ島ノ對岸ニアル。此ノ地ハ日蓮上人龍ノ口法難ノ遺蹟一即チ文應年間「立正安國論」ヲ書イテ執權北條時頼ニ送り、更ニ文永八年幕府社司ニ對シ禪宗、淨土宗ナドノ禁制ヲ強請シタ爲、幕府ノ怒ヲ買ヒ、同年九月一二日夜斬罪ニ處セラレントシタ所デアアル。
 ▲寺ハ弘安ノ頃門弟等ガ協力シテ堂宇ヲ建立シタモノデ、日蓮宗四四個本山ノ一、今ノ堂宇ハ明治年間ノ再建デアアル。
 ▲江ノ島附近海水浴場 江ノ島ヲ前景トシタ鶴沼、片瀬、腰越等ハ遊淺ノ靜カナ海デ江ノ島鎌倉ノ名所めぐリト相俟ツテ海水浴ノ好適地デアアル。
 鶴沼の旅館……東屋(電鶴沼九、二四室、宿泊料四圓、四圓半及五圓以上、晝食一圓二〇錢以上)。

▲遊行寺 藤澤驛ノ東八八〇米、自動車乗合一〇錢、一五分毎發。時宗ノ總本山デ、正中二年遊行四代他阿上人ノ開山デ、清淨光寺ト號シ遊行寺ハ其ノ俗稱デアアル。大正十二年ノ震災ニ堂宇多ク倒潰シ、復興中デアアル。寺寶多ク、境内ニ小栗判官照天姬ノ墓及敵味方ノ碑ガアル。

片瀬 午後 發
 藤澤 午後 發
 東京 午後 歸

▲省線ト江ノ島電車連帶ノ便利ナ廻遊券ヲ東京ノ主要驛及横濱、櫻木町テ發賣シテ居ル。通用三日間、但シ割引ハナイ。
 ▲藤澤東京間汽車約一時間(五一料一)三等八二錢。

旅行費用概算

二 六、五四
 三 三、九二
 内譯 東京發廻遊乘車券二等三圓五四錢 三等一圓九二錢
 中食料拜觀料其他 三 圓 〃 二 圓

【註】東京―横須賀間の電車は東京發前五時一二分から午後一二時五二分迄、横須賀發午前五時五分から午後一二時三〇分迄一五分乃至四分毎に運轉す。(昭和六年四月一日現在)

3 三浦半島めぐり

(A案 東京から二日の旅程)
 (B案 湘南電車にて日歸り遊覽)

注意 三浦半島一帯は要塞地帯につき寫真其他撮影には要塞司令部の許可を要する。

日程	地名	發着時刻	記事	備考
第1日	東京	發後 一、三	横須賀行電車 東京發後九、二二 ノ電車迄毎時二二 分及五二分ノ廿分 毎ニ發車ス	▲東京・横須賀間電車一時間八分(六二料四)、三等片道九九錢 ▲横濱・横須賀間三九分(三三料六)、三等片道五四錢。 ▲横須賀・三崎(浦賀經由)二四料。 横須賀―浦賀(八料四)自動車四〇分、乗合二〇錢(一五分毎)、貸切一圓半。 湘南電車ニテ横須賀軍港驛(省線驛カラ二、三百米)カラ浦賀町入口迄一〇分、 賃一五錢、一二分毎 横須賀：走水(八料)自動車四〇分、乗合二五錢、貸切二圓半。 八幡：久里濱(約二料)自動車乗合一〇錢。 浦賀：八幡(二料餘)自動車一〇分、乗合一〇錢。三〇分毎。 八幡：三崎(一四料)自動車四〇分乗合五〇錢。
	横濱	發後 一、五	同	▲横須賀・三崎(衣笠、林經由)二一料七。 自動車約五〇分、乗合九〇錢(電車毎)、貸切四圓半。
	横須賀	着後 二、三〇	乗合自動車ニテ浦 賀ヲ經テ久里濱、 三浦三崎ヘ行ク。	▲軍港見學……豫メ横須賀鎮守府觀覽部宛ニ書面又ハ口頭デ見學希望ノ旨申出ルヲ要ス。見學時間ハ毎日午前九時カラ後四時迄。其順序ハ海軍工廠、軍
	同	發後		
	浦賀	着後		

三浦半島めぐり

三浦半島めぐり

艦内部、追濱飛行場等指導ニ從ツテ見學ス。所要約一日。觀覽料一切無料。▲三笠見物……驛カラ一軒三ノ海軍機關學校内ニ在リ。自動車乗合(旭町港月料理店角迄)五分、一人一〇錢。觀覽券ハ正門前デ發賣ス。大人一〇錢、小人五錢。入場時限四月カラ十月末迄八時一五分一三時一五分カラ三月未迄九時一五分一三時半。軍艦三笠ハ明治三三年一月英國ヴィツカリス社ニテ建造サレ、同三七、八年戰役ニハ我聯合艦隊トシテ日本海々戰ニ活躍シ、日露戰爭講和成立後佐世保ニテ火藥ノ自然燃發ニヨリ膠座、大正十二年華府會議ニヨリ廢艦トナル。今ハ武裝ヲ解除シテ船體ダケガコンクリート製トシ、據エ付ケラレ、艦内ニ海戰記念品及海軍參考品ヲ陳列シテ居ル。艦ノ長サ四百呎、幅七六呎二吋、吃水二七呎二吋、排水量一五三六噸、速力一八哩五。▲塚山公園……驛ノ西方約一軒餘、徒歩四分。丘陵ニ内務省史蹟指定地ノ安針塚(ウキリアム)アリ。▲衣笠城址……驛ノ南方約五軒餘、速力一八哩五。▲諏訪公園……驛カラ一軒六、自動車乗合(スワ町迄)一〇錢、七分。軍港ヲ俯瞰シ眺望佳。等ガアル。▲衣笠城址……驛ノ南方約五軒餘、速力一八哩五。▲諏訪公園……驛カラ一軒六、自動車乗合(スワ町迄)一〇錢、七分。軍港ヲ俯瞰シ眺望佳。等ガアル。▲衣笠城址……驛ノ南方約五軒餘、速力一八哩五。▲諏訪公園……驛カラ一軒六、自動車乗合(スワ町迄)一〇錢、七分。軍港ヲ俯瞰シ眺望佳。等ガアル。

第 1 日

浦賀	浦賀	横濱驛	金澤八景	浦賀
發後	着前	發前八時頃	發前八時頃	發後
		湘南電車	湘南電車	
		乗合自動車	乗合自動車	

▲横濱驛カラ湘南電車テ黄金町一金澤八景一横須賀一浦賀間四九分(二三料三)
賃金五時八景迄三五錢、横須賀中央迄五五錢、浦賀迄七〇錢。
午前五時一午後一時迄約一二分毎ニ發車。
横濱カラ屏風浦迄一六分、金澤八景迄二七分、横須賀中央迄三九分、浦賀迄四九分、逗子迄三五分(但シ金澤八景ニテ乗換ヲ要ス)横濱逗子間四三錢。
▲浦賀驛カラ久里濱へ東南四軒、(驛カラ三軒行自動車發着所迄三、四百米アル、自動車乗合一五錢)浦賀一八幡間(久里濱へノ岐ノ道)自動車乗合一〇錢、八幡カラ三崎町迄約一時間、乗合六〇錢。
久里濱 三浦郡久里濱村大濱ノ海濱テ、嘉永六年六月九日幕末

第 1 日

三崎町	八幡	久里濱	八幡	三崎町
着後	發後	發後	着後	着後
(A案行程ハ)	乗合自動車	乗合自動車	下車、徒歩	自動又車ハ
				モーターボート

▲三崎町 人口一二、二四三(昭和五、一〇調)チ有スル漁業地、(一三ヶ年)取引高三百萬圓以上)半島ノ南端ニ當リ氣候温和ニテ避暑、避寒ノ好適地トシテ喜バレテ居ル。
▲名所 城ヶ島、防波堤ヲ爲シテ居ル周圍四軒、東西一軒餘、南北二〇〇米許リノ小島。岩礁亂立シテ岬角ニ燈臺ガアリ眺望ヨク又、城ヶ島ハ海水浴ニ好適ナル。▲櫻の洞所跡 町ノ中央ノ丘陵北條山ニアリ、建久五年頼朝ハ娘ニ山莊ヲ造リ城ヶ島一帯ノ島櫻ヲ賞シタリ云フ。今ハ曹洞宗本陣寺ノ寺内ガ其ノ遺跡デアリ。▲船の洞所跡 見桃寺ニアリ。▲橋の洞所跡 大持寺ニ遺跡ガ殘ツテ居ル。▲三崎カ「船賣」三崎一城ヶ島片道二錢(日ノ出カラ夜十時頃迄客アル毎ニ出ル)三崎カラ城ヶ島廻リモーター船乗合五〇錢(約四分)夏中ノモト。三崎一城ヶ島一油壺巡リ乗合一圓(夏季中)貸切十數人乗(七圓位)所要約一時間(荒井崎ニ上レバ約二時間カ、三崎一油壺モーター船乗合片道五〇錢(夏季中)貸切七圓位)岬陽館(電同一、室二〇)、ばつせ館(電同一、室二二)、久の家(電同一四八、室七、二圓、五圓)等。

第 2 日

三崎	油壺灣	引橋	三浦半島めぐり
發			

▲油壺灣 山水美ニ富ム風光絶佳ノ地デ、附近ニ新井城址及三崎臨海實驗所ガアル。
▲三崎臨海實驗所 油壺灣ト小網代灣ノ間ニ突出シタ岬頭ニアリ、東京帝國大學理學部附屬ノ實驗所デ、ソノ水族館及標本室ハ四月カラ十一月迄ノ間ハ一般ノ觀覽ニ供シテ居ル。此地ハ戰國ノ頃三浦氏ノ居城、即チ新井城址デ、六百年後ノ今日尚内外ノ墨垣、本丸、二ノ丸、庭園等ノ址ガ見ラレ、ソノ本丸址ト稱スル所ニハ實驗所ノ寄宿舎ガアル。海抜約八百尺位、半島隨一ノ高山デ四邊ノ眺望ガヨク。
▲大橋山 秋谷カラ頂上迄二軒二。海抜約八百尺位、半島隨一ノ高山デ四邊ノ眺望ガヨク。
▲先帝御登還ノ地。御用邸ヲ始メ奉リ貴紳ノ別邸多ク、長

(日1第、程旅案B)

秋谷	葉山	逗子	逗子	東京	湘南逗子	横濱
----	----	----	----	----	------	----

秋谷―葉山(下山口)間九軒、乗合二〇錢。秋谷カラ葉山ヲ經テ逗子ニ至ル間ハ海岸傳ヒニテ風光實ニ明媚、健脚者ハ是非徒歩ニヨル可キ行程デアリ。秋谷―逗子間自動車三〇分、乗合四錢、貸切三圓。逗子驛へ五軒五、自動車二〇分、貸切一圓半、乗合二五錢(三〇分毎)三崎カラ二三軒五、自動車一時間乗上一圓(三〇分毎發車)貸切六圓以

江白砂淨キ渚カラハ、鯨島、割島、菜島、江ノ島等ガ繪ノ様ニ見え近クニ恩賜公園、森戸明神ガアル。人口九、一六六(昭和五、一〇調)▲葉山ノ旅館……鐘屋(電葉山一五、和室二〇、洋室六、泊六圓―九圓、逗子驛へ三軒七、長者園電一色二〇番、室一五、一泊三、四、五、六圓、逗子驛へ六軒五)等。逗子 鎌倉ノ由比ヶ濱、片瀬、鵜沼ナドト共ニ東京カラ日歸リノ出來ル海水浴場トシテ知ラレ、鐵道省經營ノ「海ノ家」ガアル(入場料大人二〇錢)驛カラ海岸迄八百米。附近ニハ蘆花氏ノ小説「不如歸」ノ所謂浪子不動、平維盛ノ子六代御前ノ墓ガアル。▲神武寺……逗子驛カラ約三軒半、乗合一〇錢。天台宗ニ屬シ老杉森々タル坂路ヲ上ルコト半軒テ本堂ニ達ス。▲十州峰……神武寺ノ背後神嶽ノ頂上デ其ノ眺望ノ佳ナルコト十州ノ一覽ノ名ニ背カヌ。▲旅館……養神亭(電逗子三、一泊三圓乃至五圓、室三〇、驛カラ一軒半ノ海岸ニアル)▲逗子―東京間電車一時間(五四軒九)三等八六錢(横濱迄三〇分、三等四三錢)▲逗子發後一〇時一九分迄ハ毎時一九分及四九分ノ三〇分毎ニ發車ス。終電ハ一〇時三九分發。▲湘南電車テ逗子カラ金澤八景迄八分(五軒七)賃一〇錢、凡一二分毎ニ發。▲金澤八景―横濱間二七分(一八軒七)賃三五錢(逗子カラ通シ切符四三錢)凡一二分毎ニ發。

旅行費用概算

A 二 三 三 等 等 等
B 三 三 三 等 等 等

一三、五〇
八、六五
四、七八

内譯 鐵道、自動車賃二等五圓五〇錢、三等三圓六五錢。三崎―泊米二等電車賃(横濱―浦賀)一圓一三錢。自動車賃(浦賀―三崎)一圓一五〇錢。舟遊賃(三崎―泊米)一圓一五〇錢。

4 大山登山

(東京から日歸り)

地名

發着時刻

記事

備

考

東 平 子 大 子 平 東
京 塚 易 山 易 塚 京

發前 八、三五
發前 九、四三
發前
發後 五、三五
發後 七、〇八

下關行列車
下合自動車
下歩車
徒歩
登山所要約三時間
自動車
東京行列車
(歸宅)

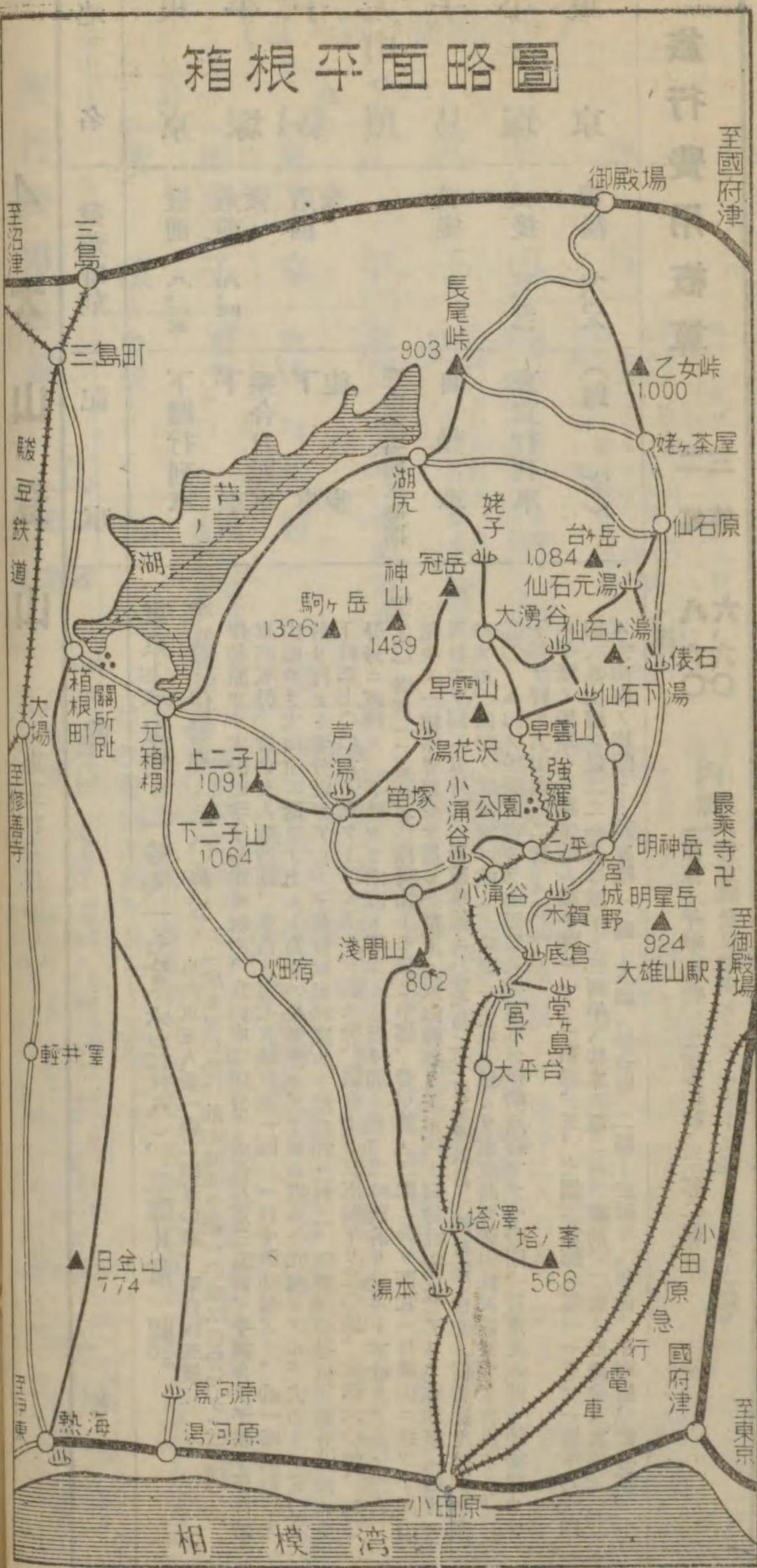
三 二 等 等

八、六〇
六、六〇

内譯

東京―平塚(往復) 二等四圓、三等二圓。書食料及自動車ケーブル往復 二圓六〇錢。

箱根平面略圖



5 箱根遊覽

箱根山は二重式火山の範型で、今やその活動は殆んど終熄してゐるが外輪山、裾野、陥没火口、火口丘、火口原、火口湖、火口瀨、爆發火口、噴氣孔、温泉など悉く備はり、白妙の富士はその半姿を右方に現はし、左方には天城の連峯が重疊して背景を添えて宛然一つの大自然畫を見るの感がある。箱根はその山水美と温泉の設備と相俟つて東京附近第一の温泉郷として知られ、何時行つてもそれだけの面白味がある。特に春の櫻と秋の紅葉がよい。櫻は湯本、宮ノ下、強羅、小涌谷がよく、紅葉は蘆の湯附近から蘆の湖畔及裏箱根の邊が佳く、十月下旬から十一月末にかけて最も美觀を呈する。また山藤の花の梢に纏絡するもよければ、五月六月頃の躑躅も更に美しく、或は新緑の萌える匂ひもまた一段とよい。夏は登山舟遊の樂みがあり、冬も避寒温泉の一に數へられてゐる。

【箱根火山】箱根は伊豆半島の附根に噴出した一大火山で、相模國足柄下郡と、伊豆田方郡とに跨り、往時鐵道のまだ開けない以前にあつては東海道筋の難關、所謂箱根八里の嶮で、徳川幕府は此の地形を利用して關所を設け、往き來の人を監視して居た事は周く人の知る處である。箱根火山は富士火山に屬する一個の獨立火山で、その噴出の年代は第四紀の頃、伊豆中央の天城山と略同時代であると云ひ、その當時は富士山のやうな圓錐形の高いコニデーをなしてゐたのであるが、餘り多く火山灰と熔岩とを噴出したために地底の地壓が減り、地下熔岩の收縮と相俟つて火山の中心部は自己の重みで下に陥落し、中央に大きな陥落火口が出来たのである。即ち金時山(一、二一三米)、明神岳(一、一六六米)、明星岳(九二四米)、淺間山(八〇二米)、鷹巢山(八三七米)、鞍掛山(一、〇〇四米)、山伏峠(一、〇三四米)、三國山(一、一〇二米)、長尾峠(九〇三米)、九嶽(一、一五四米)、乙女峠(一、〇〇〇米)、長尾山(一、一四四米)、等南北一三軒、東西約六軒の卵形環狀に連ねた外輪山はその大カルデラの火口壁である。この外輪山の最高點は金時山で最低所は「のぞき臺」の七一三米で平均高距は一千米内外である。その後火山の活動力は再び復活期に入りカルデラ内に神山(一、四三八米)その西北に臺ヶ岳(一、〇五四米)と小塚山、東南外輪山の上に屹立つて上二子(一、〇九一米)、下二子(一、〇六四米)を、また神山の東南の肩に掛つて駒ヶ岳(一、三二六米)を噴出したのである。神山は丁度カルデラの中心部に屹立し箱根火山の最高峯をなしてゐる。その後更に神山の中腹に大地獄(大涌谷)、早雲地獄、小地獄(小涌谷)、湯の花澤、硫黄山の五つの爆裂谷を生じ、中でも大地獄の爆裂火口は最も大なるもので、神山の北側の大部分を飛散せしめ一大缺所を生じてゐる。火口内には今尚所々に水蒸氣は硫氣(亞硫酸ガス)と少許の硫化水素(ガス)と共に濛々として白煙を立て、居る。

大カルデラの出来た時、今の外輪山で囲まれた火口内には一ほいに水が溜つて大きな火口湖が出来たものと云はれ、今はその西南部に水を湛えて蘆の湖となり、北の仙石原、東北の宮城野原はもと湖底に存してゐたものであるといふ。火口原の水は外輪山の一部を破つて火口湖をなし、その北にあるものを早川、南にあるを須雲川と稱し、この二流は湯本で相合し小田原の南で相模灣に注いでゐる。

遊覽日程案

箱根に入るには小田原方面からするのが、最も便利であるが御殿場から長尾峠を越しても、また三島・沼津方面から行つても樂に入る事が出来る。次に二、三の代表的ルートを示せば、

一、東京(汽車)―小田原(電車又は自動車)―小涌谷(自動車)―箱根町(遊覽船)―湖尻(徒歩)―早雲山(ケーブルカー)―強羅(電車)―小田原(汽車)―東京。又はその反對ルート。遊覽券東京から三等(乗物全部)五圓。

▲東京―小田原 汽車一時間半餘(八三料九)三等普通片道一圓三一錢。

▲小田原―強羅 箱根登山電車一時間一〇分(一五料七)並等八〇錢、特等一圓八錢。

(註)湯本にて登山電車に乗替を要する。小田原―湯本間普通車のみ、湯本―強羅間並等及特等車。二〇分乃至一時間毎に運轉す。

▲強羅―早雲山 ケーブルカー九分(一料二)賃金上り並等二五錢、特等五〇錢、下り並等一五錢、特等三〇錢。一〇分乃至三〇分毎に運轉す。

▲早雲山驛―大涌谷 徒歩上り二料。此處から頂上の閻魔臺へ約一〇〇米。乗物なし、約一時間を要す。

▲大涌谷―頂上閻魔臺―姥子温泉―湖尻約二料九、徒歩一時間。頂上から姥子まで下り一料二、夫から湖尻迄下り一料六、早雲山驛から湖尻まで徒歩二時間餘を要す。

【大涌谷】 箱根噴火山の名残、神山爆裂火口の遺跡で、地殻層を安置する山脚を境界として東南を地獄澤、西北を閻魔臺と名づけて居る。地獄澤には一面に盛に硫氣が噴出し又盛に水蒸氣及熱氣を噴出する所がある。此の熱水を噴出する所に石室を設け湯水を注いで強羅及仙石に送つて居る。閻魔臺には吹東北の方向に排列する噴口が八つあり、轟々の音を發して盛に水蒸氣及硫氣を噴出して居る。

▲湖尻―元箱根―箱根町間 蘆ノ湖上約六料、箱根遊覽船會社ノ定期汽船函嶺丸(鐵製ディーゼル船、定員二五〇名)、箱根丸(木製ガソリンエンジン定員七〇名)一時間毎に出ル、所要四〇分、賃大人五五錢小人半額(一〇人以上アレバ臨時船を出す)

蘆の湖

湖岸曲折シテ風光ノ變化ニ富ミ周圍ノ綠樹ハ一層ノ風致ヲ添ヘ、風靜カナル夕ニハ 佐々木高行

蘆の湖、さかさにうつる富士の峯、おどけて越ゆる魚も見えつ、

殊ニ湖畔ノ山櫻ハ、自然ノ美ヲ飾リ連山ノ紅葉ハ、尙神秘的ノ美ヲ加ヘル。

▲蘆ノ湖遊覽船... 貸切三圓乃至一〇圓、定員四人乃至二人乗。(神奈川県足柄下郡元箱根村箱根遊覽船株式會社、電箱根一二番)

▲蘆ノ湖ハ箱根山上ニアル湖面海拔七二三米ノ火口原湖デ、西北カラ東南ニ延ビテ、狹長デソノ長サ六料六、幅ハ半料乃至二料アリ、面積七方料餘デ、甚シク大キクハナイガ湖岸線ノ出入ガ多イノ湖岸線ノ長サ一九料九ニ達シテ居ル。又湖ノ中央部ヨリ稍北ニ兩岸ノ著シク迫ツテ居ル所ガアル。此處ヲ胴切ト云ヒ、兩岸ノ距離僅カニ三三百米位デアル。湖底ハ此處ヲ境トシテ南北ニ二ツツ湖盆ガアリ、北ハ湖尻湖盆デ最深ニ五米アリ南ハ主湖盆ト云ヒ最深四三米五アル。湖水ヲ涵養スル水ハ、主トシテ湖底カラ涌出スルモノデ、排水川ハ北ニ自然ノ吐口、早川トナツテ流出スルモノノ外、西北岸ニ人工ニヨル深良川水道ガアル。早川ハ湖ヲ出ル時ニハ漸ク伏流トナリ、火山礫ノ下ヲ潜リ、下流ニ至ツテ川トナツテ居ル。ソノ川トナル時、恰モ涌泉ノ如キ狀ヲ呈スルデ此處ヲ逆川ト呼デ居ル。人工ニヨル堀川ハ、流出口ノ水門カラ約百米程流レテ湖尻畔ノ下約一、三五〇米ノ隧道ヲ潜リ、駿東郡深良村ヘ引水シ、二九ケ村ノ水田ヲ開イタモノ、今ハマタ發電ノ水力ニモ利用サレテ居ル。コレハ寛文八年八月ノ起工、同一一年四月竣工ノモノト云フ。湖水ハ大部分涌泉ニ依ツ爲水色極メテ清淨デ、フオーレルノ四號カラ六號附近ノ藍色湖ニ屬シ、透明度ノ大ナルトキハ一三米ニ達シ、水温ハ山上湖トシテハ高ク、冬季ト雖モ湖底水温ハ尙四度ヲ下ラヌ。湖中ニ生育スル水産動物ハ箱根さんせうら、鮭、鯉、赤腹、鱒、岩魚、あめます、鱒、沼をび、鱒等デアル。蘆ノ湖ノ釣魚ニハ帝室林野局出張所(箱根町ノ西端ニアル)ニ申出ルヲ要ス。湖岸ノ部落トシテハ、東南岸ニ元箱根、南岸ニ箱根町ガアリ、其間ノ街道カラハ湖水ヲ隔テ、富士ノ秀峯ガ見え、遙ニソノ湖南ニ映ズル倒富士ヲ見ルコトガ出來ル。

【箱根町】

海拔七二五米、往時の東海道五十三次中の有名な宿場で元和四年頃開けた所、今は昔日の繁榮を見ざるも避暑に又紅葉狩に客を迎へて居る。

(旅館) 箱根ホテル(電箱根三番、和室二食付一泊四圓乃至七圓半。洋室三食付八圓乃至一二圓。グリル食堂和食一圓二〇錢、洋定食一圓半、ランチ八〇錢、并類五〇錢、遊覽券指定和室一泊四圓) 古谷(電宮ノ下二七番、一泊二圓一四圓半)

【箱根開所址】

箱根町から三三〇米、元箱根への途中にある。東は要害山の嶮崖、西は蘆、湖の天嶮に據る。江戸の時代の始めに幕府の設けたもので明治二年に至るまで小田原藩之を預り往來の旅人に對して嚴重なる取締をした所である。今は街道の傍に石垣を築き、史蹟として指定されて居る。今開所址の近くに考古館があり開所の遺物と此處に開所の旅館を營んで居た當時の本陣に殘つて居る古文書等を陳列して一般の觀覽に供して居る。入館料二〇錢。

箱根遊覽

(参考)箱根町から鞍掛の鞍部を越し十國峠に出で、熱海に下る約二〇軒の十國峠越えは相當興味のあるハイキングコースである。其の詳細なる所要時間を示せば、箱根町から野馬ヶ池(空池)まで一八分、それから鞍掛山鞍部迄約一五分である。此處は標高一、〇〇四米の鞍掛頂上より約三〇乃至四〇米位下の鞍部に當り三津や靜浦の海濱を望み、そこに連なる箱根連山の峯のうねりを眺めた景趣は實に絶佳である。鞍掛から湯ヶ原道との分岐地點迄約二〇分、夫から一本杉迄四〇分、更に山の腹部や尾根傳ひに行くこと約五〇分、七七四米の十國峠に出る。天氣晴朗の日には十ヶ國を眺め渡すことが出来ると云ふので此の名がある。此處から右へ約二軒で熱海―大場間の自動車道に出て、更に六軒計りで熱海に着く事が出来るが、道を真直に取つて急坂を約五軒餘下り、一時間で熱海町の阿豆佐和氣神社前に入る事が出来る。尙此の道路は餘り手入れをなすものが無い爲か道悪く衣服や靴を損する所も處々にある。

蘆ノ湖定期船時間表

△印四月―一〇月 印五月―九月

Table with columns: 元箱根發, 箱根町發, 湖尻着, 湖尻發, 箱根町着, 元箱根着. It contains a grid of numbers representing departure and arrival times for various routes.

貸切船賃金表

Table with columns: 船名, 定員, 湖尻行, 元箱根町, 往復, 時間. It lists boat names like '富白鞍よあさも白蒼飛' and their respective fares and durations for round trips.

▲箱根町―元箱根 一軒二、自動車五分、乗合一〇錢、徒歩一五分。

金沢橋(電一四)、以上普通一泊二、三、四、五圓。 元箱根から約半軒、元箱根村大芝、海拔七五七米、蘆ノ湖畔に面せる景勝の地にあり天津彦火瓊々杵尊、天津彦火火出見尊、木花咲耶姫命、東照殿に大國主尊、少名彥名尊、西脇殿に極細毛怒命、大山祇命、乙橘姫命を配祀する國幣小社である。 奈良朝時代萬卷上人の創建と傳へ、鎌倉時代には關東總鎮守の一つで、武門の尊崇深く、且一般旅人も必ずこゝに參詣して武運長久を祈り旅行安全を希つたものである。社殿は丹塗の權現造で寛文七年徳川家綱の再建である。社殿の傍に寶物殿があり國寶赤木柄短刀、萬卷上人自作像、曾我兄弟像、大石内藏之助の文書等四十餘點を藏して居る。例祭は八月一日、七月三一日夕刻湖水祭の神事がある。この神事は湖心の湖水守護神に赤飯三升三合三勺三才を納める儀式である。

- ▲元箱根―蘆ノ湯 三軒六、自動車乗合二五錢。
▲蘆ノ湯―小涌谷温泉 約五軒、乗合四〇錢。
▲小涌谷温泉―小田原 自動車一時間、約一四軒、乗合九五錢、貸切六圓半。
▲小涌谷温泉―小涌谷驛五五〇米。小涌谷驛―小田原 電車一時間二〇分(一四軒一)並等七〇錢。

二、東京(汽車)―御殿場(自動車)―長尾峠(自動車)―湖尻(渡船)―箱根町(自動車)―蘆ノ湯―小涌谷(自動車又は電車)―小田原(汽車)

- ▲東京―御殿場 汽車三時間(一一三軒二)三等普通片通一圓六九錢
▲御殿場―長尾峠 約一二軒、自動車三〇分、乗合一圓(一日四回以上)
▲仙石原―湖尻 約八軒、自動車二五分、乗合五〇錢(一日六回以上)
▲仙石原―宮ノ下 六軒七、自動車二五分、乗合四〇錢(一日一二回以上)

箱根遊覽

箱根遊覽

六〇

▲宮ノ下—小田原 約一三料、自動車四〇分、乗合七五錢(一日約二〇回)貸切五圓半、電車一時間一〇分、並等六二錢。

三、▲東京(汽車)—小田原(電車)—強羅(ケーブルカー)—早雲山(徒歩)—湖尻(遊覽船)—箱根町(自動車)—沼津(汽車)—東京。又はその反對ルート。遊覽券東京から三等(乗物全部)六圓四錢。

▲箱根町—三島町—沼津 二五料七、自動車一時間二〇分、乗合一圓八〇錢。
▲沼津—東京 汽車三時間半(一三七料九)三等普通二圓〇一錢。

四、東京(汽車)—小田原(富士屋自動車)—箱根町、元箱根(箱根遊船)—湖尻(富士屋自動車)—仙石原、宮城野、宮ノ下、小田原(汽車)—東京。遊覽券東京から三等(乗物全部)六圓六九錢。

(註)一、小田原を起點として小田原、沼津、又は御殿場へ、二、沼津を起點として小田原又は御殿場へ、三、御殿場を起點として小田原又は沼津へ、蘆ノ湖を中心として富士屋自動車で遊覽する場合は自動車及蘆ノ湖遊覽船特別割引三圓五〇錢。遊覽券として發賣の場合は同區間を三圓三五錢にて發賣してゐる。遊覽券三等鐵道東京—小田原一圓一七錢、東京—御殿場一圓五三錢、東京—沼津一圓八〇錢。

五、新宿(小田急電車)—小田原(登山電車)—強羅(徒歩)—湖尻(渡船)—箱根町(登山電車經營バス)—小涌谷(電車)—小田原(小田急)—新宿。回遊割引四圓二〇錢(但季節により割引額に相違がある)。

▲新宿—小田原 小田原急行電車で二時間二分(八二料八)普通賃片通一圓三六錢。

箱根温泉

箱根温泉は湯本、塔ノ澤、宮ノ下、底倉、堂ヶ島、木賀、蘆の湯を昔から箱根七湯と云つて居たが、時の移ると共に都人士の遊覽地となり保養地となるに従つて温泉場の數も増し、今では以上の外に強羅、小涌谷、姥子、仙石、湯ノ花澤の五湯を加へて箱根十二湯を數へてゐる。温泉の分布状態は、最も多いのは早川火口瀨に沿ふた處で、湯本、塔ノ澤、宮ノ下、堂ヶ島、底倉、木賀の六温泉があり、次は中央火山の四圍にあるもので、早雲地獄の硫氣孔から引いたのは強羅温泉となり、また大地獄の硫氣孔から出る熱湯は仙石上湯、仙石下湯、仙石元湯、俵石の四温泉となり、小地獄から引いた小涌谷、湯ノ花澤にも温泉があり此等は明治になつてから新興した温泉場である。中央火山系には蘆の湯、姥子温泉があり共に古くから知られてゐる。泉質は前記早川の火口瀨に從ふて涌出する六温泉は皆鹽類泉か若くは之に準ずべき單純泉で、成分も共によく類似して居るが、中央火山の周圍に涌出する温泉は姥子の鹽類泉を除く外皆硫黄泉又は酸性泉で、火山活動の時期と温泉の位置と泉質の間に面白い關係が現はれてゐる。

湯本温泉

神奈川縣足柄下郡湯本町湯本。小田原の西南約五料半、電車自動車の便がある。小田原から電車三〇分、並等二四錢、湯本駅から温泉場迄西へ約三三〇米。小田原から自動車二〇分、乗合三五錢、貸切二圓半。

地は箱根山麓の東麓、早川、須雲川の新舊火口瀨の落合ふ所にあり、翠巒湯坂山の麓を繞る早川の清流に臨んでゐる。此處から湯坂山、淺間山、鷹巢山、蘆の湯を経て箱根町へ出る峻峻な湯坂路は鎌倉時代の箱根道で、湯本の入口一料程手前の三枚橋から元箱根迄一料餘ある。

温泉は湯坂山の南麓凝灰岩の山脈に沿つて涌出し、單純泉に屬し、溫度七一度、無色透明の單純泉で腦神經系統諸病、婦人病、リウマチス、胃腸病、皮膚病等に效がある。

【温泉旅館】 福住(電二、三八、室二二)、普通一泊四、五、六圓、茶代不用、遊覽券指定一泊五圓、湯本館(電一〇、室二〇、一泊二、三、四、五圓、遊覽券指定一泊四圓)、住吉(電六、室二〇)、普通一泊同上、遊覽券三圓半、大和(電四六、室二二)、普通一泊同上、遊覽券三圓、和泉(電五七、室一二)、普通一泊同上、遊覽券三圓、彌榮館(電六八、室二二)、古川(電五六、室一〇)、萬壽福(電一〇四、室八)、以上普通一泊二、三、四、五圓。(電話湯本局)(附近名所)▲早雲寺は臨濟宗大徳寺派に屬し、電車驛の西南約半料の湯本町にある。大永元年に北條氏綱が父早雲の遺命により創建したもので、境内に早雲以下五代の墓がある。▲石垣山は熱海線の早川驛の真上に聳えて居る圓い山で、天正一八年豊臣秀吉が小田原の北條氏を攻めた時、山の上に一夜城を造つて小田原勢を驚かした所で、今其跡と云ふのが残つて居る。▲其他 正眼寺、玉簾の瀧、初花の瀧等の名所がある。

塔ノ澤温泉

神奈川縣足柄下郡湯本町塔ノ澤。前記湯本温泉の西約半料。小田原駅から温泉場迄約半料餘。電車小田原塔ノ澤間三二分、並等三一錢、電車驛から温泉場迄約半料餘。

地は塔ノ澤驛から南へ約半料程の坂を下りた所、塔ノ峯の南麓にあたり、早川の清流が迂廻してS字形にめぐる處に橋を架け、道を開いて浴樓が軒を列れ山影水聲相調和して一勝區を爲してゐる。温泉は勝驪山と湯坂山の麓、凝灰岩を貫く

箱根遊覽

六一

岩脈の間から涌出し、温度五一度泉質及效能は前記湯本と同一である。

【温泉旅館】環翠樓(電湯本三、五〇、七五番、室數五〇、普通一泊四、五、六圓、遊覽券指定一泊六圓)、福住樓(電同四、七三番、室五〇、普通一泊同上、遊覽券六圓)、一の湯(電同八、四三番、室三一、普通一泊同上、遊覽券五圓)、新玉の湯(電同五番、室一〇、普通一泊三、四、五、六圓、遊覽券五圓)與喜屋(電四七、室一一、普通一泊二、三、四圓)、春乃家(電五〇、室一一、一泊同上)。(附近名所)▲塔ノ峯を約二軒登ると淨土宗の阿彌陀寺があり、開祖禪覺居士の岩窟がある。「箱根靈驗覽仇討」にある初花が夫勝五郎の覺車を索き、病氣平癒を祈つた寺であると云ふ。

宮ノ下温泉

神奈川縣足柄下郡温泉村宮ノ下。前記塔ノ邊から西北六軒。小田原から約一三軒、自動車四〇分、乗合七五錢、貸切五圓半。電車小田原宮ノ下間一時間一〇分、並等六二錢。電車驛から温泉場迄三〇〇米程下る。

地は早川が外輪山を突破してゐる最初の地點で、海拔四一七米、早川の水面より高きこと一一〇米の淺間山北麓の臺地にあつて、川を隔て、明神、明星の峯巒東北方に長く連り、鷹ノ巣山の連峯西南から東に走つて湯坂山に續くとゝ、その裾合の間から相模灣の寸碧が見渡される。地はまた箱根諸温泉の中央、交通の要路に當つてゐるので、その繁華な事は箱根隨一で、此處に宮ノ下御用邸がある。

御用邸を隔て、すぐその西に續いて底倉温泉があり、八千代橋を以て通じてゐる。その八千代橋下百米の深谷を穿つてゐるのは蛇骨川と云ひ、蘆の湯附近の阿字池に源を發し外輪山と中央火山との間を流れてゐる裾合谷で、此處は既に大カドテラの内に入つてゐるのである。大昔に温泉の珪酸分が沈澱して出來た珪華の一種である箱根名物の一「蛇骨石」が此の川から出る。

温泉は淺間山麓熔岩の下なる集塊岩から涌出する弱鹽類泉で、無色清澄、微弱な鹹味を有し、温度五二度乃至五七度、太閤湯、三ヶ月湯、熊ノ湯、明治ノ湯等があり、胃腸病、婦人病、リウマチス、腦神経系統諸病等に效がある。

【温泉旅館】富士屋ホテル(純洋式、電宮ノ下二、三九、五九、七九番、室數一二〇、三食付一人一二圓一四圓。二人二四圓一三二圓、食事料朝二圓、晝三圓、夕三圓半、遊覽券指定一泊二食付九圓)、奈良屋(電同四、三三、六三、七七、一四七番、室五三、普通一泊四、五、六圓、遊覽券指定一泊六圓)。(附近名所)▲淺間山は宮ノ下背後に聳え、百米程登つた處に熊野神社があり、更に約一軒を頂上に達し、相模灣の蒼波、房總の翠巒、大島の青嶽も視界に入り、頗る壯麗な景である。

底倉温泉

神奈川縣足柄下郡温泉村底倉。前記宮ノ下温泉の西に隣り八千代橋を隔て、相對してゐる。電車宮ノ下驛の北五五〇米。小田原カラ自動車乗合七五錢、貸切五圓半。

地は蛇骨川の涯畔にあり山の傾斜面にあるので眺望がよい。蛇骨川の畔に天正小田原の役に秀吉が將卒の創傷を治せしめたと云ふ石風呂が今葛屋の高山園内に新田義則の記念碑と共に残つてゐる。

温泉は溪崖の集塊岩の岩罅から涌出し、無色清澄の微弱な鹹味を具へた弱鹽類泉で微弱アルカリ性反應を呈す。温度六四度乃至七五度、神經諸病、胃病、婦人病、リウマチス等に效がある。

【温泉旅館】葛屋(電宮ノ下六番、室四〇、普通一泊三、四、五、六圓、茶代廢止、遊覽券指定一泊五圓)、梅屋(電宮ノ下九、一〇九番、室二七、普通一泊同上、茶代廢止、遊覽券五圓)、仙石屋(電宮ノ下二二、二〇九番、室一七、普通一泊二、三、四圓)

堂ヶ島温泉

神奈川縣足柄下郡温泉村堂ヶ島。前記宮ノ下から東へ急坂を下ること約半軒。

地は早川の溪流に枕み恰も谷の底のやうな所で、箱根諸温泉中幽邃第一の境である。附近には溪水の懸つて瀧をなすもの多く、葉蔭の瀧、調の瀧、不動の瀧、三日月の瀧、白糸の瀧などがある。白糸の瀧に通ずる路傍に夢窓國師閑居の跡がある。國師は足利初期の名僧で、鎌倉建長寺を去り此地に草堂を營み幽棲したのである。また早川を隔て、松ヶ岡遊園地もあり、明星ヶ嶽頂上には登ること二軒で達する。

温泉は單純泉で、無色透明、微かに鹹味を有し、中性反應を呈する。温度五四度、腦病、胃腸病、婦人病、神經諸病、リウマチス等に效がある。

【温泉旅館】大和屋(電宮ノ下一番、室二五、普通一泊二、三、四、五圓、遊覽券指定一泊四圓)、對星館(電同四六、二〇三番、室二四、普通一泊二三、四、六圓、遊覽券指定一泊五圓)

木賀温泉

神奈川縣足柄下郡宮城野村木賀。小田原から約一四軒、自動車乗合八五錢、貸切六圓。電車宮ノ下から西北一軒二、自動車乗合一〇錢。東海道線御殿場から乗合一圓九〇錢。

地は底倉から五、六百米、宮城野から仙石方面へ通ずる路傍。前は早川の谿谷に枕み、背後は斷崖をなし、早雲山と二ノ平高原の東麓に位してゐる。もと溪流の勝箱根山中第一の地であつたが水害のため稍その風致を損じた。

温泉は無色透明の弱鹽類泉で、温度三八度乃至四五度、腦病、皮膚病、胃病、神經諸病、リウマチス等に效がある。

【温泉旅館】宮内一軒(電宮ノ下一六番、室一二、遊覽券指定一泊三圓、普通一泊二、三、四、五圓)

仙石原温泉

神奈川縣足柄下郡仙石原村。小田原から約二二軒、自動車乗合一圓二五錢、貸切八圓。官ノ下から西北六軒八、自動車乗合四〇錢、御殿場から乗合一圓五〇錢。蘆ノ湖畔湖尻から乗合五〇錢、早雲山麓から一軒餘。

箱根最奥の温泉地で、旅館の周囲は鬱蒼たる大森林で蔽はれ、他の温泉の様に遊覽氣分がなく、山の湯と云ふ感じの深い所である。附近にはゴルフ場がありまた長尾峠の通路となつてゐる。

温泉は大涌谷から曳いたもので、一軒餘の所に仙石上湯、それから七七〇米の處に仙石下湯、更に約四軒程の處に仙石元湯があり、無色透明の酸性鹽類泉で、温度六五度、皮膚病、婦人病、花柳病、神經諸病等に效がある。

【温泉旅館】(元湯) 倭石閣(電官ノ下七〇、室二〇、普通一泊四、五、六圓、遊覽券指定一泊六圓)、仙郷樓(電官ノ下七一、室四六、普通一泊、二、三、四、五、六圓、遊覽券四圓半)、(下湯) 萬岳樓(電官ノ下六八、室四五、一泊二、三、四圓)、(上湯) 冠峯樓(室二三、一泊同上)。

小涌谷温泉

神奈川縣足柄下郡温泉村小涌谷。小田原から約一七軒、自動車乗合九五錢、貸切六圓半、要一時間、電車一時間二〇分、並等七〇錢、特等九三錢、電車驛から温泉場へ近道五五〇軒。普通道約一軒三、乗合一〇錢、蘆ノ湖から約五軒、乗合四〇錢。

地は海拔五七六米、神山の支峯蓬萊山山麓の斜面地で、北條氏の城址鷹ノ巣山及淺間山は直ちに眼前に控え、眼下に見下す早川の深溪を隔て、明星、明神の翠色と語る箱根温泉中最も眺望美の勝れた處である。此地はまた櫻の名所で、附近の斜面地一帯及國道附近に多く一目千本の眺めあり、五、六月頃の蓬萊山蓬萊園にかけては各種のツ、シ多く、淺間山、鷹ノ巣山の山腹には楓樹が多く、温泉場から二〇〇米程下手の蛇骨川上流に千條の瀧があり、また附近の箱塚山には昔新羅三郎義光が奥州下向の砌、豊原時秋に笙の秘曲を授けたといふ有名な箱塚がある。千條瀧の所から鷹ノ巣山へは登路約一軒、それから山上の平地を歩いて湯坂道を下りて湯本温泉に出る六軒の道は早川、須雲の兩溪を瞰下し乍ら一步毎に景觀を新にする好箇の遊覽道である。

温泉は今から三〇年前程前小地獄の噴氣孔から熱氣を引いたもので、無色透明の酸性收斂綠礬泉で、温度八二度、貧血症、胃病、神經諸病、皮膚病、婦人病、リウマチス等に效がある。

蘆ノ湯温泉

神奈川縣足柄下郡蘆ノ湯村。小田原から約二軒、自動車乗合一圓三五錢、貸切九圓。電車小涌谷驛から西方五軒半、乗合五〇錢。元箱根から三軒半、乗合二五錢。

地は海拔八七九米、箱根最高の温泉場で、辨天山、寶藏山、二子山等に圍繞せられ、盛夏尙涼氣肌に迫るの幽境である。北方一帯の草原は池尻と云ひ、曾て湖水の末端であつたが、今はその一隅に阿字ヶ池を築き、蛇骨川の源をなしてゐる。

近には新羅三郎の箱塚、多田滿仲の墓、二五菩薩、六道地藏、曾我兄弟の供養塔、虎御前の塔、精進池、養池などがあり、二子山、駒ヶ岳、神山等の中央火口丘にも登られる。

温泉は清澄無比な硫黄泉で、温度四五度、皮膚病に特效がありリウマチス、花柳病、婦人病等に效がある。

【温泉旅館】

紀伊國屋(電官ノ下三、一七六番、室四二、普通一泊二、三、四、五圓、遊覽券指定一泊四圓)、松坂屋(電同七、八番、鶴鳴館トモ云フ和室七五、洋室三、普通一泊同上、遊覽券指定一泊四圓)

▲湯ノ花温泉は神山登山路、種無平の邊から七、八百米登つた、丁度駒ヶ岳の東麓にある。海拔一千米、箱根十二湯中最高位にあるが現在旅館の設備はなく湯の花を製造する小舎が一、二戸とその製造人達の住居が一戸あるのみである。然し湧出量は極めて豊富である。泉質は明礬含有硫化水素泉で温度五三度、殆ど無色透明で、リウマチス、神經痛、花柳病、皮膚病、婦人病等に效があると云ふ。

強羅温泉

神奈川縣足柄下郡宮城野村強羅。箱根登山電車終點所在地。小田原強羅間電車一時間一分、並等八〇錢、特等一圓八錢。

地は海拔七八八米、早雲山東北麓の傾斜地に位し、遙かに早川の溪谷を俯瞰し、明神、明星の二峯に相對して眺めがよい。驛の近くに登山電車會社經營の遊園地があり、その周圍は別荘地として、漸次發展して居る。温泉は約二軒の大涌谷から曳いたもので酸性鹽類泉で、温度六六度、腺病、痛風、リウマチス、婦人病、花柳病等に效がある。

【温泉旅館】

觀光館(電官ノ下三一、一六〇番、一泊四圓均一、茶代廢止、遊覽券指定一泊四圓)、倉田(電同四〇、室一二、普通一泊三、四、五圓、茶代廢止、遊覽券指定一泊四圓)、紅葉館(電一七一番、室一八、普通一泊三、四、五、六圓)、小高庵(電五〇、室一四、一泊三、四、五圓)、吉濱(電同三八、室九、一泊二、三、四、五圓、茶代廢止)、頓狂(電二二八、室五、一泊二、三、四圓)、再妻館(電一一八、室一〇、一泊二、三、四圓)。(附近名所) ▲強羅園……電鐵會社ノ經營ニナルモノデ、和洋二様、遊園デ、音樂堂、動物舎、水泳場、兒童遊戯場、簡易食堂及大浴場(入浴料一人一〇錢貸切湯五人迄一圓)等、設備ガアル。

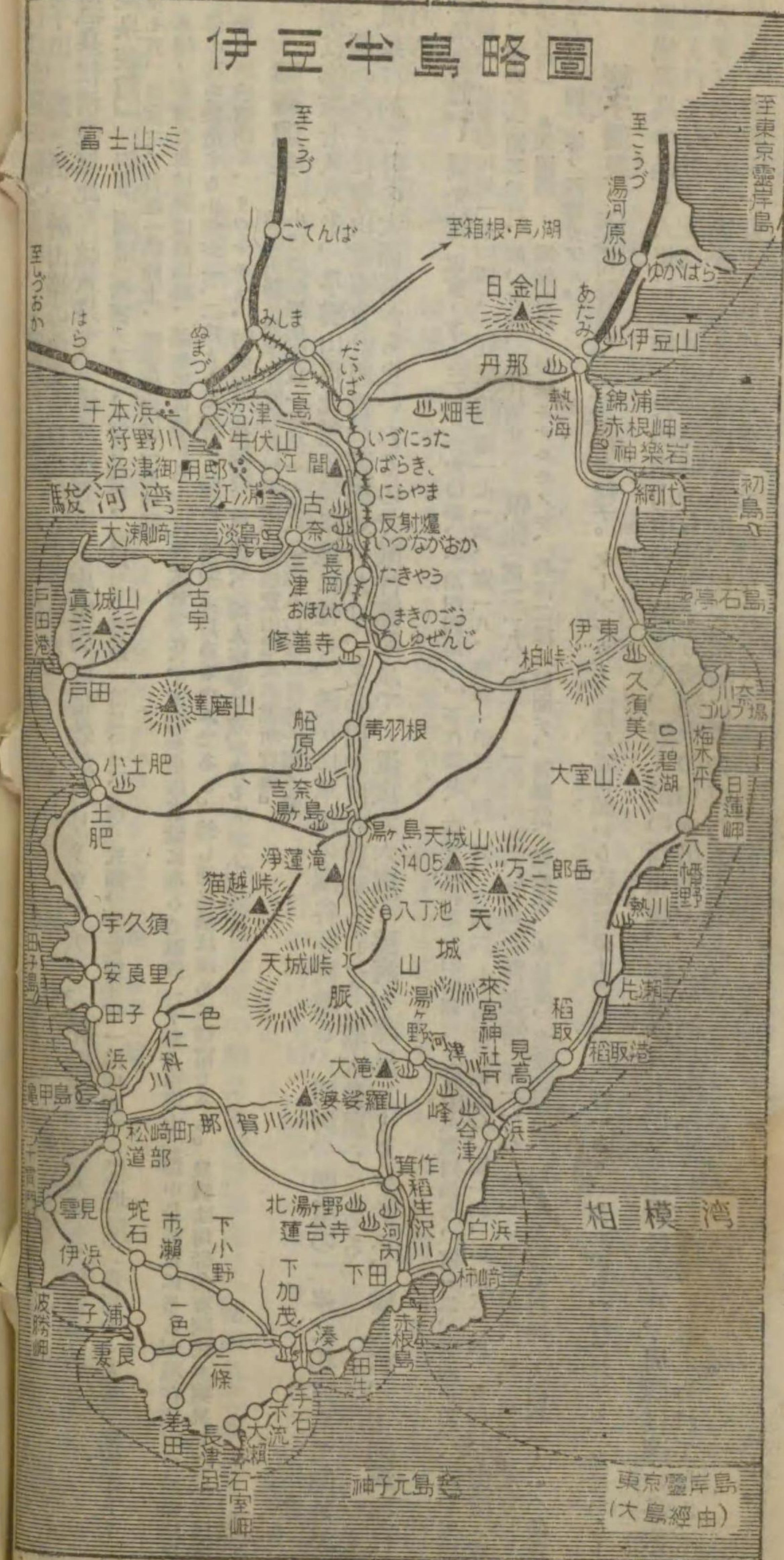
姥子温泉

神奈川縣足柄下郡元箱根村姥子。ケーブルカー終點早雲山麓から大涌谷頂上開慶臺迄二軒一あり、それから一軒二程下る。湖尻から上り一軒六。

箱根温泉中最も人里に隔絶した所謂山中の一軒家で、冠ヶ岳の西北麓、海拔約八七〇米の所にあり、周圍は深い森林に取圍まれてゐる。温泉は集塊岩の裂隙から涌出する清冽玉の如き出湯で、天然の岩盤を穿つた浴槽に湛えられてゐる。泉質は鹽類泉で滋味があり、温度四五度、腦と眼病に卓效があると云ふ。

【旅館】

秀明館一軒。(室數四〇、一泊二、三、四、五圓)



6 湯河原・熱海遊覽

(遊覽券利用東京から日歸り遊覽)

地名	發着時刻	記事	備考
東京	發前 八、二五	熱海行準急行	東京—湯河原一時間三七分(九九料一)三等普通片道一圓五一錢
湯河原	着前 九、五二	下乘合自動車	東京—熱海一時間四五分(一〇四料六)同
湯河原温泉	着前 一〇、一〇	遊覽、畫食	熱海驛カラ熱海温泉場、半料餘(下り道)自動車乗合二五錢(列車每貸切小型一圓、大型一圓半。)
伊豆山	發後 一、三〇	同	▲湯河原驛カラ湯河原温泉場へ西上り三料二、自動車一五分乗合二五錢(列車每五人乗貸切一圓半。)
熱海	着後 一、四〇	遊覽	(湯河原温泉カラ伊豆山經由熱海へ自動車乗合ニテ所要四〇分、乗合八錢)

湯河原温泉 南西北ノ三面ハ箱根山、日金山等ノ連綿重疊シテ藤木川ニ臨ミ東南ノ一方ガ展ケテ相模灘ヲ望ンデキル閑靜ナ温泉場デアアル。温泉ハ雄偉岩ノ隙隙カラ涌出スル無色透明ノ弱鹽類泉デ、溫度四九度乃至八八度、傷能ニ特效ガアリ、リウマチス、痔、胃腸病、呼吸器病、婦人病等ニモ效ガアル。此ノ温泉ハ一口ニ湯河原ト云ツテ居ルガ藤木川ガ神奈川縣ト靜岡縣ノ境ヲナスノデ、其左岸ガ湯河原、右岸ヲ泉ト云ツテ居ル。湯河原ハ旅館專業デアアルガ、泉ニハ碎ケタ遊興氣分ガアル。

名所……土肥の大杉(頼朝ガ石橋山ノ敗戦テ隠レタト云フ)、城願寺、五段瀧(高サ十丈、五段ニ流下ス)、不動瀧(高サ五〇丈餘)、保養院(大蘇鐵アリ)、十國峠(峠ヲ越エ山路二〇料テ箱根蘆ノ湖畔ニ出ル)。湯河原公園、隱居梅園等。

▲石橋山ノ古戰場ハ湯河原驛ヘノ途中、早川驛ノ南ニ在リ、早川村石橋ニアル。治承四年源頼朝ガ大庭景親ノ兵ト戦ツテ敗戦シタ所デアアル。

〔温泉旅館〕……天野屋(電湯河原十、廿、五〇。新館ハ二一、三一。室數七二)、中西(電同五、室二五) 富士屋(電同九。室四〇)、伊藤屋

湯河原・熱海遊覽

湯河原・熱海遊覽

(電四。室二〇)、以上遊覽券指定一泊四圓、普通一泊四圓乃至七圓、數島本館、數島別館(電同二三、室四〇)、上野屋(電二、室二一、伊豆屋(電一二、室四〇)、梅ノ湯(電一四、室一一)、遠州屋(電同七、室二八)、清香園(電同六七、室三〇)、高杉(以上遊覽券指定一泊三圓普通一泊三圓乃至五圓)、藤田屋(電同八、室二二)、箱根屋(以上一泊二圓半宛)。

熱海溫泉

地ハ伊豆半島ノ東北隅、海拔七七四米ヲ有スル日金山ノ東南麓、相模灘ニ面スル緩カナ傾斜地ニアリ、海三面翠山ヲ繞ラシ、東南方ハ洋々タル相模灣ヲ控ヘ、海ヲ隔テ、房總ノ山々ハ水天髣髴ノ間ニアリ、海上ニ二軒ノ絶勝地デアアル。地ハ又極寒四十度ヲ下ラズ、盛夏七八度(華氏)ヲ超エズ溫泉浴ト、海水浴ヲ兼ネラル、避暑又避寒ノ好適地デ、年ノ暮カラ梅ノ花開クト云フ所デアアル。人口一三、一一一(昭和五、一〇調)。

熱海溫泉ノ由來ハ頗ル古ク、仁賢天皇ノ四年、海中ニ熱泉湧出シテ魚介ノ爛死セルヲ發見シタガ、天平勝寶元年ニ至リ、萬卷上人ガソノ湯脈ヲ尋ネテコレヲ山腹ニ涌出セシメタト云フ。コノ湯ガ近年マデ間歇泉トシテ著名ナモノデアツタガ、大正十二年ノ關東大地震ヲ一期トシテ、今ハソノ實ヲ失ツタガ五十餘湯ヲ數フル各溫泉ハ何レモ高温デ九八度乃至一〇二度アリ、目ノ湯、無鹽ノ湯ヲ除キ皆濃キ鹽類泉デ、リウマチス、胃腸病、婦人病、神經諸病、腺病質等ニ效ガアル。

▲名所……大湯(海岸カラ三〇〇米、モト間歇泉ナレド關東大地震後ハソノ實ヲ失ツタ、溫泉寺、梅園(町カラ一軒半、梅樹數千株アリテ年ノ中ニ清香ヲ放ツ)、來宮神社、金色夜叉ノ碑、錦浦(伊東街道魚見崎ノ南凡一軒半ノ海岸ヲ云フ、奇巖怪巖ニ富ム、熱海カラ遊覽船賃切一〇人乗一艘六圓)、初島(周圍約四軒、長サ一軒半、中六、七百米ノ小島デ現在人家四〇餘戸アリ、家族的ノ極メテ温雅ナ共産地トシテ名高イ。熱海カラ一〇人乗モーター船一艘一五圓、片道所要五〇分)、日金山(一名十國峠トモ云フ、熱海カラ大場行ノ自動車デ六軒ノ峠マデ行キ、ソレカラ右へ約二軒デ頂上ニ達スル。海拔七七四米、一望開闊、前ニハ富士ヲ眺メ相模駿河ノ二澤ヲ俯瞰シテ天下無比ノ壯觀デアアル。更ニ鞍掛峠ヲ越セバ箱根町ニ出ル。道程二〇軒)。

▲溫泉旅館……熱海ホテル(電七三、一三四。日本室三七、一泊八圓、洋室風呂無二人室二五、室代一〇圓、同風呂付一二、室代一二圓、特別室日本室一、室代二〇圓、同洋室一、三五圓。食料料朝一圓半、晝二圓、夕二圓半、遊覽券指定一泊二食付七圓)。

萬平ホテル(電四三三、洋室二九、室代四圓一八圓、和室五、三食付六圓以上、遊覽券指定一泊二食付和式六圓洋式八圓) 樋口(電五、室四〇)、鈴木屋(電三、室三五)、露木(電九、室四五)、古屋(電一六、室四〇)、青木館(電四〇、室五四)、水口園(電二〇八、室三〇)、大黒屋(電七〇)、室四〇)、新角(電五〇、室四〇)、玉久(電二〇、室三五)、隱居玉屋(電一三、室一八)、熱海園、鱗屋(電五四、室一七)、(以上遊覽券指定一泊四圓宛普通一泊四圓乃至六圓) 新玉屋(電三二、室五〇)、玉の井(電一五八、室三五)、(以上遊覽券指定一泊三圓半) 藤井(電六四、室二〇)、眞誠館(電二七、室二四)、大朝館(電六六、室一四)、米倉(以上遊覽券指定一泊三圓宛) 福島館(電一〇五、室三〇)、福本別館(電七六、室一七)。

萬屋別館(電三六六、室二一)、米倉、小松、大月館、常盤館(以上遊覽券指定一泊二圓半宛)等其他全部ニテ五九軒。

▲「参考」▲丹那トンネルハ熱海驛ノ西南一軒半、熱海梅林ノ下、海拔六九米ノ地點ニ東口ガアツテ、一直線ニ安岳火山ノ大カルデラノ一部デアアル。山(六一八米)ノ下ヲ貫キ、丹那盆地(二二二米)ノ下ニ一五〇米ノ地點ヲ過ギ三島町ノ東南六軒八ナル西南村大竹ノ海拔六九米(熱海口ト同高)ニ西口ヲ有スルモノデ、延長實ニ七、八〇七米、長サニ於テ昭和六年九月開通ノ清水隧道(單線式)ノ九、七〇二米ニ亞グモ廣軌式復線隧道デ、世界大隧道ノ第九位ニ列シテ居ルモノデアアル。コレニ依テ現在東海道線ニ比シテ長サニ於テ國府津―沼津間ノ距離一、一六六ノ短縮トナリ、線路ノ最高海拔四五四米カラ七八五二、最急勾配千分ノ二五カラ千分ノ一〇ニ減ジ、列車ノ運轉時間ハ約一時間短縮シ機關車ノ牽引力ヲ二倍半乃至三倍ニ増大セントスル大改良工事中ノ最大隧道デアアル。ソノ工事ハ大正七年東西同時ニ始メラレ、大正十五年貫通ノ豫定デアツタガ湧水夥シクマタ一部崩壞、土砂噴出等ノ事故ガアツテ、大イニ遅延シ、未ダ開通ノ豫想ガ區々デアアルガ、不斷ノ努力ニ更ニ一層ヘビロカケテ工ヲ急イデ居ル結果、昭和七年六月現在デハ盆地ノ下僅カニ一、九二五尺ヲ殘スノミトナリ、今後豫定通りニ進行セバ本年度一杯ニ貫通シテ八年度中ニ一切完了、九年ノ四月頃カラ列車運轉ヲ行フ事ガ出來ルデアラウト云ハレテ居ル。

伊豆山溫泉 靜岡縣田方郡熱海町伊豆山。熱海驛ノ東北約一軒一、自動車乗合一五錢(列車毎)貸切小型七〇錢。小田原街道カラ急勾配ノ道ヲ一〇〇米程下ツタ波打際ノ懸崖ヲ開イテ、僅カバカリノ平地ヲ作ツタ所ニアル。前面ニハ相模灣ノ碧波ヲ控エ、背ニハ連山掩ヒ迫ル海岸ノ溫泉場デ、熱海ト同ジク風光絶佳ノ境デアアル。湯ハ無色透明ノ鹽類泉デ温度五二度。リウマチス、中風症、婦人病、ヒステリー、胃腸等ニ效ガアル。

▲名所……「伊豆山神社」溫泉場ノ近ク、數百階ノ石段ヲ上ツタ伊豆山ノ中腹、相模灣ニ面セル景勝ノ地ニアル。伊豆山權現又ハ走湯山權現トモ稱シ、火牟須比命外ニ神ヲ祀ル國幣小社デ、源賴朝、徳川家康ナド武家尊崇ノ明神デ、社殿ハ關東震災後改築サレタ。社背ノ森林ハ古カラ古々井ノ森又ハ子戀ノ森ト呼バレ杜鵑ノ名所トサレテ居ル。又神社カラ西南約半軒ノ般若院ニハ室町時代ノ優秀ナ刀法ヲ示ス伊豆山權現像(國寶)ヲ藏シテ居ル。

東京 着後 七、二五

旅行費用概算

二等 九圓四九錢 内譯(遊覽券―鐵道、東京―湯河原、熱海―東京間。自動車、湯河原驛―湯河原溫泉) 三等 六圓七一錢 熱海町間。二等六圓四九錢三等三圓七一錢。食料其他トシテ三圓宛ヲ計上ス。

湯河原・熱海遊覽

伊豆温泉巡り

7 伊豆温泉巡り

(遊覽券利用東京から三日旅程)

日程	地名	發着時刻	記事	備考
日1第	東京	發後 一、三五	熱海行列車	
	熱海	着後 三、三六	遊覽、宿泊	
日2第	熱海	發前 七、五五	東海自動車 定期乗合	
	伊東	着前 九、二〇	一浴、晝食	

伊東温泉

地名ノ如ク伊豆ノ東端ニ位シ前ハ相模灘ニ臨ミ、後ニ天城山、箱根山ノ支脈等ヲ負ヒ、海上一二軒ノ初島ヤ、宇佐美ノ大崎、伊豆山、眞鶴崎ノ繪ノ様ナ黛影ヲ望ミ、晴天ノ日ニハ三浦半島ノ翠黛ヲモ眺ムルコトガ出來ル。冬暖ク夏涼シク湧泉ノ豊富ナ事、東ノ別府トモ云ハレテ居ル。人口一六、四三三(昭和五、一〇調)湯ハ猪戸(シンド)、松原、玖須美(クヌミ)等ニ分レ、掘鑿ニ依テ温泉ガ得ラレルノデ目下七百以上ノ湯出口チ數ヘ海岸近クハ多ク鹽類泉デ、ヤ、離レタ所ハ單純泉デアル。温度四三度乃至四九度、胃腸病、神経痛、婦人病、外傷、リウマチス、創傷等ニ效ガアル。

此ノ地附近ハ鎌倉時代ヲ背景トシテ史實ニ富マデ、其昔伊東家次以來祐親マデ伊東氏ノ領地デアツタノデ、ソノ遺蹟ガ多イ。蛭ヶ小島ニ流論サレタ頼朝ハ安元カラ治承ノ初年ニカケテ伊東郷ノ北、小御所ト呼ブ所ニ住テ居タガ祐親ハ之ヲ遇スルニ甚ダ冷靜デアツタ。然シ祐親ノ娘ハ重姫ハ親ニ反シ頼朝ト親ミ、毎夜日暮ノ森デ日ノ暮ル、ヲ待チワビ、暮レルト松川ヲ渡ツテ音無ノ森ニ逢フ瀬ヲ瀬ラ樂ンダト云フ。ソシテ八重姫ハ一子千鶴九子産ンダガ父ハ

甚シク怒ツテ武士ヲ遣ハシテ千鶴九子奪ツテ之ヲ殺サシメタノデアル。ソノ憤ト怨ガアツタ爲、頼朝志ヲ得ルニ及ンデ祐親ハ壽永元年二月一五日に、三浦義澄ノ鎌倉ノ屋敷デ詰腹ヲ切り、敢ナキ最期ヲ了ツタノデアツタ。

▲稚兒ヶ淵—松川ノ上流ニアリ祐親ガ千鶴九子沈メタ所。▲音無神社—音無ノ杜ニアリ頼朝ハ重姫ノ故事ニ因ンデ尻摘祭ト云フ奇習ガアル。毎年十一月十日夜、一切點燈ヲ禁ジテ無言ノ中行ハレ、神前ノ神酒ヲ頂クニモ只尻ヲ摘ンデ合圖ヲシテ土器ヲ廻シ、多クノ參詣者モ亦一點ノ灯サヘ無イ夜陰ノ中デ互ニ行違フ人ノ聲部ヲ抓ルノデアル。其ノ爲八方ニ金切聲ガ聞カレル。▲佛現寺—日蓮流論ノ時三ヶ年ノ苦難ヲ嘗メタ草庵ノ址デアル。▲妙照寺—天狗ノ詭狀ト稱スル字體不明ノ古文書ガアル。▲松月院—桃源山ノ中腹ニアリ眺望ガヨイ。▲日暮ノ杜—頼朝ガ八重姫ヲ待ツタト云フ所。▲淨ノ池—玖須美ノ湯ノ池デ、温度華氏七九度ノ温泉ガ池底カラ涌出スル中ニ印度、阿弗利加等ノ熱帶海ニ産スル炎鱈、沖筒鯛、湯鯉、矢形いさぎ、しまいさぎ、じんなど等ガ盛ニ活躍シテ居ル。天然記念物指定トナル。▲潮吹岩—伊東町ノ東端ナル潮吹崎ニアリ、徳利狀ノ岩窟ニ海水ガ押入ツタトキ、洞内ノ空氣ガ壓縮サレテボムブノ如ク十數米ノ高サニ海水ヲ噴出スルモノデ、満潮時ニハ壯觀ヲ呈スル。▲川奈ゴルフ場—川奈區ニアリ伊東カラ乗合片道五〇錢、大倉男ノ經營スル東洋一ト誇ルモノデ、廣サ五千アール、一八ホール、大島コース及富士コースノ二ツアル。▲一碧湖—小室村吉田區ノ西南ニ軒ノ山中、伊東カラ四軒餘ノ所ニアリ。伊東カラ吉田マデ乗合片道三〇錢。湖ハ天城火山ノ側火口湖デ東西ニツノ湖水ガ互ニ連ツテ飄形ヲナシ、周圍約四軒許リ、碧潭一幅ノ南畫ノ如キ山水美ヲ見セテ居ル。

〔温泉旅館〕 暖香園(電一八、室二二)、山ふじ(電二二、室二四)、東京館(電三三、室二五)、刀屋(電一三〇、室一八)、大阪屋(電二二) (以上遊覽券指定一泊三圓半宛、普通一泊三圓、四圓、五圓)、伊東館(電一七、室三〇)、榎屋(電七、室一八)、(以上遊覽券指定一泊三圓)、大東館(電二〇七、室三〇)、松林館(電四五、室二二)、辰太(電一五、室一七)、松川館(電一〇七、室二六)、猪戸館(電一二七、室五五)、東龍館(電一五八、室二四)、(以上遊覽券指定一泊二圓半ツ、普通一泊二圓—五圓)、温泉プール(宿泊ナシ、晝食一圓二〇錢)、豊泉閣(電一五九)其他。

日2第	伊東	發後 二、三五	東海自動車 町行定期乗合
	修善寺町	着後 四、〇五	宿
			泊

伊豆温泉巡り

伊東—修善寺町間約二二軒、自動車一時間三〇分、乗合一圓半、(一日一三往復)、貸切修善寺町迄八圓。修善寺驛カラ修善寺町迄二軒、乗合一圓、貸切一圓。

修善寺温泉 峯巒南北ニ連リ、東西僅カニ溪谷ヲ通シ、達磨山カラ流レ出タ桂川ノ清流町ノ中央ヲ貫流シ、浴舎ハ其ノ流レヲ挾シテ軒ヲ列ネテ居ル山水双美ノ物靜カナ温泉郷デアル。人口五、四六八（昭和五、一〇調）

温泉ハ可ナリ古クカラノ發見デ大同年間、弘法大師諸國巡錫ノ砌、獨鉆ヲ以テ桂川ノ中ナル岩ヲ穿ツテ温泉ヲ得タノニ始マルト傳ヘラレ、ソノ湯ハ今モ尙川中カラ涌出シ獨鉆ノ湯ト呼バレテ居ル。ソノ他石湯、稚兒ノ湯、白糸ノ湯、箱湯等皆泉源ヲ河中ニ有シテ居ルガ主ナル旅館ニハ内湯ガアル。泉質ハ何レモ弱鹽類泉デ温度六〇乃至六九度、神經痛、胃腸病、婦人病、呼吸器病、皮膚病、リウマチス等ニ效ガアル。

修善寺ハ鎌倉時代ヲ背景トシタ肉骨相嚼ム悲劇ヲ殘シタ所、即チ源頼家及範頼終焉ノ地トシテ千古ノ哀史ヲ此所ニ留メテ居ル。頼家ハ頼範ノ嫡嗣デアアルガ、北條時政ノ讒ニ逢ヒ、母政子ノ爲此地ニ幽閉サレ、遂ニ北條時政ノ爲ニ今ノ淺羽樓ノ浴舎ノアル處デ虐殺セラレ、マタ頼朝ノ弟範頼ハ兄ノ猜疑ヲ買ツテ此地修善寺ノ信切院ニ幽閉サレ、建久四年梶原景時ノ來襲ニアヒ、火ヲ放ツテ焚死シタ。今頼家ノ墓ハ指月殿ノ左側ニ、範頼ノ墓ハ修善寺町ノ西方歐丁戸田街道ノ小山、若宮八幡ノ傍ニアル。

〔名所〕……▲修善寺 修善寺町ノ中央ニアリ、創建ハ詳デナイガ曹洞宗ノ古刹デ、建治元年ニハ宋ノ僧蘭溪來住シテ臨濟宗ニ改メ、其後正安年中ニハ元ノ僧一寧モ來住シタ事ガアリ、北條早雲ガ伊豆ヲ略シ、菰山ニ據ルニ及シテ曹洞ノ隆溪禪師ヲ迎ヘ來リ、大イニ復興シテ今日ニ及テ居ル。文久元年堂塔悉ク燒失シ、明治十六年再建ス。往時ハ八院ノ塔頭ヲ有シタガ今ハ正覺院（四軒許ノ奥ニアル院）ヲ殘シテ居ル。▲指月殿 虎溪橋ヲ渡ツテ一〇〇米許リノ左側、菰屋山莊ノ隣地ニアル。母政子ガ源頼家ノ冥福ヲ祈ル爲宋板一切經ヲ藏メテ建立シタ經藏デアアル。其經卷ノ一部ハ芝ノ増上寺ニ送り、他ハ修善寺デ保管シテ居ルト云フ。一心なき月を仰ぎて尼君の、猛き心も掛けたりけむ 佐々木信綱。▲十三人塚 塔ノ峯ノ麓ニ頼家侍臣ノ墓ト傳フル大小九基ノ古蹟ガアル。▲城山公園 温泉場ノ入口、南方ノ山上ニアリ眺望ガヨイ。其他日枝神社、長壽園不老ノ瀧等ガアル。

〔温泉旅館〕……▲菊屋別館（電修善寺一〇、室二二〇、三圓以上）、▲新井養氣館（電同七、室八〇、一泊三圓―七圓）（以上遊覽券指定一泊四圓宛）、▲菊屋本館（電同九番、室百、一泊三圓以上）、▲淺羽別店（電同二〇、室一〇、同上）、▲野田屋（電同八、室五〇、同上）、（以上遊覽券指定一泊三圓宛）▲淺羽本店（電同四、室五〇、二圓半―五圓）、▲丸久（電同六、室四〇、二圓半以上）、▲仲田屋桂流館（電同三、室四五、二圓半―五圓）、四方樓（電同二、室三〇、一圓半―四圓）、▲橋本屋（電同二、室三〇、二圓以上）、▲水月屋（電同三、室二五、二圓以上）、▲柏屋（電二二、室二五、一圓半以上）、▲福壽館（電同五、室一五、一圓三〇錢以上）、月ノ家（電同三八、室一二、一圓二〇錢以上）等。

第 3 日

修善寺町	發前	修善寺驛行 乗合自動車
修善寺驛	着前 九、三〇	乗換 駿豆電車三島行
伊豆長岡	着前 九、三六	下 乗合自動車
古奈温泉	發前 九、五五	駿豆鐵道會社經營 (通過)
長岡温泉	着前 一〇、〇五	一浴、晝食

▲修善寺驛カラ駿豆鐵道電車デ伊豆長岡驛ヘ一六分（八軒四）三等二四錢、二等四八錢。

古奈温泉 伊豆長岡驛カラ西八八〇米、自動車乗合（長岡温泉行）八錢。古奈山ノ麓、鬱蒼タル小丘ヲ負ヒ前ニ田圃ヲ控ヘテ閑雅ノ地無色透明ノ單純泉デ温度五五度、創傷、濕疹、神經諸病、婦人病、腺病、皮膚病等ニ效能ガアル。

〔温泉旅館〕……▲白石館（電長岡二九、室二八）、▲舊本陣（電同三三、室二五）、▲井川館（電同四五、室二〇）（以上遊覽券指定一泊三圓宛）、▲安田屋（電同五八、室一〇）、▲住吉館（電同六八、室一一）、▲松城館（電同七二、室八）ななかや、笹屋、倉屋、山形屋、ふびす屋、米山館、みるく館、葛屋等

（以上遊覽券指定一泊二圓半、普通一泊一圓半―四圓）

▲伊豆長岡驛―長岡温泉間二軒（一八丁）、自動車一〇分、乗合一五錢、貸切一圓。

長岡温泉 前記古奈山ノ一小巒ヲ隔テ、古奈温泉ト相對峙シテ居ル。四周ハ一面ニ青葉ノ丘デ、富士ノ眺望ガヨイ。湯ハ明治四年新ニ穿掘シタ温泉デ、沖積層中カラ湧出スル無色透明ノ弱鹽類泉デ、温度四九度、リウマチス、濕疹、皮膚病、ヒステリ、腺病、婦人病等ニ效ガアル。

〔温泉旅館〕……▲さかな屋（電話三番、室數三三、一人二圓乃至五圓、遊覽券指定一泊三圓半）、▲山田屋（電一五、室二〇、二圓半―五圓、遊覽券指定一泊二圓半）、▲柳屋（電五、室二七、遊覽券指定二圓半、普通一圓半―三圓）其他。

▲名所……▲最明寺 時頼ノ墓、東光山最明寺ニ在ル。（古代ノ石棺）、▲菰山城址 伊豆長岡驛ノ東北一軒、菰山中學校背後ノ丘陵ガソレデ、北條早雲ガ始メテ城起ル所政知ノ子茶々丸ヲ殺シテ據ツタ處デ、今尙本丸ノ外廓ヤ濠ノ一部ガ殘ツテ居ル。（江川邸）菰山城址ノ東方一軒半ニアリ、伊豆ノ豪族江川氏ノ邸第デ、單層ノ母屋造ヲ持、鎌倉時代ノ建築デ、七百年前（今尙本丸ノ外廓ヤ濠ノ一部ガ殘ツテ居ル）ニカカリ、當時ノ住宅建築ヲ徵スベキ貴重ナル遺構デアルト云フ。〔反射爐址〕長岡驛ノ東一軒ニ分、鳴瀬ニ在ル。江川太郎左衛門英龍ガ幕府ニ建議シテ安政二年ニ造營、爾後明治維新迄ニ大小被數百門ヲ營造シタモノデアアル。今東京靖國神社境内大村益次郎銅像下ニアル破身ハ此處テ鑄造サレタモノデアアル。遺址ハ今陸軍省ノ所管ニ移リ、高サ一六米ノ煙突及長サ五米六、昭和五年秋、伊豆震災ノ時、頂部ヲ少シ失ツタ。中五米ノ爐址ガ存シテ居ルニ使用サレテ居ル煉瓦ハ千七百度ノ高熱ニ堪エルモノデ、英龍ガ天城山鑛梨木ソノ他ノ土ヲ採リ、苦辛

伊豆温泉巡り

七四

ノ後竣工シタノモデアルト云フ。(願成就院)伊豆長岡驛ノ北一軒、葦山村寺家ニ在ル。文治五年北條時頼ガ奥州征伐ノ戦勝ヲ祈ル爲建立シタキデ、本ノ阿彌陀座像ハ國寶ニ指定サレテ居ル(眞言宗)。(蛭ヶ小島)平治ノ亂ニシテトラヘラレタ頼朝ガ流サレテ二〇年離伏シタ地デ、古奈温泉ノ人家ニ近イ田圃中ノ孤松ノ下ニ、石ニ標シテ古蹟ヲ表示サレテ居ル。
三津 伊豆長岡驛ノ西南四軒五、自動車乗合ニ五錢、所要二〇分。長岡温泉カラ三軒三(三〇丁)、自動車乗合二〇錢、貸切一圓半。
 修善寺町一横瀬一、大仁一、田京一、小坂一、長瀬一、三津ノ経路ニ依ル乗合自動車モアル、所要約四五分(約一四軒余)料金五五錢(一日二回)
 駿河灣ノ一支瀨デアアル内浦灣ニ臨ム景勝ノ地デ、左方ニハ大瀬岬、右方ニハ江ノ浦灣ノ長汀前浦カラ沼津ノ千本松原ノ翠黛モ眺メラレ、灣頭ニハ海抜一三四米、淡島ノ青螺ガ美シク波間ニ浮ビ、更ニ島ト鷺頭山トノ間ニ麗姿富士ガ眺メラレル。舊時ハ本州三大港ノ一トシテ知ラレタト云フガ近時ハ避暑及海水浴場トシテ喜バレテ居ル。▲淡島ハ海岸カラ約一軒七ノ所ニアリ周圍ハ三軒、頂上ニ辨天祠ヲ祀ル淡島神社ガアル。▲舟遊料和船八人乗一日四圓、▲旅館……松濤館(電話四〇番、室二〇)、安田屋(電話四一番、室八)(以上遊覽券指定一泊二圓半)。
 (参考)

東京	沼津	江ノ浦	三津	長岡温泉
着後 九、三五	着後 五、四三 五、三三	着後 四、五五	着後 二、五五	着後 二、三五
歸宅	汽車ニ乗換 東京行列車	東海自動車	下車、遊覽	駿豆鐵道自動車

旅行費用概算

二等 二四、二六
三等 一六、三三

内譯 (遊覽券)前記経路ニ要スル乗物賃全部及熱海、修善寺ノ宿泊料一泊宛(合)二八圓二六錢、三等一八圓二六錢、二等一四圓三三錢、食料其他雜費 二等六圓 三等四圓 計上ス



8 奥伊豆温泉めぐり

(遊覽券利用東京から三日)

日程	地名	發着時刻	記事	備考
第1日	東京	發後 一、四〇	米原行列車	▲東京—三島三時間餘(一三三軒三分)、三等一圓九六錢。 ▲三島—修善寺間修善寺鐵道電車テ四三分(二〇軒五分)、並等五八錢、特等一圓一六錢。 ▲修善寺驛カラ湯ヶ野温泉へ三六軒。下田自動車定期乗合テ一時四〇分、乗合片道二圓、往復三圓二〇錢。貸切八圓。 「註」東京發午後一時三十分ノ夜行終列車ニ接續シテ沼津發前四時、修善寺發前五時五分、湯ヶ野前六時五五分、下田着七時三十分ノ定期乗合自動車ガアル。料金沼津カラ修善寺迄九〇錢、湯ヶ野迄二圓九〇錢、下田迄三圓六〇錢。
	三島	着後 四、四六 發後 四、五一	乗換 駿豆電車	
	修善寺	着後 五、三四 發後 五、三五	下田自動車	
	湯ヶ野	着後 七、一五	宿泊	
第3日	東京	發後 一、四〇	米原行列車	
	三島	着後 四、四六 發後 四、五一	乗換 駿豆電車	
	修善寺	着後 五、三四 發後 五、三五	下田自動車	
	湯ヶ野	着後 七、一五	宿泊	

奥伊豆温泉めぐり

七五

奥伊豆ノ温泉 伊豆半島天城山ノ南ニ散在スル諸温泉ノ總稱デ、修善寺驛デ自動車ヲ驅リ、途中湯ヶ野ヲ經テ天城山ノ半腹ヲ越エ、凡一時間半デ奥伊豆諸温泉ノ入口デアアル湯ヶ野ニ達スル。夫カラ下田迄ノ間ニ河内及蓮臺寺ガアリ、下田カラ西ノ海岸近クニハ下加茂ガアリ、戻ツテ北ノ海岸ニハ谷津峯、熱川温泉ナドガアル。
 [天城山] 伊豆半島中部ノ東半ニ聳ル火山デ、萬二郎岳、萬三郎岳、八丁池山、三筋山、箒山等ノ連峯カラ成リ、主峯萬三郎岳ハ標高一四〇五米ヲ示シ伊豆ノ最高點ヲナシテ居ル。萬三郎岳ハ萬二郎岳、白田峠ナドト共ニ火口壁ヲ作り、其南側ハ急斜シテ直徑六軒半ノカルデラヲ形成シテ居ル。カルデラノ中央ニハ白田山ノ中央火山丘ガ聳エ、中腹カラ泥流ヲ流シ、カルデラノ水ハ白田川ノ火口瀨ニ依ツテ流出サレテ居ル。此ノ火山ニハ一五ノ側火山ガアリ、ソノ側火山ハ或ハ優美ナ圓錐形ヲナセルモノ、或ハ火口ニ水ヲ湛エルモノ、或ハ岩山ヲナセルモノ等種々アリ、斯ク様式ヲ異ニシタ多クノ側火山ヲ有スル事ハ稀ニ見ル現象デアルト云フ。中央火口ニ近イ側火山、天城峠ノ東北一軒、萬三郎岳ノ西四軒ノ所ニハ八丁池ト稱スル火口湖ガアル。池ハ其ノ名ノ示ス如ク周圍八丁許リノ圓形湖デ、標高一千米以上モアル高山ニ依テ圍マレ、池ノ附近ニハ樹上ニ卵葉ヲ吊ルノデ名高イ森青蛙ガ棲テ居ル。天城山カ

奥伊豆温泉めぐり

ヲハ椎茸、山葵ヲ出シ、何レモ品質ノ優レテ居ルノデ全國ニ知ラレ、山林中ニハ鹿、猪等ガ棲ミ冬季狩獵家ヲ喜バシテ居ル。天城山ノ裾ニハ温泉ガ湧出シ、西北ノ湯ケ島、西南ノ湯ケ野、南方ノ峯及谷津、東南ノ熱川等ガ名高イ。

湯ケ野温泉

静岡縣賀茂郡上河津村、修善寺驛ノ南三六軒、自動車ノ便アリ(前記)。自動車停留所カラ湯ケ野へ約數十歩下ツタ所ニ温泉場ガアル。地ハ天城山ヲ越エタ南伊豆ノ山間ニアル温泉場デ、河津川ノ上流ニ臨ミ、清流ヲ挾ンデ四、五ノ旅館ガ並ビ幾分享樂的ノ感ガアル。然シ前ニハ一帶ニ天城山脈高ク、後ニハ一段高ク下田街道ガ走り、眺望ハ無イガ土地高燥デ山間ノ湯場ノ氣分ガシミ味ハレル。

温泉ハ無色透明ノ鹽類泉デ温度三八度、皮膚病、神經諸病、眼疾等ニ效ガアル。

【温泉旅館】 江戸屋(電上河津六番、室八、遊覽券指定一泊二圓二〇錢)、福田屋(電一)湯本樓(電二四)、以上遊覽券指定一泊二圓半、玉屋(以上何レモ内湯アリ、一泊一圓半、二圓半)

【附近名所】 ▲大澤一高サ九〇尺、中二四尺、玄武岩ノ懸崖カラ直下シテ居ル。▲釜淵一高サ百尺、中一八尺、其他初景瀨、三養院ノ瀨及江川英龍氏反射瀨煉瓦製造ノ址ナドガアル。

小鍋温泉

温泉場ノ西半軒、小鍋川ニ臨ンダ所ニアリ、泉質ハ鹽類泉デ疝氣、腫物ニ特效ガアルト云フ、旅館二階屋一軒。附近ニハ其他梨本、大鱈、横川、北湯ケ野、大澤、道部、赤間等ニモ温泉ガアル。

〔参考〕

静岡縣賀茂郡稻生澤村河内。修善寺驛、南五二軒半(一三里)、自動車二時間半、乗合二圓七〇錢、貸切一二圓。下田町ノ北三軒三(三〇丁)カウチ 河内温泉 自動車乗合一五錢、貸切一圓。

地ハ下田街道ニ沿フタ稻田ノ中ニアリ、四方ニ山嶺ヲ繞ラシ、下田富士、武山(萬象山)等ヲ眺メタ景色ガヨク、靜カナ湯治氣分ノ漲ツテ居ル處ト云フヨリハ寧ロ下田港ノ若イ衆ノ遊樂地ト云ツタ所デアル。

温泉ハ弱アルカリ性鹽類泉デ、温度四九度、リウマチス、ヒステリー、神經衰弱症、貧血諸症、婦人病等ニ效ク。

【温泉旅館】 金谷樓(電下田三三五番、室一〇、一泊二圓一三圓、千人風呂アリ、入浴料一〇錢、遊覽券指定一泊二圓半)、藤原(電同二五六、室六、一泊同上) 松本屋(電下田一六五、室八、露天風呂アリ。一泊同上。遊覽券指定一泊同上)。

【附近名所】 ▲高根山一温泉場ノ對岸ニアル二四三米ノ山デ山上ノ眺メハ伊豆三勝ノ一二數ヘラレテ居ル。▲お吉ヶ瀨一米國使節ハリスノ愛妾唐人お吉ガ投身自殺シタ所ト云フ。

蓮臺寺温泉

静岡縣賀茂郡稻生澤村蓮臺寺。前記河内温泉カラ七、八百米、修善寺カラ下田行ノ自動車ニ依ルト河内温泉場ヲ過ギテ下田富士ノ附近ニ見ル立野橋際ニ下車、夫ヨリ西ヘ約三百米。乗合二圓七〇錢。下田ノ西北三軒半(三〇丁)、乗合一五錢、貸切一圓。

地ハ稻生澤川ノ支流ヲ中ニ翠巒四圍ヲ繞ル閑寂ノ地デ、田舎ノ湯治場ヲシイ感ジノスル所デアル。温泉ハ一千數百年前、行基菩薩ニヨツテ發見セラレタト云フ古イ歴史ヲ有シ、北側山麓ヲ中心トシテ各所ニ湧出シテ居ル。泉質無色透明ノ硫酸泉デ、温度四九度、皮膚病、リウマチス、神經諸病、性病、婦人病、等ニ效ガアル。

【温泉旅館】 會津館(電下田七三、遊覽券指定一泊三圓)、掛塚屋(電同二三四、同上)、石橋(電下田一〇六、同二圓半)、順治樓(電同二〇二、同上)、松陰館(同上)中田屋(電三三八、同上)、新湯(同二圓八〇錢)、小川(電下田三〇四、同二圓)、湯端館(電同二四五、同上)、吉村館(同二圓半)、三吉屋(電同二〇九、同二圓二〇錢)

【附近名所】 ▲國寶大日像一温泉場ノ西方小山ノ上ノ天神社ニアル。木造結跏趺座ノ座像デ高サ一米餘(三尺八寸)、七百年前廢寺トナツタ蓮臺寺ノ本尊デ、神社ノアル所ハソノ寺ノ舊址デアルト云フ。▲河内鑛山一天神社背後ノ山ヲ中心ニアリ大坂久原氏(日本鑛業會社)ノ經營ニカ、ル金鑛(含金銀石英デ、神ノアツク、方鏡鑛、滿庵鑛等ヲ隨伴スル)デ其ノ鑛石ハ茨城縣ノ日立鑛山其他ノ製鑛場ヘ送ラレテ居ル。

▲静岡縣賀茂郡東村奈良本。海路東京灣汽船デ伊東カラ下田行ノ汽船デ二時間半、賃八〇錢、下田カラ二時間半、賃九〇錢。陸路修善寺驛カラ下田自動車ニテ谷津、稻取ヲ經テ熱川口迄乗合二圓九〇錢、下田カラ熱川口迄一圓五〇錢。伊東カラ川奈、梅ノ木平經由八幡野迄約一八軒、東海自動車ニテ五五分、乗合六〇錢、夫カラ徒歩約四軒。

熱川温泉

地ハ天城山ノ東南麓、稻取ト八幡野ノ間ニアル山アヒノ濁川ト云フ小サナ川ノ落口、波打際ニアル。前ニハ相模灣ノ澎湃ヲ控エ、大島ノ噴煙ヲ間近ニ見後ニハ天城ノ翠巒ヲ負フテ極メテ靜寂ナ温泉場デアル。北西ニハ山嶺ガ廻リ、相模灣ヲ渡ル海氣ハ冬暖ク避寒地及療養地トシテ良イ所デアル。

温泉ハ無色透明ノ鹽類性硫酸泉デ、温度四九度、皮膚病、創傷、胃腸病等ニ效ガアル。

【温泉旅館】 土屋、福島屋、王翠館ノ三軒、何レモ内湯アリ、一泊一圓半乃至二圓半。

▲伊東ノ南カラ八幡野ノ南ノ赤澤ニ至ル間ニハ波狀岩岩疊地ノ海岸風景ガアル。特ニ富戸カラ日蓮崎ヲ經テ八幡野ニ至ル代表的中心「篠海ヶ浦」ハ新伊豆三勝ノ一トモ云フベキ勝區ヲナシテ居ル。コレヲ海上カラ望ムト大室山、小室山ノ圓錐峯ヲ背景トシテ二百米ノ斷崖ヲ直立サセ夕陽岩ノ臺地ガ青松ヲ戴イテ海ヲ壓シテ横リ、實ニ豪壯ナ景觀ヲ現ハシテ居ル。下田行ノ船上カラ其ノ勝景ヲ擅ニスルコトガ出來ル。

奥伊豆温泉めぐり

口伊豆の温泉

熱海温泉(六八頁参照)、伊東温泉(七〇頁参照)、修善寺温泉(七二頁参照)、長岡温泉(七三頁参照)、古奈温泉(七三頁参照)。

船原温泉

船原温泉 静岡縣田方郡中狩野村上船原。修善寺驛ノ西南一〇軒、自動車四〇分、乗合六〇錢、貸切三圓。地ハ下田街道青羽根カラ西ニ折レテ約四軒(自動車二〇錢)デ天城山ノ北嶺棚場山御料地ノ東麓ニアル船原川ノ溪流美ニ臨ム清閑ナル所デアアル。此處カラ小山越ニ吉奈温泉ヘ二軒、西海岸ノ土肥温泉ヘハ峠越ニ二軒デアアル(目下道路改修中ニテ夏頃迄ニ開通豫定)。

温泉ハ無色透明ノ弱鹽類泉デ温度四九度、リウマチス、神経痛、胃腸病、婦人病等ニ效ガアル。

【温泉旅館】 船原ホテル(電青羽根五番、和洋兩式、遊覽券指定一泊四圓。和室二六、一泊三圓以上、洋室四、室料三圓半、一人増一圓。食事(和)朝五〇錢、晝一圓、夕一圓半、洋食ハ夏季中ニテ各五〇錢増。茶代廢止、ホテルニハ玉突、テニスコート、大弓、ラデオ、温泉プール等ノ設備ガアル。船原館 遊覽券指定一泊二圓、電同三二、室六、對山莊(室八、二圓以上)。

【附近名所】 寶藏院、紀州ノ瀧、土肥峠ノ駿河灣遠望等、又船原川ニハ鮎ヤ鰻ガ多ク、岩魚、山女等ガ釣レル。

矢熊温泉

上狩野村矢熊、船原温泉ヘ行ク途中ニアル。修善寺驛カラ約八軒、乗合四〇錢。東ニ武田山脈ヲ背ヒ、西ハ狩野川ニ臨ミ、南方遙ニ天城ノ連峯ヲ望ミ、北ニ富士ノ美峯ヲ仰グ、此邊ハ船原ト同ジク帖ト山女ガ釣レ、山葵ト椎茸ノ本場トシテ知ラレテ居ル。温泉ハ鹽類泉デ微温、神經痛、リウマチス、婦人病等ニ効ガアリ、旅館堀江館ガアル。(電青羽根二六、室一〇、一圓半乃至二圓半)

月ヶ瀬温泉

狩野川ノ川岸ニアル温泉デ、船原温泉ヘノ岐路ニ當ツテ出口ノ村落ガアリ、其川ノ對岸ニ矢熊温泉ガアル。月ヶ瀬温泉ハ出口カヲ約一軒半許リ廻ツタ狩野川ノ中洲ニアル。旅館中島一軒。(電青羽根一一、室四、一圓半)ニ圓半)泉質ハ弱鹽類泉デ、温度四三度内外、リウマチス、胃腸病、婦人病、腺病、神經系諸病ニ効ガアルト云フ。此處カラ船原、吉奈、湯ヶ島ノ諸温泉ヘハ二軒乃至四軒位デ行ケル。

吉奈温泉

静岡縣田方郡上狩野村吉奈。修善寺驛ノ西南一〇軒、自動車四〇分、乗合七〇錢(東海自動車定期一八回)、貸切三圓半。地ハ天城山ノ西北麓ニアツテ吉野川ノ清流ニ跨ル山中ノ温泉デ、僅カニ東ノ一方ガ溪ニ沿ウテ展ケテ居ルノミデアアル。温泉ハ聖武天皇ノ御宇、僧行基ガ諸國安脚ノ途次此地ニ醫王山善名寺ヲ建立シテ藥師如來像ヲ安置シタ處、忽チ佛力

ニヨツテ尊像ノ傍ニ温泉ガ涌出シタト傳ヘテ居ル。温泉ハ鹽類泉デヤ、ヌルク、古來子寶ノ湯トシテ婦人ノ浴客ガ多イ。徳川家康ノ妾お萬ノ方ハ此處ニ浴シテ後頼宣ヲ産ンダト云ヒ、お萬ノ方腰掛石、子持柿ナド云フモノガアル。泉質ハ無色透明ノ鹽類泉デ、ラヂウム、エマナチンオンヲ含有スル事伊豆温泉中第一デアアル。泉温五五度、特ニ不妊症及婦人病一切ニヨク、リウマチス、胃腸病、神經痛、痔疾等ニ効ガアル。

【旅館】 さか屋(電青羽根四。室六〇)、東府屋(電同八。室八五、一泊二圓半カラ五圓)。(以上遊覽券指定一泊三圓宛)其他...芳泉莊(電同三)、日英館、朝日屋、すし屋等アリ。

【名所】 善明寺。夏ハ川魚釣ニ、秋ハ茸狩ニヨイ。(名産) 椎茸。

嵯峨瀬温泉

修善寺驛ノ南一〇軒(自動車六〇錢)ノ上狩野村字門野原ニアル。狩野川ノ流ニ臨デ天城ノ連峰ヲ南ニ仰グ鹽類泉デ、温度五五度、胃腸病、リウマチス、婦人病等ニ効ガアル。旅館嵯峨瀬館(電青羽根一八、室三二、一泊二圓乃至五圓)、湯ヶ島温泉(南二軒)。

湯ヶ島温泉

静岡縣田方郡上狩野村。修善寺驛ノ南一二軒、自動車五〇分、乗合七〇錢(東海自動車及下田自動車定期)貸切三圓半。地ハ天城山ノ西北麓、下田街道ニ沿ヒ、狩野川、猫兒川ノ流ニ臨ミ一帯ノ山麓附近ヲ圍ム閑靜ナル所デアアル。温泉ハ世古ノ瀧、西平、木立ノ三ヶ所ニ湧出シ、何レモ無色透明ノ鹽類泉デ、温度四八度乃至五五度、世古ノ瀧ハ特ニ婦人病、木立ノ湯ハ特ニ創傷ニ效ガアルト云フ。

【温泉旅館】 世古ノ瀧ニ落合樓(電湯ヶ島一五、室二四、遊覽券指定一泊三圓)、湯川屋(電同三〇)、小森館(電同二二)、鈴木屋(以上内湯アリ)朝日屋、世古樓、臨泉館。西平温泉ニ湯本館(電同二八、内湯アリ)、角屋、等。以上一泊二圓乃至四圓。木立ニハナシ。

【附近名所】 ▲淨蓮ノ瀧―温泉場カラ二軒、下田街道カラ西ヘ約百米、鉢窪山ノ西麓ヲ洗フ狩野川上流湯ヶ島新田ニアル。中五間餘、高サ一二〇尺餘アリ、水量多ク壯觀ヲ極ム。▲天城登山―下田街道ヲ一軒許リ進ンダ天城トネルヲ中心トシテ東ニ廻レバ八丁池(天城峠カラ約六軒、全クノ原生林ヲ行ク尾根通りデ、紅葉ノ頃ハ殊ニ美シイ)、萬二郎岳ニ通ジ、西ニ廻レバ山頂ヲ迂迴セル平坦ナ御料地林道ニ依テ猫越峠ニ通ズ。何レモ眺望ガヨイ。

▲天城山遊獵―天城御料地ハモト宮内省ノ御料場デアツタガ今農林省ノ經營ニ移リ國營獵區トシテ二月一日カラ翌二月末日迄、毎土曜日及日曜ノ兩日ヲ期シ好獵家ノ爲ニ鹿、猪等ノ卷狩ヲ爲ス。

土肥温泉

静岡縣田方郡土肥村。前記船原温泉カラ約一二軒。(七年夏季頃自動車路開通ノ豫定、乗合八〇錢位)。沼津驛カラ約一軒半ノ下河原カラ東京灣汽船デ土肥海岸マデ一時間半(一日五回發)費五〇錢。往復八五錢。海岸カラ温泉場迄約七百米。

奥伊豆温泉めぐり

地ハ伊豆西海岸ニ於ケル只一ノ温泉場トシテ、マタ海水浴場トシテ知ラレテ居ル。前面西方ニハ駿河灣ヲ控ヘ、背後ニハ達磨山(九八二米)、猫越岳ノ支脈ヲ負ヒ、氣候概シテ温暖デ、一二月頃梅花散郁トシテ綻ブ。海ハ水清ク遠淺デ海水浴ニ適シ、避暑遊樂地トシテ良イ。

温泉ハ始メ寶永年間ニ探礦ノ目的デ山脚ヲ掘鑿シタ處、忽然熱泉ガ迸出シタモノデアルト云ヒ、湧出量豊富デ、各旅館ニ内湯ノアル外、穴ノ湯、馬場ノ古湯、釜ヶ洞ノ御殿湯等ノ共同湯ガアル。穴ノ湯ハ昔ノ金礦探掘ノ跡カラ温泉ノ迸出シタモノヲ其儘浴槽トシタノデアル。然シ此ノ地ハ金山デ、温泉湧出地ノ下ヲ掘ル様ニナツテ温泉面低下シタノデ、電力ヲ以テ揚湯シテ居ル。泉質ハ無色透明ノ鹽類泉デ、温度五五度、リウマチス、濕疹、ヒステリー、婦人病、腺病等ニ效ガアル。

【温泉旅館】明治館ホテル(電一、一八、室四四、洋室四)、土肥館(電五〇、五五、室三三)、(以上遊覽券指定一泊二圓宛、普通一泊一圓半一三圓)、高砂屋(電四七)、肥ノ出館(電七〇)、吉村屋(電一〇三)、木口館(電一〇七)、大正館(電三二)、山崎館、小松屋、昭和館、伊豆海館、山城屋、朝野屋。一泊一圓半乃至二圓半。

【附近名所】▲辨天崎、土肥金山、土肥神社、屋形海水浴場、清雲寺、安樂寺等。

【名産ト土産物】椎茸、山葵、柑橘、枇杷、鯉節、スルメ、鮮魚、乾魚、海苔等。

▲土肥金山ハ温泉ノ南ニ接スル土肥金山會社ノ經營デ、金銀ヲ含有シ、年産礦石約五萬噸(一二〇萬圓)ヲ産シ、夢媛縣四坂島ノ住友製鍊場ヘ送ラレテ居ル。此ノ金礦ハ天正ノ頃カラ探掘サレ、金山奉行ナド置カレ仲々繁華ヲ見セタ處デアル。

煙毛温泉

静岡縣田方郡南村村毛。駿豆鐵道大場驛ノ東南三軒半(三〇丁)自動車一〇分。乗合二五錢、熱海カラ自動車一時間二〇分、乗合一圓七〇錢(富士屋自動車)

地ハ狩野川ノ流域ニ開ケタ田方平野ノ東方、曠漠タル田圃ヲ控ヘ北方ニ富士ノ麗姿ヲ仰イデ居ル。

温泉ハ弱鹽類デ稍温ク、新舊ニケ所アル。温度三八度乃至四五度(別ニ上リ湯ヲ沸シテ居ル)、内服ニハ胃腸カタル、浴用ニハ皮膚病、花柳病、リウマチス、痔疾、ヒステリー、火傷、切傷、子宮病ニ效ガアル。

【温泉旅館】榮屋(電大湯二四、室一三、三圓一七圓)、富士見館(電同一四、室一一)、中花亭(電七)、鈴木館(電一五)、琴譽舎(電二〇)、以上一圓半一三圓。【附近名所】柏谷ノ横穴、北條時宗ノ墓、鸚鵡石、國清寺、等。

第2日行程

湯ヶ野(船取行下田自動車定期乗合デ午前八時頃出發)―峯、谷津温泉(下車、一浴晝食遊覽)―濱橋(下田行乗合自動車デ一時頃發)―白濱―下田(自動車乗換)―下賀茂温泉(午後三時頃着、遊覽宿泊)。

▲湯ヶ野―谷津温泉間約七軒三、自動車一五分(一日九回)乗合三五錢。貸切一圓半。

▲谷津濱橋―下田間約一二軒(三里)自動車五〇分、乗合五錢(一日七回定期)

▲下田―下賀茂間一〇軒、自動車三五分、乗合五〇錢、(一日十回以上)貸切二圓半。

峰温泉

静岡縣賀茂郡下河津村峯。下田ノ東北一三軒、湯ヶ野ノ東南五軒、共ニ自動車便アリ。

地ハ下田街道カラ河津線ニ入り約二軒、谷津温泉場ノ手前約一軒ノ河津川ニ臨ンダ所ニアル。

温泉ハ近年掘鑿サレタモノデ、噴騰ノ高サ約三〇米(百尺)ニ及ビ一分間ノ湧出量約一八二立(十石)、攝氏百度ノ熱泉デ湯烟リ高ク轟々ノ音ヲ響カセ、新湯縣ノ瀨波温泉以上ノ壯觀ヲ呈シテ居ル。泉質ハ弱鹽類泉デ、クローリナトリウムヲ多量ニ含有シ、神經痛ニ特效ガアリ婦人病、外傷等ニ效ガアル。

【温泉旅館】玉峰館(遊覽券指定一泊二圓半)、菊水館、なんや、以上、一泊一圓半乃至五圓。

【附近名所】林蔭寺址、來の宮神社、笠原城址、お萬ノ方(徳川家康ノ妾)ノ生家ト傳アル家ノ大蘇鐵、等。

谷津温泉

静岡縣加茂郡下河津村谷津。下田ノ東北一五軒六、湯ヶ野ノ東南七軒三、共ニ自動車ガアル(前記)。海路東京灣汽船デ東京下田方面カラノ便ガアル。船着場カラ六、七百米。

地ハ天嶺山ヲ負ヒ、天城ノ連山三方ニ繞リ、其ノ間ニ僅ニ平地ガ開ケ、ソノ中ヲ流レル河津川ノ清流ガ間モナク海ニ落ちヨウトスル右岸ニ位シテ居ル。海邊ハ近年伊豆舞子ト稱シ、青松長ク連リ、海水浴場トシテ知ラレテ來タ。

温泉ハ掘鑿スレバ隨所ニ得ラレル程ニ豊富デ、現在二〇餘ノ涌出口ヲ有シ、字鷲頭ニハ近ク九米ノ噴騰泉ガ穿鑿サンタ。泉質ハ鹽類泉デ温度四九度、保温性ノモノハ、リウマチス、痔疾、婦人病、胃腸病等ニ、放温性ノモノハ眼病、皮膚病、創傷等ニ效ガアル。

奥伊豆温泉めぐり

▲此ノ邊ハ古ノ河津庄デ、曾我兄弟ノ父、河津三郎祐泰ノ屋敷址ハ八幡神社ノ傍ニアリ、館ノ内ト稱シテ居ル。八幡神社ハ祐泰及其子祐成、時宗ノ靈ヲ祀ル。其他大樟樹(樹齡九百五十年、高サ十七間)ノ神木ヲ有スル來宮神社、面白イ傳説ヲ有スル河童ノ壺(高サ一尺三寸、胴ノ周三尺四寸)ノアル栖足寺近年發掘シタ古佛像ヲ有スル南禪寺、新町ノ大蘇鐵(高サ三丈、根ノ廻リ二丈一尺)笹原城址、又ハ銀砂ヲ敷イタ様ナ美シイ濱ノアル白濱村等ノ散策地ガアル。尚下河津村見高小學校構内ニハ石器時代ノ住居址ガアル。

〔温泉旅館〕 まげや(電河津濱一〇番)、石田屋(電同二)、中津屋(電同二七)、増田屋(電同六)、新河津館(電同二六)等、(以上遊覽券指定一泊二圓半宛)(一泊一圓乃至三圓)、山田屋(同上二泊一圓半)、久保田(電同三)等。

河津濱温泉 下河津村字濱、河津河口ノ左岸ニ最近開揚サレタ温泉デ、泉質ハ鹽類泉・溫度四八度、神經痛ニ效ガアル。旅館福本屋一軒。

横川温泉 北湯ケ野温泉 靜岡縣賀茂郡稻梓村字横川及北湯ケ野。自動車下田カラ約五分、乗合六〇錢。稻生澤川ノ一支流賀曾野川ト横川ノ合スル所ニ横川温泉ガアリ、川ヲ隔テ、凡百米許下ツタ所ニ北湯ケ野ガアル。泉質ハ單純泉

デ、横川 華氏一八二度、切傷、疝癩、疥癬ニ、北湯ケ野ハ眼病、打撲傷ニ效ガアルト云フ。旅館ハ横川ニ千代田屋(内湯ナシ、三食付一圓二〇錢位)ガアル。

下賀茂温泉 靜岡縣賀茂郡南中村。下田カラ自動車ノ便アリ(前記)、海路東京灣汽船ニヨレバ妻良ニ下船、夫カラ約六軒、自動車乗合五五錢。地ハ下田ノ南妻良港トノ中間ニ當ル青野川(手石川トモ云フ)ノ下流ニ沿フテアチラコチラニ湧出シテ居ル温泉ノ總稱デ、前記ハ雜木林ノ丘陵ガ蜿蜒トシテ連リ、其ノ間ニ小サナ平野ガナダラカニ展ケ、温泉旅館ハ川ノ西岸ノ農家ニ交ツテ此處ニ一軒、彼處ニ二軒ト二、三百米乃至四、五百米ヲ隔テ、點在スル處、見ルカラニ野趣ノアル温泉場デアル。

温泉ハ青野川ノ沿岸至ル處ニ湧出シ、殊ニ下賀茂カラ加納邊ニカケテハ何所ヲ掘テモ湯ガ非常ナ勢デ噴上ケ、掘ツタ儘デハ附近ノ樹木ヤ田畑ニ湯害ヲ及ボスノデ、蓋チシテ湯ノ噴騰ヲ止メテ居ル。現在鑿泉四十餘ヶ所ニ及ビ、寶ノ湯高島ノ湯ナドハ噴泉九米ノ高サニ及ビ、而モ溫度ガ高ク湧出量ガ豐富ナノデ近年此ノ溫度ノ高イ湯ヲ鐵管テ溫室ニ導キ大仕掛ケナ花卉、メロンノ栽培ガ盛ニ行ハレテ居ル。泉質ハ各泉多少ノ差異ハアレド強食鹽泉ニ屬シ、溫度普通泉ハ五、六十度、噴騰泉ハ百度以上ヲ示シ、リウマチス、皮膚病、痔疾、婦人病、濕疹、痛風等ニ效ガアル。

〔温泉旅館〕 福田屋(室一)、健美館(以上遊覽券指定一泊二圓半)、鈴木屋(同上二圓七〇錢)、八幡屋(同上二圓半)、北海樓(室六)。(以上一泊一圓半、二圓、三圓。團體一圓半)、紀伊國屋(室五)、湯端(室五)、河内屋(室四)、和泉屋(室五)(以上一泊一圓、一圓半。團體一圓)等。

〔名産土産物〕 湯ノ花、精油、メロン、溫室草花、鮑、海苔、カル、ス溫泉煎餅等。

〔附近名所〕 附近ニハ手石ノ彌陀窟、石廊岬、寶掛島ノ名所ガアリ、妻良、子浦ハ共ニ風景ニ富ミ海水浴ニ適シテ居ル。温泉カラ西一二軒、自動車ノ便ガアル。

▲彌陀窟ハ集塊岩ガ波ノ爲ニ扶ラレテ生ジタモノデ、洞窟ノ奥ノ岩壁ノ横手ニ細イ裂目ガアリ、ソコカラ外部ノ光線ガ入ツテ斜ニ凹凸ノアル岩壁ヲ照シ反射ニヨツテ暗黒ノ裡ニ忽然トシテ五色燦爛タル彌陀ノ尊像ヲ拜スルト云フノデ有名デアル。彌陀窟ノ北東ニモ一ツノ洞窟ガアリ、ソノ洞窟ノ天井ガ陥落シタメ山上ニ大ナル堅穴ヲ生ジ、波力其ノ堅穴迄打入ツテ大音響ヲ立テ、一奇觀ヲ呈シテ居ルモノガアル。尚彌陀窟ノ西南ニモ一小窟ガアリ此ノ三洞窟ノアル彌陀山ノ背後ニハ小稻ト稱スル深ク入り込ダ小漁港ガアル。

▲寶掛島ハ大瀬ノ南ノ一岬角ノ先端ガ波ニ食ハレテ七ツノ小岩島トナツテ海中ニ群立スルモノデ、各島夫々ノ奇抜ナ形狀ヲ呈シテ矮松雜木ヲ戴ク奇礁亂立ノ様ハ如何ナル靈筆モ其ノ奇ト美ヲ表ハス事ガ出来ヌ。此ノ奇勝ハ小船ニ乗ツテ島ヲ廻リ、飽カズ眺ムルニ如クハ無ク、位置ヲ變ヘル毎ニ其ノ趣ハ新シク眺メラル。

▲石廊岬ハ伊豆半島ノ南端ニアリ、下田カラ手石港下流ヲ經テ大瀬迄一二軒ノ間自動車ノ便ガアル。大瀬ニハ寶掛島ガアル。夫カラ徒歩八軒、長津呂港ヲ經テ行ク。下田カラ大瀬迄自動車四〇分、乗合六五錢(手石迄五〇錢)。岬角ハ伊豆半島ノ最端ガ鶴ノ嘴ノ如ク長ク海中ニ突出セルモノデ、風波ノ浸蝕ニヨリ奇景ヲ呈シテ居ル。長津呂港カラ南ニ向ヒ、山稜ニ沿フテ進メバ左右ノ海上ニ奇岩ノ巒ルヲ見、上ニ望樓ト稱候所ト燈臺トアリ、稍下ツタ所ニ石廊權現ノ社殿ガ岩壁ノ間ニ危ク建テラレテ居ル。社殿ハ一ノ帆柱ヲ崖角ノ上ニ横ヘテ其上ニ築造シタモノデ、下ハ斷崖千仞、怒濤岩ニ激シテ壯快ヲ極メテ居ル。其社殿ノ主柱ヲナシテ居ル帆柱ハ、昔播磨ノ千石船ガ暴風ニアヒ、權現ノ力ニ依リ救ハレタニモ拘ラズソノ約ヲ守ラズ、帆柱ヲ奉納シナカツタノデ神罰ニフレ、其ノ時海中ニ投ジタモノデアルト云フ。岬上カラハ近ク寶掛ノ奇岩ヲ眼下ニ見下シ、遠ク神子元島ノ燈臺カラ葦根、石島根ノ島々ヲ隔テ、大島、利島、新島、式根島、三宅島ナド豆南諸島ヲ雲烟漂渺ノ間ニ望ムコトガ出来ル。

以上寶掛島ヲ中心トスル南伊豆海岸美ノ絶勝ヲ探ルニハ陸上カラ賞スルヨリモ、手石ノ港カラモーターボートヲ傭ツテ一巡シタ方ガ良イ。舟ガ手石川ノ河口ヲ出ルト間モナク右手ニ彌陀窟ガ現ハレ、下流ヲ西ニ通ズルトソコニ海岸ニ沿フテ石英安山岩ノ大岩脈ガ西南ニ延ビテ露ハレ、ソレヲ過ギテ大瀬ノ入口ニ至レバ再び集塊岩ノ區域、即チ寶掛島、石廊岬ノ勝區ニ入ルノデアル。

〔堂ヶ島〕 下田ノ西北約三四軒、伊豆西岸仁科村字濱ニアル。自動車一時間半、乗合一圓七〇錢。濱ノ部落カラ北ニ半軒程進ムト海岸ニ安城山(ヤスキヤマ)ト云フ小山ガアリ、コレニ對シテ北ニ天窓山(堂ヶ島)ガ位ク横ハリ、コノ兩山ノ間ニ稗三升島及蛇島ノ二島ガ並ンデ後ニ小灣ヲ抱イテ居ル。堂ヶ

奥伊豆温泉めぐり

島(天慈山)ハ白色ノ細カイ凝灰岩ト、同色ノ稍粗イ砂状ノ凝灰岩トガ水平ニ重ツテ各交又層ヲナシ、其ノ上ヲ黒イ安山岩ノ圓塊ヲ含ンダ集塊岩デ被ハレテ居ル小半島デ、山ノ下ニ胎内藩ト稱スル海波ノ浸蝕ニヨツテ生ジタ一洞窟ガアツテ外洋ニ通ジ、舟デ自由ニ窟内ヲ漕ギマハルコトガ出来ル。洞窟ノ一部ニ天井ノ陥落シタ所ガアリ、恰モ天窓ヲ明ケタ様ニ洞内ニ光線ガ入り、海波ハ常ニコレニ入ツテ美音ヲ生ジテ居ル。

志保 温泉

大 澤 温泉

志保ト同ジク松崎ヘ行ク途中、中川村大澤字横田ノ白尾山ノ麓ニアル。下田カラ自動車一時間、乗合一圓三五錢。温泉ハ無色透明ノ鹽類泉デ温度四〇度、腫物、創傷、眼病等ニ特效ガアルト云フ。旅館一軒(第一、一泊一圓位)。

第 3 日

下 賀 茂
大 島 田
東 京

下田行定期
乗合自動車
着前 八、三〇
發前 七、四五
着後 二、〇〇
發後 三、〇〇
着後 九、三〇
歸 宅

▲下賀茂—下田間ハ松崎線、差田線、妻良線、子浦線等前七時頃カラ後六時頃迄十數回ノ定期自動車ガアル。
▲下田ニテ遊覽ノ後東京灣汽船ニテ歸京。
▲下田—大島—東京間 東京灣汽船デ九時間半(一五八軒)。
(菊丸及橘丸毎日交互ニ就航)、賃金片道二圓半、往復四圓(下田—大島間一圓、大島—東京間二圓。特別室使用料一室賃切五圓、一人使用三圓)。

下田町

沼津ノ南八二軒九、自動車四時間、乗合三圓六〇錢。修善寺驛ノ南五六軒六(約十四里餘)、自動車二時間二〇分、乗合一圓八〇錢(下田自動車一日一〇回定期發。省線主要驛ト下田間連帶券片道二圓半、復四圓半)。

下田町ハ伊豆半島ノ最南端近クニ突出シタ天然ノ良港デ、志摩ノ鳥羽港以東ハ遠州灘三百軒ノ海上他ニ寄泊スル良港ガナイノデ、江戸時代ニハ上方江戸間ノ海路ノ要衝トシテ賑ツタ所デ、明治以降大型汽船ノ時代ニ入り稍衰ヘタカ今尙南豆第一ノ都市デアル。港門ハ西南ノ狼煙崎ト東岸ニ突出セル須崎村ノ南端、洲佐利崎トニヨツテ抱カレ、港ノ周圍ハ屏風ヲ立テテ様ナ翠山ニ取巻カレ、北面ニ屹立シテ居ル下田富士ノ優シイ姿ハ、古來航海者ノ目標トシテ忘レ難イ情景ヲ添エテ居ル。灣内ニハ赤根島、犬走島、鷺島、笠島等ガアリ、港ノ西岸、町ノ南方カラ東ニ突出シタ城山ハ古ノ鶴ノ島城(北條氏ノ臣清水氏ノ城)址デ、今公園トナリ、ソノ海岸ニハ遊覽道路ガ開カレテ居ル。此地ハ又幕末開港史、日本海運史ノ一頁ヲ飾ツテ居ル地デアル。即チペルリノ來航カラ下田ノ開港トナリ、日本文明ノ黎明ハ此處カラ動キ初メ、下田條約ノ締結セラレタ地デアル。人口七、六七九(昭和五、一〇調)。

安政元年ペルリガ來航シテ幕府ニ開港ヲ迫ツタノデ了仙寺ニ於テ外交談判ガ開カレタ結果、下田港ヲ開港場トスル事ニ決定シ、此處ニ外國貿易ノ端ガ開カレタノデアル。次デ露國ノ全權プーチャーチンモ亦下田ニ來テ條約ヲ結び、更ニ安政三年七月ニハ「タウンセンド・ハリス」突然下田ニ入港シ、總領事トシテ下田ニ駐ルコト、官職相當ノ保護ヲ受ケタキコト、將軍ニ謁シテ國書ヲ捧呈スルコト、前條約ヲ修正シテ通商條約ヲナスコト等ヲ要求シタノデ、幕府ハ折衝ノ結果、ヤムヲ得ズ下田ノ郊外柿崎ノ玉泉寺ヲ修理シテ之ヲ假領事館ト定メ、翌四年五月第二下田條約ヲ結び長崎ヲ開キ、安政五年一月新ニ日米通商假條約ヲ結ンデ神奈川、新潟、兵庫、長崎、函館ノ五港ヲ開ク事トナツタモノデアル。

幾多ノ幕末開港史蹟ト古イノ港町ノ情緒ヲ傳ヘル但書下田ニハソノ二旅情ヲソ、ルモノガアル。伊豆ノ下田ニ長居はをよし 編の財布が軽くなる。 下田ぶし— [附近名所] ▲玉泉寺... 下田町ノ郊外東約三軒、乗合自動車一〇錢。米國總領事タウレンセンド・ハリスガ我國ニ初メテ假領事館ヲ開設シタ所デ、寺寶中ニ當時使用シタコップ、皿等ガアル。マタ本堂ノ前ニハハリスノ記念碑ガアル。▲辨天島... 玉泉寺ノ前ノ海邊ニアル景色ノ佳イ小島デ、吉田松陰ガ國禁ヲ犯シテ渡米ヲ企テタ地デアル。▲了仙寺... 安政元年米使ペルリト日本全權林大學トガ下田條約ヲ結ムタ所。▲城山公園... 全山老松鬱蒼トシテ下田灣ノ紺碧ニ映ジ伊豆七島ノ點々タル太平洋ヲ眺メタ景色ガヨイ。▲唐人お吉ノ墓... 寶福寺内ニアル。お吉ハ下田ノ美妓デ、強ヒラレテ「ハリス」ノ侍妾トナリ、唐人お吉ノ異名ヲ貰ヒ、幾多ノロマンズヲ傳ヘテ居ルガ、其晩年ハ極メテ淋シク遂ニ河内温泉附近ノ稻生澤川畔門栗ノ淵ニ投死シタノデアツタ。

旅行費用概算

三 等 等

二〇圓五九錢

一五圓〇〇錢

内 譯

遊 覽 券 (鐵道、自動車、宿泊、汽船等全部ニテ) 二 等 五 一五圓五九錢 三 等 三 圓 食 事 料 其 他 二 等 五 圓 三 等 三 圓

9 伊豆大島遊覽

(遊覽券利用東京から三日遊覽)

日程	地名	發著時刻	記事	備考
第1日	東京 靈岸島	發後一〇、〇〇	東京灣汽船大島・下田航路 船中一泊	東京市電東港町停留所カラ東京灣汽船發着所迄約一〇〇米。 ▲東京灣汽船大島・下田航路。毎日交互ニ運航。大島元村 菊丸、橋丸(共ニ四百噸級船。定員二五〇名) 往復三圓(並等ノミ。食費ヲ含マズ。 迄六時間(二一七料)賃金片道二圓、往復三圓(並等ノミ。食費ヲ含マズ。 二人室特別室アリ、一人三圓、二人室特別室五圓)。
第2日	大島 元村 湯場 三原山 波浮	着前 四、三〇 發前八時頃 着前 十一時頃 着後三時頃	徒歩 船	元村 西海岸ニアリ戸數六二五戸、人口二、三三二人、(昭和五、一 〇調)本島ノ首位ニアリ東京府大島支廳、區裁判所出張所、警察署 等ガアリ、伊豆七島行政上ノ要地タルト共ニ島内ハ勿論東京、伊 豆方面及七島間ノ交通ノ中心地ヲ爲シテ居ル。 〔附近名所〕 ▲爲朝ノ碑……元村ノ北、半村ノ海岸松原中ニアル。爲朝ハ保元元年此 ノ地ノ流人トナツタ人デアル。▲藤倉邊園……故中内春吉氏(藤原電線會社重役)ガ 先天的ニ惠レザル精神薄弱兒ノ爲メ私財及土地建物ヲ提供シ、東京府ニ寄附シテ財團 法人トナシ經營シテ居ルモノデアル。 ▲元村ノ旅館……三原山(室數二二)、一泊一圓半乃至三圓半、千代屋(室數一七、一 泊一圓半)二圓半、海氣館(室數一一)、一泊一圓半、三圓半、柳川館(室數二二、一 泊一圓半)。(以上遊覽券指定一泊二食付二圓。晝食八〇錢)三山館、南島館。 ▲湯場 三原山ノ中腹、眼下ニ鑿臺附近ノ海濱ヲ瞰下スル風光ノ地ニアル。元村カラ 約六料、徒歩一時間半位(馬モ行ク)湯場ハ、數十ノ氣孔カラ噴出スル自然ノ水蒸氣ヲ 利用シテ蒸氣風呂トシタモノ、打身、切傷、リウマチ等ニ效ガアルト云フ。大島六 ヶ村組合經營ノ簡單十宿泊所ガアル。一泊二圓、晝食六〇錢、入浴心付。

三原山

元村湯場三原山頂約七料。湯場迄四料、上り約一時間半、湯場カラ少シク行キ俗稱「砂漠」ノ砂原ヲ過ギテ一三〇米ノ中央火口丘約二
料上リ噴火口迄約一時間半位。
別途元村ノ西、村ハツレ八重川カラ登ル神達口ガアル。元村カラ外輪山頂御神火茶屋マデ約六料、驛馬ニテ一圓半、夫カラ外輪山ノ火山灰ノ
急斜面ヲ下リ砂漠ヲ過ギテ中央火口丘ノ火口壁マデ四料。御神火茶屋カラ砂漠横斷駱駝一人ニ付一圓半(一頭貸切一時間四圓)驛馬五〇錢。

三原山 ハ大島ノ中心ニ位置シ、海拔七五五米、典型的複成活火山トシテ知らレテ居ル。其構成ハ、火口ヲ有スル
圓錐形ノ中央火口丘ガ中心ヲナシ、其周圍ニ火口原ガアリ之ヲ取巻イテ外輪山ガアル。外輪山ハ南、西、北ノ三面
ニ完全ナ火口壁ヲ有シ、二米乃至一二〇米位ノ絶壁ヲナシ火口原ノ砂漠(火口原ニ堆積シテ居ル火山灰ヲ島民ハ「砂漠」ト呼ビ居ル)
ニヨリテ内輪山ニ通シ其ノ風致頗ル雄大ナモノガアル。中央火口丘ハ砂漠ノ中央ニアリ高サ約一三〇米、熔岩及ソ
ノ破片ノ堆積カラ成リ、巖頭圓錐計ヲ爲シテ居ル。其頂上ニハ直徑約六百メートルニ及ブ第二次ノ火口ガアリ、其
ノ底ハ全體トシテ平タク無數ノ火成岩其ノ間ニ横ハリ、火口内ニハ更ニソノ殆全部ヲ掩フ第二次ノ火口丘ガアリ、
赭色ノ熔岩カラ成リ、中央ニ第三次ノ火口ヲ開キ、ソノ火口カラ現ニ盛ニ水蒸氣ヲ噴出シテ居ルノデアアル。噴火ノ
著シイノハ應永二三年同二年、貞享元年及安永六年ノモノデ、歴史ニ見ユル最古ノ記録ハ白鳳一三年ノモノデ
アル。山ノ西ハ相模灘ヲ距テ伊豆ノ翠巒、富士ノ靈峯ヲ望ミ、西南ノ波間ニハ利島、新島、三宅島ノ點綴スルヲ眺
メ、又北東房總ノ連山ハ長ク青黛ヲ引イテ實ニ風光ガ佳イ。
▲大島ハ帝都ヲ隔ルコト六六哩五、東京灣口ト下田港トノ中間(下田大島間八六哩)伊豆半島河津ノ正東一六哩ノ相
模灣上ニアル周圍四二料、東西八料半、南北一五料、總面積九三六、四〇一方米ノ小島ヲ海拔二千五百尺ノ活火山
三原山ヲ中心ニ錘子狀ヲ爲シテ居ル。中央ノ砂漠ヲ除キ全島殆ソド綠樹ヲ以テ蔽ハレ西岸ハ傾斜稍緩漫デアアルガ東
岸ハ急峻ヲ爲シテ斷崖直チニ海ニ入ツテキル所ガ多ク、港トシテハ島ノ南端ニアル波浮ノ港一ツデアアル。村落ハ主
ニ西岸ノ地ニアリ元村、野増、差木地、波浮(ハブ)、岡田、泉津ノ六ヶ村、總人口七、八九八ヲ有シ、是等ノ人
々ハ農業、畜産、林業、漁業等ヲ營ンテ居ル。

伊豆大島遊覽

波浮

モト三原山ノ寄生火山ノ火口ヲ波浮ノ池ト云ツタモノデアラガ、元祿ノ大地震ニ海ト連リ、其ノ後寛政年間ニ上總ノ人秋廣氏ガ港口ヲ切り開イテ港トシタモノデ、漁船ノ安全ヲ鑑地デ、島ノ情趣豊カナ地デアル。人口一、四七〇(昭和五、一〇)

▲三原山カラ差木地ヘ行幸道路(道路良)下リ約七軒半所要二時間、夫カラ海岸傳ヒノ風景ヨキ平坦道路ヲ波浮迄約三軒半(自動車乗合二〇錢)。
別ニ山頂カラ波浮ヘ直接下ル山路モアル。約八軒、所要二時間位。元村一湯場一三原山一波浮、乗馬賃七圓。

【旅館】松友館、太々見屋、福屋、港屋、上總屋(料理兼業)波浮館、花月館。以上一泊一圓半乃至三圓半。

▲大島カラ伊東經由熱海行東京灣汽船紅梅丸七、八月中每日出帆ス。賃金伊東熱海共二一圓二〇錢。(三等ノミ)
注意 海上少シ波多キ時ハ熱海ニ寄港セズシテ網代港ニ着船ノ場合ガアル。網代、熱海間九軒半、自動車三五分、乗合六〇錢、賃切三圓。

(註一) 七、八月以外ノ月ハ毎月三回六ノ日ニ大島ヲ出ル貨物船ガアル。波浮港前八時、元村前九時半發、伊東着前一〇時半。但シ天候其他ノ都合ニ依リ出帆セヌ場合モアル故注意ヲ要スル。

(註二) 波浮及元村カラ伊東ヘ郵便モーター船ノ便ガアル、不定期ナレド天氣平穩ナレバ殆ド毎日出ル。賃金二圓二〇錢。
▲波浮カラ元村ヘハ陸路一六軒、途中間伏迄及ビ野増元村間自動車ガアル。海路一時間、賃六〇錢、但偶數日一回ノミ。

▲伊東溫泉(七〇頁参照)、熱海溫泉(六八頁参照)。
▲熱海一東京二時間一三分(一〇四軒六)三等一圓五八錢
熱海發終列車ハ九時四〇分、東京着二一時五六分。

波浮	發前 一〇、〇〇	東京灣汽船
元村	發前 一、〇〇	同
伊東	着後 一、三〇	同
熱海	着後 二、三〇	下船、熱海ニテ一浴、夕食
東京	着後 八、三〇	東京行列車
		歸宅

旅行費用概算

二等 二二圓七二錢
三等 一一圓三〇錢

内譯

▲遊覽券(汽船、自動車、汽車ヲ含ム)二等 五圓七二錢 三等 四圓三〇錢
▲波浮一泊料及食事料其他費用トシテ七圓宛ヲ計上ス。

10 小笠原島遊覽

(近海郵船會社芝罘丸にて)

小笠原諸島は横濱の南方太平洋上五〇〇哩から一、〇〇〇哩に至る即ち北緯二四度四分から同二七度四分、東經一四一度一分から同二二度二分に亘り南北に稍細長く散在する三〇餘の諸島嶼の總稱で東京府の管轄に屬してゐる。全面積約六方里、人口五、七四二(昭和五、一〇調)、多く農と漁とを業とし、甘蔗、野菜、果實(バナナ、パイナップル、マンゴウ、レモン、オレンジ、鳳梨、西瓜等)、珊瑚、鯨、正覺坊、鯉等を産する。諸島中住民を有するは父島、母島、弟島、聳島、妹島、嫁島、北硫黃島、中硫黃島、南島島などで、その中最も早く開けたのは父島である。氣候は四季とも温暖で、温度の最も低い一、二月の候もなほ華氏六〇度位、盛夏の候も海洋の影響をうけて割合に涼しい。小笠原島は文祿年間豊臣秀吉に仕へた小笠原貞頼が発見したので小笠原島と命名せられたものと傳へられてゐる。

日程	地名	時刻	記	事
第1日	東京 芝浦棧橋	發前 一〇、〇〇	▲芝浦(東京港)デハ本船ハ棧橋繋留デ船側マデ車ガ行ク省線田町驛カラ棧橋迄半軒餘、自動車乗合日ノ出町(郵船切符發賣所前)下車、賃五錢、夫カラ棧橋マデ徒歩一〇〇米。市電芝橋停留所カラ棧橋迄約三〇〇米。	
	横濱	着正午	▲横濱デハ港内碇泊デ、本船ヘハ税關棧橋扶イギリス波止場(水上警察署横)カラ午後一時、二時、二時半ノ三回近海郵船會社ノ小蒸氣船ガ無料デ連絡シテ居ル。尚外ニ市營發動機通船ガ税關萬國橋畔カラ約三〇分毎ノ便モアル。イギリス波止場ヘハ省線櫻木町驛カラ本牧方面行市營バスデ棧橋前下車(料金一〇錢)ソレカラ約一〇〇米。又ハ市電山下町下車、約二五〇米。	
		發後 三、〇〇	▲近海郵船會社小笠原航路(二週又ハ三週一回發)就航路 芝罘丸(一、八二九噸、定員一等二〇名、二等一九名、三等二〇〇名)船賃(芝浦又ハ横濱カラ)八丈島五圓、八圓七〇錢、一二圓半。鳥島及父島一一圓、一九圓二〇錢、二七圓半。母島一二圓、二一圓、三〇圓、硫黃島一六圓七〇錢、二九圓一〇錢、四一圓半。(以上三等、二等、一等ノ順)各等和食付、一、二等往復切符ハ復航運賃二割引、有效三ヶ月、外ニ各島ト本船トノ間ニ解買ヲ要ス、八丈島片道二〇錢、父島片道一五錢、母島及硫黃島各三〇錢宛。	

小笠原遊覽

第2日 八丈島 着未明 發後五時頃

三根—大賀郷—中之郷間乗合自動車便アリ。
(旅館)大脇館、不二館—以上大賀郷村。東京館—三根村。一泊三圓位。

【八丈島】東京ノ西南一七〇哩ニ位シ、伊豆七島ノ最南端ニアル東西九軒半、南北一六軒、周圍六〇餘軒、東山(三原山)西山(富士山)ノ二火山對峙シテ、
ソノ形骸ノ如ク、海岸ニハ八重根、神港、藍ヶ江、洞輪瀨ノ四港ガアル。此地ハ黒潮ノ影響ニヨリ寒氣ヲ感ズルコト少ク降水量多ク、マタ風向ハ冬ハ西
風多ク夏ハ南風ガ多イ。物産ニハ黄八丈(八丈稻)、榨油、木炭、牛酪、煉乳、魚類、海藻、燒酎等。人口九、〇六六(昭和五、一〇調)
本島ハ屬島小島ト青ヶ島、鳥島ヲ加ヘテ東京府八丈島支廳ノ管轄下ニアル。

第3日 航海中(青ヶ島、鳥島寄航、場合アリ)

第4日 父島 (二見港) 着午前

碇泊(船内宿泊可) 大村ノ旅館—南陽館、二見館、金子館(二圓半—四圓)
(名所) 二見港景觀、小笠原支廳、物産陳列博物館、農事試驗所、宮ノ濱、正覺
坊養殖場、奥村歸化人部落、旭山(海拔凡三〇〇米)、小笠原神社(大村ノ對岸扇浦ニアリ、
島ノ發見者小笠原貞頼ヲ祀ル、島ノ總鎮守)、等。大村—扇浦間發動機船アリ。

【父島】横濱カラ五四〇哩、小笠原群島ノ中央ニ位シ南北凡八軒、東西約五軒、周圍五〇軒餘アリ。二見灣岸大村ハソノ主邑デ、東京府小笠原支廳ガアル。
附近ニハ兄島、弟島、東島、西島、南島、北島等在リ父島列島ヲ成シテキル。

第5日 父島 母島 (沖港) 出帆 着

父島—母島間三九哩、航行約三時間。沖港碇泊。
(旅館) 向陽館、一泊二圓—三圓。

【母島】父島ノ南約四〇哩ニアル東西約七軒、南北約一二軒、周圍約四〇軒、小笠原群島中最大ノ島デアル。附近ニ姉島、妹島、姪島等母島列島ノ諸島
間ガ散在シテ風光ニ富ミ、沖港御幸濱ノ貨幣ハ有孔蟲ノ化石デ、ソノ大キサノ點デハ世界ノ二知ラレル處デアル。

第10日	横濱	着午前	
第9日	八丈島	發着午後	
第8日	父島	發	(往途青ヶ島又ハ鳥島ニ寄港ノ場合ハ復航ニモ其島ニ寄港スル)
第7日	父島	遊覽	(往途青ヶ島又ハ鳥島ニ寄港ノ場合ハ復航ニモ其島ニ寄港スル)
第6日	母島沖港	發午後	父島碇泊。島内見物。 (土産物) 父島母島共通ノモノ……珊瑚細工、桑等貴木細工、鯨鬚細工、貝細工、林投葉細工、龜甲細工、 ピロウ團扇、鯨節、罐詰類、干魚類、果實類、觀賞植物類、糖酎(甘蔗酒)等。 植物採集、獨木舟遊、釣魚、桶眼鏡ニヨル海底觀測等。 植物ニハ採取禁止ノモノアルニヨリ注意ノコト。

(註) 右は普通航(短航)による日程の一例であるが、更に硫黄島迄も長航することがあり、また時期により發着日取りに多少の變更があるから出發の際には右船線をよく確かめねばならぬ。(硫黄島ハ鳥島、青ヶ島ト共ニ居住者ノ數モ少ク旅館モナイ)

秩父長瀨遊覽

(東京から日歸り)

附 武甲、三峯、三峯山縦走奥多摩行

地名	發着時刻	記	事	備	考
上野	發前 七、五〇	高崎行列車		▲上野—熊谷一時間三五分(六一軒一分)、三等九七錢。	
熊谷	發前 九、三五	秩父鐵道ニ乗換		▲熊谷—長瀨(秩父鐵道三峯口行電車) 四六分(三一軒六分) 七五錢。 (秩父着ハ一〇、四〇。三峯口着ハ一一、〇六。賃金秩父迄一圓五錢、三峯口迄一圓三五錢。)	
長瀨	發前 一〇、一六	三峯行(急行)電車		▲池袋—寄居一時間二六分(東武鐵道東上線電車、三等ノミ) (七四軒八分) 片道一圓三四錢。	
池袋	發前 八、三三	東武電車		▲寄居—熊谷一七分(秩父鐵道會社電車) (一二軒七) 賃三〇錢。	
寄居	發前 九、四九	秩父鐵道ニ乗換		▲長瀨驛カラ長瀨へ約二〇〇米、寶登山神社へ半軒	
長瀨	發前 一〇、一六	秩父行電車		▲長瀨驛カラ長瀨へ約二〇〇米、寶登山神社へ半軒	
長瀨	着前 一〇、一六	下車遊覽			

長瀨 長瀨驛ノ東方上長瀨驛ノ東ニ至ル荒川ノ峽流、延長約一軒ニ及ブ内務省天然記念物保存地トシテ指定(大正三年二月)サレテ居ル名勝ノ所謂秩父赤壁テ、百尺ノ懸崖聳々聳立シテ荒川ニ臨ム所、流水大岩ニ遮ラレテ深淵ヲナス事三〇〇米餘、白鳥島ヲ前ニシテ大河原瀨ノ急流ヲ隔テ遙ニ林相ヲ眺メ、秩父赤壁ニハ數條ノ飛瀑懸リテ更ニ興味ヲ添フルノ勝地デアアル。又、秩父一帶ノ山景ハ地質學上ノ天然教室ナリト云ハレ、殊ニ長瀨及其附近ハ地質學研究上、容易ニ他ニ需ムル事カ出來メ所デアアルト云ハレ種々ナ介類、巨獸ノ骨、鯨ノ牙等ノ化石ガ發見サレル。

▲荒川ヲ渡船ニテ渡リ明神ノ瀨上ニ至ル。秩父赤壁經由遊園地迄八〇〇米、徒歩三、四十分。

▲寶登山 長瀨驛カラ西ヘ約六百米程(自動車通ズ)上ツタ野上村寶登山ノ麓、景勝ノ地ニ寶登山神社ガアル。日本

武尊御東征ノ遺蹟地テ、社前ノ寶登山公園ハ又長瀨ノ一勝地デアアル。更ニ同神社前ヲ右ヘ一〇分程登レバ奥社ガアリ山頂ノ海拔五百米ノ見晴臺ハ秩父盆地ノ眺望ガヨイ。中腹ノ樹林附近ニハ好キヤムブサイトガアリ、又、つ、じ、蕨狩、摘草、栗拾ヒ等一日ノ遊散ニ好適ノ地デアアル。驛カラ山頂往復五人乗貸切二圓半(一時間待費共)。

地名	發着時刻	記	事	備	考
長瀨	發後 四、一八	熊谷行急行電車		▲長瀨ノ旅館……長生館(一泊三圓、五圓。晝食一圓。百疊敷大廣間アリ、使用料一〇圓)	
熊谷	發後 四、五五	上野行列車		▲長瀨附近ノ舟遊料金……乗合一人一五錢、貸切一時間(一〇人乗) 一圓半。長瀨—遊園地間乗合三〇錢、八人乗貸切二圓。貸ボート一時間五〇錢。	
上野	發後 六、二〇	歸宅		▲歸路ハ長瀨ノ下流波久禮ノ驛下マデ「荒川下リ」ヲ試ルノガ最モ面白イ長瀨ノ探勝デアアル。八人乗貸切六圓。舟行約二時間、一六軒。波久禮カラ寄居マデ電車六分、熊谷マデ三一分。	
長瀨	發後 四、〇八	熊谷行急行電車			
寄居	發後 四、三三	東上線ニ乗換			
池袋	發後 六、三三	池袋行電車			
池袋	着後 六、三三	歸宅			

▲武甲山 秩父盆地ノ東南ニ聳エ、海拔一、三三六米、全山石灰岩カラ成リテ山容雄偉、山頂カラハ遠ク富士、淺間、日光ノ諸山ヲ望ミ、眺望頗ル雄大デアアル。登山ニハ秩父驛カラ宇根ヲ經テ山頂迄五軒、徒歩二時間半。(長瀨カラ秩父マデ電車二〇分)、尙秩父驛ノ北約半軒ノ杵ノ森ニハ八意思兼命ヲ祀ル國幣小社秩父神社ガアル。

▲縣社三峯神社 秩父線ノ終點三峯口驛(熊谷カラ電車デ一時間三六分、賃一圓三五錢)カラ三峯山麓ノ大瀧村大輪マデ約五軒、此間荒川ノ深溪ニ沿フテ、大血川、合流點附近ノ金藏落ヤ、大達原隧道、不動ヶ淵ノ美溪等ヲ賞シテラ自動車デ行ク、乗合往復四〇錢。此處カラ登龍橋ト呼ブ丹壑ノ橋ヲ渡ツテ山道約四軒テ三峯神社ニ達スル。(上リ二時間、下リ一時間位、婦女子ニモ樂ニ登ル事ガ出來ル)神社ハ伊弉諾伊弉册ノ二尊ヲ祀リ、往古日本武尊御東征ノ御此處ニ假宮ヲ造營シテ尊ヲ奉祭シテカラ今日ニ至レルモノデアルト云フ。社殿莊嚴、客殿ハ設備宏壯ニテ優ニ千人ヲ宿泊セシムル事ガ出來ル。

秩父 長瀨 遊覽

秩父長瀬遊覽

一泊一圓半、二圓半、食膳ハスベテ精進料理、食事ニ先立ツテ袴ヲツケタ給仕ガ御神酒ヲス、メル。尙奥深ク二軒齋、妙法岳(海拔一、三三二米)ノ山頂ニ奥官ガアル。登リ一時間位。

【橋立鐘乳洞】 武甲山麓ニアリ秩父線浦山口驛カラ徒歩一〇分ニテ行ク。洞ハ橋立觀音堂ノ奥ノ院ト稱シ、寺ノ後方、橋立川ノ清流ヲ脚下ニシテ白壁ノ石灰岩ノ巨大ナ絶壁下ニ開口シテ居ル。入口カラ梯子ヲ下レバ一大室ガアリ、ソレヨリ下方ニ向ヘバ牛馬ガ岩屋ト云フノガアル。大室カラ長イ梯子デ上レバ第二房ニ入り、ソレカラ斜ニ登ツテ出口ニ達スル。洞中ニハ鐘乳石、石筍、石柱ナドガアリ、白髯明神、惠比壽、大黒天、辨天ノ岩谷、無明瀧、上リ龍、下リ龍、千手觀音、十六美神、天ノ逆鋒、三世諸佛等々ノ奇觀ガアル。入洞料一〇錢。

【秩父町】 秩父盆地ノ中心デ秩父絹織物ノ集散地トシテ知ラレ、荒川ハソノ西方ヲ走ツテ居ル。延喜式ニ載スル秩父神社ガアリ、古來大官郷ト呼バレタガ明治二二年大官町ト改メラレ、大正一五年再ビ秩父町ト改稱サレタ。毎週二回水、土曜日ニ市ガ開カレ、非常ニ賑ハウ、人口一九、二九五(昭和五〇調)、町ニハ有名ナ秩父セメントノ工場ガアル。

【秩父神社】 秩父驛ノ北約半軒、境内廣ク老杉ノ森ノウチニアリ、思兼命、知知天彦命ヲ祀ル。當社ノ秩父神樂ハ有名ナモノデ大祭(一二月六日)、春季祭(四月二三日)、秋季祭(九月二三日)ナドニ催サレル。

【中津峽】 三峯口驛カラ自動車デ大輪ニ至リ、夫カラ落合ヲ經テ約一時間、鞆平村漆屋ニ一泊(一圓半位)。翌日鞆平カラ約一時間半ニテ中津峽ノ關門、鹽澤ニ出デ、尙二時間デ中双里(中津峽谷、大輪カラ一五軒)ニ至リ(山中旅館一泊、一圓三〇錢位)、更ニ二時間半ニシテ(道路惡シ)奥秩父最深ノ部落、中津川ニ一泊(幸島散三宅一泊、一圓三〇錢位)シテ奥秩父ノ峽谷美ノ深サ、原生林ノ紅葉、兩岸ニソ、リ立ツ岩壁ノ高サ、其下ノ岩ヲ噛ム水ノ清冽サソコニ色々ノ名勝——霞岩、瑠璃ヶ淵、大滑小滑、小滑ノ瀧——ヲ探勝スルハマタ興深キ旅程デアル。人夫一日一圓半、案内人一日二圓。

旅行費用概算

(イ) 二等	七、五三
(ロ) 三等	五、〇九
(ハ) 四等	四、九三

内譯	(イ) 上野—熊谷(往復) 二等 三圓八八錢三等 一圓九四錢
	(ロ) 池袋—長瀬(往復) 一圓五〇錢
	荒川舟遊賃(乗合) 二等 〇圓三〇錢三等 〇圓二八錢
	食料(二回) 一圓八五錢
	其他雜費 一圓三五錢
	適宜計上ノコト

(註) 觀楓季ニハ自動車ヲモ含シテ割引往復(長瀬往復又ハ三峯往復)遊覽券ガ發賣サレル豫定デアルカラ其季節ニ遊覽ノ節ハビュローローノ案内所又ハ驛ニテ確メルコト。(上野—長瀬—上野、三等一圓五八錢)

奥秩父

奥秩父なる呼稱は一般に用ひられて居る處であり、埼玉縣の北西の山地を稱するもののやうであるが、その範圍は必ずしも明瞭ではない。實際一口に秩父の山と呼ばれてゐる中には、信州の山も含まれて居るのである。また此の奥秩父は、人口稠密な關東平野と甲府盆地に接して居るにも不拘、人烟極めて稀で、深遠な山地をなしてゐる。本山地の最高峯は國師岳(二、五九一・八米)直南の奥千丈岳であつて、標高二、六一〇米に達する。そして此の高峯を中心にして西及び西北には朝日岳(二、五八一・一米)、金峯山(二、五九五米)、小川山(二、四一八・三米)等が聳え、その北東には甲武信岳(二、四七〇米)、三寶山(二、四八三・三米)等の高峯があり、其他秩父を包圍する多數の山嶺は縱横に分歧し或は高く或は低く起伏して八〇餘方料の大山塊をなしてゐる。

三峰縦走(妙法、白岩、雲取山)奥多摩溪への日程案

澄み渡つた空の下に渾然と立つ雄大な奥秩父の山々には白雲搖曳し、大洞の谷は益々深く山頂より谷底へと美しさの限り盡す幽邃境である。針葉樹の原始林の中をゆく此の秩父縦走コースは麗はしくまた牙ゆるのである。

- 第一日 上野驛發(汽車一時間半) — 熊谷(片道一圓三五錢) — 三峯口驛(約五軒、バス一) — 大輪(四軒餘、上り二時間) — 三峯神社宿坊宿泊
- 第二日 三峯神社發(約二軒、一時間) — 妙法岳(標高一、三三二軒あり) — 妙法岳から約三〇分下つて元の妙法口に戻り、そこから約一時間程上る。三峯神社から地藏峠迄(四軒半) — 地藏峠(地藏岳は一、〇五七米) — 白岩小屋(約八軒、上り約二時間) — 武州雲取小屋宿泊(雲取小屋は雲取山の西の鞍部にあり、水
- 第三日 雲取小屋發(約一軒) — 雲取頂上(山上は標高二、〇一七米ある。此處から七ツ石小屋迄約四) — 七ツ石小屋(約九軒、二時間半下る) —

おきよ平及び黒岩頭即ち前白岩山を經て白岩小屋迄三軒半、一時間半。尙おきよ平へは三峯口驛からバスで一〇分の大連原から大日向太陽寺を經てゆく道もある。秩父鐵道會社經營で、夜具毛布等は、は小屋の直前の窪地にある。丸太造り六坪の小屋で其隣りに九坪の小屋が増建されて居る。收容人員は二つで六五人。ないが小屋の使用料は無料である。また登山期には米及味噌文火は町の時價で登山者に供給して居る。收容人員は二つで六五人。第三日 雲取小屋發(約一軒) — 雲取頂上(山上は標高二、〇一七米ある。此處から七ツ石小屋迄約四) — 七ツ石小屋(約九軒、二時間半下る) —

秩父長瀨遊覽

一泊一圓半、二圓半、食膳ハスベテ精進料理、食事ニ先立ツテ袴ヲツケタ給仕ガ御神酒ヲス、メル。尙奥深ク二軒庭、妙法岳(海拔一、三三二米)ノ山頂ニ奥官ガアル。登リ一時間位。

【橋立鐘乳洞】 武甲山麓ニアリ秩父線浦山口驛カラ徒歩一〇分ニテ行ク。洞ハ橋立觀音堂ノ奥ノ院ト稱シ、寺ノ後方、橋立川ノ清流ヲ脚下ニシテ白壁ノ石灰岩ノ巨大ノ絶壁下ニ開口シテ居ル。入口カラ梯子ヲ下レバ一大室ガアリ、ソレヨリ下方ニ向ヘバ牛馬ガ岩屋ト云フノガアル。大室カラ長イ梯子デ上レバ第二房ニ入り、ソレカラ斜ニ登ツテ出口ニ達スル。洞中ニハ鐘乳石、石筍、石柱ナドガアリ、白鬚明神、惠比壽、大黒天、辨天ノ岩谷、無明瀧、上リ龍、下リ龍、千手觀音、十六美神、天ノ逆鱗、三世諸佛等々ノ奇觀ガアル。入洞料一〇錢。

【秩父町】 秩父盆地ノ中心デ秩父編織物ノ集散地トシテ知ラレ、荒川ハソノ西方ヲ走ツテ居ル。延喜式ニ載スル秩父神社ガアリ、古來大官郷ト呼バレタガ明治二二年大宮町ト改メラレ、大正一五年再ビ秩父町ト改稱サレタ。毎週二回水、土曜日ニ市ガ開カレ、非常ニ賑ハウ、人口一九、二九五(昭和五〇調)、町ニハ有名ナ秩父セメントノ工場ガアル。

【秩父神社】 秩父驛ノ北約半村、境内廣ク老杉ノ森ノウチニアリ、思兼命、知知天彦命ヲ祀ル。當社ノ秩父神樂ハ有名ナモノデ大祭(二月六日)、春季祭(四月二三日)、秋季祭(九月二三日)ナドニ催サレル。

【中津峽】 三峯口驛カラ自動車デ大輪ニ至リ、夫カラ落合ヲ經テ約一時間、鷲平村漆屋ニ一泊(一圓半位)。翌日鷲平カラ約一時間半ニテ中津峽ノ關門、鹽澤ニ出デ、尙二時間デ中双里(中津峽谷、大輪カラ一五軒)ニ至リ(山中旅館一泊、一圓三〇錢位)、更ニ二時間半ニシテ(道路惡シ)奥秩父最深ノ部落、中津川ニ一泊(幸島三宅一泊、一圓三〇錢位)シテ奥秩父ノ峽谷美ノ深サ、原生林ノ紅葉、兩岸ニソ、リ立ツ岩壁ノ高サ、其下ノ岩ヲ噛ム水ノ清冽サソコニ色々ノ名勝——霞岩、瑠璃ヶ淵、大滑小滑、小滑ノ瀧——ヲ探勝スルハマタ興深キ旅程デアル。人夫一日一圓半、案内人一日二圓。

旅行費用概算

(イ)	二等	七、五三
(ロ)	三等	四、九三

内譯

(イ)	上野(熊谷)熊谷(往復)	二等	三圓八八錢三等
(ロ)	池袋(長瀨)長瀨(往復)	二等	一圓五〇錢
(ハ)	荒川舟遊(往復)	二等	一圓二八錢
(ニ)	食料(二回)	二等	一圓三五錢
(ホ)	其他雜費	適宜計上ノコト	

(註) 觀楓季ニハ自動車ヲモ含ンダ割引往復(長瀨往復又ハ三峯往復)遊覽券ガ發賣サレル豫定デアルカラ其季節ニ遊覽ノ節ハビュローノ案内所又ハ驛ニテ確メルコト。(上野—長瀨—上野、三峯—二圓五八錢)



奥秩父登山案内略圖

鴨澤(約八軒、下り)——小河内温泉(鶴ノ湯)宿泊。

鴨澤は青柳街道に當り、此處から鹽山を経て甲府へ出る事が出来る。又前以て頼んで置けば此處までハイヤーを呼ぶ事が出来る。氷川から三人乗六圓。鴨澤の旅館は更多摩摩館一軒、一泊一圓半以上。

第四日 鶴ノ湯發(約一軒、徒歩下り二時間半)——氷川(一二軒七、自動車四〇分)——御岳驛(青梅電車四八分)——立川(省線電車四〇分)——新宿驛着。

以上縦走の案内人は日當二圓位で、途中宿泊費用は雇主負擔である。大輪及三峯山で備ふ事が出来る。

- ▲白岩山小屋 建坪六坪 收容人員二五人 秩父鐵道經營
- ▲七ツ石小屋 同 九坪 同 四〇人 東京府造林小屋
- ▲甲州雲取小屋 同 九坪 同 四〇人 同

(参考) 雲取山から甲武信岳への所要時間

- 雲取山(約一四軒)——將監峠(約一軒)——雁峠(約五軒)——雁坂峠(約八軒)——破不小屋(約六軒)——甲武信岳小屋。
- 三峯口驛(約四軒)——大輪(約六軒)——栃木(約八軒)——柳小屋(約一〇軒)——甲武信岳小屋。

兩神山

兩神山は海拔一、七二三米、秩父山塊の主脈を離れ、秩父盆地を前にして獨立する山峯で、他の連峯の如き深林や幽谷には恵まれて居らぬが、その形鋭齒さながらの石灰岩の奇峯に富み、且つ山頂からの眺望は濶く、また岩から岩へと瘦尾根傳ひは興味津々として盡きず、近時一泊コースの適地として登山者が激増してゐる。

其登山路は秩父線三峯口驛からするものと中津峽谷の中双里からするものがある。

① 三峯口驛(小森經由約二二軒)——日向大谷(頂大谷には兩神社事務所がある。此處から兩神山の絶頂に兩神山山頂院がある)——兩神山頂(約二時間)——日向大谷(四時間半)——三峯口驛。

② 三峯口驛(バス二〇分)——大輪(約一四軒)——中双里(約一二軒)——兩神山頂。

12 武州御嶽登り (附 奥多摩案内) (東京から日歸り)

地名	發着時刻	記事	備考
新宿	發前 七、二〇	立川行省線電車	新宿——立川間省線電車テ四〇分(三料三分。一六分毎ニ運轉)三等四四錢
立川	着前 七、四八	青梅電車ニ乗換	立川——御嶽驛青梅電車テ四八分(三料三分、凡三五分毎ニ發)三等四八錢
御嶽山	發前 八、〇四	御嶽山麓迄自動車アリ	▲御嶽驛カラ瀧本(山麓)迄約二軒二、自動車七分、乗合一五錢。(貸切二人迄五〇錢三人以上八〇錢) 瀧本カラ山頂迄約四軒。驛カラ頂上迄約二時間ヲ要ス。
御嶽山	發後 五、三〇	立川行電車	▲御嶽山頂ニハ旅館ハ無イガ、古來神社ト密接ナ關係ヲ持チ、多クノ講中ヲ宿泊セシムル御師ノ家ガ二十餘軒アツテ(西須崎、林、鈴木、等)參詣人ニ宿泊ノ便ヲ與ヘテ居ル。一泊二圓内外。
御嶽山	發後 六、〇九	省線電車ニ乗換	【参考】 青梅電車沿線ニハ吉野梅林、樂々園等ガアリ、マタ帝都二百萬ノ市民ニ上水ヲ送ル多摩川ノ上流ハ、南畫ノ山水ニ似タ、寧ロ耶馬溪ヨリ谷ノ變化ガ多イト云ハレテ居ル面白イ幽邃郷デアル。
立川	發後 六、三三	東京行電車	【吉野梅林】 樂々園驛カラ多摩川ヲ渡ツテ徒歩半軒、梅樹數千株アル、見頃ハ三月中旬頃(樂々園) 約二萬坪ノ地ヲトセルモノデ(樂々園下車)多摩川ノ清流ヲ控エ眺望ガ良イ。入園料二〇錢。旅館多摩山莊(樂々園ホテル、電吉梅一五四、室一〇、一泊和式二圓——四圓洋式三圓半——七圓半)。
新宿	着後 七、〇四	歸宅	御嶽カラ更ニ二軒登ツテ日本武尊ヲ祀ル男具那峯ニ達シ、更ニ半軒程登レバ大嶽神社ニ詣テ、尙一時間程下ツテ鋸山、マタ一時間餘上ツテ男前山ニ達シ、ソコカラ約一時間半程下ツテ笹原橋ニ出デ、約一軒登レテ湯ニ出ル道ハ實ニ興味ノアル處デアル。

武州御嶽登り

▲水川ノ幽境……御嶽驛カラ一二軒七分。自動車デ四〇分。乗合片道六〇錢(前七時カラ後六時半迄各電車ニ接続運轉)。貸切三人迄四圓、四人以上五圓。三河屋旅館アリ(一圓半乃至三圓半)。此處カラ父秩連峯へ出ル面白イ行程モアル。九四頁次ノ折込参照。

【小河内温泉】水川カラ一二軒。自動車三―四圓。山梨縣トノ境ニ位シ、多摩川ノ清流辨天淵ノ絶景ニ枕ム幽遊ノ地デ、御嶽カラ温泉場迄ハ謂所奥多摩溪谷ノ風景美デ射山溪、萬世橋、鳩ノ巢、歌馬等ノ勝地ガアル。地ハ海拔四百五、六十米アリ、鬱氣室ニ満チテ盛夏ノ候モ尙暑サヲ知ラヌト云フ。泉質ハアルカリ性硫酸黄泉デ浴用加熱シテ居リ、打撲、創傷、皮膚病ニ效ガアル。(旅館ニ、鶴屋本支店、湯本、青木屋、高野屋、松野屋(宿泊料一圓半、二圓、二圓半)名物、山葵、山女、小鳥類。健脚ノ士ハ此處カラ大菩薩峠ヲ越エテ甲州ニ入り、中央線鹽山驛へ出ル約六〇軒ノ草鞋旅モ興ノアルモノデアル。

【大菩薩嶺】初鹿野、鹽山兩驛ノ北方ニ聳エテ居ル二、〇五七米ノ山デ、中里介山氏ノ「大菩薩峠」ノ名著ニ依リ、近年著シク人口エ騰灸セラレテ登山者ガ多ク、三ツ峠ナドト共ニ山岳ノ展望地トシテ、優レタ興味ノアル山ノ一ツデアル。

山頂ノ北側ハ奥多摩ノ水源ノ谷ヲ隔テ秩父連峯ノ雲取山、大洞山、牛王院山、笠取山等ト相對シ、峯ノ北面ノ泉水谷、小室川谷ナドハ奥多摩ノ上流トナツテ、東京市上水道ノ水源ノ一部ヲナシテ居ル。奥多摩ノ谷ニ沿フテ甲府へ通ズル青梅街道ハ大菩薩嶺ノ北カラ西ノ裾ヲ迂迴シテ居ルガ、以前ハ大菩薩嶺ノヤ、東南ノ山腹ヲ越シテ往來シタモノデ、所謂大菩薩峠ハソレデアル。

登山路……一、水川カラ青梅街道ヲ西へ奥多摩ノ溪谷美ヲ賞シテ小管村川久保ヲ經テ登ル。御嶽驛カラ約四一軒、途中一泊ヲ要ス。二、中央線猿橋驛カラ登山路徒歩約三二軒(一般のデナイ)。三、同初鹿野驛カラ日川ノ溪流ニアル嵯峨鹽鐵泉迄約一九軒夫カラ坂路約八軒半。四、同鹽山驛カラ登ツテ初鹿野又ハ奥多摩ヘノコースデ多クノ登山者ハ此處カラ登ル。驛カラ山頂マデ約一五軒、途中番屋マデ六軒ノ間自動車ガ行ク、賃五五錢夫カラ山麓裂石ノ雲峯寺(武田勝頼横死ノ因縁ガアル)マデ二軒、此處カラ青梅街道ヲ右へ岐レテ小徑ヲトル。雲峯寺カラ約四軒、凡二時間テ砥石峠ニ出ル。峠ニハ山彦會建設ノ小屋ガアリ、食料器具ヲ持テスレバ宿泊モ出來ル。夫カラ嶺迄三軒。嶺カラ東北へ約一三軒下ツテ小管村へ出レバ奥多摩溪谷へ通ズル。

【日原溪及鐘乳洞】多摩川ノ支流日原川ガ石灰岩ヲ貫キ流ルル處ノ河岸ニ開口シテ居ル。水川カラ一二軒許リ。日原川ニ沿フテ進メバとぼろ岩、女夫岩龍山溪ナドノ溪谷美ガアリ石灰岩ノ奇景ガ多イ。殊ニ其ノ紅葉ノ美ハ鹽原ニ勝リ、溪ノ最奥ニ東京府指定ノ名勝地日原鐘乳洞ガアル。洞口カラ一軒ニテ先ハ鑿リ、洞道ハ曲リ廻ツテ元ノ道ニ出ル。洞口カラ毎行スルコト少シ許リテ大裂罅ガアル、北方ニ進メバ暫テ行詰リ、南方へ向ヘバ三ツノ室ガアル。洞ノ床ハ畧水平デ、階段狀ニ高イ絶壁ガ三箇所アル。洞内ニハ水溜リハ少ク、洞壁ニハ稀ニ鐘乳石ガアル。

旅行費用概算

三等

三、三、四

内譯

新 宿 御 嶽 (往復)

一圓八四錢

一圓五〇錢

13 相模川下り

(東京から日歸り)

注意 舟は別仕立なるを以て少くとも二日位前に與瀨驛長又は旅館を介し豫約し置くを要し、五人乃至一五人位の團員を以てするを便とす。▲與瀨の旅館……角屋(晝食代一圓、宿泊料二圓乃至四圓)。林屋、須賀屋、旭屋(晝食代八〇錢、宿泊料一圓半―三圓)。

地名	發着時刻	記事	備考
飯田町	發前 八、〇六	鹽尻行列車	▲飯田町―與瀨一時間三九分(五八軒七分)三等片道九三錢。
興瀨	發前 九、〇〇	徒歩	▲與瀨驛―勝瀨(發船場)一軒、自動車乗合一五錢、貸切七〇錢。
勝瀨	發前 一〇、三〇	和舟	▲勝瀨―小倉 舟行四時間半乃至五時間(一六軒)、但シ水量ニヨリ一時間内外ノ遅速ヲ生ズ。貸切一艘一二圓乃至一八圓。
相模川	發後 三時頃	自下 舟	▲相模川舟遊 與瀨町ノ下カラ荒川ニ至ル間ハ兩岸奇岩怪石多ク激流深潭所ニ出現シ奇景ニ富ム。荒川カラ下流ハ緩流ニテ悠々トシテ追ラス、春ハ緑ノ若葉ニ山驛驛々タスルデアリ。夏ノ鮎漁ニ秋ノ紅葉、雪ニ水クダル情景等何レモ興多キ一日ノ行樂デアリ。
小倉	發後 三時頃	自下 舟	▲小倉―久保澤間一軒半。(徒歩)
八王子	發後 四、〇八	飯田町行列車	▲久保澤―八王子驛約八軒、自動車乗合三〇錢、三五分。(一日六回)(前以テ豫約シテ置ケバ小倉カラ貸切モ出ル、賃三圓)
飯田町	發後 五、二	歸宅	▲八王子―飯田町一時間四分(四三軒五分)三等六九錢。

旅行費用概算

三等

五、八二

内譯

汽車賃往復(備考欄参照)及船賃ハ一行一〇人ノ團體トシテ

一人分一圓二〇錢ト食事料其他費用トシテ三圓宛ヲ計上ス

相模川下り

14 多摩御陵參拜

(附 高尾山遊覽) (東京から日歸り)

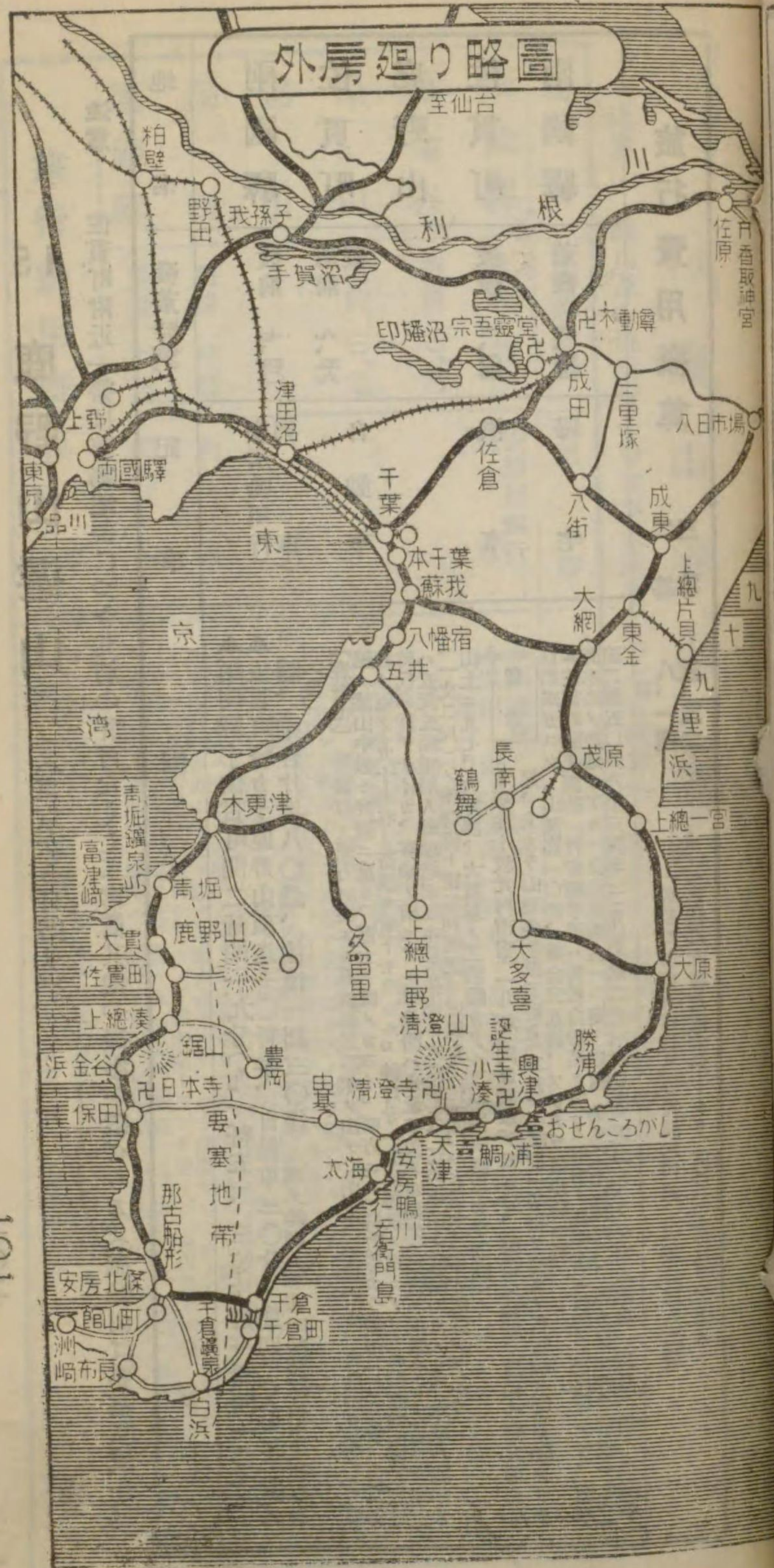
地名	發着時刻	記事	備考
東京	發前 七、四七	淺川行電車	▲東京—淺川間省線電車で一時間二〇分(五三粒一分)三等八五錢。電車三〇分乃至一時間三六分毎ニ發車ス、飯田町カラ汽車モアル。
立川	着前 九、〇二		▲淺川驛カラ多摩御陵迄近道一籽七、表參道二籽半。 △近道……驛前カラ林業所道ヲ二、三百米程行キ、同試驗所カラ少シ手前ノ道ヲ右ヘ折レテ御陵カラ三、四百米ノ表參道ニ合ス。 △表參道……甲州街道ヲ八王子ニ向ケ表參道入口迄約一籽半自動車乗合片道一五錢往復二五錢(電車毎)貸切五人乗五〇錢、電車五分、六錢(八分毎)。同所カラ御陵ヘ約一籽。
四谷新宿	發前八時頃	京王電車	▲四谷新宿—調布—府中—北野—御陵前間京王電車デ七五分、(前五、〇五—後一〇時マデ三〇分乃至四〇分毎ニ運轉)、片道六八錢(四二籽八分) 毎月二五日ニハ各驛カラ往復五割引ノ割引券ヲ發賣スル。
調布	着前九時半		御陵前驛カラ御陵迄徒歩約一籽。

多摩御陵 中央線淺川驛ノ東北ニ當ル東京府南多摩郡横山村大字下長房字龍ヶ谷戸、武藏陵墓地々城ノ中央ヤ、北寄りノ標高二一八米ノ丘上ニ南面シテ大正天皇ノ永遠ニ神鎮マリマス御陵墓デアル。陵型ハ上圓下方型テ兆城ハ二、五〇〇平方米、御陵ノ三方ヲ繞ル臺地ニハ檜、櫟ノ疎林ガアリ、丘陵カラハ雜木ノ群ト土ノ香豊カナ武藏野ヲ一望ニ收ムルコトガ出來ル。又附近ハ史蹟ト名所ニ富ミ、御陵ノ西約二百米ノ廿里御料林ノ邊ハ有名ナ古戰場トシテ知ラレ

(今カラ三六〇餘年前ノ永祿一二年、武田信玄ガ瀧山城ヲ攻メテ戸取ノ砦ヲ落ス)、南ヘカケテ山續キニハ昔八王子城主北條氏照ノ城址アリ(淺川驛ノ西北約四籽)龍ヶ谷戸ノ谷間ヲ距テテ帝室林野局林業試驗場アリ、遙カ西南ニハ紅葉ノ名所トシテ又小學兒童ノ修學旅行ノ最適地トシテ知ラレテ居ル高尾山ナドガアル。

御陵參入時間 (三) 月一〇月 午前八時カラ午後五時迄
(二) 月一二月 午前八時カラ午後四時迄

淺川驛	發	ケーブルカー	▲淺川驛カラ高尾山麓マデ(二籽餘)。自動車一四分開、乗合片道一五錢、往復二五錢(電車及列車着毎ニ發車)貸切五人乗一圓、徒歩三〇分位。同上電車八分毎ニアリ、賃六錢。
高尾山驛	發着	徒歩	▲山麓カラ八合目マデ(三籽餘)、徒歩容易、約一時間。此間ケーブルカーノ便アリ、所要七分、賃金上リ三〇錢、下リ二五錢、往復五〇錢。高尾山停留所カラ藥王院マデ徒歩八百米、殆平坦。
藥王院	徒歩		▲歸路ハ蛇瀧、琵琶瀧等ニ廻ツテ山麓ノ高尾橋畔ニ出デ、此處カラ自動車又ハ電車テ淺川驛ヘ歸ル。
高尾橋畔	發後	自動車又ハ徒歩	高尾山 海拔六〇二米、南ニ案内山、津久井山、北ニ小佛等ノ諸山ヲ控ヘ巨樹鬱蒼ト茂リ、瀑アリ溪アリ幽谷ノ景趣ニ富ミ、見晴臺(藥王院カラ六〇〇米)ニ出ツレバ視界頓ニ濶ケテ雄大、關東平野バノヲマノ如ク眼界ニ展開シ四顧十三州ニ及ブ。 山路ユルヤカニテ婦女子モ樂々ト登ル事ガ出來、黃塵ノ都ヲ去ルコ僅カニ二時間ニシテ清澄ナ山ノ氣分ニヒタリ、一日ユツクリ樂シムコトヲ得ルノテ春夏秋冬ヲ通ツテ修學旅行ヤ子供連レノ遊山地トシテ喜バレテ居ル。紅葉ノ見頃ハ一月中旬。 ▲藥王院……高尾山頂ニアリ、天平一六年(今カラ一八六年前聖武天皇ノ勅題ヲ奉ジ



多摩 御陵参拜

浅川

宿

發後四時半 電車又ハ汽車
着後五時過 歸 宅

テ行基菩薩ノ創建セル名刹、有尊寺ト稱シ新義眞言宗デ、飯綱權現ヲ本尊トス。祠堂、本堂、仁王門、五重塔等伽藍宏壯、輪奐ノ美ヲ極ム。此處カラ約一軒二十三州見晴臺ノ勝地ガアリ、マタ林道傳ヒニ大なるみニ出テ與瀨驛ニ下ル道モアル。高尾山驛カラ一軒、▲蛇籠ノ神劔ヲ據セル青銅ノ蛇口カラ落テスル十餘尺ノ瀧。高尾山驛カラ一軒、▲琵琶瀧ノケイブルカニ終點上ノ琵琶瀧道ヲ案内川ニ沿ウテ下ル瀧畔ニ不動堂、狂人收容所等アリ。

参考

▲小佛峠……甲州街道中、笹子ニ次グ有名ナ難所デ、浅川・與瀨間ニアリ上下八軒。絶頂ハ標高五二〇餘米、道ヲ挟ンデ國ヲ異ニシ、西南ニ富士ガ見え十二ヶ國ヲ一目デ見渡ス事ガ出来ル。浅川驛カラ峠迄七軒八、自動車ハ途中迄通ズ、貸切一圓半。
▲小佛開址……浅川驛ノ西約一軒八、浅川町大字上長房字駒木野ニアル。駒木橋ヲ渡リ右方ノ街道ニ沿ウテ行ケバ古イ石垣ト一株ノ老松ノアル所ガ開所址デ、今史蹟ニ指定サレテ居ル。
▲八王子ノ旅館……大東園(電七〇五、室一二)、徳利龜屋(電一〇四、室一一)(以上一泊三圓、四圓、五圓)、角喜(電五一)、齋藤(電六二二)、角喜支店(電一三六、驛前)、玉屋(電一七九、驛前)、其他。宿泊料二圓乃至四圓。
▲浅川町……花屋本店(電話浅川三五)、岸木屋(電同一〇、驛前)、元木屋(電同七)、宿泊料二圓一三圓半、晝食六〇錢以上。
▲高尾山麓……三光庄(電浅川五二)、山木屋(電同五九)、花屋(電同三五)、層雲閣、宿泊料二圓、三圓、四圓。晝食代五〇錢乃至一圓五〇錢。

旅行費用概算

三等

(イ) 三、七五
(ロ) 三、四六

内譯

東京—浅川(往復) 一、七〇
浅川驛—高尾山麓(乗合自動車往復) 一、〇〇
ケイブルカ 一、五〇
晝食料其他 三、〇〇
四谷新宿—御陵前 一、〇〇
御陵前—高尾橋 一、〇〇
浅川—新宿 一、〇〇
晝食料其他 一、〇〇
御陵前—高尾橋—浅川驛(電車) 一、〇〇
浅川—新宿 一、〇〇
晝食料其他 一、〇〇

17 北條・館山・鏡ヶ浦遊覽

(東京灣汽船遊覽船にて日歸り)

注意……此地附近一帯は要塞地帯につき寫眞其他の撮影には要塞司令部の許可を要す。

地名	發着時刻	記事	備考
東京靈岸島	發前 七、〇〇	汽船	<p>毎年七、八月中二限り靈岸島カラ保田及北條館山間ニ東京灣汽船ノ夏期臨時遊覽船ガ出ル。(菊丸、橘丸)賃金館山迄片道一圓五〇錢、往復二圓五〇錢(館山ハ棧橋著、北條ヘハ舟行デ行ク)保田迄片道一圓二〇錢、往復二圓。</p> <p>【北條】鏡ヶ浦ノ中央ニ臨ム、背後ニ平野ヲ帶ビ安房郡第一ノ首都デ、市街ハ沙入川ヲ挾テ館山町ニ連ツテ居ル。人口九、六五(昭和五、〇調)海濱ハ驛カラ三百米許リ、波靜カニ濱清ク海水浴ノ好適地デアル。鏡ヶ浦ハ右ニ大房岬、左ニ洲ノ崎ガ斗出シ、鷹ノ島、沖ノ島ガ波間ニ浮ンデ鏡ヶ浦ノ風景美ヲナシテ居ル。鷹ノ島ハ海岸カラ一軒餘、千潮時ニハ徒歩シ得、面積七千餘坪、大部分平坦ニテ樹木鬱蒼ト茂ル。沖ノ島ハ更ニ沖合一軒三、面積八千餘坪。夏季遊覽モ一ターボトガ出ル。▲旅館一〇六頁参照。▲名物一枇杷ノ織詰、枇杷芋羹。</p> <p>【館山町】北條驛ノ西南約四軒、自動車乗合一〇錢、貸切五〇錢。モト稻葉氏一萬石ノ城下デ城山城址ハ里見氏城跡デ、馬場ノ八天傳ヲ憶ブ舊蹟デアル。人口、九、一八四(昭和五、一〇調)▲延命寺(曹洞宗)國分寺(中ニアリ、北條驛ノ東北三軒、途中迄自動車ノ便ガアル。寺ハ永正一七年里見義實カ梵眞禪師ヲ迎ヘテ開山トシ、里見家ノ菩提寺トシテ所デ、里見氏累代ノ墓カアル。大正二年ノ震災ノ爲メ寺ガ倒壊シタ。▲館山ノ隆起珊瑚礁一館山ノ背後ヲ廻ル一(米ノ臺地ハ、隆起珊瑚礁カラ成ルモノデ、モト此ノアタリハ海面下八〇米以下ノ海底ヲナシ、當時ノ水溫ハ攝氏二〇度以上デアツタ時、盛ニ構礁珊瑚ガ生育シテ居タガ、地盤ガ隆起シテ今日ノ如ク陸上ノ丘陵トナツタモノデアルト云フ。</p>
保田	着前 一〇、〇〇	汽船	
北條館山	着前 二、三〇	下船	
鏡ヶ浦	着前 二、三〇	遊覽船	
北條館山	發後 四、〇〇	汽船	
東京靈岸島	着後 八、三〇	歸宅	

旅行費用概算

三等

四、五〇

内譯(汽船賃往復及食料其他トシテ二圓ヲ計上ス)

北條から更に安房の南海岸——眺望雄大な洲ノ崎の古社洲崎神社に詣で、三原山の噴煙を望み乍ら平沙浦を過ぎ、布良崎白濱、乙濱、白間津、平磯等の海岸を経て千倉に出て千倉鑛泉に一浴して歸るも亦實に興味のある旅行である。

- ▲北條——坂田(洲崎) 一三軒、自動車五〇分、乗合七〇錢(一日一二往復)、貸切三圓。坂田カラ洲ノ崎迄西約一軒。
- ▲北條——布良 一三軒、自動車五〇分、乗合五五錢、(一日一二回)、貸切三圓。
- ▲北條——白濱 一六軒、自動車四〇分、乗合六〇錢、(一日一〇回)、貸切三圓。
- ▲白濱——千倉驛 一軒半、自動車四〇分、乗合五〇錢(各上下列車ニ接続)、貸切三圓。

【洲崎】館山灣(鏡ヶ浦)の南に突出し海上凡そ三〇軒を隔て、三浦三崎と相對してゐる。維新前此處に置かれた砲臺の跡及古社洲崎神社があり、眺望の雄大を以て聞えてゐる。洲ノ崎神社は御手洗山の中腹老杉の間にあり、天太玉命の妃、天比理比咩命を祀る縣社である。

【安房神社】北條の西南一一軒、安房郡神戸村大神宮にある(乗合自動車布良行の途中神戸村下車、賃五〇錢)官幣大社で安房開拓の神天太玉命を祀る。

古來安房國一ノ宮として名高く、延喜式所載ノ名神大社、今の社殿は神明造りで、明治年間の建築である。例祭は八月一〇日、毎年十一月二六日から十日間に涉り神祇祭が行はれる。此祭事は祭神カ惡獸ヲ退治シテ國土ヲ安ラカニシ給ウヲ神恩ヲ記念スル爲ニ行ハレテ居ル特殊神事デ、古武ヲ存スルノ爲メ高。神社のある處は安房國の南端で、三面山を負うて西の方海に枕んで居る。地勢概ね平坦で長汀曲浦數里に續き、洲崎と布良崎が左右に凸出して灣形をなし、灣内は水清く浪靜かに、平沙浦の名に呼ばれて居るが烈風の日は怒濤澎湃、飛沙面を撲つて眼を開くことも出来ぬ位で、又鬼ヶ浦とも云はれて居る。平沙浦からは豆相の諸峯、芙蓉の靈峯を仰ぎ得、一望廣漠、風景の美に富んでゐる。

【千倉鑛泉】白濱から一〇軒、自動車乗合一〇錢(列車毎)、貸切五〇錢、千倉鑛泉場から千倉驛へ一軒餘。自動車乗合一〇錢(列車毎)、貸切五〇錢、千倉は鎌倉時代朝夷三郎義秀の食邑であつた所で、町名も近々迄曠町と云つてゐた。地は秋刀魚の産地として名高い漁港で、西北方に翠微を控へ、東南方は太平洋に面して長汀白砂に青松連り風光明媚である。夏期は好き海水浴場となり附近には朝夷天神、下立松原神社、忽戸の鼻岬等の曳杖地がある。

鑛泉は食鹽性鹽類泉で暗褐色不透明、浴用加熱し、神經諸病、常習便秘、皮膚病、胃腸病等に效があると云ふ。旅館千倉温泉(電千倉九番、室一七、一泊一圓半、二圓、二圓半、三圓)、鈴木屋(電千倉一八番、室一六、一泊同上)

18 外房めぐり

(東京から二日遊覽)

注意……北條、館山、洲崎、布良附近一帯は要塞地帯につき寫眞其他撮影には當局の許可を要す。

日程	地名	發着時刻	記事	備考
第1日	兩國驛	發前 七、四〇	木更津經由 安房鴨川行列車	<p>(イ)兩國驛—安房北條間三時間二〇分(三六料七分)三等一圓八七錢 乘車券ハ兩國—北條—蘇我—兩國ヲ求メルコト、二等七圓七〇錢、三等三圓八五錢 (ロ)東京灣汽船館山遊覽船(毎年七月八月中運航ノ豫定)賃金一圓半。 北條及館山附近ノ遊覽地……鏡ヶ海、鷹ノ島、沖ノ島、館山城址、豐津公園等、(一〇〇四頁參照)。</p> <p>【參考】 〔北條町ノ主ナル旅館〕木村屋(電話山二〇番、三七八番、驛カラ半料、室一八、二圓二〇錢、三圓、五圓)、幸田館(電話同五八、室一五、一泊同上)、紋屋(電話同三〇九、驛カラ五〇米、室一四)、小松屋(電話同七八、室一七)、鏡浦亭(電話同二〇九、室一七)、以上二圓二〇錢、三圓、四圓半、清風樓(電五七、室一〇、二圓、二圓半、四圓)、(以上團體一圓半以上)。 〔館山町ノ旅館〕海岸ホテル(電話山二四、驛カラ九四〇米、一圓八〇錢—四圓半)、松岡(電話同五六、一料八、一圓八〇錢—五圓)、新釜館(電一四八、驛カラ九六〇米、一圓八〇錢—四圓半)、田村屋(電三四一)、三友館(電三七三)、旭屋(電三三五)。 ▲安房北條、安房鴨川間五六分(三三料五)兩國驛マデ三等二圓三一錢</p>
	安房北條	着前 二、〇三	下車遊覽	
	靈岸島	發前 七、〇〇	東京灣汽船	
	館山	着前 二、三〇	下船遊覽	
第2日	安房北條	發後 三、三六	鴨川行列車	<p>【參考】 〔鴨川ノ主ナル旅館〕吉田屋(電話鴨川一七、室數三三、驛カラ半料餘、普通一泊料二圓、三圓、四圓)、吾妻屋(電二〇)、竹ノ家(電同二〇六、室二五、二圓、三圓、四圓)。 ▲安房鴨川・安房天津間汽車八分(五料五)、兩國橋カラ三等二圓三六錢、小湊行自動車便モアリ、天津迄二〇分、乗合三五錢(前八時カラ後五時迄一時間毎ニ發、貸切二圓半)。 【天津】外房屈指ノ良港デ、漁船ノ出入ニ賑ハヒ、又附近ノ海水清ク良イ海水浴場トナツテ居ル。 ▲天津ノ旅館……油屋(電天津四八番、室數一一、一泊一圓半—四圓)、蓬萊屋(電同二九番、室數一五、一泊一圓半—四圓)、中屋(電同五一、室二三)。 ▲天津驛・清澄寺約六料餘(山麓迄二料餘、夫カラ上リ約四料)中腹迄自動車通ズ(夫カラ清澄山迄徒歩約一料)乗合片道七〇錢(前八時半—後四時半マデ八回)貸切五圓、要三〇分。徒歩ナレバ上リ約二時間下リ一時間半位。</p>
	安房鴨川	着後 四、三四	下車、遊覽	

ニハ日蓮上人ノ法難ニ名高イ(文永元年一月一日ノ夕方、地頭東條景信ガ日蓮上人ヲ要撃シタ爲、天津ノ城主工藤吉隆ト鏡忍坊トガ刀鋒ニ鏡レタ所)鏡忍寺カアル。
 【鴨川ノ主ナル旅館】吉田屋(電話鴨川一七、室數三三、驛カラ半料餘、普通一泊料二圓、三圓、四圓)、吾妻屋(電二〇)、竹ノ家(電同二〇六、室二五、二圓、三圓、四圓)。
 ▲安房鴨川・安房天津間汽車八分(五料五)、兩國橋カラ三等二圓三六錢、小湊行自動車便モアリ、天津迄二〇分、乗合三五錢(前八時カラ後五時迄一時間毎ニ發、貸切二圓半)。
 【天津】外房屈指ノ良港デ、漁船ノ出入ニ賑ハヒ、又附近ノ海水清ク良イ海水浴場トナツテ居ル。
 ▲天津ノ旅館……油屋(電天津四八番、室數一一、一泊一圓半—四圓)、蓬萊屋(電同二九番、室數一五、一泊一圓半—四圓)、中屋(電同五一、室二三)。
 ▲天津驛・清澄寺約六料餘(山麓迄二料餘、夫カラ上リ約四料)中腹迄自動車通ズ(夫カラ清澄山迄徒歩約一料)乗合片道七〇錢(前八時半—後四時半マデ八回)貸切五圓、要三〇分。徒歩ナレバ上リ約二時間下リ一時間半位。

第2日	地名	發着時刻	記事	備考
第2日	安房鴨川	發前 八、〇四	勝浦廻リ兩 國橋行列車	<p>▲安房鴨川・安房天津間汽車八分(五料五)、兩國橋カラ三等二圓三六錢、小湊行自動車便モアリ、天津迄二〇分、乗合三五錢(前八時カラ後五時迄一時間毎ニ發、貸切二圓半)。 【天津】外房屈指ノ良港デ、漁船ノ出入ニ賑ハヒ、又附近ノ海水清ク良イ海水浴場トナツテ居ル。 ▲天津ノ旅館……油屋(電天津四八番、室數一一、一泊一圓半—四圓)、蓬萊屋(電同二九番、室數一五、一泊一圓半—四圓)、中屋(電同五一、室二三)。 ▲天津驛・清澄寺約六料餘(山麓迄二料餘、夫カラ上リ約四料)中腹迄自動車通ズ(夫カラ清澄山迄徒歩約一料)乗合片道七〇錢(前八時半—後四時半マデ八回)貸切五圓、要三〇分。徒歩ナレバ上リ約二時間下リ一時間半位。</p>
	安房天津	着前 八、二三	下 乗合自動車	
第2日	清澄山	着前	遊 乗合自動車	<p>▲安房鴨川・安房天津間汽車八分(五料五)、兩國橋カラ三等二圓三六錢、小湊行自動車便モアリ、天津迄二〇分、乗合三五錢(前八時カラ後五時迄一時間毎ニ發、貸切二圓半)。 【天津】外房屈指ノ良港デ、漁船ノ出入ニ賑ハヒ、又附近ノ海水清ク良イ海水浴場トナツテ居ル。 ▲天津ノ旅館……油屋(電天津四八番、室數一一、一泊一圓半—四圓)、蓬萊屋(電同二九番、室數一五、一泊一圓半—四圓)、中屋(電同五一、室二三)。 ▲天津驛・清澄寺約六料餘(山麓迄二料餘、夫カラ上リ約四料)中腹迄自動車通ズ(夫カラ清澄山迄徒歩約一料)乗合片道七〇錢(前八時半—後四時半マデ八回)貸切五圓、要三〇分。徒歩ナレバ上リ約二時間下リ一時間半位。</p>
	清澄山	着前	遊 乗合自動車	

外房めぐり

福年中ノ住持善良阿闍梨ノ時、沙彌日蓮登山シテツノ弟子トナリ、境内旭森ハツノ修業地トシテ名高ク、上人ノ銅像ガアル。本堂前ニアル高サ約五〇米、周圍一七米ノ杉ノ巨樹ハ全國屈指ノモノテ天然記念物ニ指定サレテ居ル。(清澄山ノ旅館)……清澄館(室數七、一泊二圓一三圓)、小梅館。

清澄山から龜山村を経て久留里驛に出る道があり沿道風景絶佳である。清澄山麓一龜山約一六米、徒歩約四時間、龜山一久留里驛間一五米、自動車一時間一〇分、乗合七〇錢(一日五回)、貸切四圓。

安房天津

發前一〇、二四
勝浦方面行
列車

安房小湊

着前一〇、一九

乗合自動車
誕生寺へ

▲天津—小湊間汽車五分(三料五)(汽車一時間毎ニ出ル)。
▲小湊驛カラ誕生寺迄東南一料七、自動車乗合一〇錢、貸切三〇錢。

小湊

人口三、二八八(昭和五、一〇調)一小漁港デアアルガ日蓮上人誕生ノ地トシテ有名デアアル。日蓮ハ今カラ七百年前一漁夫ノ子(父ヲ貫名重忠、母ヲ龜菊ト云フ)トシテ生レ、此ノ地ニ育ツタノデアアル。

▲誕生寺……小湊町内浦灣及妙ノ浦ニ臨メル小湊山ノ麓勝景ノ地ニアル。寺ハ元祿年間興津ノ城主佐久間兵庫守重貞ガ建立シタルモノト云ヒ、七堂伽藍具ハリ、寺内ニハ日蓮一代ノ遺物ガ多ク藏サレテ居ル。寶物ハ毎年八月一日庫裏ニ陳列シテ一般ニ供覽シテ居ル。

▲妙ノ浦(鯛ノ浦トモ云フ)……内浦灣ノ外、蓮華淵ニアル。誕生寺山門前カラ乗合舟テ海上八百米。此處ハ東ニ大辨天島、小辨天島ヲ見、西ニ伊貝島ヲ望ム。水深二五米ノ所テ日蓮上人ノ殺生禁斷ノ遺旨ガ守ラレ、又大正一一年三月内務省天然記念物ニ指定サレ今尙依然トシテ殺生禁斷ノ場所ナノテ近海ノ鯛ガ皆此處ニ集ツテ居ル。鮎ヲ叩キ餌ヲ投ゲレバ海中カラ涌リ上ル數百ノ巨鯛ハ實ニ天下ノ奇觀デアアル。往復三〇分位。

▲おせんころがし……誕生寺ノ東五料餘、斷崖一〇〇尺ノ上ニアル嶮岨ナ舊道テ、其名ノ起ツタ所以ハ昔おせんト云フ美シイ娘ガ、月ノ濱邊ノソツロ歩ニ戀ノ囁ヲ聽入レナカツタ爲、仇シ男ニ突落サレタ場所デアアルト云フ。驛カラ自動車乗合三〇錢、貸切一圓半。

【小湊ノ旅館】 清海家別館(驛前、電小湊三五、室一九、收七〇人、一泊二圓、二圓半、三圓、四圓、五圓)、妙ノ浦(一料一、電同一二、室二三、收一三〇人、一泊二圓、二圓半、三圓、四圓、五圓、割烹旅館)、清海家本館(一料一、電同一三、室一〇、收四〇人、一泊料同上)吉田屋(一料七、電同五二、一泊料同上)。

安房小湊

發後 二、三

勝浦廻リ
兩國橋行列車

勝浦

發後 二、五

勝浦發後三時三六
兩國着六時一五ノ
不定期列車ガアル

兩國驛

着後 六、五

歸宅

▲安房小湊—勝浦—兩國驛 三時間四分(一二一料二)、三等一圓八〇錢。
〔勝浦〕地ハ人口七、一六三(昭和五、一〇調)三方ニ丘ヲ繞ラシ、一方ダケ勝浦灣ニ枕ム漁港テ、海ハ遠淺デ、波モ靜カナ婦女子ニモ安全ナ海水浴場デアアル。附近ニハ遠見神社、海カラ七百米、自動車乗合一〇錢。勝浦城址ハ八幡山ノ頂上カラ凡一料、本行寺(驛カラ半料)、覺翁寺(驛カラ八百米)等ノ名所ガアル。▲旅館……一文字屋(電勝浦五番、室數一五、一泊二圓、二圓半、三圓)、勝浦館(電二、室二二、宿泊同上)、松乃屋(電四七、室一六、清水館(電二二、室一〇)、竹屋(電七〇、室二五)其他(一泊料同上。團體一泊一圓二〇錢以上)。

旅行費用概算

(イ) 二等 一九、七〇五
三等 一四、七〇五
(ロ) 二等 一九、〇三
三等 一三、六九三

内譯 乗車券兩國驛—鴨川—兩國驛三等三圓八五錢二等七圓七〇錢、宿泊料一泊二等五圓三等三圓及自動車代清澄山往復、誕生寺在後一圓六〇錢、妙ノ浦舟賃二五錢、食料其他二等六圓三等五圓ヲ計上ス。
内譯 東京灣汽船一圓半、北條—鴨川—兩國驛汽車賃三等二圓三四錢二等四圓六八錢及宿泊、自動車、舟、食料(イ)ト同ジ料等ヲ計上ス。

注意 季節ニヨリ旅館及自動車ヲ含ンダ汽車ニ割引ノクーポン式遊覽券ガ發賣サレルカラ出發ノ際ビューロー案内所ニテ確メラル、カヨイ。

成田詣で

19 成田詣で

(東京から日帰り)

地名	發着時刻	記事	備考
上野	發前八、〇五 電車二テ不効等へ		▲上野—成田間一時間一九分(六六糶四)三等片道一圓五錢 ▲兩國驛—成田間一時間二九分(六五糶一)三等片道一圓三錢 ▲兩國驛發前七、五五、成田着九、一七ノ不定期列車アリ。乗車ノ際注意ノコト
成田	發前九、〇〇 電車不効等へ		▲日暮里—京成成田間京成電車一時間二二分ヲ要シ(五九糶三)片道 九一錢(前五時四十分カラ後一、一四時二〇分迄一六分毎ニ發車)
成田(ハ)	發前八時半頃		▲省線成田驛カラ成田不動尊迄八百米、成田電車ノ便アリ五分乃至一 五分毎ニ發、賃金五錢、停留所カラ不動尊迄五〇米。別ニ驛カラ自 動車賃切五〇錢。乗合五錢、俵二五錢。
成田(ロ)	發前八時半頃		
成田(イ)	發前八時半頃		
宗吾堂	參詣		
吾靈堂	參詣		

【成田不動】成田町ノ北部ニアリ眞言宗智山派ニ屬シ、成田山神護新勝寺ト號ス。本尊不動明王ハ弘仁元年嵯峨天皇ノ勅願ニヨリ玉體安穩國家鎮護ノ本尊トシテ弘法大師一刀三體親ヲ彫刻開眼セラレシモノト傳ヘラレ、護摩壇ヲ設ケ毎日定時ニ玉體安穩護摩法ヲ修メテ日々參詣人絶エズ一、五、九ノ三ヶ月及節分會ノ豆撒キニハ殊ニ多ク講中ハ殆ド全國ニ廣ガリ毎年參詣者ノ總數百數十萬ニ達スルト云フ。

本堂ハ安政年間ノ再建テ、五間五面入母屋造、銅板葺テ、四扉ノ二十四孝、欄間ノ五百羅漢及鳥獸ノ彫刻等ヲ嵌装シテ結構ヲ極メテ居ル。本堂ノ背後ニハ珍伽羅(コンガラ)、制吒迦(セイヤカ)ノ二童子ヲ始メテ十六童子、八大童子ノ銅像ヲ安置シ、境内ニハ新勝寺ノ經營ニ係ル圖書館、中學校、高等女學校、感化院、幼稚園ガアリ、又、風致ニ富ム大公園ガアル。

地名	發着時刻	記事	備考
上野	發後七、〇一 省線上野行		
成田	發後三、三〇 省線兩國驛		
成田(ハ)	發後五時頃	京成電車	
成田(ロ)	發後六時半頃	押上行	
成田(イ)	發後六時半頃	押上行	

成田詣で

旅行費用概算

六圓七〇錢
六圓六二錢

三等

四圓一〇錢
四圓〇六錢
三圓八二錢

内譯

イ、ロ、ハ共各汽車又ハ電車賃往復(備考欄
參照)及晝食、車賃其他費用トシテ二等二圓
半、三等二圓宛ヲ計上ス

上野 成田 成田 佐原 香取 神宮

發前 八、〇五
着前 九、二四
發後 二、三三
着後 一、三〇
發後 一、三五
着後 一、三三
參詣 北總自動車

官幣大社

香取神宮

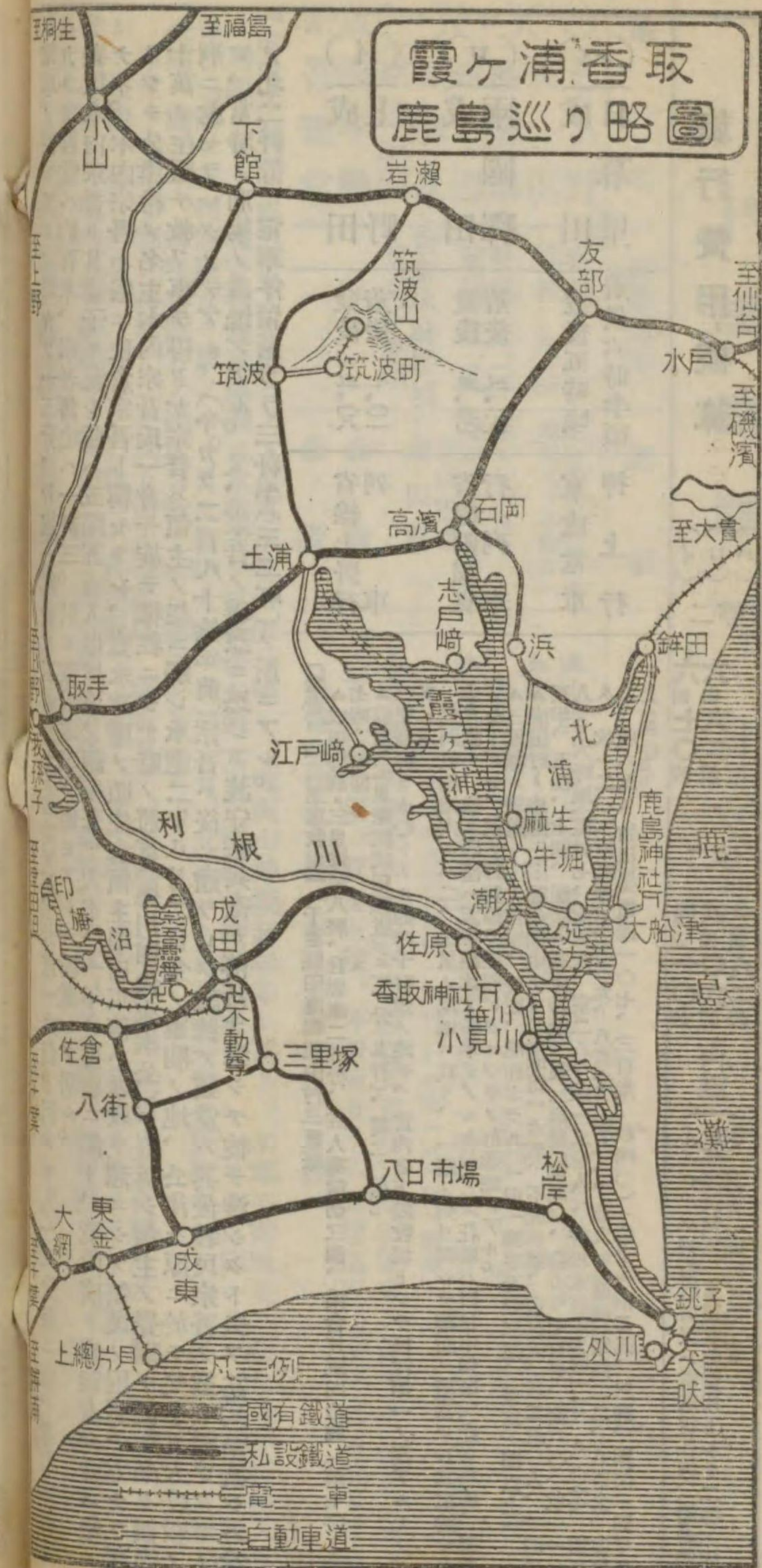
千葉縣香取郡香取町香取

祭神ハ神代ニ於ケル國土經營ノ神、經津主命ヲ祀ル。神武天皇御即位ノ一八年ニ神宮造營ノ事ガアツタト傳ヘラレ、現在ノ社殿ハ元祿一三年徳川綱吉ノ造營獻納シタ典型的ナコケラ、天ヲ磨スル千年ノ神杉ト神トガ立シテ居ル。社背ニ「櫻ノ馬場」ガアリ流鏑馬式ヲ行フ苑地テ數百株ノ梅ト櫻ノ中ニ香雲閣ト云フ宏壯ナ建物ガアル。其丘端ノ茶亭、寒香亭ノ屋上展望臺カラハ香取浦ヲ白帆行ク大利根ノうねり、霞ヶ浦、筑波ノ双峯等ガ眺メラレル。例祭ハ四月一四日ノ軍神祭、五月五日ノ御田植祭(早乙女、樂人ナドガ行列ヲ整ヘテ齋田ニ至リ田植ヲスル神事)ガアリ、又二月ノ節分祭、一月三日ノ大饗祭ニハ何萬トナキ賽者ガ集ル。人口一七、一五七、昭和五、一〇〇、釀酒ノ業ガ盛テ利根大江ニ枕ミ、利根水路交通ノ要衝ヲ爲シテ居ル水郷デ、人口一七、一五七、昭和五、一〇〇、釀酒ニ支那風ノ石欄橋ガ架ケラレテアル。南ニ諏訪山公園ノ森ヲ負ヒ、街ヲ貫イテ小野川ガ流レ、ソレ

香取・鹿島めぐり

一一三

霞ヶ浦・香取・鹿島めぐり略圖



20 香取・香島めぐり

(東京から二日)

霞ヶ浦・香取・鹿島めぐり略圖

一一三

香取・鹿島めぐり

附近ニハ景勝ノ地カ多ク、香取鹿島ニ詣テ人ヤ水郷探勝客ナドテ賑ハツテ居ル。佐原町ハ又、本邦地理學ノ泰斗伊能忠敬翁ノ出身地トシテ知ラレテ居ル。翁ノ舊宅ハ驛ノ東南一軒、佐原町本橋元ニアル伊能三郎右衛門氏ノ家カソレデア。忠敬ハ上總ノ人、養家伊能家ヲ中興シテ五十餘歳ニ及ビテ江戸ニ出テ高橋東岡ニツキ星曆ノ學ヲ修メ、寛政一二年幕命ヲ受ケ、前後一八ヶ年間北海道、本州、九州ヲ普ク踏査實測シテ全國ノ地圖ヲ完成シタ人デア。其當時使用シタ量程車、象眼儀、方位盤等ノ測量器具ヲ始メ、其製圖ニ係ル大小ノ測圖及日記藏書等約六百點カ當時ノ儘ノ書齋ニ保存サレテ居ル。

▲佐原公園：驛ノ南三百米ノ丘上ニア。園内ニハ日本最初ノ實測地圖ヲ作ツタ伊能忠敬翁ノ銅像ガアル。▲津ノ宮：香取神宮ノ北一軒六、水邊ニ三丈五尺ノ大鳥居ガアル。乗合自動車香取驛由三五錢。▲神土山：津ノ宮ノ西北半軒餘、古來大蛇ガ棲ンデ居ルト云ハレタ丘トソレニ長サ一、四〇〇米、周圍一四〇米、高サ七米ニ及ブ主壇トテ數十箇ノ階壇トガアル。

▲佐原町ノ旅館（電話ハ佐原局、距離ハ佐原驛カラ、收、收人員數ヲ示ス）金田（電六八、驛前、室三〇、收一五〇人）、木内（電五八、半軒餘、室三四、收一五〇人）、木内別館（電二六五、四四〇米、室五、收四〇人）、山本（電六七、一軒三、室二二、收八五人）（以上一泊二圓一五圓）、深澤（電四一、八八〇米、室一八、收六五）、石橋（電三九、驛前、室一四、收六〇）、川島（電七三、四四〇米、室一四、收六〇）（以上一泊一圓七〇錢一四圓。團體一圓七〇、二圓、二圓半）其他平井、木下、浮島、一力、川岸、等

潮 佐原 發後 三、四〇 水郷遊覽
來 着後 四、四〇 宿 泊

▲佐原驛カラ乗船場マテ三百米、乗合五錢、俾二〇錢。
▲佐原・潮來間船テ約一時間、賃三〇錢。約五料。
▲潮來ノ旅館：福彌（電潮來四三番、室數一六、收八〇人、一泊二圓、三圓、四圓、角菱旅館（電同）一八番、室數一四、一泊同上）、潮來ホテル（電同九、室一、二、一泊同上）

水郷 菖蒲花咲ク民謠ニ名高イ潮來附近一帯ハ水郷ノ情趣豊カデ、加藤洲ノ十二橋、十六島浮島ノ情趣ハ他ニ見ラレヌ趣カアル。長勝寺國寶ノ古鐘ヤ稻荷山ノ風光亦賞スベク、名物あやめ踊ハ旅情ヲ慰ムルニ足ルデア

▲水郷ハ利根川ノ河中ニ生ジタ砂洲ノ地デ、其最モ著シキモノハ南ハ利根ノ本流、西ハ横利根川、東北ハ北利根川、東ハ外浪逆浦ニ限ラレル島ノ加藤洲デ。周圍ニ五軒ニ及ビ中ニ與田浦沼ヲ包デ居ル。加藤洲ハモト増水時ニハ屢々浸水シタガ今ハ堤防及堰開ガ設ケラレテソノ害ヲ蒙ラヌ

潮 大船津 發前 八、四〇 水郷遊覽
來 着前 九、三〇 自動車
鹿島神宮 發前 參 拜

▲潮來・大船津間船テ約四〇分間、一六錢、約五料（佐原カラ四〇錢）陸路ニテ延方村經由鹿島神宮前迄約八料、自動車三〇分、乗合片道三〇錢、（前八時半カラ後六時迄六回定期發）、賃切六人乗二圓、九人乗三圓（往復五圓）。

▲大船津・鹿島神宮間二料、自動車乗合片道一五錢、（一時間半毎）賃切一臺五〇錢。

官幣大社 鹿島神宮 茨城縣鹿島郡鹿島町宮中

香取ノ祭神ト共ニ我國武神ノ始祖デア。武甕槌ノ神ヲ祀ル。社ノ創立ハ神武天皇即位ノ元年ト傳ヘラレ、香取神宮ト同時代ナルベク、香取ハ「下總國」ノ宮「鹿島」ハ「常陸國」ノ宮トシテ東國ノ名祠デア。現在ノ社殿ハ樓門ハ寛永一四年水戸黃門ノ奉納セルモノ、本殿、幣殿、拜殿ハ元和五年徳川秀忠ノ再建、奥殿ハ慶長十年徳川家康ガ關ヶ原戰捷記念ニ建テタモノデア、何レモ特別保護建造物ニ指定サレテ居ル。

社域四〇町歩、國有林四〇町歩合セテ八〇町歩ノ大森林ガ神宮ヲ繞リ、美シイ林相ハ神さび大宮居ノ神威ヲ示シテ居ル。本宮カラ東ニ四百米許リ行クト奥宮、其處カラ坂ヲ二合セテ八〇町歩ノ下ルト御手洗池ガアル。池ハ七間ニ八間ノ水ニ鳥居ト柵トガ建テ、清冽玉ノ様ナ水ガ湧イテ居ル。水深ハ乳位ノ深サデア。引返シテ奥宮背後ノ道ヲ百米程行ケバ十字路ノ奥ニ「要石」ト稱スルモノガアル。地上ニ露出シテ居ル部分ハ徑二一、二寸、中央ニ窪ミガアル。此ノ地下ニ鯨ガ居テ昔時關東地方ニ地震ガ頻々トアツタノデ、鹿島ノ諸神ガ談合ノ上、石棒デ大魚ノ頭部ヲ串シタモノデアアルト云フ面白イ傳説ガアリ、周圍ニ木柵ガメグラサレテ居ル。

▲七不思議：右ニツノ外「御藤ノ花」藤原謙足ノ手植ノ藤デ、附近ノ農民ハ其ノ花ノ多寡ニヨリテ吉凶判断ニ用ヒタト云フ。今ハ枯死シテ居ル。「海潮ノ音」潮ノ音ガ上ニ聞エル時ハ晴、下ニ聞エル時ハ雨トスル晴雨ヲ豫知スルモノト云フ。「末無川ノ水」「根上リ松」何度此松ヲ伐ツテモ切株カラ發芽スルト云フ。「松ノ簀」決シテ脂ガ出ヌト云フ。

香取・鹿島めぐり

▲根本寺：鹿島ノ村外レ、利根ヲ俯瞰スル新坂ノ臺地ノ下ニアル。古ハ七堂伽藍ヲ具備シ、後宇多天皇カラ賜ツタ「天下平安異國歸伏」ノ銅
鹿島ノ須賀間四軒(銚子行自動車便ノリ)、須賀カラト寄進狀等ノ寶物ヲ藏シテ居ル。
▲アイロコイ神社：新坂下ノ右手ニアル。此處ハ已ニ大船津ノ入口ニ當リ、以上全部ヲ廻ルニ二時間モアレバ足リル。
▲鎌足宅址：新坂下ノ右手ニアル。此處ハ已ニ大船津ノ入口ニ當リ、以上全部ヲ廻ルニ二時間モアレバ足リル。

第 2 日

鹿島大社 (大船津)	發後 二、三〇	汽水
潮來	發後 三、〇五	郷遊
牛堀	發後 三、二五	船覽
濱野	發後 五、〇〇	
石岡	發後 五、三〇	
上野	發後 六、〇六	
野岡	發後 六、四〇	
着後	八、五三	

▲大船津カラ潮來、牛堀、麻生經由、濱驛マテ水郷遊覽汽船(參宮九二六噸、鹿島九五一噸)テ二時間四〇分(二三軒)、賃金並等六四錢、特等九六錢。(鹿島カラ鹿島參宮鐵道經由ニテ省線土浦—上野間各驛ト連絡切符ヲ求ムル場合ハ鹿島—濱驛—石岡驛間ヲ三等片道六九錢、往復一圓三八錢ノ特定運賃ニヨル)
▲鹿島、銚子、潮來カラ常磐線高濱驛迄乗合自動車ノ便アリ。
▲鹿島—高濱間三時間(四八軒)料金一圓八〇錢。七、五〇—六、〇五迄八回(延方乗換)
▲潮來—高濱間二時間一〇分(四〇軒)料金一圓三〇錢。六、三〇—四、三五迄八回。
▲鹿島—銚子間約三〇分、汽船三時間、賃六八錢。自動車一時間、乗合七五錢(十回)五
▲人乗切五圓
▲銚子カラ鹿島參宮鐵道ヲ常磐線石岡驛ヘ七〇分、六八錢。二六軒九分。
▲銚子カラ大洗迄二二軒七、自動車五〇分、乗合四五錢(九回)賃切五人乗四圓一五人乗七圓。

旅行費用概算

三二 二等 一〇、四二

内譯 上野—佐原—鹿島—上野間汽船賃及香取、鹿島神宮往復自動車賃(備考參照)ト潮來—泊料二等四圓、三等三圓、書食料其他費用トシテ二等四圓、三等三圓ヲ計上ス

(註) 季節ニヨリ自動車及宿泊料ヲ含ンダ割引「クローボン式遊覽券」ガ發賣サレルカラ出發ノ際ビューロー案内所又ハ驛ニテ發賣ノ有無ヲ確メラル、ガヨイ。

21 銚子・香取・鹿島廻り

(東京から三日)

日程

地名	發着時刻	記事	備考
第 1 日			
兩國驛	發前 九、〇〇	銚子佐原行	
銚子	着前二、五三	下車遊覽	

▲兩國驛・銚子間二時間五二(一一七軒二)三等片道一圓七五錢
▲銚子・犬吠外川間六軒四、電車三〇分乃至四〇分毎ニ發車ス、片道二〇錢。自動車二五分、賃切一圓三〇錢。乗合二〇錢(二〇分毎)
▲岩礁多ク、大船ノ出入碇泊ニ不便デアアルガ、東海岸ノ要港トシテ榮エ、年額三〇萬圓ノ漁業産額ガアリ、又、一ヶ年二五萬石約五五〇萬圓ヲ出ス、醬油ノ産地トシテ有名デアアル。(ヤマサ又、ヒゲタヘ豫メ見學ノ日時、人員等ヲ申込メバ親切ニ案内シテ呉レル) ▲名物 烏賊、鱈、鱈ノ鹽辛、醬油、甘露びじな。
▲銚子ノ海岸ハ勝地多ク、其風光ヲ遊覽スルヲ銚子磯巡リト云フ、行程約一六軒。
▲飯沼觀音(銚子觀音)：驛ノ東一軒六。自動車乗合五錢、賃切五〇錢。銚子鐵道四錢。銚子第一ノ伽藍デ境内ハ二千四百坪、阪東二七番ノ札所ニナシテ居ル。本尊ハ一面觀音ハ聖武天皇ノ神龜元年ニ海中カラ出現サレタモノト云ヒ、地方ノ人々ノ參詣スル者ガ多イ。▲銚子川口：驛ノ東四軒一、自
▲動車一五分、乗合一圓。五月一日開業。本邦最初ノラヂオ局デ、アンテナノ高サ約七〇米、七キロワット、五百サイクル交流。通信距離五百哩、夜間二
▲千四百哩ニ及ブ。▲君ヶ濱、海鹿島(アシカジマ)：銚子鐵道海鹿島驛カラ約十分、君ヶ濱カラ五軒、徒歩三〇分。松籟ト白砂ノ渚ニ、漆ノ聲
▲ガ優シク響ク絶好ノ海水浴場デアアル。▲犬吠岬燈臺：銚子鐵道海鹿島驛カラ約十分、君ヶ濱カラ五軒、徒歩三〇分。松籟ト白砂ノ渚ニ、漆ノ聲
▲分、賃切一圓半、岬端五〇米ノ丘ニアリ、明治五年英人グリオン氏ニ依ツテ起サレ、同七年一月一五日カラ點火サレ、銚子岬カラ六軒、自動車三
▲サレタ光力ハ、暗夜ノ海上三七軒ニ及ビ、霧ノ夜ハ三〇秒毎ニ五秒宛ノ警笛ヲ響カセ、又右ヘ一軒半ノ所ニハ、奇礁犬岩ガ犬若ノ鼻先ニ浮ビ、附近ハ
▲出ル。▲銚子鐵道ノ終端外川驛カラ左ヘ行ケバ、巖ガヤ、弘法水ノアル長崎ノ鼻ガアリ、又右ヘ一軒半ノ所ニハ、奇礁犬岩ガ犬若ノ鼻先ニ浮ビ、附近ハ
▲絶好ノ海水浴場トナツテ居ル。愛宕丘ハ、犬若カラ徒歩廿分、銚子磯巡リノ好展臺デアアル。

銚子・香取・鹿島廻り

銚子・香取・鹿島廻り

【犬吠方面ノ旅館】 曉鷄館(犬吠驛カラ半軒、電銚子三六、室四四、一泊二圓半、三圓、四圓、團體二圓) 犬吠館(同六〇〇米、電同三七七、室二二三)、御風館(同八〇〇米、室九九) 以上一泊二圓、三圓。

日 3 第	日 2 第
上野 浦野	銚子 銚子
大船津	佐原 佐原
鹿島神宮	香取神宮
潮來	潮來
發着時刻	發着時刻
八、三〇 一〇、〇九 一〇、二一 一〇、二五	二〇、〇七 一〇、四三 同時 四、三〇 四、三〇 五、三〇
青森行列車 乗換 岩瀬行列車 乗換 下野自動車 乗換 筑波自動車	自動車 兩國行列車 下野自動車 乗換 乗合自動車 乗換 モーター船 泊
汽船 土浦行汽船 土浦行汽船 下野行汽船 上野行汽船 歸宅	汽船 參拜 土浦行汽船 土浦行汽船 下野行汽船 上野行汽船 歸宅
備考	備考

旅行費用概算

(註) 季節ニ依リ鐵道、汽船、自動車、宿泊料全部ヲ含ムル割引遊覽券ヲ發賣サレル筈デアアル。

二二 二等 二四、八二 内譯

二四、八二 内譯

兩國驛・銚子・鹿島・上野間鐵道及汽船費
香取・鹿島神宮往復自動車費(備考参照) 二等八圓九錢
三等五圓八錢、銚子・浦野間汽船、二月一日カラ三月末日マデ休航
食料其他費用トシテ二等六圓、三等四圓ヲ計上ス。

22 筑波山廻り

(東京から日歸り遊覽)

考

地名	發着時刻	記事	備考
上野	八、三〇	青森行列車	▲上野・土浦間約二時間(六六料)、三等一圓三錢。 (註) 春秋、遊覽期ニハ日曜日限リ筑波行直通臨時列車運轉ス。上野發前八時一〇分
浦野	一〇、〇九	乗換	▲土浦・筑波間筑波鐵道ニテ四三分(二〇料二)、三等五三錢。
筑波山	一〇、二一	岩瀬行列車	▲筑波驛カラ筑波町マテ新道約三料(上り道) 各列車ニ接續シテ乗合自動車ノ便ガアル、上り一三分、下り一〇分。料金片道三五錢 往復六五錢 徒歩ニテ舊道ニテ四自動車ハ通ラヌ。
筑波町	一〇、二五	下野自動車	▲筑波町上ノ筑波神社脇海拔三百米ノ所カラ筑波山上ノ鞍部七九〇米ノ所迄ケールカノ便アリ、所要九分、三〇分毎ニ運轉(多客時ニハ臨時増發ス)、賃金片道四五錢、往復七五錢。徒歩ナレバ約二時間ヲ要ス(二料二)。
筑波山	四、四五	土浦行汽船	▲筑波山頂驛附近ニ旗亭アリ、紫亭、みゆき亭、依雲亭等。晝食五〇錢位カラ。旅館……紅屋。
筑波山	五、三六	乗換	▲山頂驛カラ男體山へ三百米、女體山へ五五〇米。
筑波山	五、四三	上野行汽船	▲山頂驛カラ男體山へ三百米、女體山へ五五〇米。
筑波山	七、三三	歸宅	▲山頂驛カラ男體山へ三百米、女體山へ五五〇米。

旅行費用概算

(註) 春季及秋季ニハ汽車、自動車、ケーブル全部ノ費用ヲ含ムル割引遊覽券ヲ發賣サレル筈デアアル。

三二 二等 七、七八 内譯

七、七八 内譯

汽車、自動車、ケーブル往復(備考参照)及
食料トシテ、二等一圓半、三等一圓ヲ計上ス。

筑波山廻り

23 水戸と大洗遊覽

(東京から二日)

日程	地名	發着時刻	記事	備	老
----	----	------	----	---	---

上野 發前 八、三〇 青森行列車

水戸 着前 二、三三 下車、遊覽

水戸 發後 本橋自動車

大洗 着後 遊覽、宿泊

▲上野・水戸間三時間(一一七料五分)、三等一圓七五錢。

▲水戸市内乗合自動車一區三錢(全九區)、自動車一時間三圓。

▲水戸遊覽願路 驛一第一公園(常盤公園)―藤田東湖墓―商品陳列所―第二公園(城址)―驛

▲水戸―大洗一四料六。水濱電車及本橋自動車ノ便アリ。

▲水濱電車―前六時頃カラ後一時過迄約二〇分毎二運轉、水戸驛前カラ大洗迄四五分、賃三六錢。

▲本橋自動車―前七時カラ後七時マデ二五往復、片道乗合三六錢、貸切三人乘三圓。

水戸市 モト徳川氏三五萬石ノ親藩ノ地デ、北ニ那珂川ヲ控ヘ、南ハ仙波沼ニ臨ミ、舊水戸城址ヲ中央ニシテ上市、下市ノ二ツニ分レテ居ル。今人口五〇、六四八(昭和五、一〇調)ヲ有シ、名物ニハ梅ニ因ンダモノガ多イ。

▲水戸城址... 驛ノ北七百米、上市ノ東部ヲナス丘陵地ニ在リ、東部ハ本丸、中央ハ二ノ丸、西部ハ三ノ丸、現在水戸中學校、師範學校、圖書館及武德殿等ノ所在地ナル。本丸ハ俗ニ佐竹城ト呼バレ江戶時代以前ノ築造ナル。二ノ丸ハ江戶時代ニ築カレ、城ノ主要部ヲナシタ所デ、明治四年火災ニ罹リ現在ハ南方崖際ニ天守閣ヲ遺存シ、三ノ丸ハ弘道館ガアリ、舊大手門ノ建物ガ殘テ居ル。城ハモト常陸大掾ノ城地デ、其後江戶氏及佐竹氏ノ居城トナリ次イデ徳川氏ノ有ニ歸シ、慶長一四年徳川家康ノ第一子頼房ヲ居ラシメ徳川御三家ノ一トシテ子孫相繼ギ明治ニ至ツタ。弘道館公園：驛ノ北六六〇米、舊城三ノ丸ニアリ、又第二公園ト云フ。園内ニハ舊弘道館鹿島神社、八卦堂、弘道館記ノ碑、要石ノ碑、孔子廟等ガアリ、又園内ノ梅樹數十株ハ昔ナガラノ清香ヲ放ツテ居ル。▲弘道館ハ縣廳ノ背面ニ當リ、正面ハ舊水戸城ノ大手橋ニ面シテ居ル。水戸ノ海學デ、天保一二年徳川齊昭ガ其祖義公ノ遺志ヲ繼イデ、藩中ノ子弟ニ文學ヲ講ジ、武術ノ教練ヲ施シタ所デ、本館、文館、武館、醫學館ナドアツタガ、明治元年戊辰役ニ火災ニ罹リ番所、正門、本館及本館ニ屬スル至善堂、附所ヲ殘シテ他ヲ燒失シタ。庭内ニハ弘子廟、鹿島神社、弘道館記碑、聖賢、種族記碑ナドガアリ、ソノ間ニ多クノ梅樹ガアツテ風致ヲ添ヘテ居ル。弘道館及ソノ庭園ハ史蹟地トシテ指定サレテ居ル。

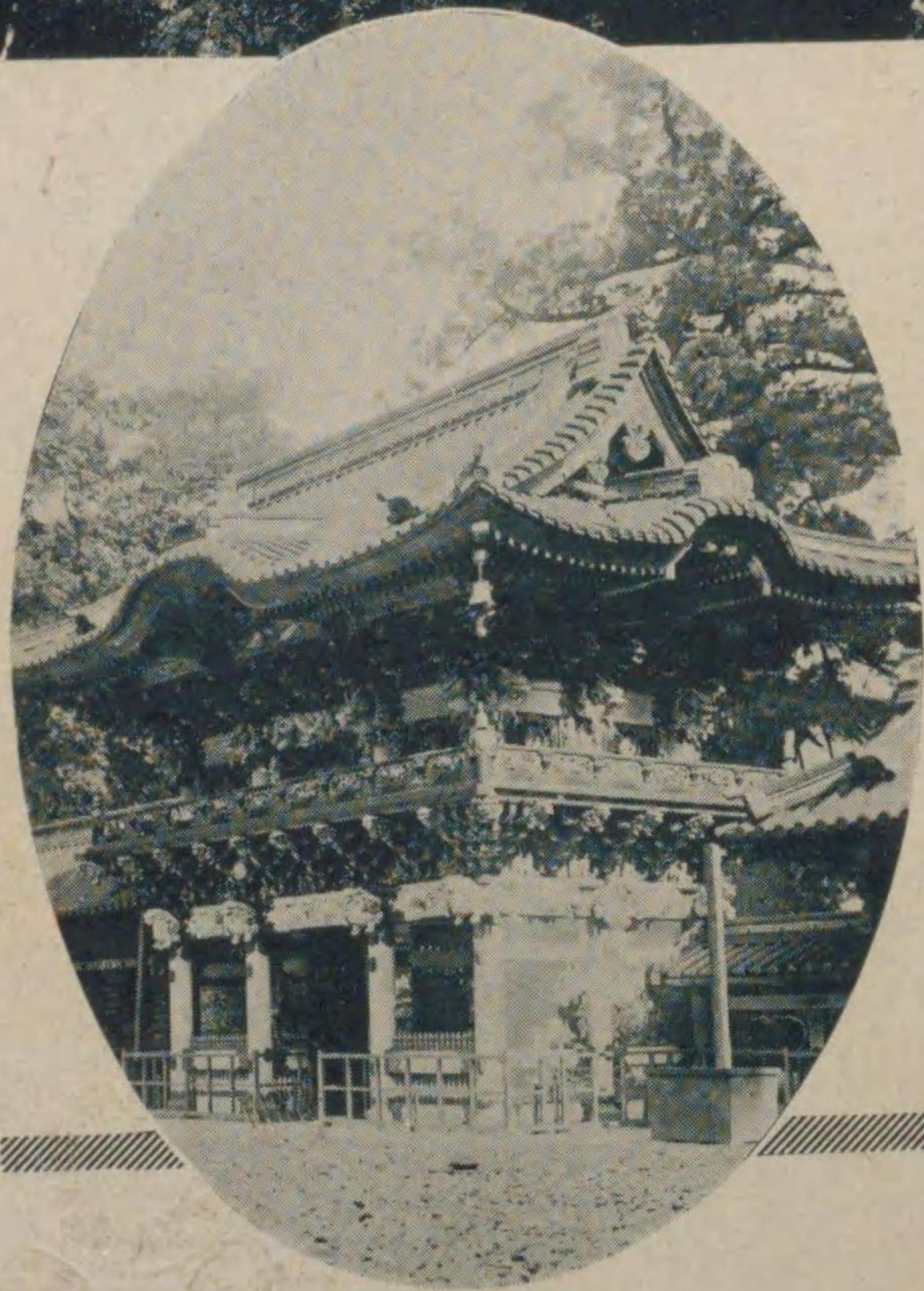
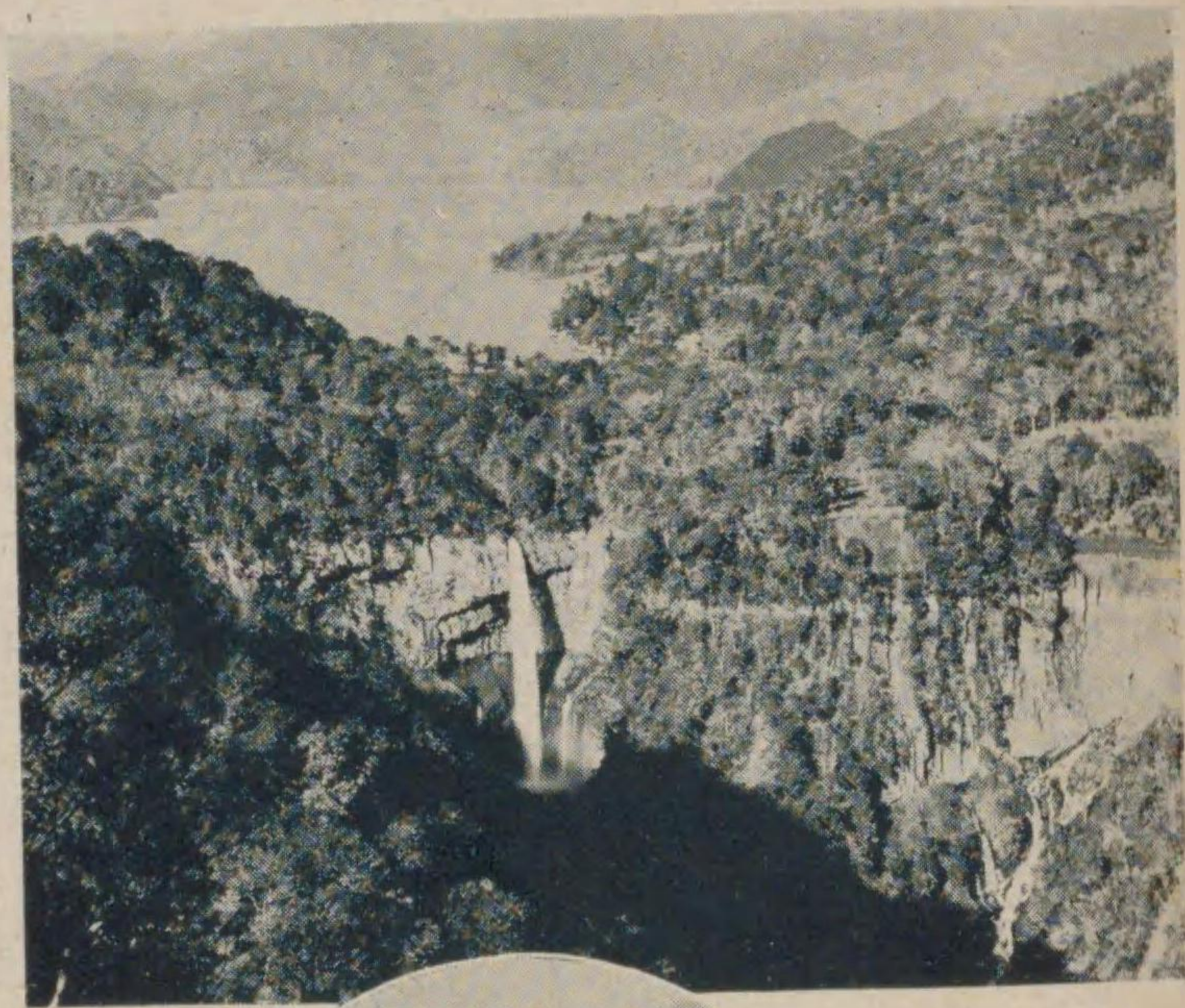
定サレテ居ル。▲常盤公園：驛ノ西北二軒七、電車公園口迄六號、夫カラ徒歩半軒。自動車一臺八〇錢、乗合九錢。第一公園トモ云ヒ、日本三公園ノ一ツニ數ヘテ居ル。主齊昭ガ創建シ、南ニ千波湖ヲ鑿シ、園内ニ松林廣ク花時大イニ賑ハク、其樓上ヲ樂樓ト云ヒ、近ク櫻川ト相對シテ仙波沼ヲ鑿シ、遙ニ加波ヤ筑波ノ翠巒ヲ仰ギ、大洗海岸ノ磯馴松ヲモ望ム事ガ出来ル。朝野十鏡：梅林ハ園ノ東北ニアリ、老梅樹數千株、幹枝參差トシテ蒼苔厚ク、松ノ翠巒ニ點綴シテ雅趣ヲ添ヘテ居ル。▲別格官幣社常盤神社ハ驛ノ西二軒七(自動車ノ便アリ)、常盤公園ノ東ニ隣リ、東ハ千波湖ニ面シタ勝景ノ地ヲ占メテ三歳ニ社ヲ人治六年創建ノ神明造リ、國史ヲ修メテ皇道ヲ闡明セシムルニ欲シ、光岡ハ第二ノ水戸藩主デ頼房ノ第三子デ、寛永五年水戸ニ生レ、元祿一三年七近クニ影書館書庫ガアル、和漢ノ書凡ソ七萬冊ヲ藏シテ居リ、齊昭ハ第九代水戸藩主デ寛政一二年水戸ニ生レ、萬延元年六一歳デ歿シタ、其子齊昭ハ齊昭ノ孫ニシテ、齊昭ノ常盤村常盤原墓地ニアル、計リ、弘道館ヲ設ケテ文武道ヲ講ジ、齊昭ハ多事ノ際國軍ニ盡ス處大デアツタ。▲藤田東湖墓：水濱電車谷中停留所ノ東ニ半軒、常盤村常盤原墓地ニアル、東湖ハ水戸藩士デ、藩主齊昭ニ仕ヘテ郡奉行、側用人ニ歴任シ、尊王攘夷論ヲ天下ニ唱導シタ人デ、安政二年ノ大地震ニ江戶ノ海邸ガ死シタ、歳五〇。維新後正四位ヲ贈ラル。▲其他：驛ノ東南約三軒ノ酒門村酒門善重寺ノ太子堂ニハ鎌倉時代ノ優秀ナ作ニナル國寶聖德太子像ガアリ、驛ノ南三軒、吉田村東組臺地上ニ史蹟「吉田古墳」ガアル。▲芝田屋支店 驛前。電同四四。室二四。二圓(四圓)。鈴木屋 驛前。電同一一四。室一四。一泊二圓、三圓、四圓、五圓。▲太平館 驛前、電同八四五。室四二。一泊二圓、三圓、四圓、五圓、團體一圓半)等。

大洗 「水戸を離れて東へ三里、浪の花咲く大洗」ノ磯節ノ本場トシテ名高ク、磯濱、湊、平磯等附近ノ磯濱廻リヤ海水浴場トシテ絶好ノ行樂地デアル。地ハ前ニ洋々タル鹿島灘ヲ控ヘ、海濱一帶青松白砂ニ相對シテ美シク、後ニハ丘陵ヲ負フテ「松が見えますほのぼのと」ノ實景ヲ見セテ居ル。磯前神社ノ社頭カラ眺メタ日ノ出ノ光景ハ此地ノ名物デ天下ノ美觀デアル。

▲大洗磯前神社ハ大洗海濱丘上ノ勝景ノ地ニアリ、文徳天皇ノ齊衡年間ニ創建サレタ延喜式所載ノ名神大禮デ大己貴命及少彦名命ヲ祀ル國幣中社デアル例祭九月九日。

▲大洗ノ旅館：大洗ホテル(電同三三〇、室三八、一泊二圓半、三圓、四圓、五圓、團體二圓以上)、榎本樓(電同三五五、室一六、一泊二圓、三圓、四圓、團體一圓八〇錢)、金波樓(電同二二、室二六、一泊二圓半、三、四、五、團體二圓以上)、魚來庵(電同二、室二二、一泊二圓半、三圓、三圓半、五圓、團體二圓以上)、小林樓(電同五、室一六、一泊二圓乃至四圓、團體二圓以上)、いけす(電同六二、室一九、一泊二圓半、三圓、四圓、五圓、團體二圓以上)等。

天然の美・人工の妙



(上) 中禪寺湖と華嚴窟

(下) 東照宮陽明門

水戸と大洗遊覽

第 2 日

旅行費用概算

大洗	湊	平磯	磯	阿字ヶ浦	阿字ヶ浦	勝田	水戸	上野
發	發			着	發後	着後	發後	着後
				五、五〇	四、三〇	四、二五	四、三六	七、三三
自動車	自動車	又ハ	湊鐵道	湊鐵道勝田行	乗	上野	歸	宅
					野	行		
					列	車		
					車	換		

三二
等

一九、〇六
九八

内譯 (上野、水戸、大洗、湊、阿字ヶ浦、勝田、上野間ノ汽車電
車賃(備考欄参照)、旅館一泊料二等五圓、三等三圓半及ビ
食料其他費用トシテ二等六圓、三等四圓ヲ計上ス)

【湊町】湊ハモト那珂湊ト稱シ、南ハ那珂川ノ河口ニ臨ミ、江戸時代ニハ北海ノ産物ヲ
集散シタ處デ今ニ巨商ガ多ク、水産物ノ取引ガ盛デアル。人口一四、三二七(昭和五、一
〇調)市街ノ西北ニ湊公園ガアル。モト日和山ト云ツタ所デ、水戸黃門ガ此處ニ賓客
ヲ建テ、カラ御殿山ト改稱サレタ(關ハ元治元年ノ亂ノ兵火ノ爲ニ災ハレタ)園内ニハ櫻
ヤ柳ガ多イ。▲湊町ノ旅館……惠比壽、水港館、高安樓、木村樓等、一泊二圓乃至五
圓、晝七〇錢一圓半。

▲大洗カラ平磯迄自動車一〇錢、平磯迄二五錢、
▲湊カラ平磯迄湊鐵道五分、七錢、阿字ヶ浦迄同一二分、一六錢。
▲平磯町ノ北、磯崎ノ海濱勝景ノ地ニ國幣神社酒列磯前神社ガアル。祭神及創建年代
ハ前記大洗ト同ジ。例祭十月十五日。毎年舊正月七日ニ執行サレル。競馬祭ハ俗ニヤン
さまチト稱シ、徳川光圀ガ武藝奨勵ノ爲始メタモノト云ヒ、村松カラ磯崎ニ至ル海濱ニ
テ催サレダイニ賑ハウ。

▲平磯ノ旅館……平野屋、磯濱館、万年屋、仲元屋、一泊二圓一三圓。晝七〇錢一圓
半。

【阿字ヶ浦】湊鐵道ノ終端阿字ヶ浦附近一帶ノ海濱白砂青松ノ長汀ハ、古來「常陸ノ磯
廻リ」トシテ知ラレ、洋々タル太平洋ヲ控ヘテ常陸舞子ノ絶勝磯崎岬ノ奇觀、天女ヶ濱
ノ白砂青松、鹽燒場、比觀亭ノ舊跡、淨明寺ノ菩提寺、たては等幾多ノ名勝史蹟ヤ、優
美ノ景趣ニ接スルコトガ出來ル。

▲阿字ヶ浦ノ旅館……千尋屋、東陽館、濱田館、磯崎館、清風樓等、一泊二圓一三圓、
晝七〇錢一圓。

▲阿字ヶ浦―勝田間湊鐵道デ三一分(一四料三分)三等三八錢。
▲勝田―上野間三時間八分(一二三料三)三等一圓八三錢。

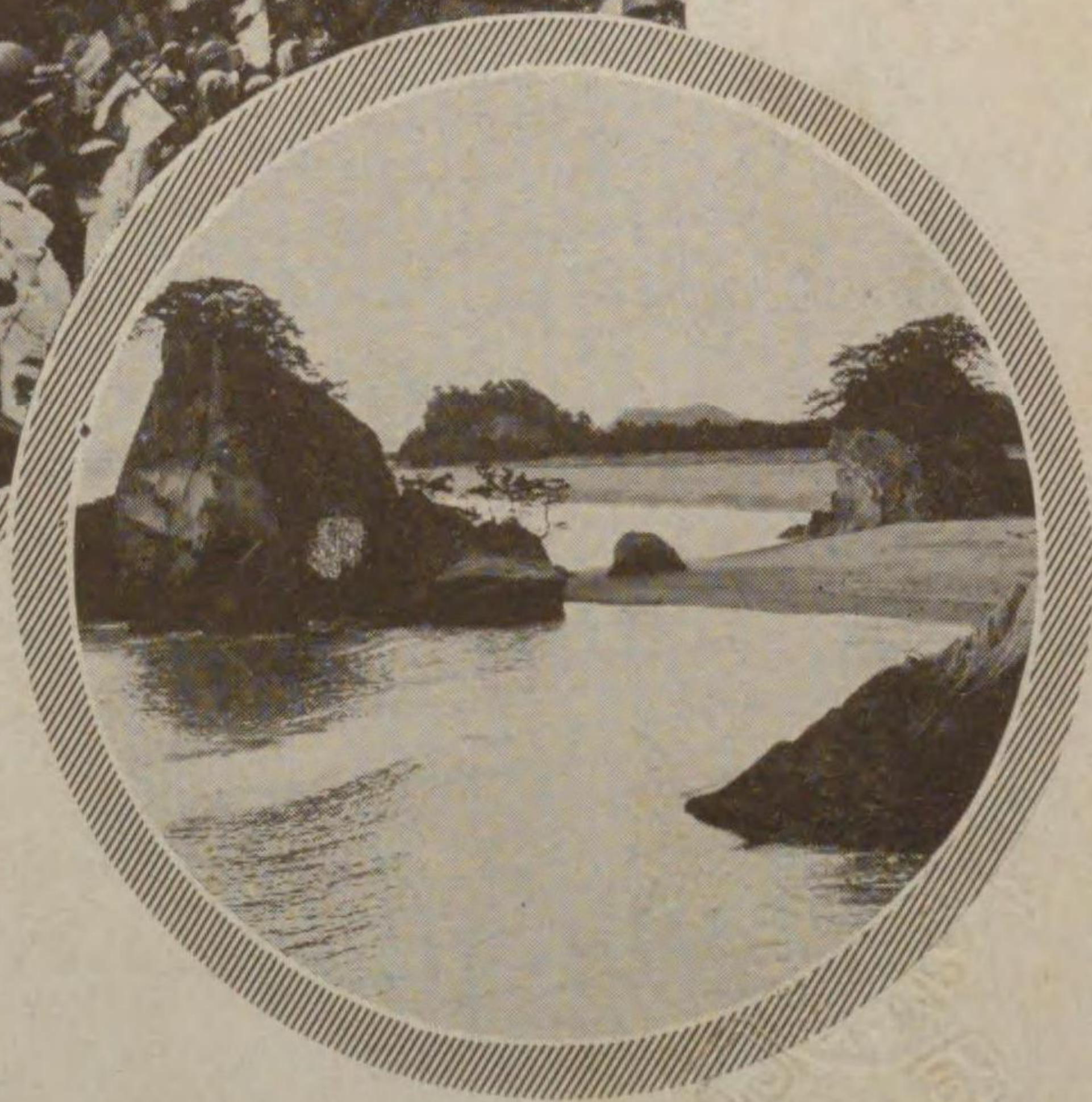
東北の風物



(上) 十和田湖
(下) 松島



弘前地方の奇習
ねぶた祭



24 日光見物

(東京から日帰り)

地名 發着時刻 記事 備考

(イ) 上野	發前 八、三〇	日光行準急行列車 三月十一月運轉	(イ) 上野・日光間二時間半(一四六軒四)、三等二圓一三錢。 「註」上記準急行列車ハ急行料不要。季節ニヨリ上野發前八時半、日光着二時一二分ノ不定期臨時準急行列車運轉ス。
日光	着前 一〇、五三	下車、參拜	(ロ) 淺草雷門カラ日光迄東武鐵道會社ノ特別急行電車デ二時間二四分(一三五軒五)。普通片道二圓一三錢(三等ノミ)、季節ニヨリ往復割引乗車券發賣ス。
雷門	發前 七、五五	東武鐵道日光行特別急行電車	(註)特別急行ハ三月頃カラ一月頃マデ運轉。急行ハ前五時カラ後八時マデ一時間毎ニ毎時〇分ニ發車ス、所要二時間四三分、其他季節ニヨリ不定期特急回運轉ス。
東武日光	着前 一〇、〇九	下車、參拜	

▲省線日光驛カラ神橋マデ一軒半、自動車一〇分、乗合一〇錢(馬返行)、貸切一圓(日光町内一圓均一)、電車二二分、賃一〇錢、約三〇分毎ニ運轉。
▲東武日光驛カラ神橋マデ一軒一。自動車乗合一〇錢(電車着毎)、貸切一圓。▲神橋カラ東照宮迄坂路約半軒(徒歩)。

日光 天然美ト人工美ト同時ニ稱讚シ得ル勝區トシテ、其名海外ニ迄知ラレテ居ル。日光ノ一區ハ、男體山ヲ中心トシテ、所謂日光山彙ノ峯巒ガ蒼々ト連リ、其間ニ溪流アリ、飛瀑アリ、湖沼アリ、叢原アリ、温泉アリ之ニ加フルニ人工美ノ精華ヲ誇ル東照宮ノ殿閣ガ、老杉ノ間ニ隱見シ、自然ノ秀麗ト人工ノ精華ト相俟ツテ雙美ノ盛名ヲ恣ニシ、古來「日光ヲ見ヌ内ハ結構ト云フ可ラス」ノ俚諺ハヨク此間ノ事實ヲ物語ツテ居ルモノデアアル。

ソモノ、日光ノ地域タルヤ、山アレバ湖アリ、湖アレバ瀧アリ、山水ノ交錯極リナキモノ、コレ何レモ火山活動ノ賜デアアル。第三紀末ニ前白根山カラ温泉ヶ岳ニ亘ル斜長流紋岩ノ山々ヲ噴出シ、次デ第四紀ノ頃第二次第三次ノ活動ニヨリ月山(一、二八七米)女峯(二、四六四米)赤蘆山(二、〇一〇米)小嶺

日光見物

名子(一、三三三米)大真名子(一、三三五米)男體山(一、四八四米)太郎山(一、三六八米)山王帽子(一、〇七三米)三ツ岳(一、九四五米)白根山(一、五七八米)等ノ一大火山群ヲ構成シタ。此ノ大火山群ハ東ハ高原火山ヲ介シテ那須火山ニ、西ハ赤城ノ雄峯ヲ隔テ、榛名火山ニ至ルマデ、關東平野ノ一境ヲ貫ク一大火山帶ノ中央ニ位シ、其規模ニ於テモ、峯巒ノ高サニ於テモ、夫等ノうちノ最モ雄タルモノデアル。但シ之等ノ諸火山ハ何レモ既ニ活動ヲ終リ、有史以來活動ノ歴史アルモノハ白根火山ノ中央火口丘奥白根タケデアル。

【日光町】日光ヲシテ今日最モ人口ニ噴火セシメタモノハ、山水湖澤ノ秀麗ヨリハ寧ろ赤城火山ノ南麓、黒髮山ニ鎮座マシマス東照宮ノ壯麗無類ノ建築美デアツテ、古來日光ヲ見ズシテ結構ヲ説ク勿レト云ハシメタ程デアル。日光ノ町ハ實ニ此ノ東照宮ノ鳥居前町トシテ發達シタモノデ、日光驛ノ前カラ日光街道ヲ挾ンデ神橋前迄旅館商舖等軒ヲ連ネ長ク東西ニ連ツテ居ル。之即チ日光東町、一名出町デ、之ニ對シテ東照宮ノ西南ニ西町、一名入町ガ、大谷川ノ北ノ段丘地帯ニ御用邸ヲ廻ツテ住宅區域ガ發達シテ居ル。人口一九、五四五(昭和五、一〇調)海抜約五三〇米。

▲日光山ハ元來「ふたらひ」デ、佛徒ガコレヲ補陀洛(フダラ)ニ附會シ、紀元一四二七年(稱徳天皇、神護景雲元年)勝道上人ガ始メテ此山ヲ開イテ此處ニ四本龍寺ノ伽藍ヲ造ツタ一千二百年來ノ靈地デアル。ノチ「ふたら山」即チ二荒山ハ日光山ト改稱サレ、寺ハ滿願寺ト變リ、更ニ輪王寺ト改メラレタ。マタ勝道上人ガ一山ノ鎮守トシテ勸誘シタト云フニ荒山神社ガアリ、日光山トハ廣ク此ノ輪王寺ト二荒山神社トノ境内ニ當テ居ル。其ノ境内ニ徳川二代將軍ガ家康ノ靈廟ヲ造營シ、三代將軍ガ改築ヲ施シタノガ今日現存スル東照宮デアル。依テ日光廟ハ在來ノ佛刹及神社ノ境内ニ割込シテ造マレタモノデ始メカラ獨立シテ造營サレタモノデハナク、ソノ後大猷院ノ廟ガ嵌込マレ、大小數百ニ上ル建物ガ複雑シタ關係ヲ持ツテ居ル。

【日光街道ノ杉並木】東照宮附近カラ今市ニ至ル日光街道ノ二里五丁五十七間(樹數二九九五本)、鹿沼カラ堂澤前ニ至ル側幣使街道ノ三里十九丁十二間(樹數四三三七本)、今市御成街道カラ大澤前迄ノ二里廿五丁廿七間(樹數九三九一本)、今市カラ大桑迄ノ會津街道卅五丁四十四間(樹數一四八一本)、總延長九里十四丁三十間、樹數一萬八千四百四本ヲ算スル並木道デ、今カラ二百七十年前寛永ノ初年頃ニ松平右衛門大夫正綱ガ、東照宮造營ノ際二十餘年ノ苦辛ヲ以テ植樹密進シタモノデ、天ヲ履スル老杉ノ美シサハ全ク世界無比ト云ハレテ居ル。

【神橋】日光橋ノ十間程上流ノ大谷川ニ架セラレタ長サ十四間、幅四間ノ朱塗ノ靈橋デ、平素ハ柵ヲ以テ鎖サレ、大祭ノ時ニ勅使ノ渡御アルノミデアル。古ハ山菅ノ蛇橋トモ云ツタ。翠林ノ下ニ朱塗金珠ガ碧水ニ映ズル様ハ繪其儘ノ美サデ、日光ノ美ハ此處カラ始ツテ居ル。此處カラ長坂ヲ上ツテ大手通ノ正面ハ東照宮、右ハ輪王寺デアル。

▲山菅ノ蛇橋トハ今カラ千六百六十餘年前、稱徳天皇ノ天平神護二年三月(紀元一四二六年)、輪王寺ノ開山勝道上人ガ始メテ登山スル時蛇ガ橋トナツテ上ルヲ渡シタト云フ傳説カラ此ノ名ガアツタ。神橋ノホトリニ蛇王現ノ祠ガアリ「橋渡シ」ノ神トシテ奉告ガ多イ。【輪王寺】神護景雲元年(紀元一四二七年)勝道上人ノ開山。始メハ四本龍寺ト稱シ此山、東照山ト共ニ、天臺ノ三本山ト稱サレ、文保二年後醍醐天皇ノ皇子無品惠親王ガ座主ニナラセラレテカラ官家ノ御門跡トナリ、後、後水尾院ノ院宣ヲ拜シテ輪王寺ト號スルニ至ツタ。今三佛堂、相輪堂、護法堂、常行堂、法華堂及慈眼堂ナドガアリ徳川三代將軍ノ靈ヲ祀ル大猷院モ此ノ寺ニ屬シテ居ル。此ノ寺ニハ多クノ寶物ガアリ、ソノ一部ハ中禪寺ノ寶物館ニ陳列シテ居ル。

東照宮

贈正一位大政大臣徳川家康ノ靈ヲ祀ル別格官幣社デ、栃木縣上都賀郡日光町、黒髮山ニ鎮座ス。日光山ハ家康ノ崇敬厚カツタ下野ノ名僧勝道上人ノ開山スル處デ、元和二年四月一七日、家康駿府ニ薨ズルヤ、其夜久能山ニ殯シ、翌三年二月東照大權現ノ神號ヲ授ケラレ、同年三月更ニ正一位ヲ贈ラレ、此ノ月將軍秀忠遺命ニヨリ久能山カラ靈柩ヲ移シテ社殿ヲ造營セラレタ。現存セル社殿ハ三代將軍家光ガ宗廟ヲ改築シテ威ヲ天下ニ示サント欲シ、當時ノ名工巨匠ヲ一山ニ集メ其時代ニシテ二千萬圓ノ巨費ヲ投ツテ、寛永一年一月改築ヲ始メ寛永一三年四月(紀元二、二九六年、昭和七年カラ二九六年前)美事ニ竣成シタノガ此ノ廟デアル。(改築造營ニ關シテハ、古記録ノ後世ノ偽作ノ爲ニ臆説ガ傳ヘラレ、其造營期間ニ關シテハ、ツヒ先年迄寛永元年カラ同十三年迄十三年ノ長日月ヲ費シタ様ニ信セラレテ居ルガ、最近平泉澄博士ガ文獻ヲ發見シ、其考證ノ結果僅一年有半ノ短期日ニ落成シタ事ガ明ニナツタ)境内ニ萬七千五百十坪、桃山時代ノ後ヲ受ケタ徳川時代ノ建築ノ完全ナ、所謂權現造ノ模範ノ建築物デアル。社殿ハ全部朱塗ノ極彩色デ、金銀珠玉ヲ鏤メ、精巧ナ彫刻ヲ施シタモノデ、一度其前ニ立テバ兵馬ノ權ヲ握ルコト三百年、三百諸侯ヲ脚下ニ跪カセタ徳川氏ノ權勢ト榮華トヲ偲ブ事ガ出來ル。社殿全部ハ特別保護建造物ニ指定サレテ居ル。

造營ニ關シテハ主トシテ松平右門大夫正綱、秋元但馬守泰朝ノ兩人ガ奉行トシテ其經營ニ當リ、從事シタ工匠ハ大棟梁甲良豊後宗廣デ、其子宗次、ソノ孫宗賀モ當時幼少デアツタガ參與シテ居ル。甲良宗廣ハ謂所建仁寺流ノ巨匠デ、此建築ノ考案設計モ皆宗廣ノ頭腦カラ出タモノデアル。日光建築ハ主トシテ次ノ諸點ニ考慮ガ拂ハレテ居ル。先ツ第一ニ狹少ナ神域ノ中ニ、社殿ノ配置ヲ字餘曲折セシメテ建築物相互ノ調和ヲモトメ、全體ノ二モ部分的ニモ奥ユカシイ感ジガ與ヘラレテ居ル。第二ニハ老樹ガ自然ノ儘ニ保存セラレ、自然ノ秀麗ト人工ノ精華ト良ク調和セラレテ居ル。第三ニハ社殿ノ構造ヲ耐久、耐火、耐寒、耐濕タラシメルト共ニ、裝飾ニ全力ヲ傾ケ、當時ノアラユル工藝美術ノ粹ガ集メラレテ居ル。

次ニ社殿配置、建築ノ特徴ハ佛寺の建築即チ鐘樓、鼓樓、本地堂、五重塔ノ如キ佛寺ニ屬スル建築物ト、鳥居、神庫、水盤舎、拜殿、本殿等神社の建築物トガ巧ミニ織込マレテ居ル事デ、之等ノ社殿ハ五重ノ塔ヲ含メテ總面積僅カニ八百二十五坪、東京淺草觀音ノ二倍、東京ステーションノ三分ノ一、一部ノ建物トシテノ奈良ノ大佛殿ヨリモ小サク、其規模ノ意外ニモ小ナル事デアル。有名ナ陽明門ノ如キハ僅カ八坪餘ノ小建築デハアルガ、神宮司廳技師大江工學士ノ計算ニヨレバ、今日ノ金ニ換算シテ概算一坪約十五萬圓、他ノ建物モ一坪二萬五千圓、總工費二千萬圓ノ巨額ニノボツテ居ルト云フ事デ、規模ハ小サクトモ之ニヨツテ如何ニ立派デアルカト云フ事ガウカガハレル。

▲石鳥居…後水尾帝ノ御宸筆「東照大權現」ノ額ヲ掲ゲテアル。元和四年黒田長政ノ寄進セルモノト云フ。高サ約八米、柱徑一米餘ノ花崗石デ造ラレタ明神式ノ鳥居デ、東照本宮第一ノ入口ヲナシ、此鳥居ヲ起點トシテ諸堂ヲ連ネ、廟堂ニ至ル參道ガ延長一料以上ニ及ビ飛石敷、切石敷ナドヲ施シテ居ル此大鳥居ヲクバレバ左ニ紅柄塗ノ五重塔ガ老杉ノ間巍然トシテ映帶シテ居ル。 ▲五重塔…方三間、九輪頂上迄約三二米(十丈五尺)方位ニ合セテ十二支ノ彫刻ガアル。慶安三年十二月(紀元二三二〇)酒井忠勝ノ献造セル塔ハ、文化十四年(紀元二四七七)雷火ノ爲メ鳥有ニ歸シ、同年酒井家ニテ再建セルモノデアル。石段ヲ上レバ、舊仁王門ノ表門デアル。 ▲表門…三間二面總朱塗極彩色ノ八脚門デ、内裏ニ金色ノ狛狗(コマイヌ)ガ左右ニ踞リ、門ノ左右ニハ簾掛ガ廻サレテアリ、右ニハ三ツノ神庫ガアル。 ▲三神庫…上、中、下ノ順ニ並ビ、皆校倉造リデ總朱塗、花鳥草木ノ極彩色ガ施サレ、上神倉ノ破風造リノ下ニハ、二ツノ象ノ彫刻ガアリ、狩野探幽ノ下繪デ恰モ生ケルガ如クデアル。 ▲殿…境内只一ツノ素木造リデ、有名ナ三猿一見ザル、聞カザル、言ハザルノ彫刻ガアル。 ▲殿ノ西北ニ御水屋ガアリ、其ノ左ニ一切經ノ輪藏、又、伊達政宗奉納南蠻鐵ノ燈籠ナドガアル。石段ヲ上ツタ左右ニ、石柵ノ親柱ト稱ト一ツ石デ彫ツタ飛越ノ獅子ガアリ、鐘樓、鼓樓ガ兩側ニ建ツテ居ル。老杉ノ下ニ琉球燈籠、和蘭燈籠ガアリ、鐘樓ノ前ニハ朝鮮カラ献納ノ洪鐘ト、廻轉燈ガアル。鼓樓ノ西ニハ、 ▲藥師堂…ガアル。本地堂トモ云ヒ、家康ノ本地佛藥師如來ヲ安置シタ堂デ、七間五面、入母屋造總朱塗大堂宇デ内陣ノ天井ニハ有名ナ鳴龍ガアル、長サ約十五米。狩野安信筆ノ墨繪デ、其ノ頭下ニ立ツテ手ヲ拍テバ、不思議ニモ銀鈴ノ如キ音響ガ聞ユルノデ此ノ名ガアル。

▲陽明門…其ノ結構、人ヲシテ思ハズ臨若タラシメ、日暮ルル迄見ルモ飽ク事ヲ知ラヌ處カラ又ノ名ヲ「日暮ノ門」トモ云フ。陽明門トハ禁裏十二御門ノ一ナル門名ヲ賜ハツタモノデアル。其ノ結構ハ桁行三間五尺四寸、梁間二尺四寸、屋根入母屋造、四方軒唐破風付、二重扇椽、銅瓦本葺ノ樓門デ、額ハ後水尾天皇ノ御宸筆デアル。柱ハ皆檜九柱ノ白塗デ、雲紋ノ地繪ヲ施シ、日貫龍、千人唐子ノ智恵遊、飛出ノ獅子、木目ノ虎ナドノ彫刻ヲ滿サレ、中通リ天井ニハ八方窓、四方窓ノ龍、兩脇四隅ノ天井ニハ天人舞樂ノ繪ガアル。皆狩野探幽ノ筆ニナル。其他桐ニ鳳凰ノ彫刻、蟠龍、花鳥、聖賢君子ノ像ナドアリテ仔細ニ觀覽セバ日暮ルモ知ラヌノデアル。門ニ續イテは舞臺阿闍伽ガアリ、正面ニハ唐木造リノ壯麗ナ ▲唐門…ガアル。極彩色ノ透シ彫ニ滿サレテ居ル百二十間三尺ノ舞臺ガ門ノ左右カラ水盤及拜殿ヲ隔ミ、鼓金デ懸シタ五輪ノ階段ハ高サニ準テ造ラレテ居ル。

▲拜殿…結構更ニ壯麗デアル。入母屋造リデ、銅瓦本葺、唐破風造リニシテ向拜アリ、初日ハ牡丹唐草ノ透彫、椽間勾欄ハ極彩色、金物ハ全部鍍金又ハ渡金ノ七寶デアル。内部ハ三室ニ分レ、中央ハ五間四面六三疊、向ツテ左ニ法親王御著座ノ間、右ニ將軍著座ノ間ガアル。何レモ二間四面一八疊敷中ノ間ノ格天井ハ格間毎ニ岩紺青地ニ極彩色ノ百種ノ龍ヲ畫キ、柱ハ總金花、極彩色ノ金襴卷、長押ノ彫刻、承塵ノ上ニ掲ゲタ土佐光信ノ三十六歌仙ノ扁額、襖戸ノ金泥地ニ畫カレタ竹ノ麒麟、牡丹ニ狂獅子、探幽守信ノ筆等善美ヲ盡シテアル。左右著座ノ間ハ、天井ハ二重折上造リ、大羽目ニハ紫壇、黒壇ノ貫材ヲ用ヒ、彫刻、蒔繪ヲ施シテアル。中央ノ間正面ノ三間ニハ御簾ヲ垂レ金幣三個ヲタテ、御簾ノ上ニハ神鏡ヲ掲ゲテアル。拜殿ト石ノ間ニアル四本ノ柱ハ堆黒ノ卷柱デ有名ナモノデアル。石ノ間ハ拜殿ノ後ニ續キ一段低クナリ、本殿ガ連接シテ居ル。 ▲本殿…ハ石ノ間ヲ隔テ拜殿ニ隣リ、幣殿、内陣、内陣ニ分レ、其ノ結構ノ美ハ云フ迄モナイガ、一般ノ拜觀ヲ許サヌ。 ▲東廊下ノ落門坂下門ニハ、左甚五郎作ノ眠猫ノ彫刻ガアリ、ソコカラ約二五〇米、二百餘階ノ石段ヲ上ツテ奥社ニ詣テアル。拜殿ノ後ニ總唐銅ノ高サ七尺ノ鑄板ノ門ガアリ、石ノ玉垣ヲ廻ラシタ中ニ、英傑家康公ノ墳墓、多寶塔ガアル。九銅ノ直徑四尺、高サ一丈一尺餘リ、老杉天ニ摩シ、神威嚴然タルモノガアル。

▲例祭ハ六月一日デ、翌二日ニハ神輿渡御ノ行列ガアリ、徳川時代其儘ノ行列ハ他ニ見ル事ノ出來ヌ壯觀ナモノデアル。八月一七日ニ神輿ノ御渡ガアル

▲東照宮拜觀時刻…自四月至九月前七時カラ午後四時迄、自十月至三月前八時カラ午後四時迄。

▲東照宮拜觀献撰料…一人一圓(團體五〇人以上一人二圓八〇錢、學生團體五〇錢、小學生團體三〇錢) 案内料

六〇錢。(團體ノ場合八九〇錢)

▲二荒山神社 東照宮ノ西約三百米恒列山西麓古杉ノ茂ツタ所ニアリ、大己貴命、田心姫命、味耜高彥根命ヲ祀ル國幣中社デ、大同三年(紀元一四六八)勝道上人ノ山中開創ニ當ツテ、二荒山神社ヲ鎮祭セラレタノガ始メデ、下總ノ一宮トシテソノ壯麗一山ニ鳴ツタモノデアル。朱閣翠林ノ調和ガ美シク、今ノ社殿ハ元和五年(紀元一七九九)ニ徳川秀忠ガ造營シタモノデ、舞殿ト本殿ハ特別保護建築物トナツテ居ル。神木三本杉、國寶化燈籠ガアル。奥社ハ山頂ニ中宮祠ハ中禪寺湖畔ニ鎮座シテ居ル。例祭ハ四月一七日。 ▲本宮神社 神橋々畔並木御所カラ上ツタ丘上ニアリ。神護景雲年間勝道上人ガ二荒山神社ト四本龍寺トヲ創建シタ所ト傳ヘ、今ノ社殿ハ江戸時代ノ再建デ二荒山神社ノ別宮デアル。 ▲四本龍寺 本宮ノ後ニアリ、三間三間四注造ノ堂ト丹塗ノ三重塔ガアル。 ▲常行堂 二荒山神社ノ南方ニアル。慈覺大師ノ創建デ、今ノ堂宇ハ江戸時代ノ再建デ堂内ニ國寶ノ鐵製多寶塔ガアル。 ▲慈眼堂 常行堂ト法華堂トノ間カラ坂ヲ登ツタ丘上ニアリ。天海僧正ノ靈廟デアリ。 ▲徳川三代將軍家光公ノ御靈屋デアル。慶安四年ニエテ起シ、三年ヲ經テ承應二年(二二一三年)ニ竣工シタ四門、鐘樓、鼓樓、夜叉門、拜殿本殿等結構善美ヲ盡シ、東照宮ト共ニ其殿堂ノ美ヲ以テ聞エ、何レモ特別保護建築物ニ指定サレテ居ル。 ▲日光廟ノ拜觀ガスタンダラ寶物館ヲ見ルノガ普通デアル。同館ハ三百年祭記念ニ建築シタルモノデ、東照宮、二荒山神社及輪王寺ノ寶物ガ陳列サレテアル。刀劍六口、東照宮緣起五卷ハ國寶ニ指定サレテ居ル。

▲田母澤御用邸(本町通り) ▲含滿ヶ淵、御用邸脇ノ道ヲ左ニ入り、大谷川ヲ渡ツテ數丁ノ處。大谷川ノ溪流美ヲ爲ス所デ、其ノ附近ニ石彌陀座像ガ數
▲小倉山 霧降瀧道ノ途中カラ左ニ入ツタ所、小遊園地ヲ爲シ眺望ガヨイ。 ▲霧降瀧 日光橋ノ畔カラ右ニ折レテ四折餘、自動車貨
▲瀧ハ二段ニナリ、上段ハ中三丈、下段ハ其倍位アリ、高サ二百餘尺、水勢石ニ碎ケテ沫トナリ飛テ霧ノ如ク、其壯觀ハ華嚴、裏
▲瀧ハ二段ニナリ、上段ハ中三丈、下段ハ其倍位アリ、高サ二百餘尺、水勢石ニ碎ケテ沫トナリ飛テ霧ノ如ク、其壯觀ハ華嚴、裏
▲瀧ハ二段ニナリ、上段ハ中三丈、下段ハ其倍位アリ、高サ二百餘尺、水勢石ニ碎ケテ沫トナリ飛テ霧ノ如ク、其壯觀ハ華嚴、裏
▲瀧ハ二段ニナリ、上段ハ中三丈、下段ハ其倍位アリ、高サ二百餘尺、水勢石ニ碎ケテ沫トナリ飛テ霧ノ如ク、其壯觀ハ華嚴、裏
▲瀧ハ二段ニナリ、上段ハ中三丈、下段ハ其倍位アリ、高サ二百餘尺、水勢石ニ碎ケテ沫トナリ飛テ霧ノ如ク、其壯觀ハ華嚴、裏
▲瀧ハ二段ニナリ、上段ハ中三丈、下段ハ其倍位アリ、高サ二百餘尺、水勢石ニ碎ケテ沫トナリ飛テ霧ノ如ク、其壯觀ハ華嚴、裏
▲瀧ハ二段ニナリ、上段ハ中三丈、下段ハ其倍位アリ、高サ二百餘尺、水勢石ニ碎ケテ沫トナリ飛テ霧ノ如ク、其壯觀ハ華嚴、裏
▲瀧ハ二段ニナリ、上段ハ中三丈、下段ハ其倍位アリ、高サ二百餘尺、水勢石ニ碎ケテ沫トナリ飛テ霧ノ如ク、其壯觀ハ華嚴、裏
▲瀧ハ二段ニナリ、上段ハ中三丈、下段ハ其倍位アリ、高サ二百餘尺、水勢石ニ碎ケテ沫トナリ飛テ霧ノ如ク、其壯觀ハ華嚴、裏

「参考」電車乗降場カラ各名所ニ至ル料程

日光	赤羽	上野	東武日光	浅草
發後 四、三〇	着後 六、三七	着後 六、四〇	發後 四、〇八	着後 六、二六
上野行準急行列車 三月一—一月運轉	季節ニヨリ日光發後 五時五分ノ不定期 準急行列車ガアル (上野着八時二〇分)	歸宅	東武鐵道浅草行 急行電車	歸宅
東照宮	三荒山神社	慈眼大師堂	瀧尾神社	霧降瀧
神橋カラ約半軒	約八百米	約九百米	約六百五〇米	約四軒
羽瀧	含瀧	大瀧	裏瀧	清瀧
同	同	同	同	同
約二軒七	花石町カラ約四百米	約五五〇米	荒瀧カラ約二軒	觀音前
			中禪寺口カラ	
			約一軒六	
			約八軒半	
			約二〇軒半	

旅行費用概算

(イ) 一等	一、五二
(イ) 二等	六、二六
(ロ) 三等	六、二六

日光往復汽車賃及拜觀料(備考欄参照)ト食事料トシテ
二等二圓、三等一圓ヲ計上ス
東武電車往復四圓二六錢(季節ニヨツテハ往復割引券ガ
發賣サレル)及拜觀料、食事料(イト同ジ)ヲ計上ス

(註) 春季及秋季ニハ日光往復ノ割引券ガ發賣サレルカラ(上野カラ三等往復三圓四〇錢)出發ノ際ハビューロー案内所
又ハ各驛ニテ發賣ノ有無ヲ確メラル、ガヨイ。

日光・中禪寺・湯本廻り

(東京から二日遊覽)

日程	地名	發着時刻	記事	備考
第1日	上野	發前 八、三〇	日光行準急行列車	▲上野—日光間準急行列車二時間半(急行料不要、三月一—二月運轉)片 道三等二圓一三錢。 ▲日光驛カラ東武電車ノ便アリ、所要二時間二〇分、(一、二三頁参照) ▲日光驛カラ神橋畔迄一軒半、電車一〇錢、乗合自動車一〇錢。 ▲東照宮參拜(第一二五頁乃至一七頁参照) ▲西參道—馬返(中禪寺口)間七軒半、自動車二〇分、乗合三〇錢(凡ソ 二〇分乃至一時間毎ニ發)貸切三圓。凡三〇分毎ニ電車ノ便モアリ、所要 四〇分、賃三〇錢。日光驛—馬返間一〇軒、自動車三〇分、乗合五〇錢、貸切三圓 ▲馬返—中宮(中禪寺湖畔)間八軒半(舊道ハ五軒餘)徒歩三時間位。自 動車三〇分、乗合片道五圓。省線主要驛ト中禪寺間連帶乗車券發賣ス、日光驛中禪寺間 貸切日光町カラ片道八圓、但自動車ハ上リ下リノ時刻ニ制限アリ。 (註) 八月一日カラ馬返(電車終點)一明知平間日光登山鐵道開通ノ決定デアル、所要一 二分位(〇・七哩)、明知平カラ中宮祠迄ハ自動車專用道路ヲ設ケ(此ノ間一軒位)自動車 ニテ四、五分位デアル。 ▲馬返カラ一軒ノ大谷川ニ架ケラレタ幸橋邊ニ至レバ男體燈塔ノ二百米ニ及ブ斷崖屏風 岩ガ右方ニ見エ、幸橋カラ西北ニ進ムコト二百米デ祭橋ヲ渡リ大谷川ヲ離レテ更ニ西進 二百米デ支流ノ深澤ニ架スル深澤橋ヲ渡ル迄ハ山水ノ景賞スベキモノガアル。此處カラ 道ハジツクザツクノ坂路トナリ約六軒餘リテ頂上太平ニ出ル。馬返カラ二軒餘ノ劍ヶ峯 茶屋カラハ高サ三〇米中五米ノ方等瀧(左方)ノ中、一見ル勝地デアル。遊若瀧(右方)ノ二瀑 ガ丹青山ト劍ヶ峯ノ間ニ懸ル眺メ、紅葉ノ頃ハ稱一見ル勝地デアル。遊若瀧(右方)ノ二瀑 大平高原ニ至レバ氣分俄ニ一轉、岳嶺ノ響ガ傳ツテ來ル。 途中左方木下關カラ華嚴瀧ノ觀音ノ響ガ傳ツテ來ル。
	東照宮	發後 三、三〇	馬返定期自動車	
	馬返	着後 三、五〇	乘換	
	劍ヶ峯茶屋	發後 四、〇〇	中禪寺行定期	
	大平	着後 四、三〇	乘換	
	中宮	發後 五、〇〇	湯本行定期	
	中禪寺湖畔	着後 五、三〇	乘換	
	日光溫泉	着後 五、四五	宿泊	

中宮祠カラ西ニ、サク／＼トスル燒石積ヤ木下蔭ヲ行キ湖畔ヲ進メバ約四軒デ菖蒲ケ濱ガアリ、此處ニ帝室林野局日光出張所附屬ノ「鱒ノ養殖場」ガアル。此處カラ北ニ二百米許リ、龍頭ノ瀧ヲ經テ坂ヲ登レバ「戰場ヶ原」ニ出ル。原ハ海拔一、四〇六米、廣サ八九一町歩ノ平原デ、附近ニ葎花菖蒲トあやめガ大群落ヲナシテ美シク、マタ七十餘種ノ高山植物ガお花畑ヲナシテ居ル。昔、二荒神、赤城ノ神ト戦ツテ勝チ、戦勝ノ宴ヲ此處ニ催シテ唄ヒ且ツ踊ツタト云フノ説ク呼ニ至ツタト云フ傳説ガアル。原ノ一部ニ淺ク水ヲ湛エタ開沼(アカマ)ガアル。男體火山ノ一麓岩ガ大谷川ノ上流ヲ堰キ止メテ造ツタモノデ、熔岩ニ躍ツタ水ガ龍頭ノ瀧ノ壯觀ヲ生ミ、沼ノ埋レタ廣野ガ戰場ヶ原デアアル。原ノ真中ニ三本松ガアリ、道ハ此處デニツニ岐レ、右ハ西澤金山ヘ通ジ、左ハ湯本道トナリ、二軒許リ進ンダ所ニ、左湯瀧道ノ木標ガアル。「湯瀧」ハ本道カラ岐レテ半軒程ノ所ニアリ、湯ノ湖ノ水ガ直下スルコト一三〇米、幅凡三〇米ノ大瀧デ、三名瀑ニ比肩スル名瀧デアアル。「湯ノ湖」ハ所謂閉塞湖デ、石英斑岩ヲ基底トスル溪谷ガ、太郎山ノ熔岩流ニ堰キ止メラレテ出來タモノデ、前白根山ノ東麓、峯巒重疊ノ中、海拔一、五四三米ノ處ニ水位ヲ保テ居ル。湖ハ南北凡一軒、面積〇・二五方軒デ、アマリ大キクナイガ東岸ニ兔島半島ノ翠巒ヲ浮ベ、其風景ハ寧ろ中禪寺湖ニ勝ツテ居ル。湖底ハ概シテ淺ク、最深一三米半デ、排水口ノ西北僅カノ所ニアアル。水溫ハ夏季中禪寺湖ヨリモ幾分高ク、水ハ黄色ヲ帯ビタ綠色デ九號乃至十號デアアル。排水口ハ南端ニアリ、岩石ニ堰カレテニツニ分レ後合シテ湯瀧トナツテ居ル。湖中ニ鯉、鮒多ク産シ、遊客ノ食膳ヲ賑シテ居ル。冬期ハ一、二尺ニ結氷シ好スケート場トナリ、又湖畔數ヶ所ニハスキー好適ノスロープガアル。積雪平均一米位。湯ノ湖ヲ左ニ見テ進メバ湖ノ北岸ニ日光温泉(湯本)ガアル。湯ノ湖ノ鱒釣ハ日光温泉ノ人口ニアル林野局出張所デ許可ヲ受ケル。期間六月一日カラ九月末日迄、料金半日一圓半、一日三圓。鱒釣船ハ半日八〇錢、一日一圓半。湖上遊覽ボート一時間五〇錢。

日光温泉(湯本)

栃木縣上都賀郡日光町湯本。中宮祠カラ戰場ヶ原ヲ經テ日光温泉(湯本)迄一二軒一。自動車デ四五分、貸切四圓、乗合一人七〇錢。前八、三二一後五時、一日五往復、冬季運轉休。地ハ海拔約一、五五〇米、西ニ白根山、北ニ温泉岳、東ニ三ツ岳ノ峯巒ヲ繞ラシ、南ノ一方開ケテ湯ノ湖ノ青藍ニ面シ遙ニ男體山ノ偉大ナ山容ガ仰ガレル。温泉ハ湯ノ平ヲ略南北ニ貫イタ一線ニ沿フテ湧出シ、裸湯、河原湯、緞子ノ湯、中ノ湯、御所湯、瀧湯、姥湯、笹湯、荒渡、自在湯、蓼ノ湯、鶴ノ湯等ト稱サレ、緞子ノ湯ハ明礬ヲ多量ニ含ム硫黄泉テ温度五五度、眼病ニ特效ガアリ、其他ノ湯ハ何レモ硫黄泉テ四〇度乃至六五度、胃腸病、皮膚病、リウマチス、花柳病、婦人病等ニ效ガアル。

温泉旅館

南間ホテル、和室一泊三、四、五、六圓、洋室九圓一〇圓、板屋(一泊三圓一六圓)、釜屋(一泊同上)、渡邊(一泊二圓半、三、四、五圓)。

参考

日光温泉(湯本)カラ白根登山ハ一日行程トシテヨク、又金精峠ヲ越エテ奥上州ノ菅沼、丸沼ヘハ一二軒、噴泉塔八丁ノ湯ヲ經テ川俣温泉迄ハ二〇軒デアアル。(次項参照)

【白根山】日光温泉カラ西ヘ金精峠ヘノ道ヲ約八百米程行キ白根山道ノ追分ヲ左折シテ白根瀧ニ沿フテ約二軒ハ緩カナ登リデアアル。瀧ノ行詰ル所デ右手ノ尾根ニ移リ、前白根山ヘ登ル。此ノ道ハ木ノ根ノ露出シタ可ナリ急ナ道デ、湯本カラ約一時間テ外山ト前白根(二、三七七米)ノ鞍部ニ出ル。ソコカラ尾根ヲ西ニ僅カ進ムト西方目ノ前ニ中央火口丘奥白根ノ岩峰ガ聳エ、脚下ニハ五色沼ガ光テ居ル。此處ハ外輪山ノ東壁デ、湖畔ニ下リレバ夏モ往々雪ガ残り、高山植物ガ御花畑ヲ造ツテ居ル。五色沼ハ前白根ノ西麓、海拔二、一七四米ノ高所ニアアル火口原湖デアアル。五色沼ト白根山ヲ右ニ見テ一旦西南ノ尾根ヲ下リ岳樞ヤ、ハンノ木ノ林ヲ下ツテ草原ニ出テ、ソコカラ頂上迄殆んど一直線ニ岩骨ヲ踏ンデ登ル。湯本カラ奥白根頂上迄約八軒、三時間乃至四時間トナリ。

白根山ハ男體山ノ西北、群馬、栃木二縣ノ境上ニ位スル二重式火山デ、關東北部第一ノ高山トシテ知らレテ居ル。最高點二、五七七米六、其頂上ニハ中央火口ト云フベキ窪ミガナク、數個ノ爆裂火口ガアリ、且ツ東西ノ大キナ割目ガ山ヲ殆ど南北ニ二分シテ居ル。ソノ西側ノお釜ハ物凄イ程峻シイ斷崖デ圍マレ、奇岩亂立シ、其ノ間ヲ草木デ飾ツテ居ル。此ノお釜ハ明治五年ノ大爆發ノ址デ、明治二六年ニモ再ビ遠近ニ灰ヲ降ラシメタガソノ後ハ烈シイ活動ヲ見ナイ。頂上ニハ白根山神社ノ小祠ガアリ、山頂ノ展望ハ雄大デ、東ニ中禪寺ヲ俯瞰シ、湖ノ北ニ男體ノ全山容ヲ眺メ、戰場ヶ原ヲ覽ニメダラシ、日光火山群ノ山々ガ一日ニ入り、淺間、榛名、赤城ノ諸山ヲモ指摘サレ、眼下ニ關東平野ガ際限ナク廣ガツテ居ル。頂上カラ西北ニ下ツテ血ノ池地獄、遠島居ヲ經テ白根温泉迄約一〇軒。尙血ノ池地獄デ右ヘ折レレバ笑窪ヲ經テ菅沼、丸沼ヘ出ル。

菅沼、丸沼、片品川

日光温泉(湯本)カラ西北ニ行キ金精峠ヲ越シテ菅沼ニ出デ、其南岸ニ沿フテ一軒程エケバ湖尻ハ八丁ノ瀧トナリ、更ニ丸沼、大尻沼(湖面海拔一四〇二米、最長徑一軒)ノ二ツニナツテ深ク瀧ミ、夫等ノ畔ニハ千古ノ姿ガ保タレ新緑及紅葉ノ景趣ニ富ンデ居ル。是等ノ沼ハ何レモ白根山ノ西北麓ニ位シ、ソノ熔岩ノ爲ニ溪流ガ堰キ止メラレテ出來タモノデアアル。金精峠ハ日光温泉(湯本)カラ五軒餘徒歩一時間半位。湯本カラ西北ニ進ンデ約一五分許リ、白根山ヘノ分レ道迄ハ平坦デアアル、ソレカラ漸次坂路トナル。頂上近クハ稍急デアアル、ソレ以外ハ左程ノ坂デハナイ。標高二、〇二四米ノ峠ニ金精(男性)神社ガアル。峠カラ菅沼迄二軒七、徒歩三五分位、此ノ内二軒程ガ下リ坂デアアル。菅沼ハ湖面海拔一、七一九米、ソノ形ハ二個ノ三角形ト一個ノ長方形トヲ連絡シタ如ク最長徑一、七五〇米、湖岸線ハ屈曲多ク延長一四軒ニ及ンデ居ル。水深七五米、湖周ニ綠樹繁茂シ風景ガヨイ。湖尻近クニ菅沼森林林泊所(一泊五〇錢)ガアル。此處カラ半軒許リ進ミ、更ニ二軒餘、約四〇分許リ、所謂八丁瀧道ノ急坂ヲ下レバ丸沼ノ東岸中腰ニ出デ、此處カラボートデ北岸ノ丸沼温泉ホテル(所要一〇分、一〇錢)、西岸湖尻ノ自動車發着所(一〇分、一〇錢)ニ出ルデアアル。丸沼ハ湖面海拔一、四〇三米(菅沼トノ差三一六米)最長徑六〇〇米トナツテ居ルガ、最近發電所用ダムガ丸沼ノ湖尻ニ設ケラレタノデ、水面ハ約二二米高クナリ、從ツテ湖面積モ幾倍セラレ、湖畔ノ大木亦湖底ニ没シ去ラレ、一種悲想ナ感ヲ抱カシメルモノガアル。丸沼ノ東北岸ニ丸沼温泉ホテルガアル。

日光・中禪寺・湯本廻り

日光・中禪寺・湯本廻り

▲(九沼温泉ホテル)温泉入浴時、室敷一、宿料一圓、二圓半、食事、別デ食堂ニテ好ミノモノヲトル、定食七〇錢、其他并物及一品料理ガ出來ル。

日光温泉(湯本)一金精峠 上リ約五斤餘、徒歩一時間半。

菅沼湖尻―九沼東岸 約二斤半、徒歩四〇分位。

九沼湖尻―須賀川 約一八斤、利根運輸自動車一日四回往復、乗合七〇錢、四〇分

須賀川―追貝 約九斤半、追貝自動車商會、一日六回往復、乗合四〇錢、二〇分

追貝―沼田驛 約二〇斤、坂東自動車デ一時間、道路良ク、一六人乗バス運轉ス(列車毎)、片道一圓一〇錢、往復一圓八〇錢、貸切五圓。

沼田驛―九沼間 貸切一圓。

途中ニ追貝ノ吹割灘、白根温泉ガアル。

▲白根温泉ハ九沼カラ八斤、沼田カラ東北四〇斤自動車二圓。白根山塊ノ山中ニアル温泉デ、閑寂ノ郷デアル。温泉ハ鹽類泉デ五五度、胃病ニ特效ガアリ、腦病、リウマチス、ヒステリー、婦人病、痔疾等ニ效ガアルト云フ。旅館、白根館、星田館、一泊一圓二〇錢―二圓。此處カラ六斤デ會津街道鎌田ニ出、片品川ヲ湖ルコト二七斤ノ所ニ尾瀬沼ガアル。

▲尾瀬沼 群馬縣ノ北部ヲナス奥上州山塊ノ山上湖デ、福島縣トノ境上ニアリ、周圍約五斤ノ小湖デハアルガ、湖北ニ二、三四六米ノ巒岳登エ、ソノ他槍高山(一、九三二米)、血伏山(一、九一六米)ナドニ包マレ、人煙遠キ神秘境ヲ作ツテ居ル。又此處ニハ長徑八斤、短徑五斤ニ亘ル尾瀬ヶ原ノ大濕原ヲ持チソノ西ニ至佛山、東ニ奥日光ノ山脈ガ聳エテ居ル。此ノ尾瀬ヶ原ヲ縋ル山岳ト濕原ト森林美ハ、關東ニ於ケル特異ナ山岳美トシテ登山者ノ愛好ノ地デアリ、植物景觀及生態學上見ルベキモノガ多イト云フ。

▲湖ノ東岸ニ長藏小舎ガアル(標高一、六六五米)、三〇人ノ收容力ガアリ、小舎番常任シ冬期モ使用出來、物資モ供給スル。一泊一圓三〇錢、辨當二〇錢。

沼田驛―追貝―須賀川―鎌田約三〇斤、自動車一圓六〇錢、此間片品川ニ沿ツテ湖ル。

鎌田カラ越本、土出等ノ部落ヲ經テ約一〇斤デ戸倉ニ着ク(案内人アリ)、此處カラ道ヲ右ニ、荷鞍山ノ東麓ヲ經テ三平峠(一、七六九米)ヲ越シ尾瀬沼ノ東岸ニ出ル道ト(長藏小舎マデ一七斤)、左ニ進デ荷鞍山ノ西麓ヲ經テ鳩待峠(一、六一五米)ヲ越シ尾瀬ヶ原ヲ廻ツテ長藏小舎ニ行ク道トガアル。後者ハ前者ヨリモ遠ク約二八斤アル。

巒岳ハ長藏小舎カラ約七斤、ウチ四斤ノ沼尻川迄ハ平坦デアアル。

尾瀬沼カラ北ニ進デ南會津郡ノ坂下方面ニ出ル沼田街道ガアリ、マタ袴腰山、赤安山、黒岩山、鬼怒沼山等ノ尾根ヲ縱走シテ鬼怒沼ニ降り、約八斤下流ノ八丁湯ニ一泊、噴泉塔ヲ見物シテ日光温泉、中禪寺湖ニ出ル事モ出來ル。

▲追貝ノ吹割灘―鎌田カラ一〇斤、沼田驛カラ二〇斤ノ東方ニアアル。乗合一圓一〇錢、貸切五圓、片品川ノ河床ヲナス岩盤ノ裂隙ニ懸レル合標デ、高サハ七米ニ過ギナイガ中ニ六米ニ及ビ、附近ニ千歳橋、鶴止ノ橋、獅子岩、屏風岩等追貝ノ觀メガ次々ニ迎テシテ來ル。

參考

▲中宮祠カラ中禪寺湖ニ舟ヲ浮ベテ上野島ヲ右ニ眺メ、對岸ノ阿世湯峠ノ麓ニ舟ヲ捨テ阿世湯(一、四一七米)ヲ越セバ足尾町デアアル。道ハ渡良瀨川ノ上流久藏澤ニカ、ツテ約一二斤モ下レバ日本一ノ銅山、古河鐵業會社ノ足尾銅山ニ着ク。足尾本山ニ着イテ渡良瀨川ノ橋ヲ渡レバ製鍊所ガアル。

銅山ハ慶長年間ノ發見デ、モト徳川幕府ガ直轄シ、日光、芝、上野ノ諸廟築造ノ材料ニ供シ、マタ江戸城ノ屋根葺用ニ使用シタモノデアアル。明治十年古河家ニ鐵業權ガ移リ、現ニ坑夫三千六百人ヲ使役シ、年産ノ粗銅一萬二千噸、價格一十萬圓、別ニ粗製亞砒酸四八萬噸其ノ他ヲ產出シテ居ル。鑛床ハ小瀧、本山間ノ備前橋山ニアリ、鑛脈ノ延長ハ普通六〇米乃至六〇〇米デ、鑛脈ハ三〇糎乃至四米、鑛質ハ石英銅鑛脈ト綠泥銅鑛脈ノ二種ヲ相絡ンデ一脈ヲナスコトガ多イ。

▲足尾線終點間藤カラ桐生マデ汽車約二時間半(四四斤一)、桐生カラ小山廻リ上野迄三時間(二九斤九、間藤―上野三等二圓四五錢)、桐生カラ高崎廻リ上野迄三時間(一四〇斤二、間藤―上野三等二圓五七錢)。

觀楓季ニハ上野―日光―中禪寺―間藤―上野ノ二割引ク―ボン式遊覽券ガ發賣サレル筈デアアル。

日光温泉 (湯本)	發前 一、三〇	乘合自動車
中宮祠	着後 一、一五 發後 三、〇〇	遊覽 乘合自動車
馬返	着後 三、三〇 發後 三、四〇	乘換 自動車
日光驛	着後 四、一〇 發後 四、二〇	上野行列車 (三月―二月)
上野	着後 六、四〇	歸宅

中禪湖寺 日光驛ノ西一八斤、男體山ノ南麓ニアリ、一ニ幸ノ湖ト云フ。今ヲ距ル千數百年ノ昔、勝道上人ガ男體山ニ登リ發見シタト傳ヘラル、湖テ、湖面海拔一、二七一米ノ幽邃境ニ碧水ヲ湛エテ居ル。東西六斤半、南北一八斤八、面積一二・三九平方斤、南岸カラハ八丁出島ノ半島ガ突出シ、其東ニ上野島ガアル。湖盆ハ西ニ淺ク、東ニ深イ。ソシテ最深點ハ東部ノ南方ニ偏シ上野島ノ東方ニアリ一七二米ニ及ビ、華嚴ノ瀧ノ高サヨリモ更ニ七二米深イ。カ、ル高度ニアリナガラ、面積深度共ニ斯ク大ナルハ本邦ノ他ニ見ナイ處デアアル。

日光・中禪寺・湯本廻り

湖盆ハ石英斑岩ト花崗岩ヨリ成リ、其地盤ハ地質時代ニ浸蝕サレテ大ナル窪地ヲ作ツタモノデ、モト適ニ東方ニ及デ居タガ、男體山ノ熔岩流ガ此窪地ヲ横斷シテ流レテ堰キ止メ、此處ニ湖水ヲ形成スルニ至ツタモノデアリ。湖盆ヲ涵養スル水ハ廣大ナ受水區域カラ注入スルモノヲ主トスルモノデ、冬季降雪期ニハ著シク其ノ水位ヲ低クスル。排水ハ大尻川カラ流レ、ソノ懸垂スルモノハ華嚴ノ瀧デ、以下大谷川トナリ鬼怒川ニ合シテ利根川ニ注イデ居ルガ、冬季ハ水位ガ低イノデ、大尻川ハ河床ヲ露ハシ、排水ハ全ク止ミ、華嚴ノ瀧ハ數ヶ月間主澤ニ一滴ノ水ヲモ見ナイガ、華嚴瀧ノ落下スル懸崖カラハ數條ノ細瀑ガ玉簾ノ如ク垂レテ居ル。之ハ中禪寺湖ノ水ガ異々ニツノ熔岩層ノ間ヲ流レ出ツルモノデ、湖水ハ表面ト地下トニツノ排水口ヲ有シテ居ルノデアリ。湖ノ水温ハ表面月別最高ガ八月ノ平均二三度附近、最低ガ一月ノ平均四度位、凡ソ一〇〇米以深ハ一年ヲ通ジテ四度、冬季ハ風波激シキ爲湖面ノ氷結スル事少イ。水ハ極メテ清澄デ深度一八米附近マデ明カニ透視シ得ラレ、マタ水色モ極メテ美麗デ、三號カラ四號附近ノ藍色ヲ呈シテ居ル。排水口ガ華嚴ノ瀧トナリ魚類ノ沂上ヲ妨ゲ、古來魚類ヲ産シナカツタガ、明治六年以來魚類ヲ移殖シ、十四年ニハ鮭、鱒、其後米國ノ紅鱒、ホロイトブイツシユヲ放流シ、三十九年カラハ帝室林野局ニ於テ養鱒ヲ計畫シ、湖畔菖蒲ケ濱ニ孵化場ヲ設ケ、漸次繁殖シテ漁獲ガ多クナツテ來タ。

【湖上舟遊料金】 ▲名所廻リモーター船貸切四圓、同乗合五〇錢、和舟貸切一圓半。 ▲中宮祠一歌ケ濱間貸切一圓八〇錢、乗合二〇錢、和船貸切五〇錢。 ▲菖蒲ケ濱行貸切三圓半、乗合四〇錢、和船貸切一圓二〇錢。 ▲名所廻菖蒲濱行貸切六圓(和船二圓)。 ▲足尾新道行貸切二圓半(和船一圓二〇錢)。 ▲一時間貸切六圓(和船一圓)。 ▲貸ボート一時間五〇錢。

【二荒山神社中宮祠】 男體山ノ麓、中禪寺湖ノ北岸風光明媚ノ勝地ニアリ。日光二荒山神社ノ別宮デ、本殿拜殿共ニ江戸時代ノ建築デアリ。本殿ノ右側ニ勝道上人開山ノ碑ガアリ、此ノ碑ノ傍ニ男體山表登山口ガアル。【中禪寺】 中宮祠カラ大尻橋ヲ渡ツテ一軒許リ、幸ノ湖ノ東岸勝景ノ地ニアリ。延暦年間勝道上人ノ創建ト傳ヘル天台宗ノ梵刹デ、モト中宮祠ノ西隣ニアツタガ明治年間今ノ地ニ移シタモノデアリ。本尊千手觀音像ハ柱ノ立木ヲ以テ造ラレタト傳ヘ、俗ニ立木觀音ト呼ビ、高約五米半(一丈八尺)。鎌倉時代ノ作デ國寶ニ指定サレ、阪東十八番ノ札所ニナツテ居ル。 ▲歌ケ濱ハ中禪寺前ノ湖畔デ、勝道上人ガ九木舟ヲ造リ、此處ニ來テ苦行セラレタ時、天人下リテ歌喚セラレタノデ歌ケ濱ト呼ブト云フ。

【男體山】 中禪寺湖ノ東北ニ優美ナ火山性ノ裾野ヲ引キ、湖面ヲ抜クコト一、二一三米、海拔二、四八四米ノ圓錐形ノ偉大ナル山容ヲ空ニ聳エ、其西ニ聳ユル白根山ト共ニ湖面ニ美イ山影ヲ投ジテ居ル。關東ノ名山トシテ知ラレ、マタ日光諸山ノ重鎮デ、二七方ノ面積ヲ占ムル標式ノコニデーデ、山頂ニハ直徑約八百米ノ半圓形ノ火口ガアル。火口ハカルデラヲナシ、深サ二百乃至三百米アル、火山灰、砂、礫其他火山岩屑ガ堆積シテ居ル。火山ノ外側ハ四方ニ規則正シキ傾斜ヲナシ、頂上ニ近イ處ハ三〇度以上ニ及ビ、下ルニ從テ緩傾斜トナツテ居ル。登山路ハ凡ソ四ツアルガ、中宮祠カラ登ルノガ最便利デアリ。古來登山者ハ嚴重ナル深淵ヲナシテ登リシタモノデ、今ニソノ遺風ガ殘リテ居ル。毎月八月

一日カラ一週間行ハレル登拜祭ガ夫レデ、表裏道カラ登ルモノハ中宮祠ノ社前ニ於テ、マタ裏山ノ志津カラ登ルモノハ出張ノ神官カラ必ズ被テ受ケナケレバ登山ヲ許サレナイ事ニナツテ居ル。先ツ中宮祠社務所ニ祈禱料トシテ一人金五〇錢ヲ納メ、社殿ニ登拜スルト、登山路ノ門ヲ開ケテ與レル。道ハ頂上ヘ殆ンド直線的デ相當急ニ感ズル。中宮祠カラ頂上迄約八軒、二時間乃至三時間ヲ要スル。三合目ト五合目ニ休憩小舎ガアリ、此ノ間ハ針葉樹ニ岳樺ノ混ジタ美イ林デ五合目カラ上ハ岩石ト木ノ根ガ露出シテ少シク道ガ悪クナル。途中ニハ水ノ湧出シテ居ル所ガナイカラ登山口デ準備スル必要ガアル。頂上ニ二荒山神社ガアリ大己貴命ヲ祀リ、ソノ西ニ太郎山神社ガアリ味耜高彥根命ヲ祀リ、八合目瀧尾神社ニ田心姫命ヲ祀ツテ居ル。此ノ三社ヲ總稱シテ奥社ト云ヒ、勝道上人ガ日光山神社ヲ創建シタ後、此處ニ勸請シタモノト傳ヘテ居ル。

山頂ノ眺望ハ頗ル廣闊デ、白根山ヲ始メ奥日光及奥上州ノ重疊タル山峯ヲ眺メ、脚下ニハ中禪寺湖ノ青碧ヲ俯瞰シ、遠ク富士、秩父、關東平野ナドノ眺望ガ勝レテ居ル。頂上カラ道ヲ北ニトリ、大眞名子山トノ鞍部ヘ下ルト志津小舎ニ出ル。小舎カラ東南ニウリユウ坂、深笹ノ河原ヲ經、裏見ノ瀧ヲ見テ清瀧ヘモ日光町ヘモ下リラレル。マタ志津小舎ニ泊スレバ樂ニ興味アル男體及裏山ノ山旅ガ出來ル。【華嚴瀧】 中禪寺湖ノ吐口大尻川ノ東方約五百米ニアリ、石英斑岩ノ浸蝕面ヲ掩フ男體熔岩ニ懸テ居ル。直下スルコト約百米、幅ハ上部デ約十米、瀧壺ハ深サ二十米、水色ハ淡碧色ヲ呈シ、岩壁ノ前ニ直下シテ極メテ美觀ヲ呈シテ居ル。大平ノ瀧見茶屋傍カラエレベーターデ瀧壺前ニ降りレバ正面十間程距テ瀧全體ヲ仰ギ見ルコトガ出來ル。エレベーターハ三〇人乗ニ臺アリ、所要三分、賃往復四〇錢。徒歩ナレバ瀧坂ヲ下リ、白雲瀧ヲ經テ五郎兵茶屋ニ至ル約一軒ノ道ガアル。瀧ノ懸ル岩壁ハ厚サ約五〇米ノ男體熔岩デ、石英斑岩ノ上ニ横ツテ居ル。熔岩ノ下端ハ塊塊岩狀ヲナシ、中禪寺湖カラ來ル地下水ハ此處ニシボラレテ主澤ノ兩側ニ數條ノ玉簾ヲ懸ケ、岩燕ガ瀑前ニ群ヲナシテ飛翔シテ居ル。瀧水ハ冬季ハ涸レテ主澤ハ消滅シ(五月半迄)、僅ニ地下水カラ來ル數條ノ小瀑ヲ見ルノミデアリ。

▲裏見ノ瀧ハ馬返ニ至ル途中、荒澤停留所カラ約二軒ノ荒澤川ノ上流ニアリ。日光驛カラ五軒餘(一里十三丁)瀧カラ半軒ノ所迄自動車ガ行ク貸切往復五圓半。往時ハ瀧水ノ裏側カラ其ノ壯觀ヲ見ル事ガ出來タノデ其ノ名ガアツタガ、明治五年九月ノ大暴風雨ノタメ瀧口ノ岩岨ヲ墜落シテ舊時ノ奇觀ヲ失ツタ。然シ、多少濡レルコトヲ厭ハネバ、裏面カラ瀧ヲ見ルコトガ出來ル。

旅行費用概算

(註)

春季及秋季ニハ中禪寺往復ノ汽車、自動車ヲ含メ割引遊覽券ガ發賣サレル筈デアリカラ出發ノ際ハビューローノ案内所又ハ驛ニテ發賣ノ有無ヲ確メラル、ガヨイ。

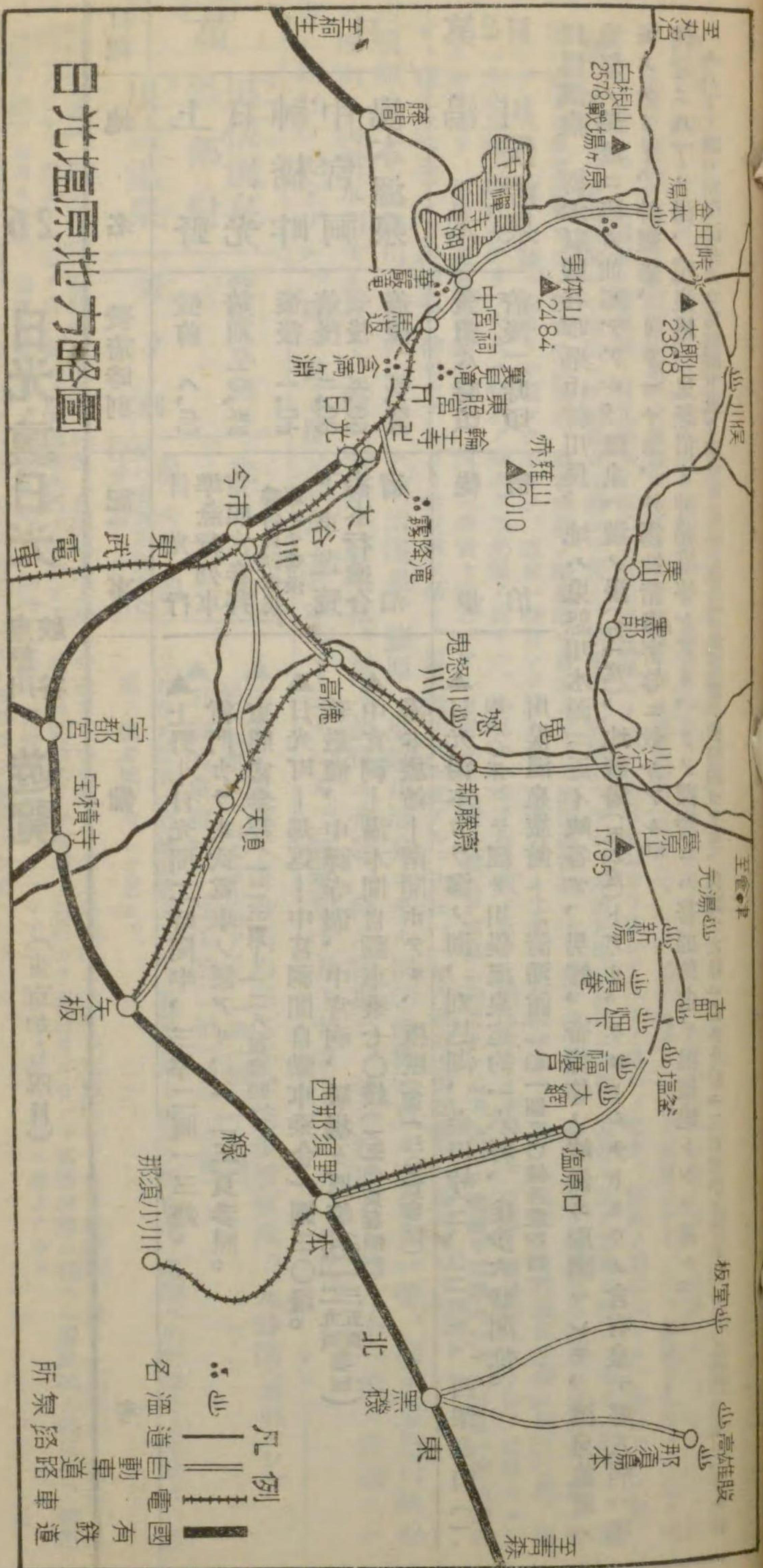
日光・中禪寺・湯本廻り

〔備考〕

【日光の旅館】 小西別館(驛カラ二軒半、電日光二番、五番、室四七、一泊四、五、六、八圓、團體不扱)、小西本館(驛一軒四、電二、三、室二三、團體收容二百人、一泊三、四、五圓、七圓、團體宿泊二圓一三圓)、神山(驛半軒餘、電八、室五一、團體收容三百人、一泊三、四、六、七圓、團體宿泊一圓半一三圓)、神橋館(驛一軒半、電二三八、室二〇、團體收容百人、一泊二、三、四、五圓、團體宿泊一圓半一三圓)、上州屋(驛一軒半、電一五五、室三一、團體收容一五〇、宿泊料同上)、古橋(電四、室二二)、山光館(電七八、室一八)、紙半(電六二、室二四)、井桁樓(電三四)、金谷ホテル(驛カラ一軒半、電一番、七番、純洋式。風呂無一人室二五、三食付二三圓一六圓、同二人室二二、三食付二二圓一七圓。風呂付一人室八、三食付一六圓一八圓。同二人室一五、三食付二六圓一三五圓。食事料朝二圓、晝三圓、夕三圓半)

【中禪寺湖畔の旅館】 蔦屋(電中宮祠五、室四七、團體收容三百人、一泊三、四、五、六圓、團體宿泊一圓半一三圓半)、米屋(電一、室八、團體收容二二〇人)、伊藤屋(電七、室二七、團體收容二百人)、橋本屋(電九、室三七、團體收容二二〇人)、和泉屋(電三、室三一、團體收容一七〇人)以上一泊三、四、五、六圓、團體二泊一圓半乃至三圓。レーキサイドホテル(電二、洋式、三食付一人室七圓一四圓、二人室一四圓一八圓。食事料朝一圓半、晝二圓半、夕三圓)

【自動車賃】 ▲日光驛カラ神橋迄乗合二〇錢、貸切一圓、霧降瀧迄貸切往復六圓、馬返迄乗合五〇錢、貸切三圓、裏見瀧迄貸切往復五圓半、中禪寺湖迄乗合一圓半、貸切八圓、湯本迄乗合二圓二〇錢、貸切一二圓、今市迄乗合四〇錢、貸切三圓、鹽原迄乗合三圓半、貸切二〇圓、鬼怒川温泉迄乗合八〇錢、貸切八圓。▲馬返カラ中禪寺湖迄乗合一圓、貸切五圓、湯本迄乗合一圓七〇錢、貸切九圓。



日光・鹽原地方略圖

26 日光・裏日光

(鬼怒川峡谷)

遊覽

(東京から四日)

日程	地名	發着時刻	記事	備考
第1日	上野	發前 八、二〇	日光行	▲上野―日光間二時間半、三等二圓一三錢。雷門カラ東武電車ノ便アリ、一二三頁參照。
	神橋	發前 一〇、五五	東照宮參拜	東照宮參拜(一二三頁―二八頁參照)
	中宮祠	發後 二、〇〇	下車遊覽	▲日光町―馬返―中宮祠間自動車乗合一圓三〇錢。華嚴龍、中禪寺湖、中宮祠、戰場ヶ原等(自一二九頁參照)
	湯本温泉	發後 五、〇〇	湯本行乗合泊	▲中宮祠―湯本間自動車乗七〇錢(二三〇頁參照)
		着後 五、四五		湯本旅館―南間ホテル、板屋(第一三〇頁參照)
第2日	湯本	發前八時頃	徒歩	▲日光湯本カラ瀨ノ湖、刈込湖、金田峠(二、〇二四米)、西澤金山(一、四六〇米)ヲ經テ川俣温泉迄約一六軒、徒歩六時間位。
	川俣温泉	着後二時頃	宿泊	川俣温泉旅館 清湧館(二泊一圓二〇錢乃至四圓)

川俣温泉 栃木縣鹽谷郡栗山村川俣。地ハ鬼怒川水源ニ近イ峡谷デ、男體、帝釋等ノ峻嶺ニ取圍マレテ、温泉旅館ハ鬼怒ノ溪流ニ臨ム仙郷デアアル。温泉ハ瀧ノ湯(五一度)、地藏湯(五四度)トアリ、クローラトリウム含有泉テ婦人病一切ヒスゲリ、神經痛、リウマチス、外傷性諸障害等ニ效ガアル。

附近ニ八丁ノ湯、噴泉塔、鬼怒沼ノ神祕境等ガアリ、ソノ探勝ニハ普通此處ヲ根據地トシテ居ル。

▲八丁ノ湯ハ川俣温泉カラ鬼怒川上流ヲ溯ッテ右岸ノ林道ヲ約三軒テ夫路瀧ガアリ、此處テ左岸ニ渡ルト急ニ二百米許リ手白山カラノ尾根ニ登リ、手白山

ノ落合ニ下ツテマタ木流ニ出テ川原ヲ行クト八丁ノ湯ガアル。川俣温泉カラ約八軒。此處ニ、野六ノ浴槽ガ一ツアリ、醫林署建設ノ小舎ガアリ、キヤムブナドニ遊シテ居ル。▲鬼怒沼ハ八丁ノ湯カラ約四軒半、鬼怒沼山頂カラ約六百米許リ下ニアル。沼ハ南北ニ狹長ナ美シイ濕原ヲナシ、小サナ十二箇餘ノ沼池ガ點在シテ居ル高山原始湖デ、鬼怒川ノ源ヲナシテ居ル。▲鬼怒沼山(海拔二、一四一米)頂上ハ木立デ眺望ガナイノデ、普通登山者ハ此處ヲ頂上トシテ居ル。▲湯澤ノ噴泉塔―日光湯本ノ北ニ二軒、川俣温泉ヘノ途中、西澤金山カラ岐レテ八丁ノ湯ヘノ途中、湯澤ノ溪流ニアル。金山カラ八軒。西澤ノ溪流ニハ温泉ガ處々ニ湧出シテ硫黄ガ沈澱シテ居ル。噴泉塔ハ圓錐計ヲナシ、本流左岸ノ懸崖ニ四個、左岸ニ注グ支流ノ出口ニ近ク二個アル。前者ハ近ヅク事ガ出来ヌガ、後者ハ出来ル。前者四個ノ噴泉塔中最大ノモノハ底部直徑約一米、高サ六〇糎位、現ニ頂上ノ噴孔カラ溢流シ、塔ハ生長シツ、アル。他ノ三個ハ夫ヨリモ著シク小サク、温泉ハ噴出シテ居ナイ。支流ニアル二個ノ噴泉塔中大ナルモノハ底部ノ直徑及高サ共ニ約三〇糎、頂上ニ大小二個ノ噴口ガアリ、大孔ハ熱水ノ飛沫ヲ二米餘ノ高サニ、小孔ハ小球ヲ六〇糎ノ高サニ飛沫セシメテ居ル。之等ノ物質ヲ沈澱セシメル温泉ハ無色透明ウムカラ成リ、少量ノ硫黄及硅酸ヲ混ジ、内部ハ堅實ナ霰石デアアルガ新シイ外部ハ柔カデ容易ニ粉末トナル。之等ノ物質ヲ沈澱セシメル温泉ハ無色透明デ、硫化水素臭アリ、微鹹味ヲ帶ビテアルカリ性反應ヲ呈シ、溫度攝氏九四度アル。大正一一年内務省天然記念物ニ指定サレテ居ル。

川俣温泉カラ鬼怒川ノ溪流ニ沿ウテ川治温泉、藤原、鬼怒川温泉ニ至ル四〇餘軒ニ亘ル裏日光一帯、即チ鬼怒川峡谷ハ四山ノ山紫水明ナルコト、春ハ新緑ニ野州花、夏ハ釣魚ニ舟遊、秋ハ觀楓ニ、冬ハ狩獵ニト都人士一泊ノ清遊ニハ實ニ絶好ノ地デアアル。殊ニ此ノ間ノ紅葉ハ日本一ト云ハレル。紅葉期十月上旬カラ十一月上旬迄。

第3日

川俣温泉
黒部村
川治温泉

發前(早朝)
着夕刻

徒歩
宿泊

▲川俣―黒部―川治間約三二軒、徒歩所要八、九時間(乗物ナシ) 途中黒部村ニ山本屋旅館アリ、一泊一圓半―二圓。

▲川治温泉旅館―近江屋(一泊一圓半―三圓)

川治ノ對岸ニ柏屋旅館ガアル、高原温泉ト云ツテ居ルガ、浴場ハ川治温泉ト相並ビ、專用ノ橋ガ架ケラレテ居ル。

【川治温泉】 栃木縣鹽谷郡藤原村川治。日光、高原兩山ノ間ニ介在スル小盆地デ、西方鬼怒沼ニ發スル鬼怒川ト、北方會津境ニ發スル男鹿川ノ落合フ地點ニアリテ、岩石ト水流ノ奇ニ富ミ、所謂紫水明ノ郷デアアル。温泉ハ仙巖岳ノ下河原ノ岩間カラ湧出スルモノヲ其儘浴槽ニ湛エル原始的ノ温泉デ、無色透明ノ弱アルカリ性泉、溫度五五度、玉ノ如ク美イ。創傷、眼病、胃腸病、脚氣、リウマチス、疔疾、婦人病等ニ效ガアル。

【參考】▲此處カラ高原山ノ中腹ヲ越セバ約一四軒(徒歩三時間―四時間)デ鹽原ノ新湯ヘ出ラレル。